

富谷市
高齢者保健福祉計画・
第9期介護保険事業計画
実態把握調査結果報告書

令和5年3月

宮城県 富谷市

目次

I	調査実施の概要	2
1	調査の目的	2
2	調査対象	2
3	調査期間	2
4	調査方法	2
5	回収状況	2
6	調査結果の表示方法	4
7	「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について	5
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	8
問1	あなたの生活状況やご家族について	10
	調査結果のまとめ	13
問2	からだを動かすことについて	14
	調査結果のまとめ	41
問3	食べることについて	42
	調査結果のまとめ	60
問4	毎日の生活について	61
	調査結果のまとめ	65
問5	地域での活動について	66
	調査結果のまとめ	83
問6	たすけあいについて	84
	調査結果のまとめ	89
問7	健康について	90
	調査結果のまとめ	99
問8	家庭や地域での役割や毎日の行動について	100
	調査結果のまとめ	105
問9	認知症及び介護の相談窓口について	106
	調査結果のまとめ	112
問10	今後の介護について	113
	調査結果のまとめ	116
III	生活機能評価等に関する分析	118
1	機能別リスク該当者割合の分析	118
(1)	運動器	118
(2)	閉じこもり	120
(3)	転倒	121
(4)	栄養	122

(5) 口腔	123
(6) 認知	124
(7) うつ	125
2 日常生活	126
(1) 手段的自立度 (IADL)	126
IV 在宅介護実態調査	130
(1) 調査対象者本人について	130
調査結果のまとめ	160
(2) 主な介護者の方について	161
調査結果のまとめ	177
V 第2号被保険者対象ニーズ調査	180
(1) あなたご自身のことについて	180
(2) あなた自身の健康状況について	183
調査結果のまとめ	191
(3) 認知症について	192
調査結果のまとめ	192
(4) 生活状況について	193
調査結果のまとめ	195
(5) 地域との関わりについて	196
調査結果のまとめ	203
(6) 相談窓口などについて	204
調査結果のまとめ	206
(7) 将来の生活 (介護の考え方を含む) について	207
調査結果のまとめ	209
(8) ご両親の介護について	210
調査結果のまとめ	212
VI 共通設問等の分析	214
1 健康状況について	214
(1) 治療中、または後遺症のある病気や要介護者が現在抱えている傷病名	214
(2) 健診や人間ドックについて	214
(3) 健康のために意識していることや取り組んでいること	214
【課題分析 (健康状況について)】	215
2 生きがいづくりについて	215
(1) 生きがいや余暇の過ごし方	215
【課題分析 (生きがいづくりについて)】	215
3 認知症について	216

(1) 安心して生活するために必要なこと	216
【課題分析（認知症について）】	216
4 地域とのつながり	216
(1) 隣近所との関わり	216
【課題分析（地域とのつながり）】	216
5 災害時の対応について	217
(1) 福祉避難所の周知状況	217
(2) 災害時に不安に感じること	217
【課題分析（災害時の対応について）】	217
6 相談窓口について	218
(1) 介護に関する相談窓口に求めるもの	218
(2) 成年後見制度について	218
【課題分析（相談窓口について）】	218
7 将来の生活（介護の考え方を含む）について	219
(1) どのような介護を受けながら生活したいか	219
【課題分析（将来の生活（介護の考え方を含む）について）】	219
資料編	221
アンケート調査	221
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	221
(2) 在宅介護実態調査	225
(3) 第2号被保険者調査	229

別紙

富谷市介護人材実態調査の集計状況について
 介護人材実態調査 調査票

I 調査実施の概要

I 調査実施の概要

1 調査の目的

「高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定にあたっては、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、本市における地域を含めた課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討し、将来推計の基礎資料を得るため、本調査を実施しました。

2 調査対象

①介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 (65歳以上)	令和4年12月1日現在で、市内在住の要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の市民の中から1,500名を無作為に抽出
②在宅介護実態調査	令和4年12月1日現在で、市内在住の65歳以上の要支援・要介護認定者の中から500名を無作為に抽出
③第2号被保険者対象二一ズ調査 (40～64歳)	令和4年12月1日現在で、市内在住の40～64歳の市民の中から800名を無作為に抽出

3 調査期間

令和5年1月16日(月)～令和5年1月31日(火)

4 調査方法

郵送配布・郵送回収による郵送調査。

5 回収状況

(1) 有効回答者数と回答率

	対象者数	配布数	回答数	有効回答数	有効回答率
①介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	9,943人	1,500件	1,203件	1,201件	80.1%
②在宅介護実態調査	1,157人	500件	380件	380件	76.0%
③第2号被保険者対象二一ズ調査	18,816人	800件	504件	504件	63.0%

※圏域あたり500通×3圏域分

・日常生活圏域の定義

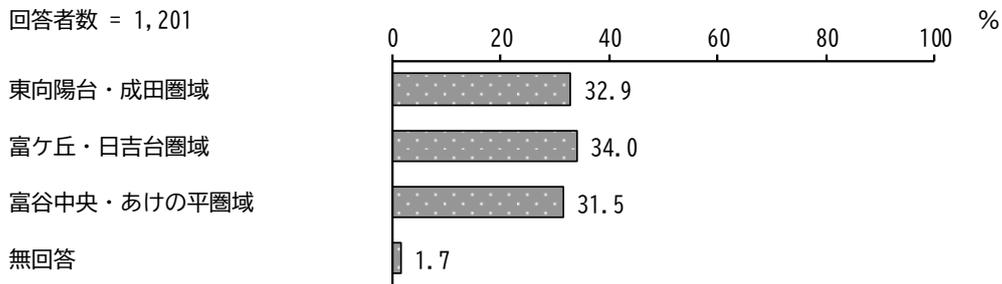
日常生活圏域名	地区名
東向陽台・成田圏域	成田・大清水・上桜木・明石台・東向陽台
富ヶ丘・日吉台圏域	富ヶ丘・鷹乃杜・日吉台・杜乃橋
富谷中央・あけの平圏域	太子堂・ひより台・グリーンヒル(一ノ関の一部)・とちの木・あけの平・その他(上記以外の地区)

(2) 有効回答者の属性

本調査における有効回答者の属性は以下のとおりです。

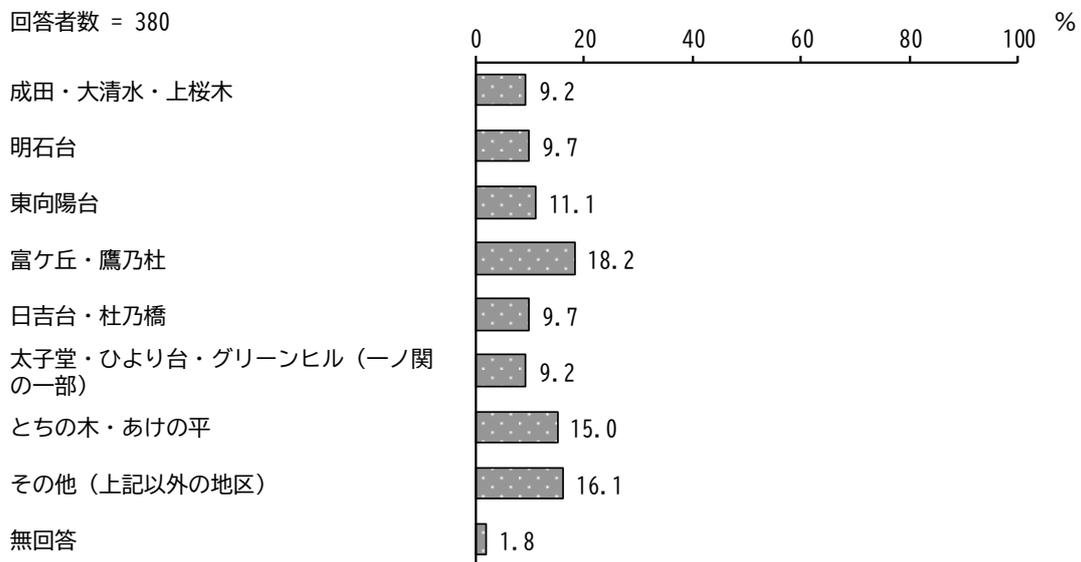
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

回答者数 = 1,201



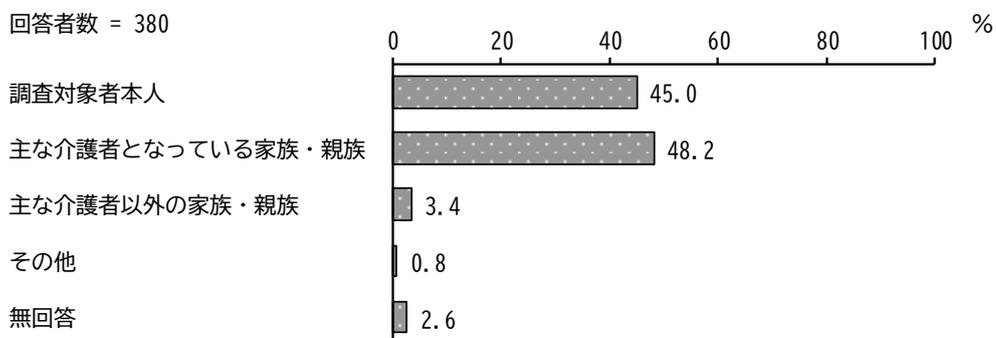
②在宅介護実態調査

回答者数 = 380

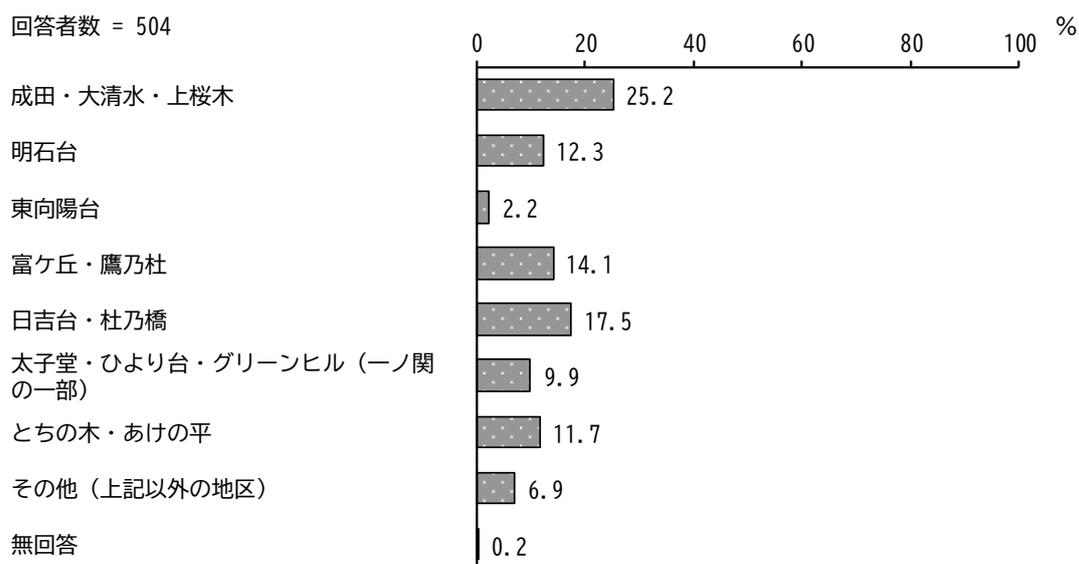


調査回答者（A-問1）

回答者数 = 380



③第2号被保険者対象ニーズ調査



6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について

本報告書は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することに主眼を置き、「介護予防・フレイル対策、認知症予防※」へとつなげていくための、基礎調査として位置づけられています。

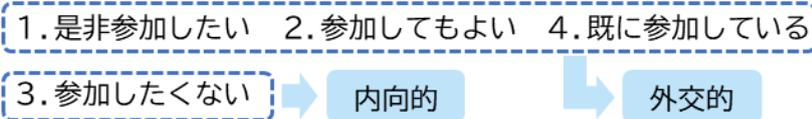
フレイルとは加齢とともに体や心の働き、社会的なつながりなどが弱くなった状態のことを指し、予防に取り組むことでその進行を緩め健康な状態に戻すことも可能であることから、高齢者をタイプ別に分類し、虚弱高齢者(加齢や疾患によって心身状態が虚弱であって、要介護状態ではないが、何らかの支援をする高齢者)を把握する項目とのクロス集計・分析を行います。

なお、高齢者の「タイプ別分類」は、下記に示すように問「週に1回以上は外出していますか」及び問「健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思いますか」の設問より判定しています。

問 週に1回以上は外出していますか。



問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



タイプ別分類	特性	想定される事業の方向性
インドア派 外交的	現在は、自宅の中で楽しむ志向が強いが、潜在的な外交的志向がある	・介護予防事業、サロンへの参加促進 ・ボランティア等への参加促進 ・自宅でできる健康情報の提供 など
インドア派 内向的	現在、今後も、自宅の中で楽しむ志向が強い	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・在宅生活を支援するための情報提供 など
アウトドア派 外交的	自宅の外で楽しむ志向が強く、外交的志向もある	・みんなで出来る屋外スポーツの開催 ・各種事業の運営者との育成支援 ・ボランティア等への参加促進 など
アウトドア派 内向的	自宅の外で楽しむ志向が強いが、外交的志向はあまりない	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・外で気軽に楽しめる場所の情報提供 など

※ 介護予防 : 健康な生活を長く続け、介護を受ける状態にならないようにすることです。

フレイル対策 : 「栄養(食・口腔)」、「運動」、「社会参加」をバランスよく取り組むこと。

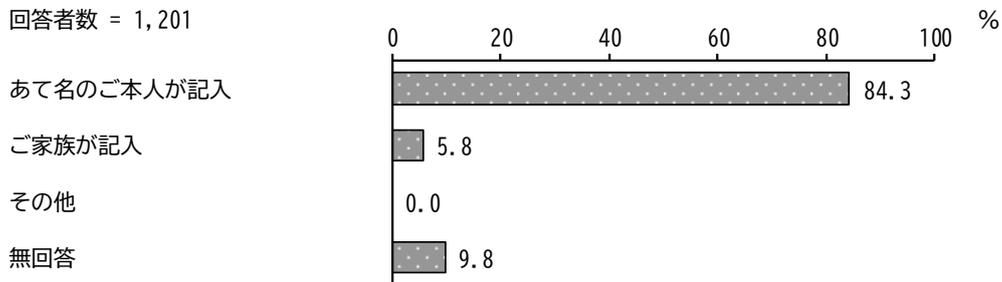
認知症予防 : 糖尿病、高血圧などの生活習慣病の予防、運動不足の改善、社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持などが発症を遅らせる(予防)可能性が示唆されている。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

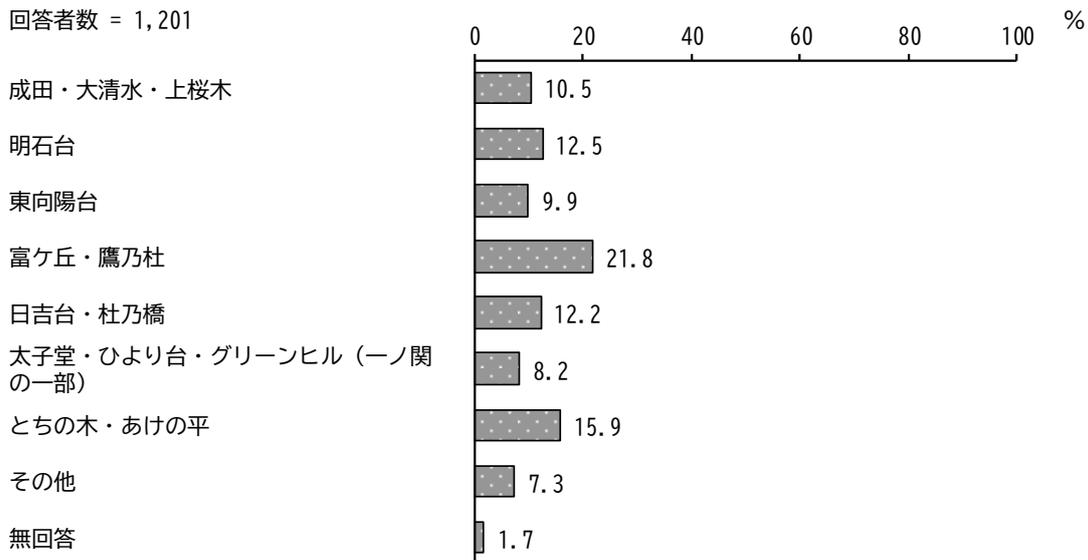
調査票を記入されたのはどなたですか。

「あて名のご本人が記入」の割合が84.3%、「ご家族が記入」の割合が5.8%となっています。



お住まいの地区は、どこですか。

「富ヶ丘・鷹乃杜」の割合が21.8%と最も高く、次いで「とちの木・あけの平」の割合が15.9%、「明石台」の割合が12.5%となっています。

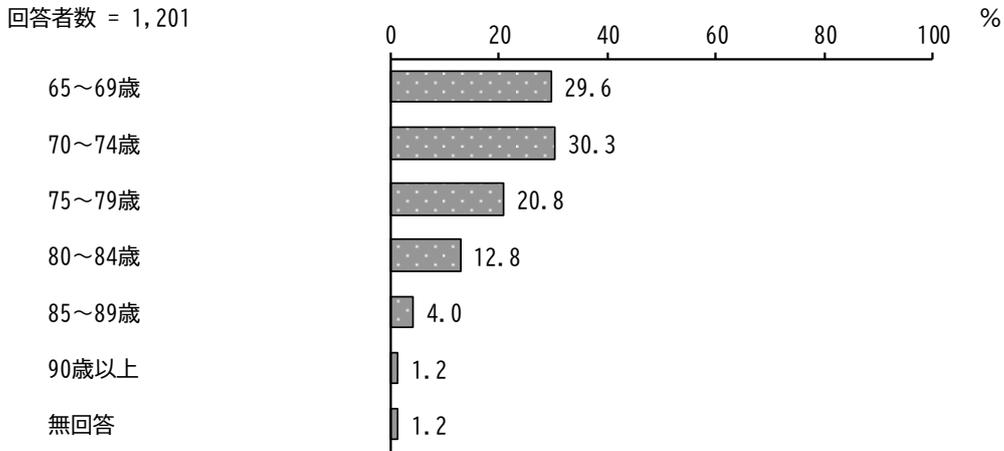


・日常生活圏域の定義 (再掲)

日常生活圏域名	地区名
東向陽台・成田圏域	成田・大清水・上桜木・明石台・東向陽台
富ヶ丘・日吉台圏域	富ヶ丘・鷹乃杜・日吉台・杜乃橋
富谷中央・あけの平圏域	太子堂・ひより台・グリーンヒル (一ノ関の一部)・とちの木・あけの平・その他 (上記以外の地区)

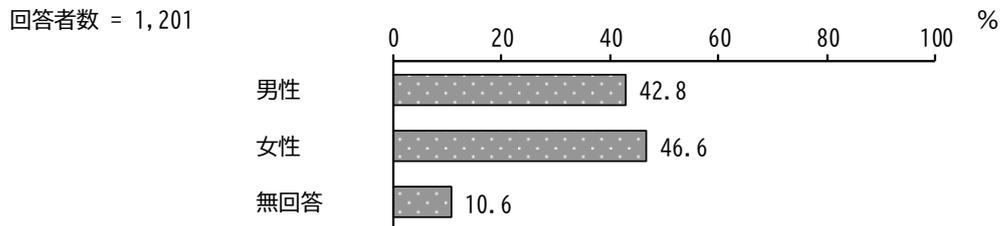
あなたの年齢について、ご回答ください。

「70～74歳」の割合が30.3%と最も高く、次いで「65～69歳」の割合が29.6%、「75～79歳」の割合が20.8%となっています。



あなたの性別について、ご回答ください。

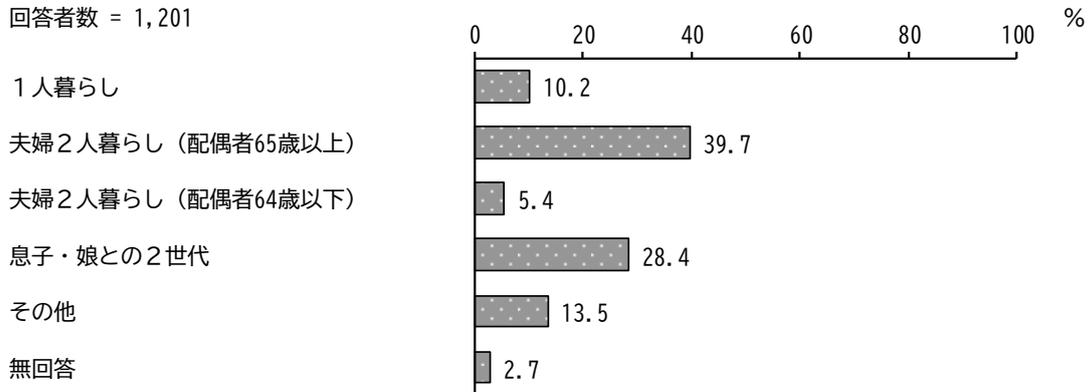
「男性」の割合が42.8%、「女性」の割合が46.6%となっています。



問1 あなたの生活状況やご家族について

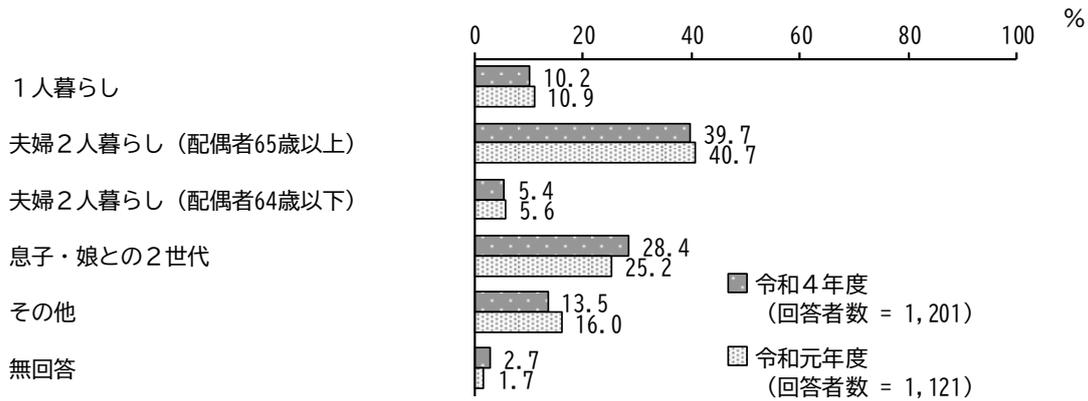
(1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が39.7%と最も高く、次いで「息子・娘との2世代」の割合が28.4%、「1人暮らし」の割合が10.2%となっています。



【経年比較】

令和元年度(前回調査)と比較すると、大きな変化はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

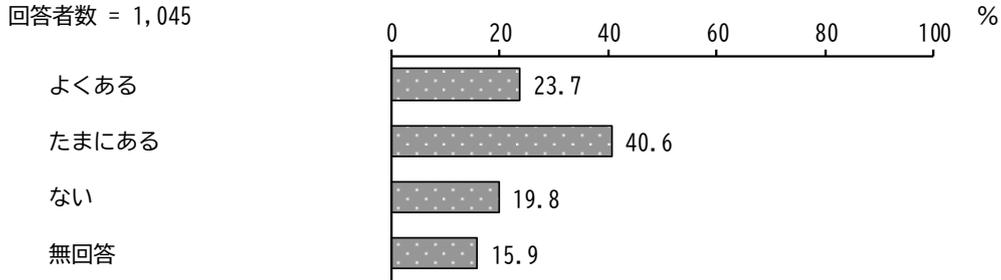
単位：%

区分	回答者数(件)	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世代	その他	無回答
全体	1,201	10.2	39.7	5.4	28.4	13.5	2.7
東向陽台・成田圏域	395	9.6	37.5	5.6	30.1	16.5	0.8
富ヶ丘・日吉台圏域	408	10.0	42.2	5.9	30.9	9.3	1.7
富谷中央・あけの平圏域	378	11.1	41.3	4.8	25.1	15.3	2.4

【(1) において「1人暮らし」以外の方のみ】

①日中、1人になることがありますか。(○は1つ)

「たまにある」の割合が40.6%と最も高く、次いで「よくある」の割合が23.7%、「ない」の割合が19.8%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

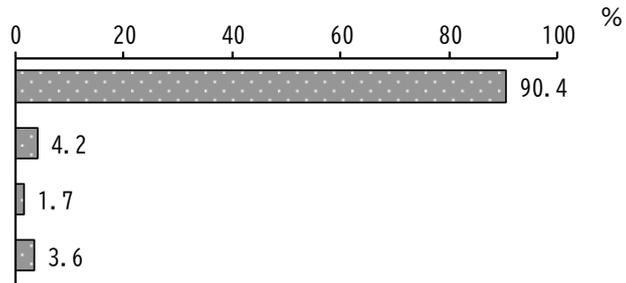
区分	回答者数 (件)	よくある	たまにある	ない	無回答
全 体	1,045	23.7	40.6	19.8	15.9
東向陽台・成田圏域	354	25.7	41.5	19.5	13.3
富ヶ丘・日吉台圏域	360	25.6	36.4	19.2	18.9
富谷中央・あけの平圏域	327	19.9	43.7	20.8	15.6

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

「介護・介助は必要ない」の割合が90.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,201

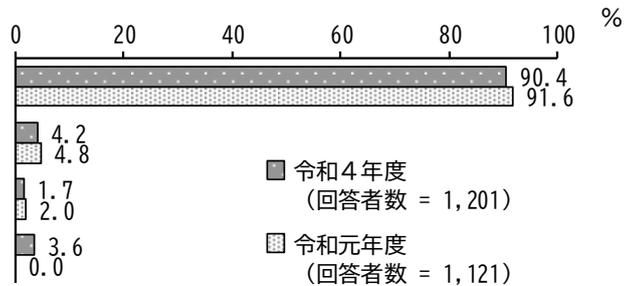
- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護・介助を受けている
- 無回答



【経年比較】

令和元年度（前回調査）と比較すると、大きな変化はみられません。

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護・介助を受けている
- 無回答



【年齢別】

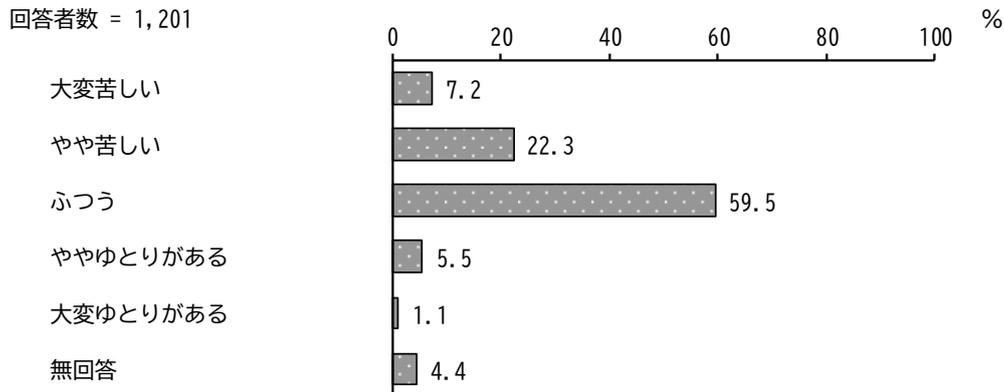
年齢別にみると、他に比べ、65～69歳で「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護・介助を受けている	無回答
全体	1,201	90.4	4.2	1.7	3.6
65～69歳	356	95.5	1.4	1.1	2.0
70～74歳	364	94.2	1.6	0.3	3.8
75～79歳	250	92.0	4.0	2.8	1.2
80～84歳	154	83.8	9.7	1.9	4.5
85～89歳	48	72.9	20.8	6.3	—
90歳以上	14	42.9	35.7	21.4	—

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

「ふつう」の割合が59.5%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が22.3%となっています。



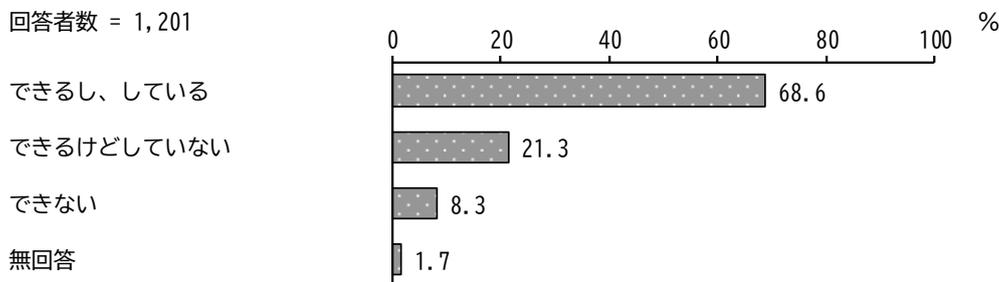
調査結果のまとめ

- ◆ 家族構成をみると、「1人暮らし世帯」(10.2%)、「夫婦2人暮らし(配偶者が65歳以上)」(38.7%)を合わせた“高齢者のみ世帯”は48.9%と、ほぼ半数を占めています。また、「1人暮らし」「無回答」を除く回答者のうち64.3%が「日中、1人になることがある」と回答しています。
- ◆ 普段の生活における介護・介助の必要性をみると、「現在、何らかの介護が必要だが現在は受けていない」方は4.2%となっています。
- ◆ 以上のような“高齢者のみ世帯”、“日中1人になる世帯”、“介護が必要だが現在介護を受けていない方”は、新たに介護が必要となった場合や、家庭における介護力が低下した場合に、介護支援が必要となる世帯といえます。そのため、まずは要介護状態にならないため、総合事業等のサービスの利用を促すなどの取組を進めることが必要です。

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 21.3%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,201	68.6	21.3	8.3	1.7
東向陽台・成田圏域	395	66.8	22.0	9.9	1.3
富ヶ丘・日吉台圏域	408	72.8	20.3	6.4	0.5
富谷中央・あけの平圏域	378	68.0	22.5	9.0	0.5

【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか別】

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか別にみると、他に比べ、できるけどしていないで「できるけどしていない」の割合が、できるし、しているで「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,201	68.6	21.3	8.3	1.7
できるし、している	979	79.3	16.9	3.4	0.5
できるけどしていない	131	28.2	57.3	13.0	1.5
できない	69	8.7	20.3	71.0	—

【15分位続けて歩けるか別】

15分位続けて歩けるか別にみると、他に比べ、できるけどしていないで「できるけどしていない」の割合が、できるし、しているで「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど いない	できない	無回答
全体	1,201	68.6	21.3	8.3	1.7
できるし、している	926	75.6	19.4	4.2	0.8
できるけどしていない	206	55.3	32.5	12.1	—
できない	49	12.2	16.3	71.4	—

【過去1年間に転んだ経験別】

過去1年間に転んだ経験別にみると、他に比べ、何度もある、1度あるで「できるけどしていない」の割合が、ないで「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど いない	できない	無回答
全体	1,201	68.6	21.3	8.3	1.7
何度もある	57	47.4	26.3	24.6	1.8
1度ある	233	54.9	29.6	15.0	0.4
ない	891	74.6	19.1	5.7	0.6

【転倒に対する不安別】

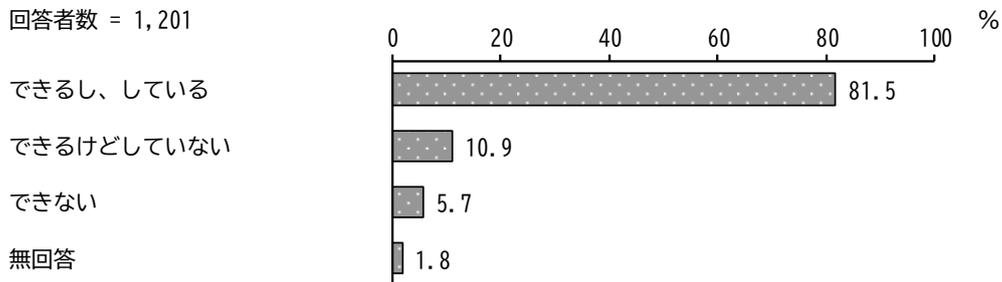
転倒に対する不安別にみると、他に比べ、不安でない、あまり不安でないで「できるし、している」の割合が、とても不安である、やや不安であるで「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど いない	できない	無回答
全体	1,201	68.6	21.3	8.3	1.7
とても不安である	115	38.3	27.8	33.9	—
やや不安である	460	62.0	27.8	9.8	0.4
あまり不安でない	363	76.3	18.7	4.1	0.8
不安でない	247	87.9	10.9	0.4	0.8

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 10.9%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,201	81.5	10.9	5.7	1.8
東向陽台・成田圏域	395	84.1	8.4	6.3	1.3
富ヶ丘・日吉台圏域	408	83.8	13.0	2.9	0.2
富谷中央・あけの平圏域	378	79.6	11.4	8.2	0.8

【階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか別】

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか別にみると、他に比べ、できない、できるけどしていないで「できるけどしていない」の割合が、できるし、しているで「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,201	81.5	10.9	5.7	1.8
できるし、している	824	94.2	4.5	0.7	0.6
できるけどしていない	256	64.5	29.3	5.5	0.8
できない	100	33.0	17.0	49.0	1.0

【15分位続けて歩けるか別】

15分位続けて歩けるか別にみると、他に比べ、できないで、できるけどしていないで「できるけどしていない」の割合が、できるし、しているで「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど いない	できない	無回答
全 体	1,201	81.5	10.9	5.7	1.8
できるし、している	926	87.7	8.7	3.0	0.5
できるけどしていない	206	72.8	19.4	6.8	1.0
できない	49	26.5	20.4	53.1	—

【過去1年間に転んだ経験別】

過去1年間に転んだ経験別にみると、他に比べ、何度もあるで「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど いない	できない	無回答
全 体	1,201	81.5	10.9	5.7	1.8
何度もある	57	56.1	17.5	24.6	1.8
1度ある	233	77.3	12.0	9.9	0.9
ない	891	85.6	10.2	3.6	0.6

【転倒に対する不安別】

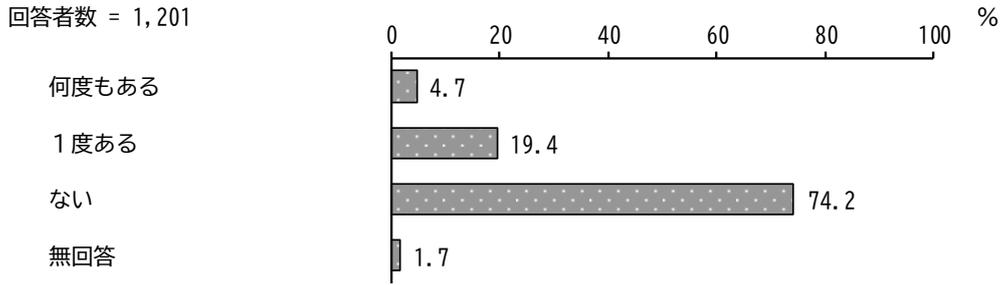
転倒に対する不安別にみると、他に比べ、不安でない、あまり不安でないで「できるし、している」の割合が、とても不安であるで「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど いない	できない	無回答
全 体	1,201	81.5	10.9	5.7	1.8
とても不安である	115	53.0	20.0	27.0	—
やや不安である	460	77.4	14.1	7.4	1.1
あまり不安でない	363	90.1	8.3	1.1	0.6
不安でない	247	94.7	4.9	—	0.4

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

「ない」の割合が74.2%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が19.4%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	何度もある	1度ある	ない	無回答
全 体	1,201	4.7	19.4	74.2	1.7
東向陽台・成田圏域	395	2.8	21.8	74.4	1.0
富ヶ丘・日吉台圏域	408	5.4	19.9	74.3	0.5
富谷中央・あけの平圏域	378	6.1	17.2	76.2	0.5

【階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか別】

にみると、他に比べ、できない、できるけどしていないで「1度ある」の割合が、できるし、しているで「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	何度もある	1度ある	ない	無回答
全 体	1,201	4.7	19.4	74.2	1.7
できるし、している	824	3.3	15.5	80.7	0.5
できるけどしていない	256	5.9	27.0	66.4	0.8
できない	100	14.0	35.0	51.0	—

【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上げられるか別】

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上げられるか別にみると、他に比べ、できないで「1度ある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体	1,201	4.7	19.4	74.2	1.7
できるし、している	979	3.3	18.4	77.9	0.4
できるけどしていない	131	7.6	21.4	69.5	1.5
できない	69	20.3	33.3	46.4	—

【15分位続けて歩けるか別】

15分位続けて歩けるか別にみると、他に比べ、できない、できるけどしていないで「1度ある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体	1,201	4.7	19.4	74.2	1.7
できるし、している	926	4.4	18.0	77.0	0.5
できるけどしていない	206	3.4	24.8	71.8	—
できない	49	18.4	26.5	53.1	2.0

【転倒に対する不安別】

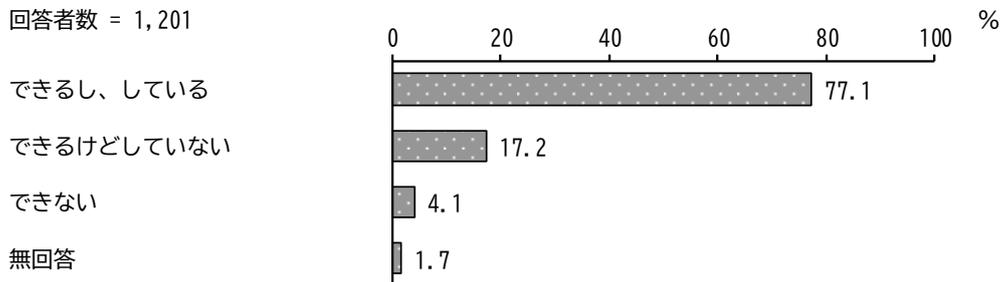
転倒に対する不安別にみると、他に比べ、不安でないで「ない」の割合が、とても不安である、やや不安であるで「1度ある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体	1,201	4.7	19.4	74.2	1.7
とても不安である	115	17.4	30.4	52.2	—
やや不安である	460	5.2	26.3	67.4	1.1
あまり不安でない	363	2.8	17.1	80.2	—
不安でない	247	1.2	6.1	92.3	0.4

(3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が77.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が17.2%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,201	77.1	17.2	4.1	1.7
東向陽台・成田圏域	395	79.7	15.7	3.5	1.0
富ヶ丘・日吉台圏域	408	80.4	15.0	3.9	0.7
富谷中央・あけの平圏域	378	73.8	21.2	4.8	0.3

【階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか別】

にみると、他に比べ、できるけどしていない、できないで「できるけどしていない」の割合が、できるし、しているで「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,201	77.1	17.2	4.1	1.7
できるし、している	824	85.0	13.8	0.7	0.5
できるけどしていない	256	70.3	26.2	3.1	0.4
できない	100	39.0	25.0	35.0	1.0

【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか別】

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか別にみると、他に比べ、できるけどしていないで「できるけどしていない」の割合が、できるし、しているで「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど いない	できない	無回答
全 体	1,201	77.1	17.2	4.1	1.7
できるし、している	979	82.9	15.3	1.3	0.4
できるけどしていない	131	61.8	30.5	7.6	—
できない	69	40.6	20.3	37.7	1.4

【過去1年間に転んだ経験別】

過去1年間に転んだ経験別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど いない	できない	無回答
全 体	1,201	77.1	17.2	4.1	1.7
何度もある	57	71.9	12.3	15.8	—
1度ある	233	71.7	21.9	5.6	0.9
ない	891	80.0	16.6	2.9	0.4

【転倒に対する不安別】

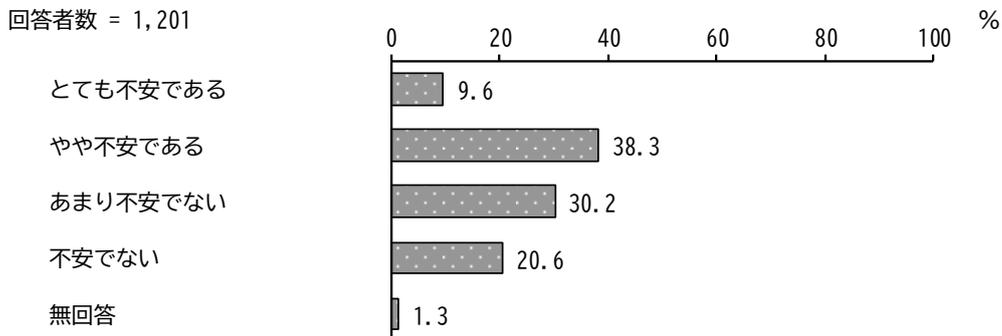
転倒に対する不安別にみると、他に比べ、不安でないで「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど いない	できない	無回答
全 体	1,201	77.1	17.2	4.1	1.7
とても不安である	115	65.2	18.3	16.5	—
やや不安である	460	73.7	21.7	4.1	0.4
あまり不安でない	363	81.3	15.2	2.5	1.1
不安でない	247	87.9	11.3	0.8	—

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

「やや不安である」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が 30.2%、「不安でない」の割合が 20.6%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体	1,201	9.6	38.3	30.2	20.6	1.3
東向陽台・成田圏域	395	8.9	42.0	28.9	19.5	0.8
富ヶ丘・日吉台圏域	408	8.8	40.2	30.9	20.1	—
富谷中央・あけの平圏域	378	11.4	33.3	32.3	22.8	0.3

【階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか別】

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか別にみると、他に比べ、できるけどしていない、できないで「やや不安である」の割合が、できるし、しているで「不安でない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体	1,201	9.6	38.3	30.2	20.6	1.3
できるし、している	824	5.3	34.6	33.6	26.3	0.1
できるけどしていない	256	12.5	50.0	26.6	10.5	0.4
できない	100	39.0	45.0	15.0	1.0	—

【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がるか別】

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がるか別にみると、他に比べ、できるけどしていない、できないで「やや不安である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	とても不安である	やや不安である	いあまり不安でない	不安でない	無回答
全体	1,201	9.6	38.3	30.2	20.6	1.3
できるし、している	979	6.2	36.4	33.4	23.9	0.1
できるけどしていない	131	17.6	49.6	22.9	9.2	0.8
できない	69	44.9	49.3	5.8	—	—

【15分位続けて歩けるか別】

15分位続けて歩けるか別にみると、他に比べ、できるけどしていないで「やや不安である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	とても不安である	やや不安である	いあまり不安でない	不安でない	無回答
全体	1,201	9.6	38.3	30.2	20.6	1.3
できるし、している	926	8.1	36.6	31.9	23.4	—
できるけどしていない	206	10.2	48.5	26.7	13.6	1.0
できない	49	38.8	38.8	18.4	4.1	—

【過去1年間に転んだ経験別】

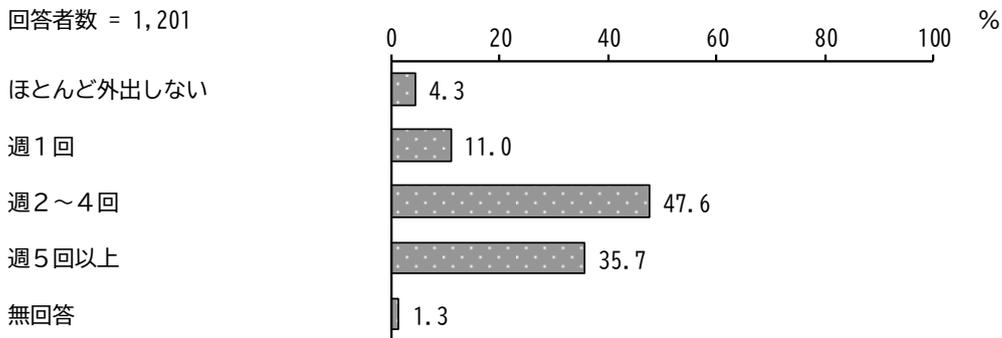
過去1年間に転んだ経験別にみると、他に比べ、1度あるで「やや不安である」の割合が、ないで「不安でない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	とても不安である	やや不安である	いあまり不安でない	不安でない	無回答
全体	1,201	9.6	38.3	30.2	20.6	1.3
何度もある	57	35.1	42.1	17.5	5.3	—
1度ある	233	15.0	51.9	26.6	6.4	—
ない	891	6.7	34.8	32.7	25.6	0.2

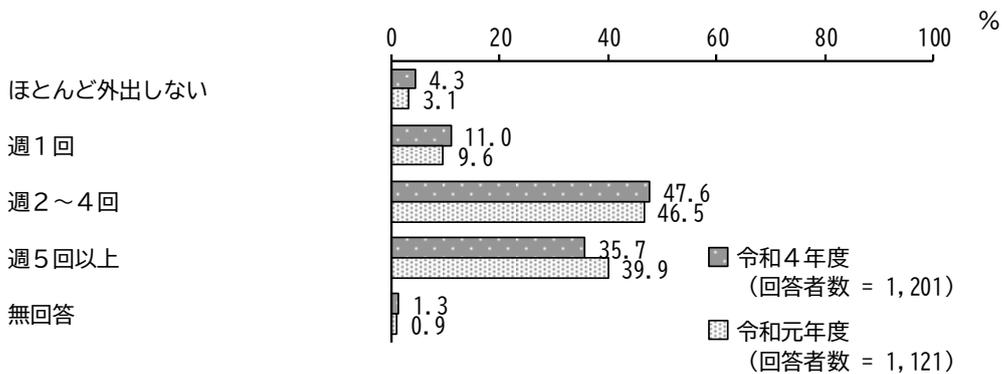
(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

「週2～4回」の割合が47.6%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が35.7%、「週1回」の割合が11.0%となっています。



【経年比較】

令和元年度（前回調査）と比較すると、大きな変化はみられません。



【タイプ別】

タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「週1回」の割合が、アウトドア派外交的で「週2～4回」の割合が高くなっています。

単位：%

区分※	回答者数 (件)	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体	1,201	4.3	11.0	47.6	35.7	1.3
インドア派 外交的	109	33.0	67.0	—	—	—
インドア派 内向的	64	18.8	81.3	—	—	—
アウトドア派 外交的	467	—	—	57.4	42.6	—
アウトドア派 内向的	491	—	—	55.8	44.2	—

※区分の分類については5P（タイプ別分類）を参照

【圏域別×タイプ別】

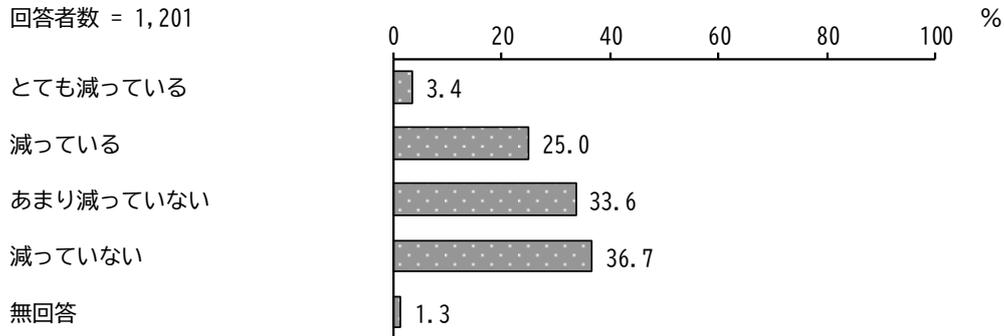
圏域別×タイプ別にみると、富谷中央・あけの平圏域インドア派内向的で「週1回」の割合が、東向陽台・成田圏域インドア派内向的で「週1回」の割合が、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派内向的で「週1回」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ない ほとんど外出し	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外交的	33	27.3	72.7	—	—	—
東向陽台・成田圏域 インドア派 内向的	23	26.1	73.9	—	—	—
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外交的	160	—	—	55.6	44.4	—
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内向的	155	—	—	60.0	40.0	—
区分	回答者数(件)	ない ほとんど外出し	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外交的	33	27.3	72.7	—	—	—
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内向的	19	26.3	73.7	—	—	—
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外交的	170	—	—	54.7	45.3	—
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内向的	167	—	—	48.5	51.5	—
区分	回答者数(件)	ない ほとんど外出し	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 外交的	41	41.5	58.5	—	—	—
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 内向的	20	5.0	95.0	—	—	—
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 外交的	137	—	—	62.8	37.2	—
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 内向的	168	—	—	58.9	41.1	—

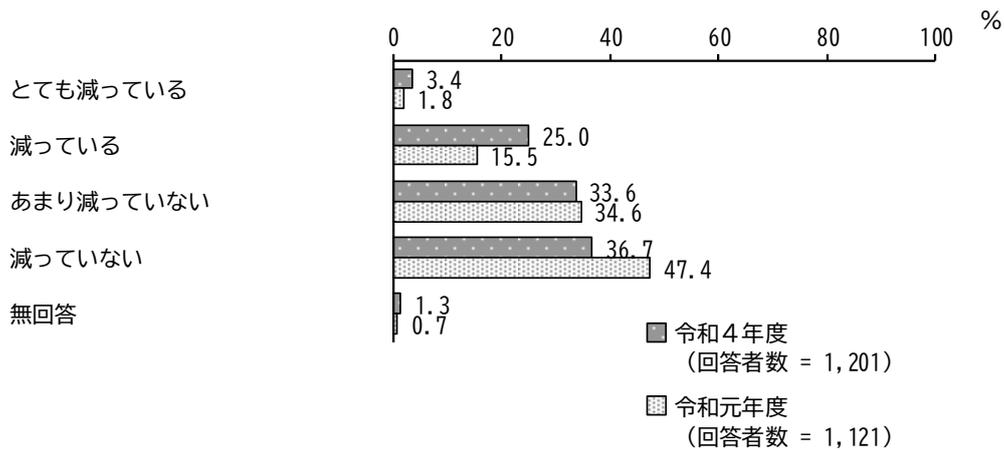
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

「減っていない」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が 33.6%、「減っている」の割合が 25.0%となっています。



【経年比較】

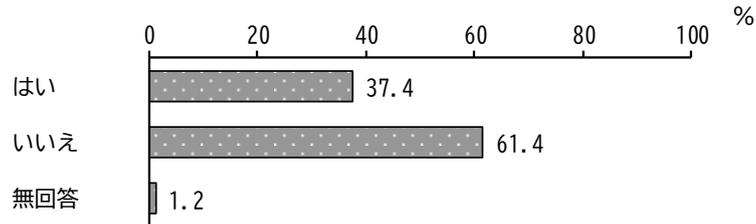
令和元年度（前回調査）と比較すると、「減っている」の割合が増加しています。一方、「減っていない」の割合が減少しています。



(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

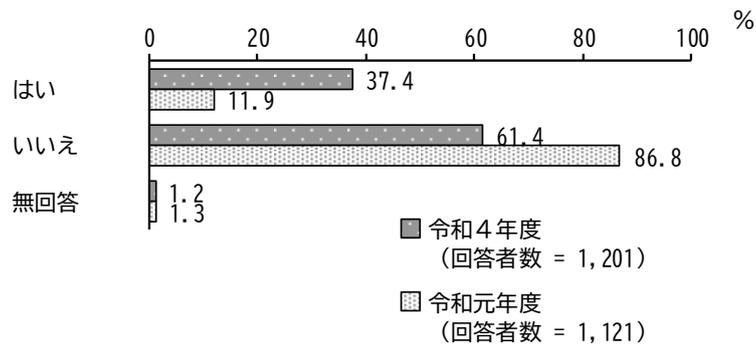
「はい」の割合が37.4%、「いいえ」の割合が61.4%となっています。

回答者数 = 1,201



【経年比較】

令和元年度（前回調査）と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。

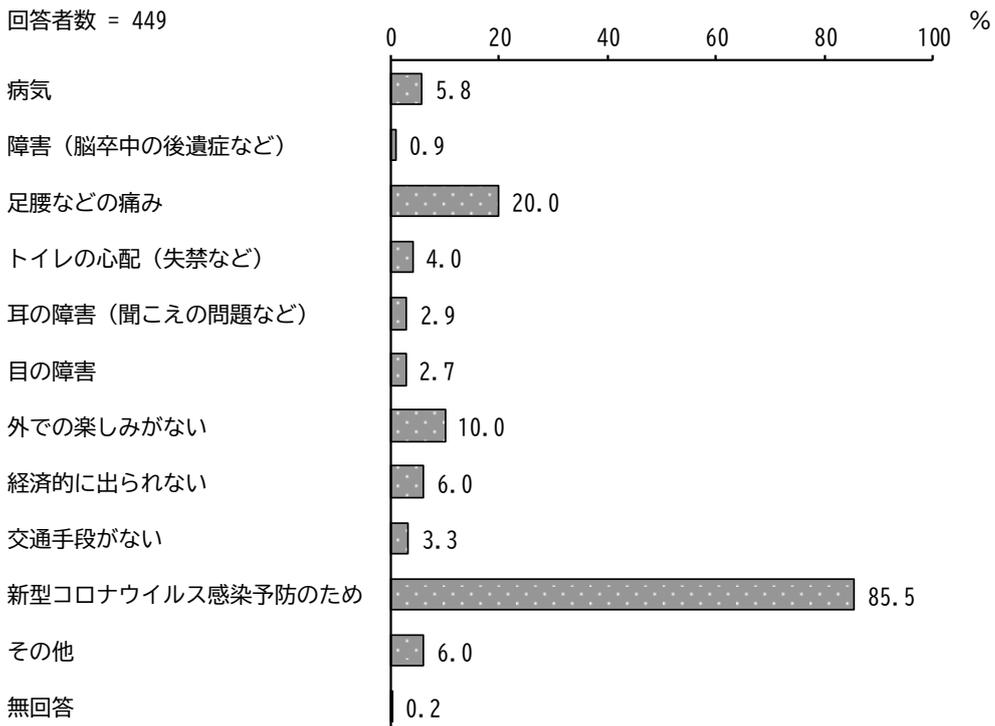


【(8)で「はい」と回答した方のみ】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

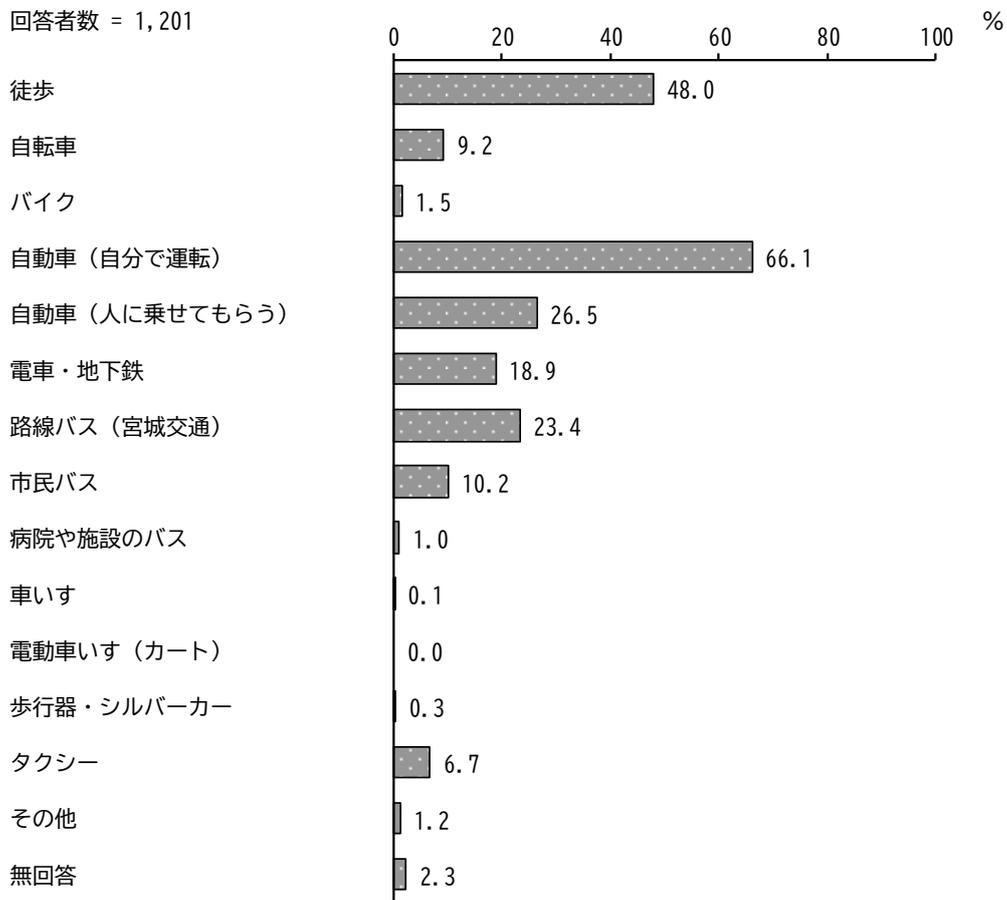
「新型コロナウイルス感染予防のため」の割合が85.5%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」の割合が20.0%、「外での楽しみがない」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 449



(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

「自動車（自分で運転）」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 48.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 26.5%となっています。



【年齢別】自動車（自分で運転）のみ

年齢別にみると、他に比べ、65～69歳、70～74歳で「自動車（自分で運転）」の割合が高くなっています。

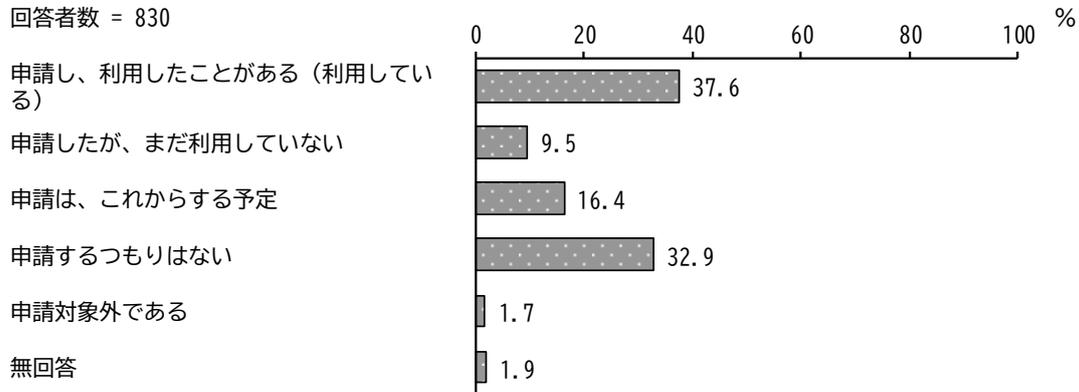
単位：%

区分	回答者数 (件)	自動車 (自分で運転)
全 体	1201	66.1
65～69 歳	356	77.5
70～74 歳	364	75.5
75～79 歳	250	66.8
80～84 歳	154	40.3
85～89 歳	48	14.6
90 歳以上	14	7.1

【70歳以上の方のみ】

(10) とみばすの利用の申請をしましたか。また、実際に利用はしていますか。(○は1つ)

「申請し、利用したことがある(利用している)」の割合が37.6%と最も高く、次いで「申請するつもりはない」の割合が32.9%、「申請は、これからする予定」の割合が16.4%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、75～84歳で「申請し、利用したことがある(利用している)」の割合が、90歳以上で「申請するつもりはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	申請し、利用したことがある(利用している)	申請したが、まだ利用していない	申請は、これからする予定	申請するつもりはない	申請対象外である	無回答
全体	830	37.6	9.5	16.4	32.9	1.7	1.9
65～69歳	—	—	—	—	—	—	—
70～74歳	364	25.3	13.5	19.0	38.7	2.7	0.8
75～79歳	250	44.8	6.4	15.6	29.2	0.8	3.2
80～84歳	154	53.2	6.5	14.3	22.1	0.6	3.2
85～89歳	48	41.7	6.3	10.4	39.6	2.1	—
90歳以上	14	42.9	7.1	7.1	42.9	—	—

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、東向陽台・成田圏域で「申請し、利用したことがある（利用している）」の割合が、富谷中央・あけの平圏域、富ヶ丘・日吉台圏域で「申請するつもりはない」の割合が高くなっています。

単位：％

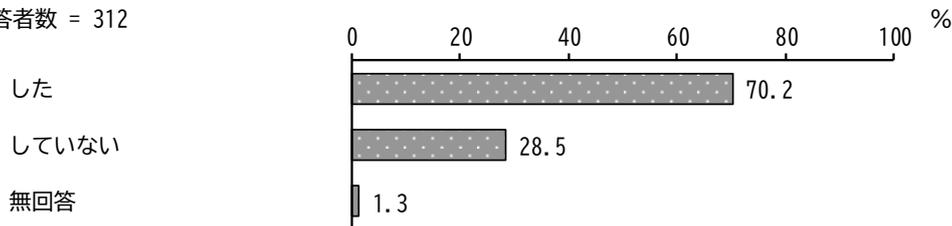
区分	回答者数 (件)	申請し、利用したことがある (利用している)	申請したが、まだ利用していない	申請は、これからする予定	申請するつもりはない	申請対象外である	無回答
全 体	830	37.6	9.5	16.4	32.9	1.7	1.9
東向陽台・成田圏域	272	51.1	8.1	14.0	21.7	2.2	2.9
富ヶ丘・日吉台圏域	285	33.0	8.1	18.6	37.9	1.4	1.1
富谷中央・あけの平圏域	267	29.2	12.4	16.5	39.0	1.5	1.5

【(10) で「申請し、利用したことがある（利用している）」と回答した方のみ】

①とみぱすの2回目以降の入金申請をしましたか。(○は1つ)

「した」の割合が70.2%、「していない」の割合が28.5%となっています。

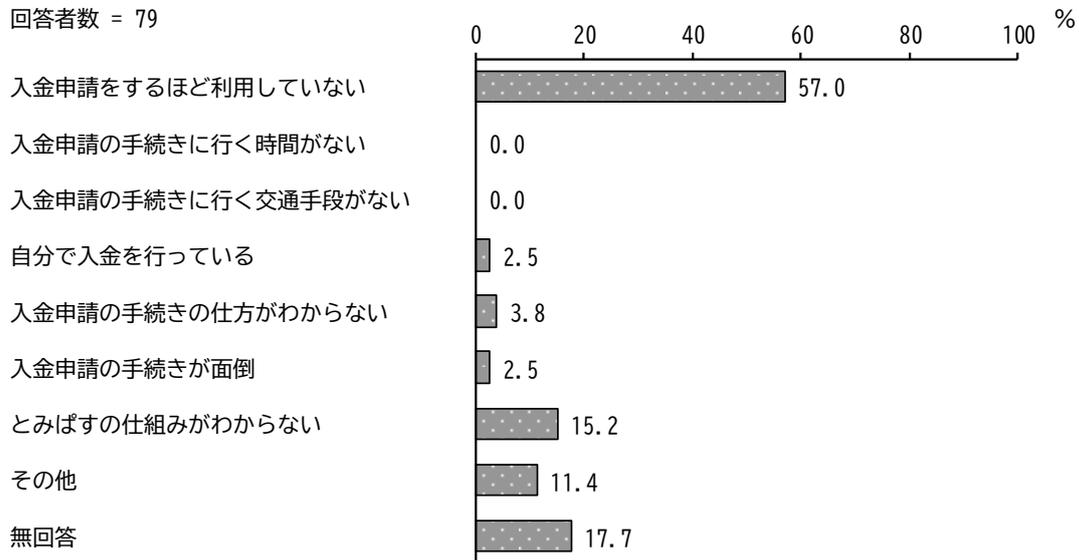
回答者数 = 312



【(10) で「申請したが、まだ利用していない」と回答した方のみ】

②入金申請をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

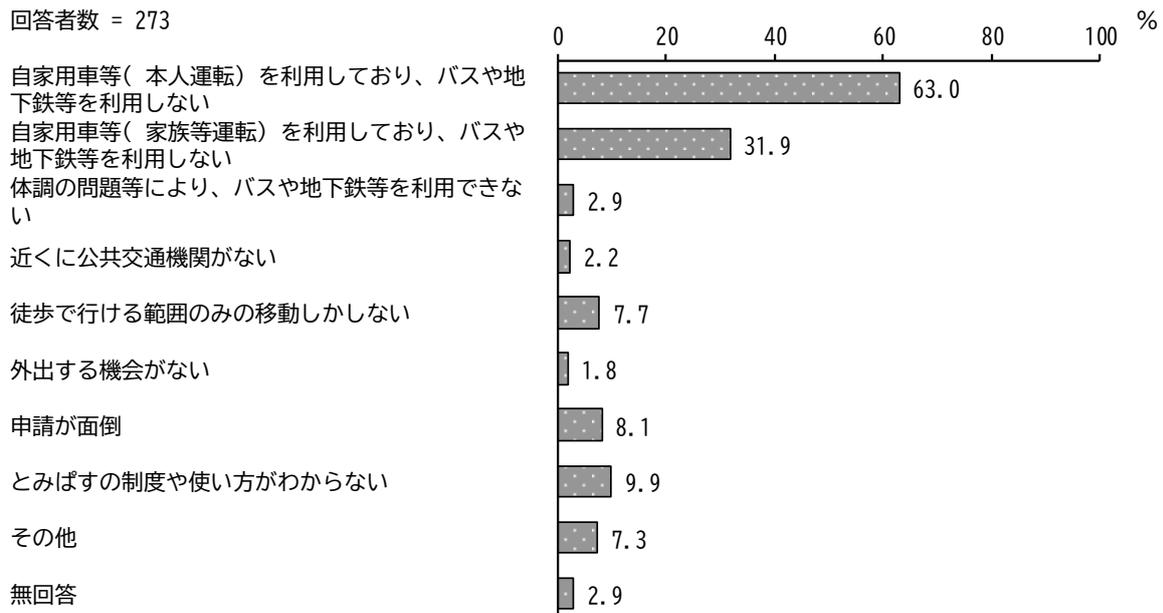
「入金申請をするほど利用していない」の割合が57.0%と最も高く、次いで「とみばすの仕組みがわからない」の割合が15.2%となっています。



【(10) で「申請するつもりはない」と回答した方のみ】

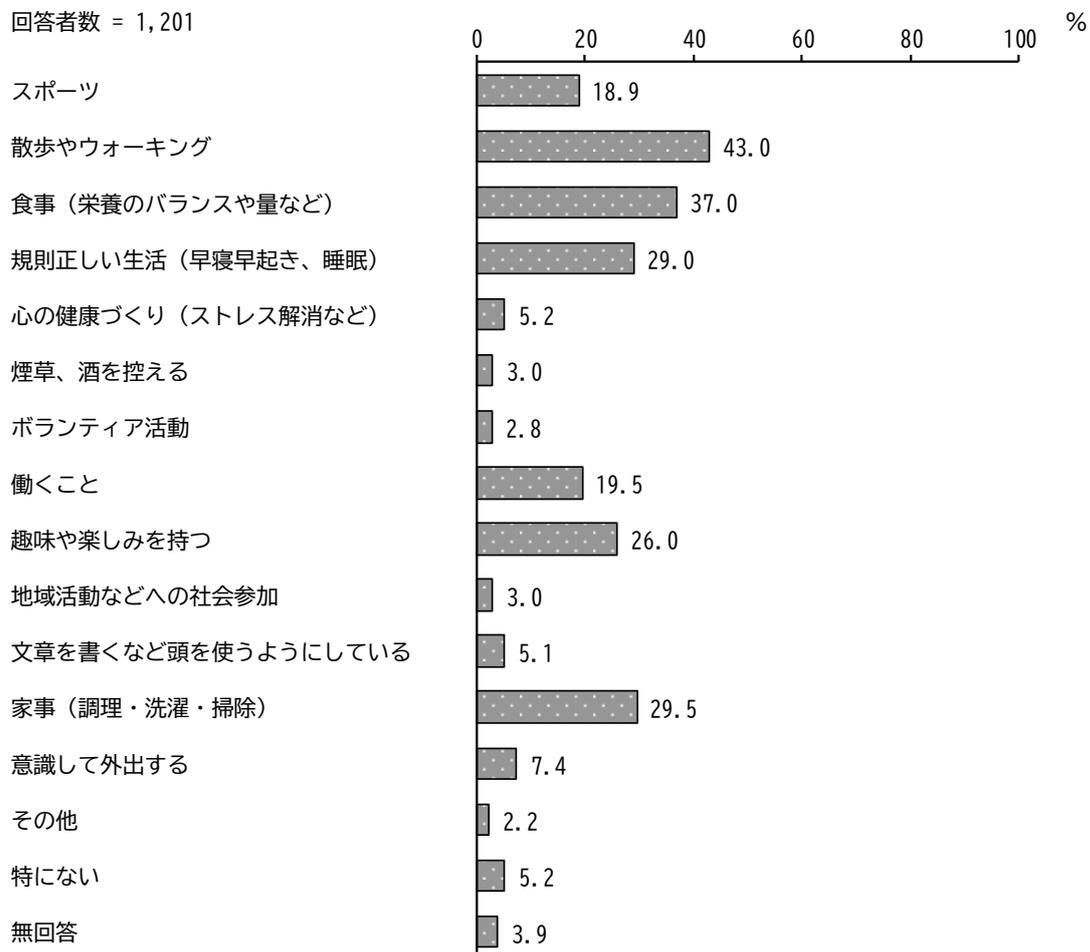
③とみばすを申請しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「自家用車等(本人運転)を利用しており、バスや地下鉄等を利用しない」の割合が63.0%と最も高く、次いで「自家用車等(家族等運転)を利用しており、バスや地下鉄等を利用しない」の割合が31.9%となっています。



(11) 介護予防や健康のため、取り組んでいることはありますか。(〇は3つまで)

「散歩やウォーキング」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「食事（栄養のバランスや量など）」の割合が 37.0%、「家事（調理・洗濯・掃除）」の割合が 29.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、90歳以上で「規則正しい生活（早寝早起き、睡眠）」の割合が、85～89歳で「家事（調理・洗濯・掃除）」の割合が、80～84歳で「散歩やウォーキング」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	スポーツ	散歩やウォーキング	食事（栄養のバランスや量など）	規則正しい生活（早寝早起き、睡眠）	心の健康づくり（ストレス解消など）	煙草、酒を控える	ボランティア活動	働くこと
全体	1,201	18.9	43.0	37.0	29.0	5.2	3.0	2.8	19.5
65～69歳	356	21.6	32.6	38.2	26.4	5.3	2.8	2.8	25.0
70～74歳	364	16.5	47.8	38.7	25.5	5.8	3.0	4.1	25.3
75～79歳	250	17.2	46.8	35.6	33.2	4.4	4.0	3.2	14.4
80～84歳	154	21.4	52.6	35.1	33.1	6.5	1.9	—	7.1
85～89歳	48	18.8	39.6	37.5	37.5	—	2.1	2.1	2.1
90歳以上	14	14.3	35.7	35.7	42.9	—	—	—	7.1

区分	趣味や楽しみを持つ	地域活動などへの社会参加	文章を書くなど頭を使うようにしている	家事（調理・洗濯・掃除）	意識して外出する	その他	特にない	無回答
全体	26.0	3.0	5.1	29.5	7.4	2.2	5.2	3.9
65～69歳	21.6	1.4	4.2	26.4	6.7	0.8	5.9	11.2
70～74歳	29.7	2.5	5.2	28.3	6.9	1.6	4.9	0.8
75～79歳	30.4	4.4	5.6	32.0	7.2	4.0	3.2	0.8
80～84歳	24.0	5.8	5.2	30.5	9.7	3.9	4.5	—
85～89歳	14.6	—	4.2	39.6	10.4	2.1	8.3	4.2
90歳以上	14.3	—	14.3	28.6	7.1	—	7.1	—

【第2号被保険者対象ニーズ調査との比較】

第2号被保険者調査との比較をみると、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査で「散歩やウォーキング」の割合が、第2号被保険者調査で「食事（栄養のバランスや量など）」「働くこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	スポーツ	散歩やウォーキング	食事（栄養のバランスや量など）	規則正しい生活（早寝早起き、睡眠）	心の健康づくり（ストレス解消など）	煙草、酒を控える	ボランティア活動	働くこと
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,201	18.9	43.0	37.0	29.0	5.2	3.0	2.8	19.5
第2号被保険者調査	504	14.3	30.4	48.0	30.0	16.7	9.9	1.4	38.1

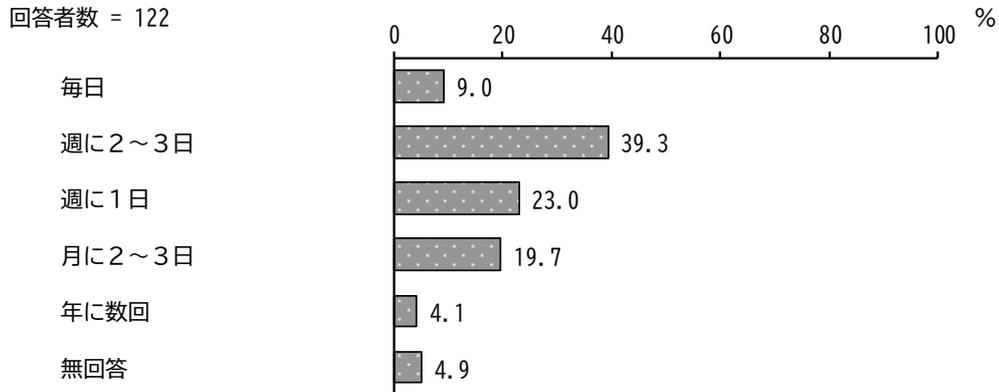
区分	趣味や楽しみを持つ	地域活動などへの社会参加	文章を書くなど頭を使うようにしている	家事（調理・洗濯・掃除）	意識して外出する	その他	特にない	無回答
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	26.0	3.0	5.1	29.5	7.4	2.2	5.2	3.9
第2号被保険者調査	26.6	2.4	6.2	26.0	10.9	3.9	10.1	0.8

【(11) で「特にない」以外に回答した方のみ】

①取り組みの頻度はどのくらいですか。

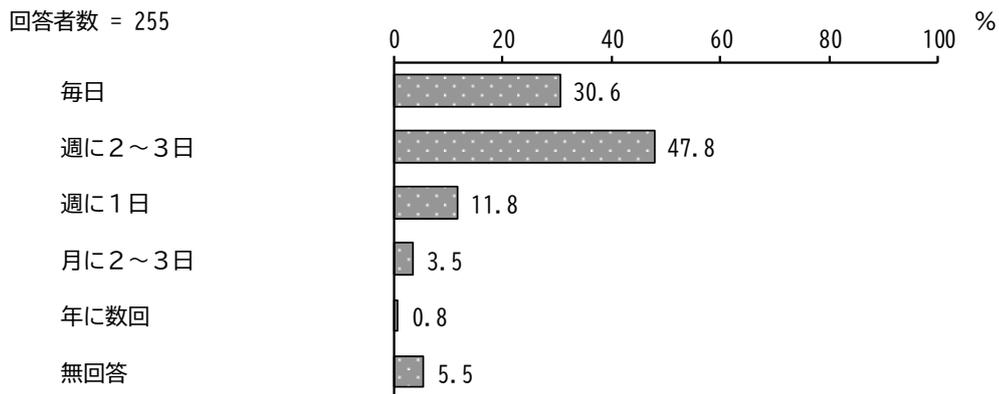
1. スポーツ

「週に2～3日」の割合が39.3%と最も高く、次いで「週に1回」の割合が23.0%となっています。



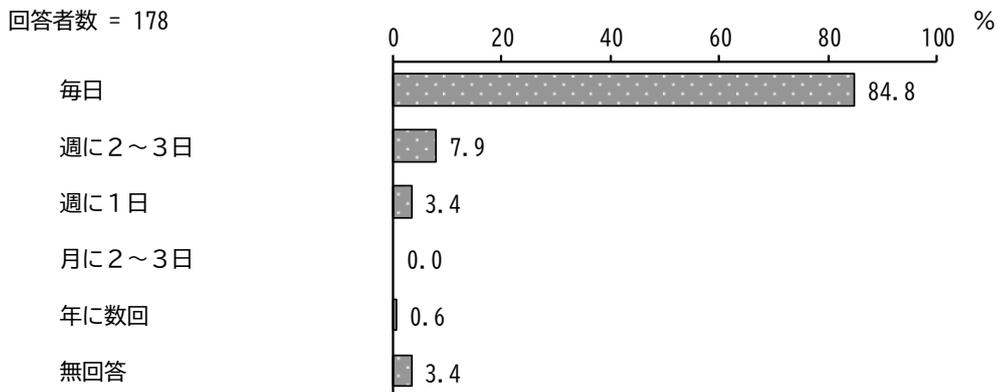
2. 散歩やウォーキング

「週に2～3日」の割合が39.3%と最も高く、次いで「毎日」の割合が30.6%となっています。



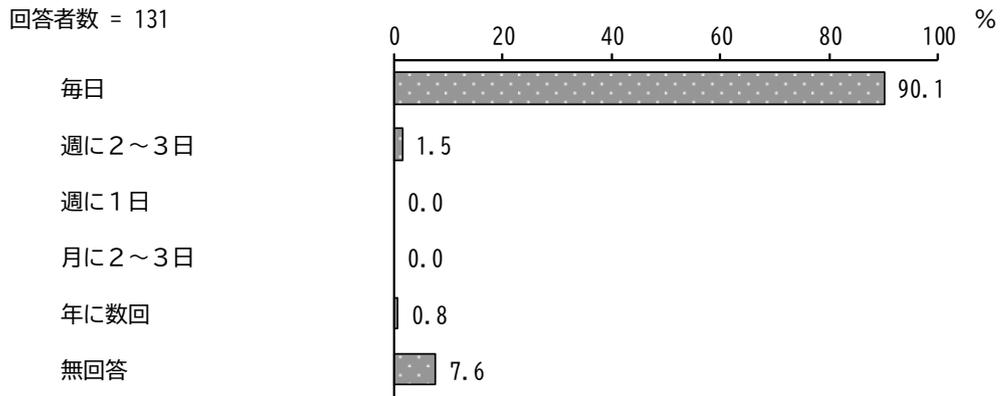
3. 食事（栄養のバランスや量など）

「毎日」の割合が84.8%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が7.9%となっています。



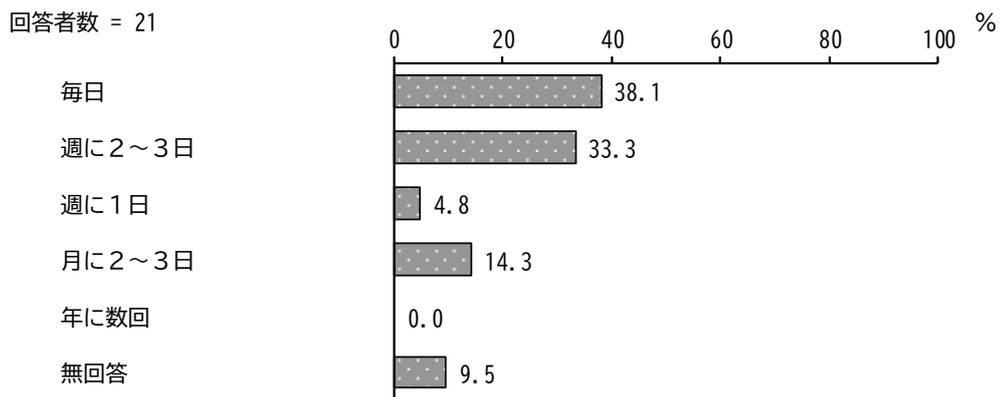
4. 規則正しい生活（早寝早起き、睡眠）

「毎日」の割合が90.1%と最も高くなっています。



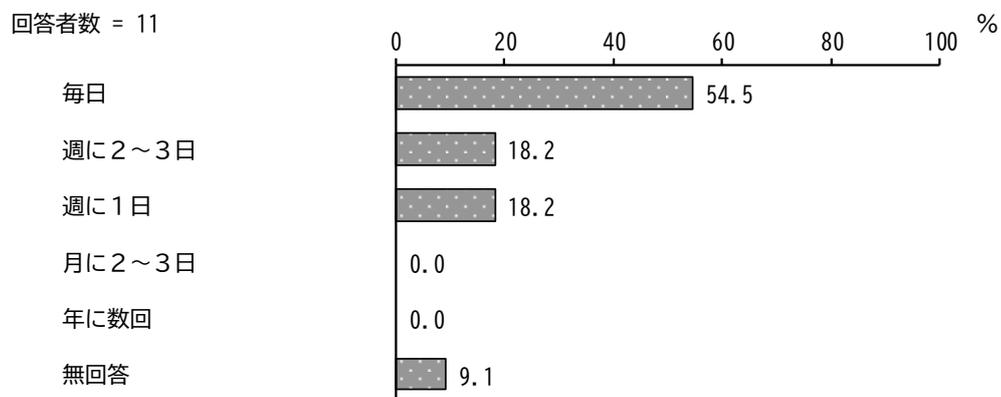
5. 心の健康づくり（ストレス解消など）

「毎日」の割合が38.1%と最も高く、次いで「週に2~3回」の割合が33.3%となっています。



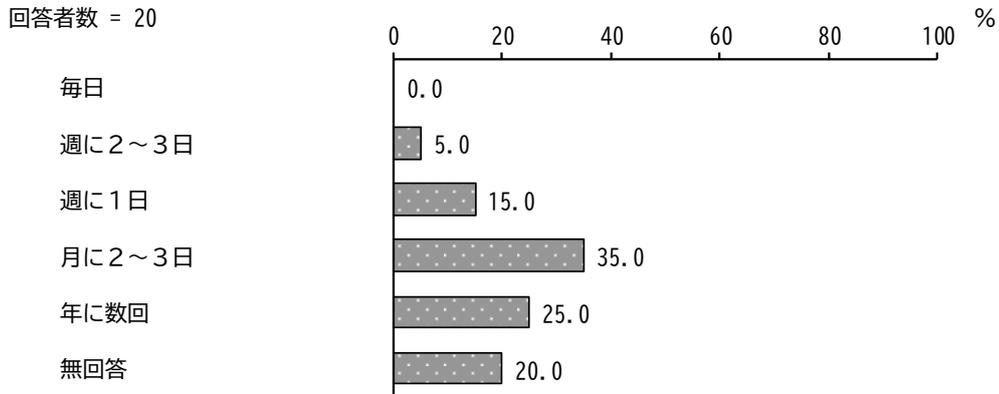
6. 煙草、酒を控える

「毎日」の割合が54.5%と最も高く、次いで「週に2~3日」「週に1日」の割合が18.2%となっています。



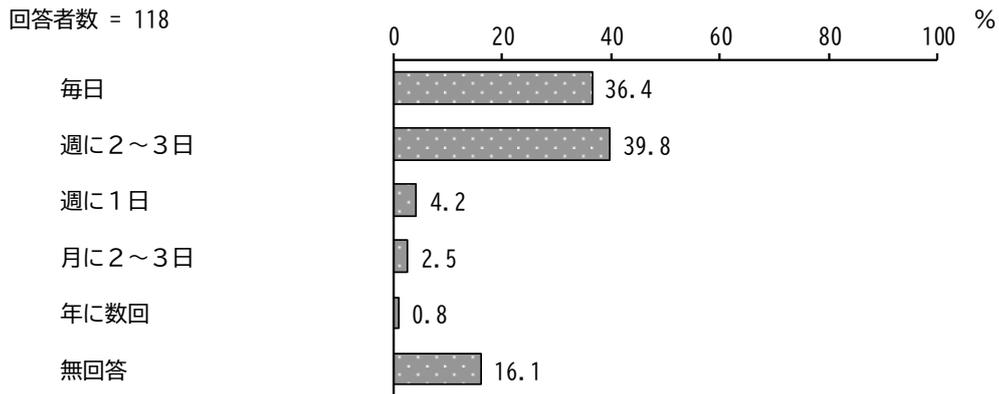
7. ボランティア活動

「月に2～3日」の割合が35.0%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が25.0%となっています。



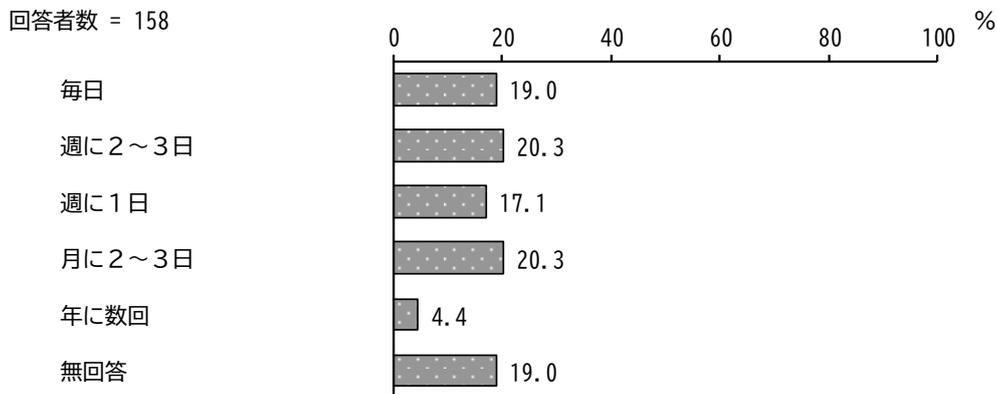
8. 働くこと

「週に2～3日」の割合が39.8%と最も高く、次いで「毎日」の割合が36.4%となっています。



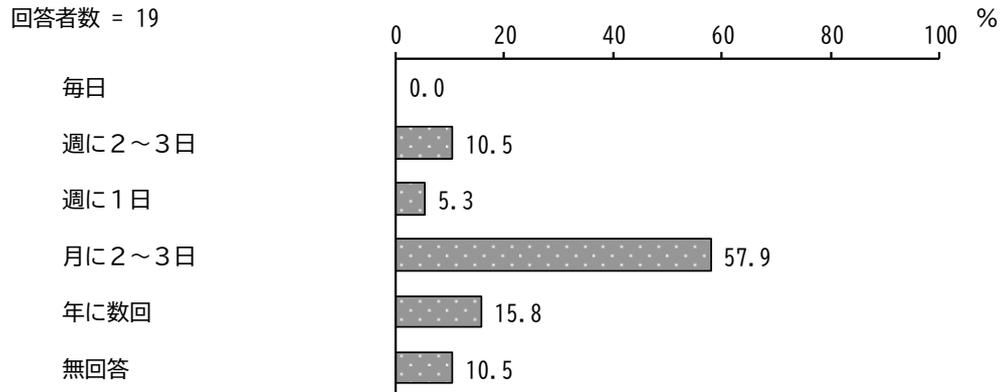
9. 趣味や楽しみを持つ

「月に2～3日」「週に2～3日」の割合が20.3%と最も高く、次いで「毎日」の割合が19.0%となっています。



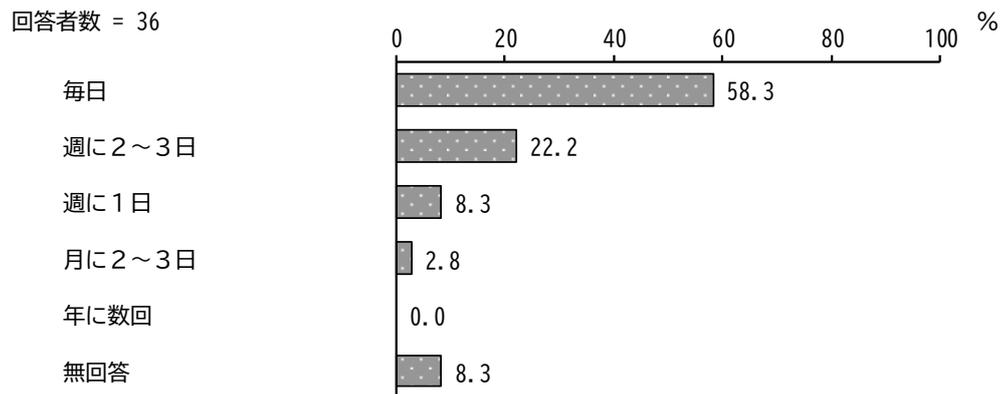
10. 地域活動などへの社会参加

「月に2～3日」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 15.8%となっています。



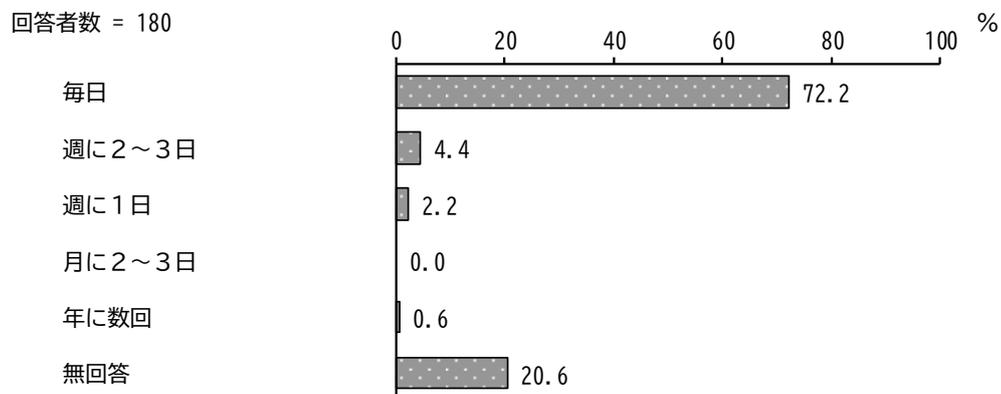
11. 文章を書くなど頭を使うようにしている

「毎日」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が 22.2%となっています。



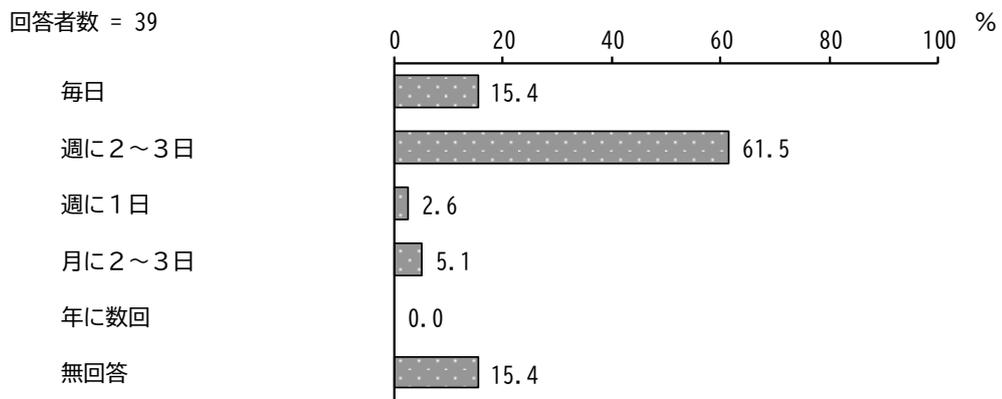
12. 家事（調理・洗濯・掃除）

「毎日」の割合が 72.2%と最も高くなっています。



13. 意識して外出する

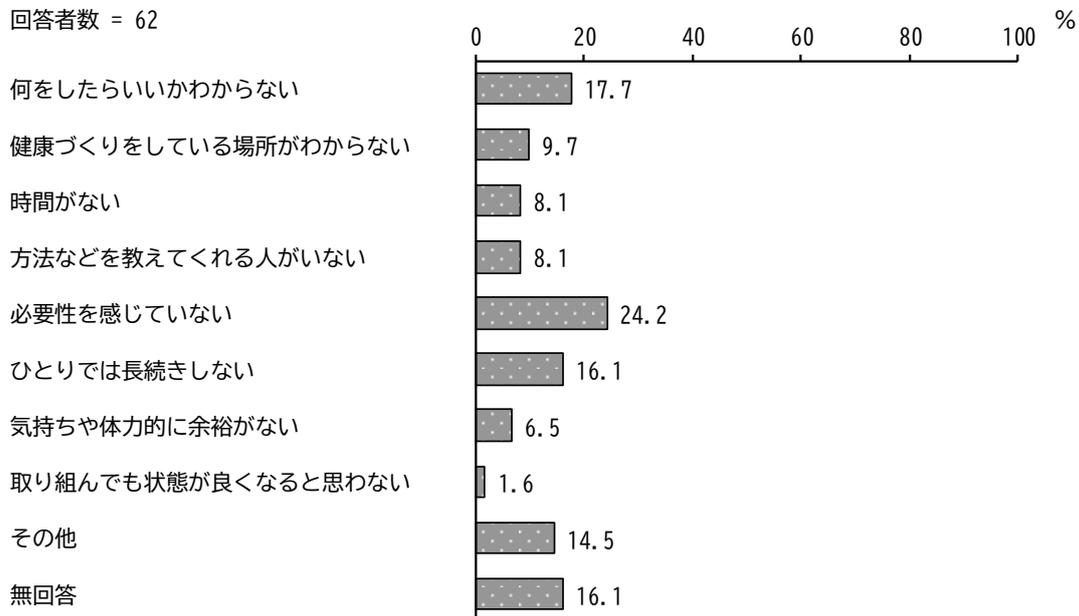
「週に2～3日」の割合が61.5%と最も高く、次いで「毎日」の割合が15.4%となっています。



【(11) で「特になし」と回答した方のみ】

①取り組めない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「必要性を感じていない」の割合が24.2%と最も高く、次いで「何をしたらいいかわからない」の割合が17.7%、「ひとりでは長続きしない」の割合が16.1%となっています。



【第2号被保険者調査との比較】

第2号被保険者調査との比較をみると、第2号被保険者調査で「時間がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	何をしたらいいかわからない	健康づくりをしている場所がわからない	時間がない	方法などを教えてくれる人がいない	必要性を感じていない	ひとりでは長続きしない	気持ちや体力的に余裕がない	取り組んでも状態が良くなると思わない	その他	無回答
介護予防・日常生活圏域二区調査	62	17.7	9.7	8.1	8.1	24.2	16.1	6.5	1.6	14.5	16.1
第2号被保険者調査	51	13.7	2.0	43.1	-	27.5	13.7	15.7	9.8	3.9	2.0

調査結果のまとめ

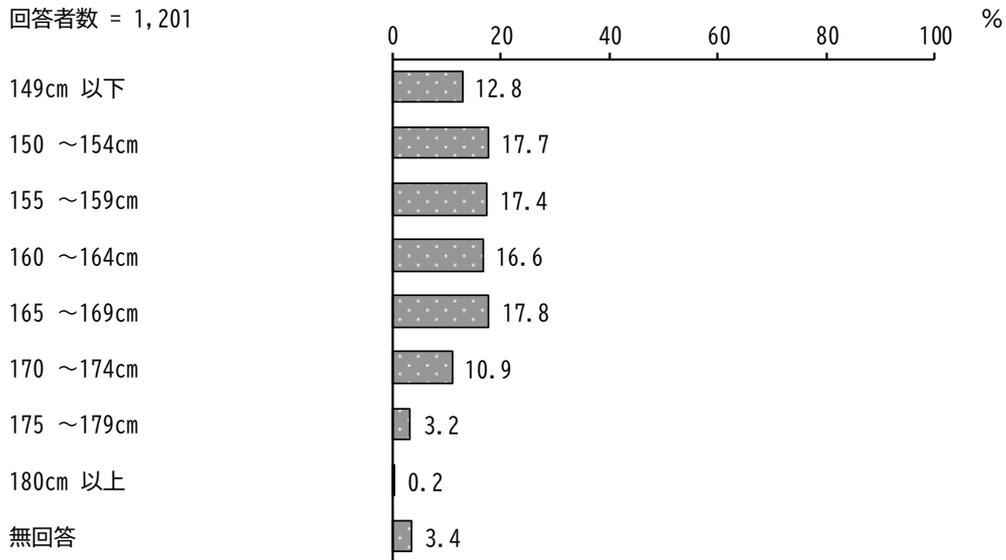
- ◆ 運動の状況についてみると、「階段を手すりや壁をつたわずに昇れない方」が8.3%、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれない方が5.7%、15分以上続けて歩けない方が4.1%、過去1年間に転んだ経験が何度もある方が4.7%となっており、これらの方については、フレイルが進行していることが考えられます。フレイルを進行させないためには介護予防事業への参加が効果的であることを周知するとともに、こういったフレイルが進行している人を早期に把握することが重要です。加えて、フレイルは、食事による影響もあるため、フレイルに関する正しい知識の普及・啓発も合わせて必要です。
- ◆ 外出頻度をみると、「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた“閉じこもり傾向にある方”が15.3%となっています。また、「外出を控えている」(37.4%)と回答した方が外出を控えている理由については、「新型コロナウイルス感染予防のため」(85.5%)、「足腰などの痛み」(20.0%)、「外での楽しみがない」(10.0%)等があがっています。外出の機会を増やしフレイルが進行しないようにするためには、新型コロナウイルス感染予防を継続しつつ、クラブやサロンといった“通いの場”を周知し、外出の楽しみを増やすことが効果的と考えられます。
- ◆ さらに、転倒への不安については、「とても不安である」、「やや不安である」を合わせた“転倒が不安な方”(47.9%)がほぼ半数を占めており、転倒を危惧することで外出を控えている人もいると考えられます。そのため、転倒予防に介護予防事業が有用であることを周知するとともに、移動支援の取組も重要と考えられます。

問3 食べることについて

(1) 身長・体重 (最近測定した数字を記入)

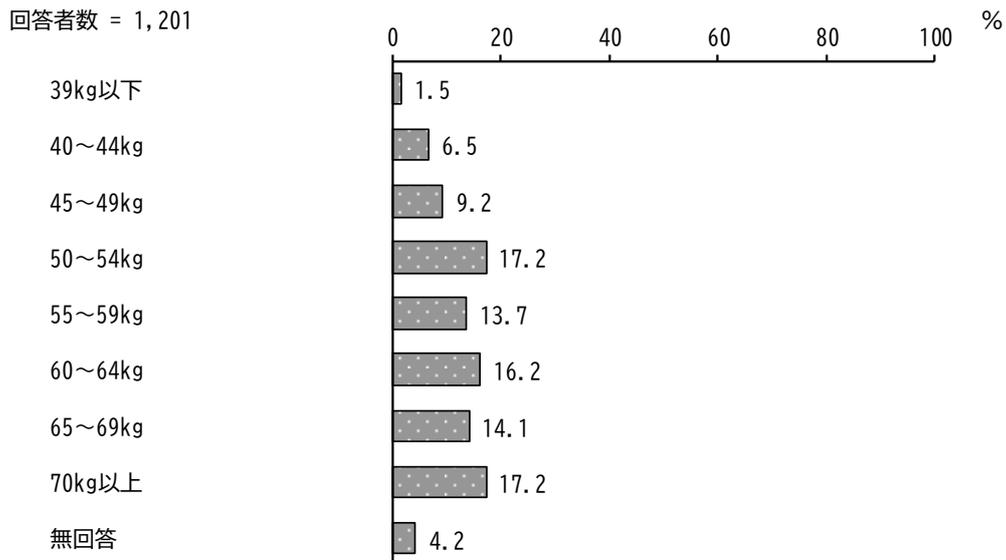
○身長

「165～169cm」の割合が17.8%と最も高く、次いで「150～154cm」の割合が17.7%、「155～159cm」の割合が17.4%となっています。



○体重

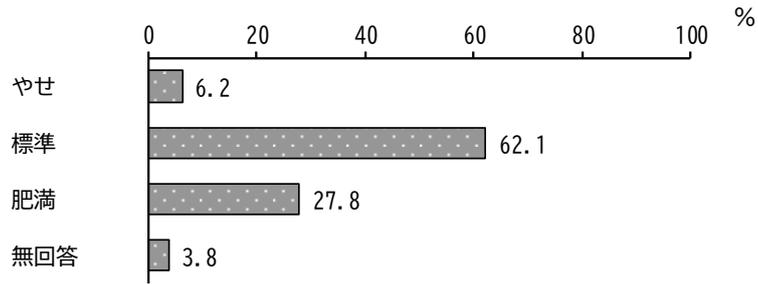
「50～54kg」、「70kg以上」の割合が17.2%と最も高く、次いで「60～64kg」の割合が16.2%となっています。



○BMI※

「標準」の割合が62.1%と最も高く、次いで「肥満」の割合が27.8%となっています。

回答者数 = 1,201



※BMI：[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値。肥満や低体重（やせ）の判定に用いる。

【タイプ別】

タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的で「肥満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	やせ	標準	肥満	無回答
全 体	1,201	6.2	62.1	27.8	3.8
インドア派 外交的	109	8.3	57.8	25.7	8.3
インドア派 内向的	64	6.3	51.6	34.4	7.8
アウトドア派 外交的	467	6.4	63.6	27.4	2.6
アウトドア派 内向的	491	5.5	65.2	27.1	2.2

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、富谷中央・あけの平圏域インドア派内向的で「肥満」の割合が、富谷中央・あけの平圏域アウトドア派内向的で「肥満」の割合が、東向陽台・成田圏域アウトドア派内向的で「標準」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	やせ	標準	肥満	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外交的	33	15.2	57.6	24.2	3.0
東向陽台・成田圏域 インドア派 内向的	23	8.7	60.9	26.1	4.3
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外交的	160	4.4	65.0	27.5	3.1
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内向的	155	3.2	71.0	23.2	2.6
区分	回答者数 (件)	やせ	標準	肥満	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外交的	33	3.0	60.6	24.2	12.1
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内向的	19	10.5	47.4	31.6	10.5
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外交的	170	7.1	67.6	23.5	1.8
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内向的	167	8.4	68.9	20.4	2.4
区分	回答者数 (件)	やせ	標準	肥満	無回答
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 外交的	41	7.3	56.1	29.3	7.3
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 内向的	20	—	40.0	50.0	10.0
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 外交的	137	8.0	56.9	32.1	2.9
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 内向的	168	4.8	56.0	37.5	1.8

【昨年と比べた外出の回数別】

昨年と比べた外出の回数別にみると、大きな差はみられません。

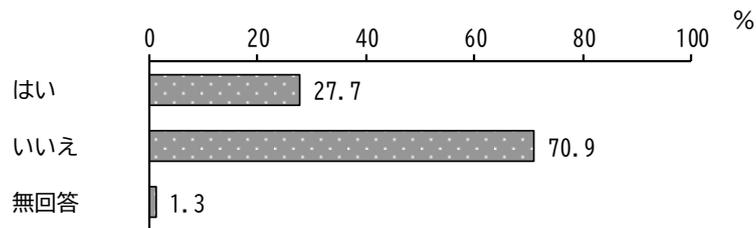
単位：％

区分	回答者数 (件)	やせ	標準	肥満	無回答
全 体	1,201	6.2	62.1	27.8	3.8
とても減っている	41	9.8	48.8	31.7	9.8
減っている	300	8.3	60.0	28.3	3.3
あまり減っていない	403	6.0	62.0	26.6	5.5
減っていない	441	5.0	65.1	28.1	1.8

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇はひとつ)

「はい」の割合が27.7%、「いいえ」の割合が70.9%となっています。

回答者数 = 1,201



【タイプ別】

タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	27.7	70.9	1.3
インドア派 外交的	109	42.2	53.2	4.6
インドア派 内向的	64	31.3	65.6	3.1
アウトドア派 外交的	467	26.8	72.6	0.6
アウトドア派 内向的	491	25.1	74.1	0.8

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、富谷中央・あけの平圏域インドア派外交的で「はい」の割合が、東向陽台・成田圏域インドア派外交的で「はい」の割合が、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外交的	33	39.4	60.6	—
東向陽台・成田圏域 インドア派 内向的	23	26.1	73.9	—
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外交的	160	22.5	76.9	0.6
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内向的	155	22.6	75.5	1.9
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外交的	33	30.3	63.6	6.1
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内向的	19	36.8	57.9	5.3
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外交的	170	29.4	69.4	1.2
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内向的	167	25.7	74.3	—
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 外交的	41	56.1	39.0	4.9
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 内向的	20	30.0	65.0	5.0
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 外交的	137	28.5	71.5	—
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 内向的	168	26.2	73.2	0.6

【お茶や汁物等でむせることはあるか別】

お茶や汁物等でむせることはあるか別にみると、他に比べ、はいで「はい」の割合が、いいえで「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	27.7	70.9	1.3
はい	278	42.8	56.8	0.4
いいえ	905	23.1	76.5	0.4

【口の渇きが気になるか別】

口の渇きが気になるか別にみると、他に比べ、はいで「はい」の割合が、いいえで「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	27.7	70.9	1.3
はい	289	50.5	49.1	0.3
いいえ	894	20.5	79.2	0.3

【歯磨きを毎日しているか別】

歯磨きを毎日しているか別にみると、他に比べ、していないで「はい」の割合が高くなっています。

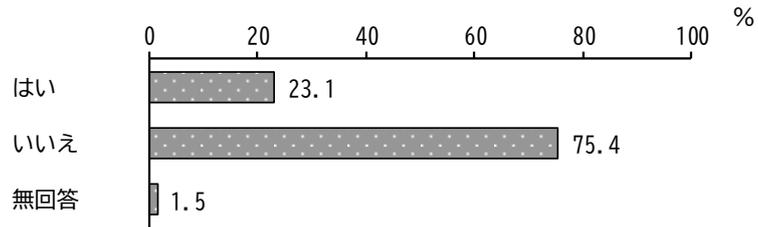
単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	27.7	70.9	1.3
している	1,156	27.7	71.8	0.5
していない	32	37.5	62.5	—

(3) お茶や汁物等でむせることはありますか。(〇はひとつ)

「はい」の割合が23.1%、「いいえ」の割合が75.4%となっています。

回答者数 = 1,201



【タイプ別】

タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	23.1	75.4	1.5
インドア派 外交的	109	31.2	65.1	3.7
インドア派 内向的	64	39.1	59.4	1.6
アウトドア派 外交的	467	21.2	77.9	0.9
アウトドア派 内向的	491	22.0	77.2	0.8

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、東向陽台・成田圏域インドア派内向的で「はい」の割合が、東向陽台・成田圏域インドア派外交的で「はい」の割合が、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外 交的	33	42.4	57.6	—
東向陽台・成田圏域 インドア派 内 向的	23	52.2	47.8	—
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外 交的	160	15.6	83.1	1.3
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内 向的	155	21.9	76.1	1.9
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外 交的	33	36.4	60.6	3.0
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内 向的	19	26.3	73.7	—
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外 交的	170	27.6	71.8	0.6
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内 向的	167	23.4	76.6	—
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
富谷中央・あけの平 圏域インドア派 外交的	41	19.5	75.6	4.9
富谷中央・あけの平 圏域インドア派 内向的	20	35.0	60.0	5.0
富谷中央・あけの平 圏域アウトドア派 外交的	137	19.7	79.6	0.7
富谷中央・あけの平 圏域アウトドア派 内向的	168	20.2	79.2	0.6

【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか別】

半年前に比べて固いものが食べにくくなったか別にみると、他に比べ、はいで「はい」の割合が、いいえで「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	23.1	75.4	1.5
はい	333	35.7	62.8	1.5
いいえ	852	18.5	81.2	0.2

【口の渇きが気になるか別】

口の渇きが気になるか別にみると、他に比べ、はいで「はい」の割合が、いいえで「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	23.1	75.4	1.5
はい	289	43.3	55.4	1.4
いいえ	894	17.1	82.8	0.1

【歯磨きを毎日しているか別】

歯磨きを毎日しているか別にみると、他に比べ、していないで「はい」の割合が高くなっています。

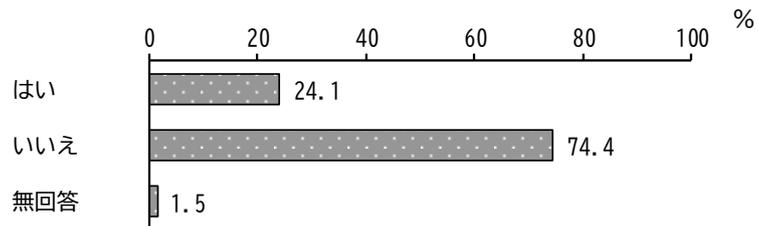
単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	23.1	75.4	1.5
している	1,156	23.0	76.4	0.6
していない	32	34.4	65.6	—

(4) 口の渇きが気になりますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が24.1%、「いいえ」の割合が74.4%となっています。

回答者数 = 1,201



【タイプ別】

タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	24.1	74.4	1.5
インドア派 外交的	109	29.4	67.0	3.7
インドア派 内向的	64	26.6	70.3	3.1
アウトドア派 外交的	467	23.1	76.0	0.9
アウトドア派 内向的	491	23.0	76.4	0.6

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派外交的で「はい」の割合が、東向陽台・成田圏域インドア派外交的で「はい」の割合が、東向陽台・成田圏域アウトドア派外交的で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外 交的	33	33.3	66.7	—
東向陽台・成田圏域 インドア派 内 向的	23	26.1	69.6	4.3
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外 交的	160	16.9	81.9	1.3
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内 向的	155	25.2	72.9	1.9
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外 交的	33	39.4	57.6	3.0
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内 向的	19	26.3	73.7	—
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外 交的	170	27.6	71.8	0.6
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内 向的	167	22.8	77.2	—
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 外交的	41	19.5	75.6	4.9
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 内向的	20	30.0	65.0	5.0
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア 派 外交的	137	24.8	74.5	0.7
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア 派 内向的	168	20.8	79.2	—

【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか別】

半年前に比べて固いものが食べにくくなったか別にみると、他に比べ、はいで「はい」の割合が、いいえで「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	24.1	74.4	1.5
はい	333	43.8	55.0	1.2
いいえ	852	16.7	83.1	0.2

【お茶や汁物等でむせることがあるか別】

お茶や汁物等でむせることがあるか別にみると、他に比べ、はいで「はい」の割合が、いいえで「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	24.1	74.4	1.5
はい	278	45.0	55.0	—
いいえ	905	17.7	81.8	0.6

【歯磨きを毎日しているか別】

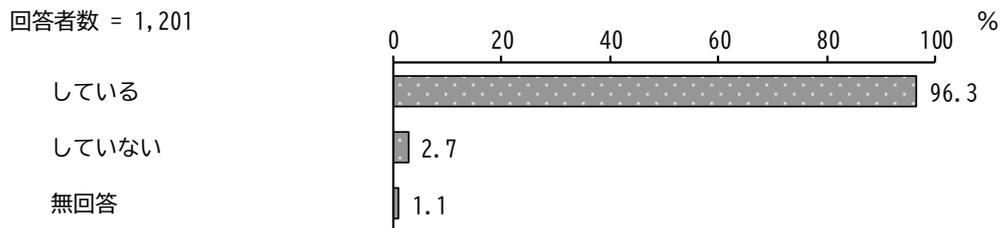
歯磨きを毎日しているか別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	24.1	74.4	1.5
している	1,156	24.2	75.2	0.6
していない	32	28.1	71.9	—

(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○はひとつ）

「している」の割合が96.3%、「していない」の割合が2.7%となっています。



【タイプ別】

タイプ別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
全 体	1,201	96.3	2.7	1.1
インドア派 外交的	109	92.7	4.6	2.8
インドア派 内向的	64	95.3	3.1	1.6
アウトドア派 外交的	467	97.0	2.6	0.4
アウトドア派 内向的	491	96.5	2.6	0.8

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外 交的	33	87.9	12.1	—
東向陽台・成田圏域 インドア派 内 向的	23	95.7	4.3	—
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外 交的	160	95.6	3.1	1.3
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内 向的	155	97.4	0.6	1.9
区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外 交的	33	97.0	—	3.0
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内 向的	19	100.0	—	—
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外 交的	170	98.2	1.8	—
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内 向的	167	95.8	3.6	0.6
区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 外交的	41	95.1	2.4	2.4
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 内向的	20	90.0	5.0	5.0
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア 派 外交的	137	97.1	2.9	—
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア 派 内向的	168	96.4	3.6	—

【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか別】

半年前に比べて固いものが食べにくくなったか別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
全 体	1,201	96.3	2.7	1.1
はい	333	96.1	3.6	0.3
いいえ	852	97.4	2.3	0.2

【お茶や汁物等でむせることがあるか別】

お茶や汁物等でむせることがあるか別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
全 体	1,201	96.3	2.7	1.1
はい	278	95.7	4.0	0.4
いいえ	905	97.6	2.3	0.1

【口の渇きが気になるか別】

口の渇きが気になるか別にみると、大きな差はみられません。

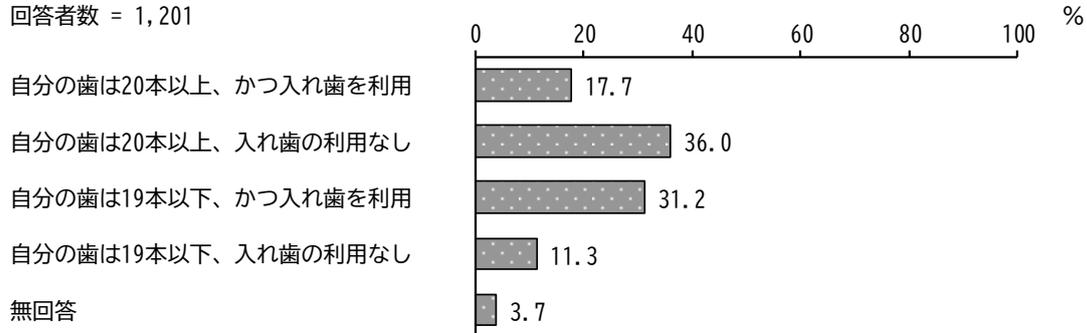
単位：％

区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
全 体	1,201	96.3	2.7	1.1
はい	289	96.9	3.1	—
いいえ	894	97.2	2.6	0.2

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が36.0%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が31.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が17.7%となっています。

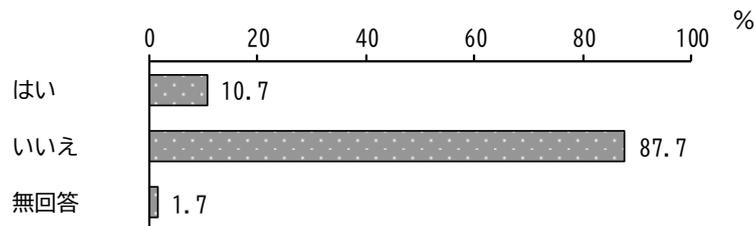
回答者数 = 1,201



(7) 6か月間で2～3kgの体重減少がありましたか。(○はひとつ)

「はい」の割合が10.7%、「いいえ」の割合が87.7%となっています。

回答者数 = 1,201



【タイプ別】

タイプ別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全体	1,201	10.7	87.7	1.7
インドア派 外交的	109	14.7	82.6	2.8
インドア派 内向的	64	10.9	82.8	6.3
アウトドア派 外交的	467	9.6	89.5	0.9
アウトドア派 内向的	491	9.6	89.4	1.0

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、富谷中央・あけの平圏域インドア派外交的で「はい」の割合が、東向陽台・成田圏域インドア派外交的で「はい」の割合が、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派外交的で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外 外交的	33	18.2	81.8	—
東向陽台・成田圏域 インドア派 内 向的	23	8.7	91.3	—
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外 外交的	160	8.1	90.6	1.3
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内 向的	155	10.3	87.1	2.6
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外 外交的	33	3.0	93.9	3.0
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内 向的	19	15.8	78.9	5.3
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外 外交的	170	10.6	88.8	0.6
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内 向的	167	9.6	90.4	—
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 外交的	41	22.0	73.2	4.9
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 内向的	20	5.0	85.0	10.0
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア 派 外交的	137	10.2	89.1	0.7
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア 派 内向的	168	8.9	90.5	0.6

【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか別】

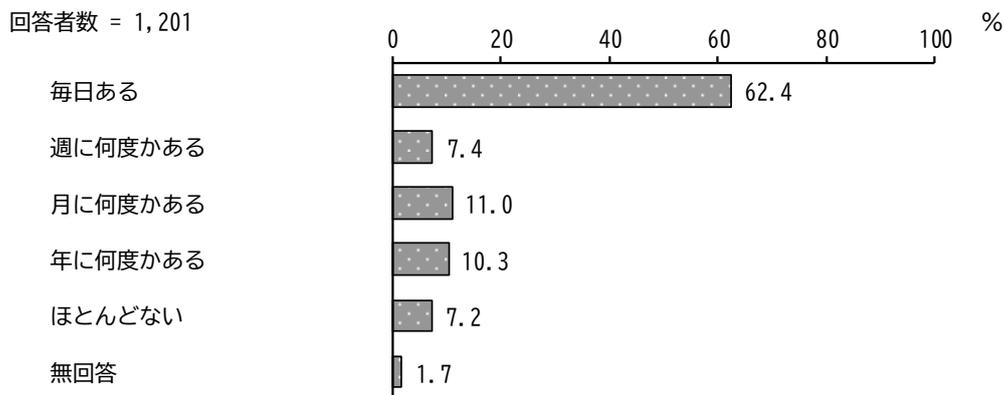
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか別にみると、他に比べ、できないで「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,201	10.7	87.7	1.7
できるし、している	979	9.7	89.1	1.2
できるけどしていない	131	12.2	83.2	4.6
できない	69	17.4	79.7	2.9

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

「毎日ある」の割合が62.4%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が11.0%、「年に何度かある」の割合が10.3%となっています。



調査結果のまとめ

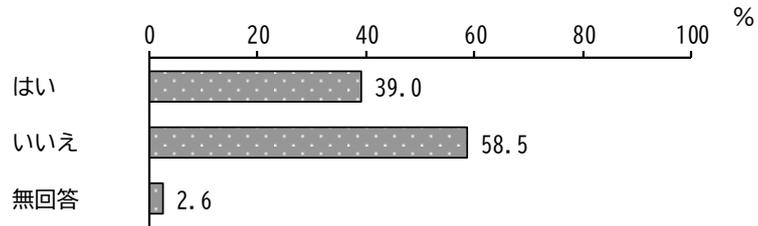
- ◆ 身体と食事の状況について、フレイルは身体的、精神・心理的、社会的な脆弱性により健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味するものです。高齢者においては低栄養が問題ですが、今回の調査ではBMIが18.5未満の「やせ」と判定された方は6.2%となっています。
- ◆ 体重の減少についても、「6か月間で2～3kg以上の体重減少があった」と回答した人が10.7%となっており、フレイルが進行していることが考えられます。
- ◆ 食生活に関して具体的にみると、「半年前に比べ固いものが食べにくくなった」と回答した人が27.7%、「お茶や汁物等でむせることがある」と回答した方が23.1%、「口の渇きが気になる」と回答した方が24.1%となっています。これらの方は、咀嚼機能や嚥下機能の低下からくる低栄養の危険性に加えて、肺炎の発症リスクも考えられます。
- ◆ 嚥下機能に関連して、歯の本数、入れ歯の利用状況をみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(17.7%)と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(31.2%)を合わせた48.9%の方が入れ歯を利用しています。咀嚼機能の低下を防ぎ、低栄養を予防するためにも、入れ歯の手入れなどの口腔内を清潔に保つためのケア方法などの周知が重要です。
- ◆ どなたかと食事をとにもする機会については「ほとんどない」(7.2%)、「年に何度かある」(10.3%)、「月に何度かある」(11.0%)をあわせた“孤食傾向の高齢者”が約3割となっています。食の楽しみがないと、適切な食事を摂取しないことが多くなる可能性もあることから、共食の機会を増やすことが重要です。
- ◆ 以上より、高齢者にとっての正しい食事のメニュー紹介や口腔ケア、共食の重要性について周知・啓発やリテラシーの向上が必要であるとともに、様々な機会フレイルとその予防について周知・啓発が必要であると考えられます。

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

「はい」の割合が39.0%、「いいえ」の割合が58.5%となっています。

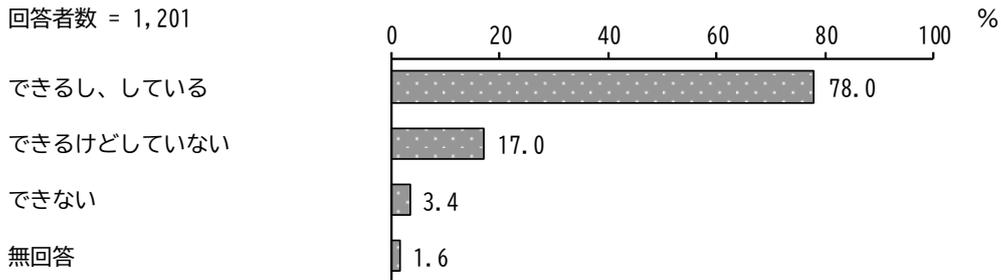
回答者数 = 1,201



(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

「できるし、している」の割合が78.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が17.0%となっています。

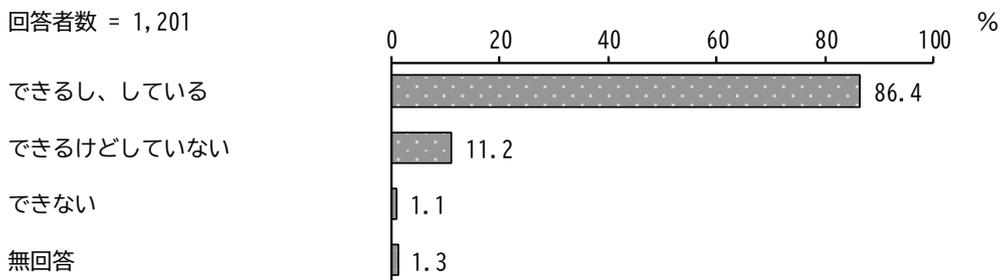
回答者数 = 1,201



(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

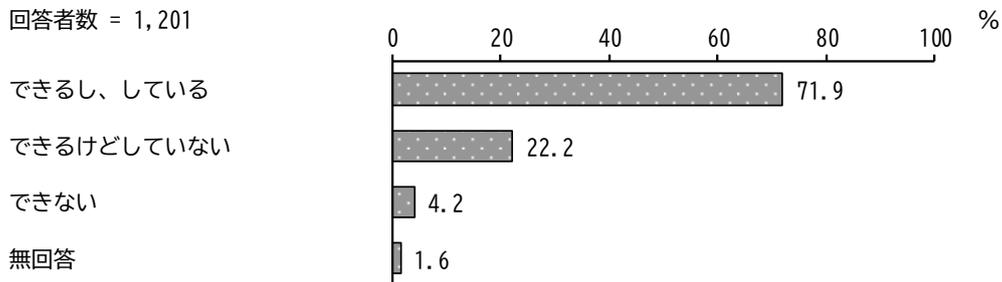
「できるし、している」の割合が86.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.2%となっています。

回答者数 = 1,201



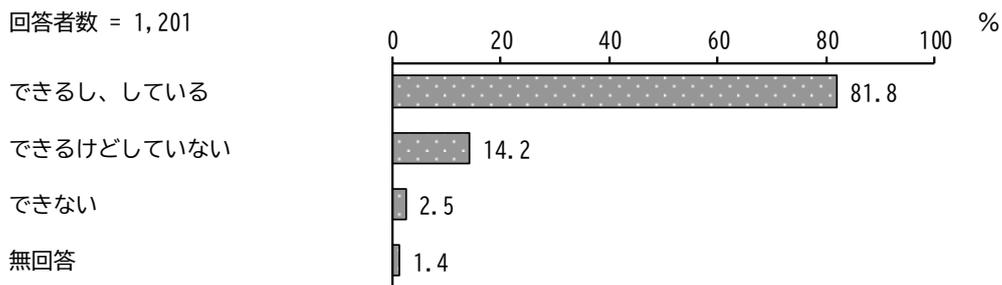
(4) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 71.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 22.2%となっています。



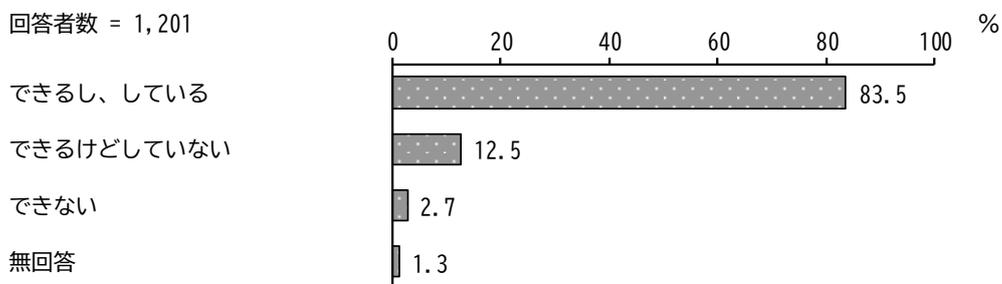
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 14.2%となっています。



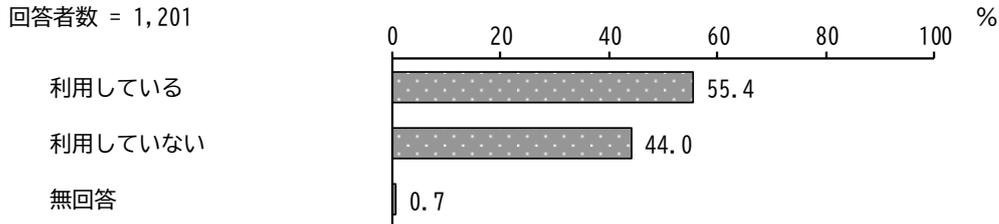
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 83.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 12.5%となっています。



(7) インターネットを利用していますか。(○は1つ)

「利用している」の割合が 55.4%、「利用していない」の割合が 44.0%となっています。



【性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「利用している」の割合が、女性で「利用していない」の割合が高くなっています。

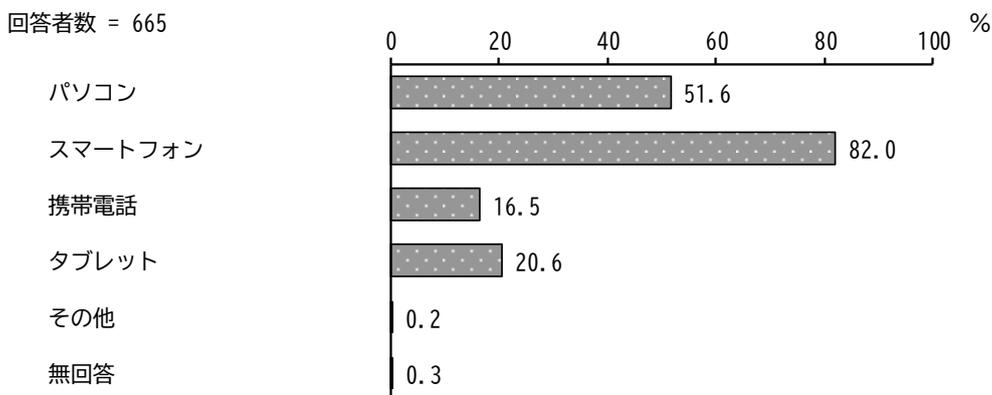
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全 体	1,201	55.4	44.0	0.7
男性	514	65.0	34.6	0.4
女性	560	46.3	52.7	1.1

【(7) で「利用している」と回答した方のみ】

①お使いの端末は次のどれですか。(○は3つまで)

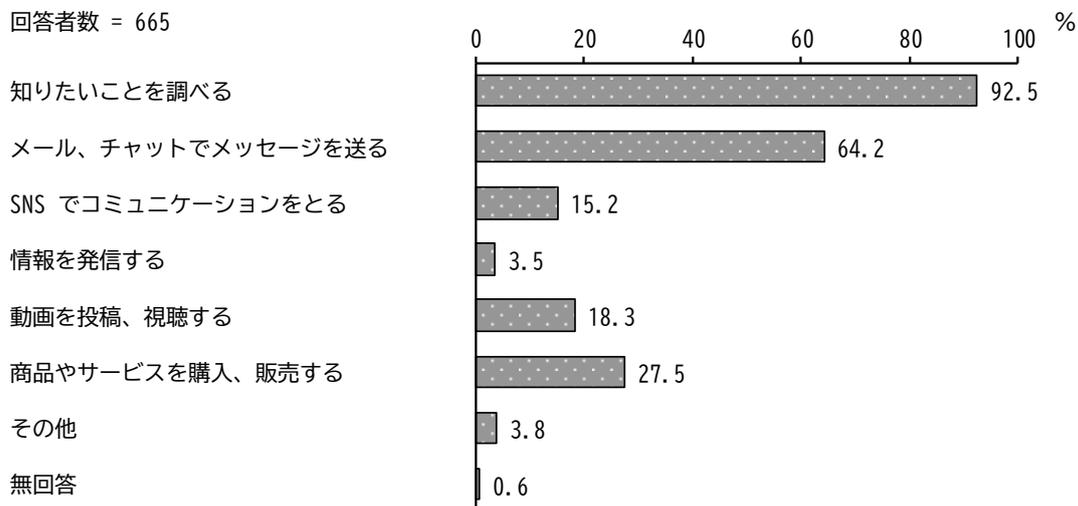
「スマートフォン」の割合が 82.0%と最も高く、次いで「パソコン」の割合が 51.6%、「タブレット」の割合が 20.6%となっています。



【(7) で「利用している」と回答した方のみ】

②インターネットをどのように活用していますか。(〇は3つまで)

「知りたいことを調べる」の割合が92.5%と最も高く、次いで「メール、チャットでメッセージを送る」の割合が64.2%、「商品やサービスを購入、販売する」の割合が27.5%となっています。



【性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「メール、チャットでメッセージを送る」の割合が高くなっています。

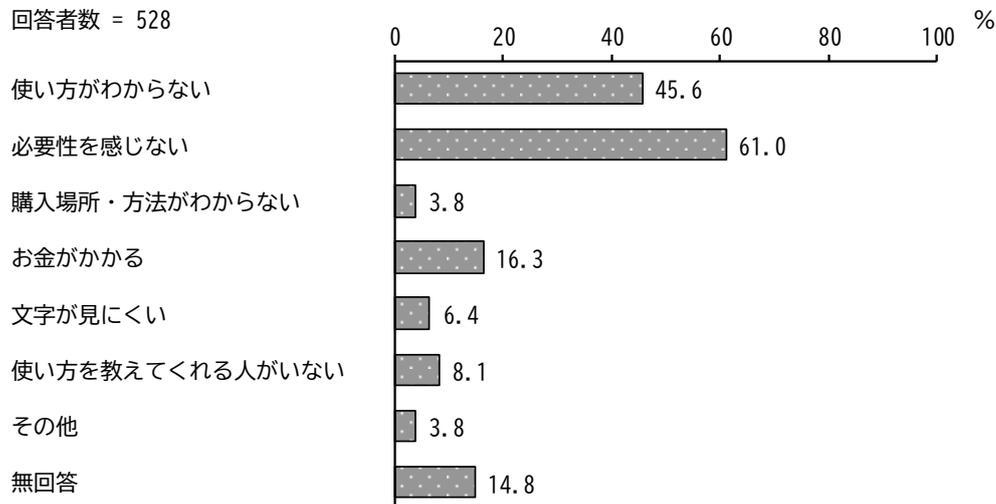
単位：%

区分	回答者数(件)	知りたいことを調べる	メール、チャットでメッセージを送る	SNSでコミュニケーションをとる	情報を発信する	動画を投稿、視聴する	商品やサービスを購入、販売する	その他	無回答
全体	665	92.5	64.2	15.2	3.5	18.3	27.5	3.8	0.6
男性	334	94.6	57.5	14.4	4.2	15.6	31.7	5.4	—
女性	259	89.6	74.1	17.0	1.9	20.1	18.1	2.3	1.5

【(7) で「利用していない」と回答した方のみ】

①インターネットを利用しない理由はなんですか。(〇は3つまで)

「必要性を感じない」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「使い方がわからない」の割合が 45.6%、「お金がかかる」の割合が 16.3%となっています。



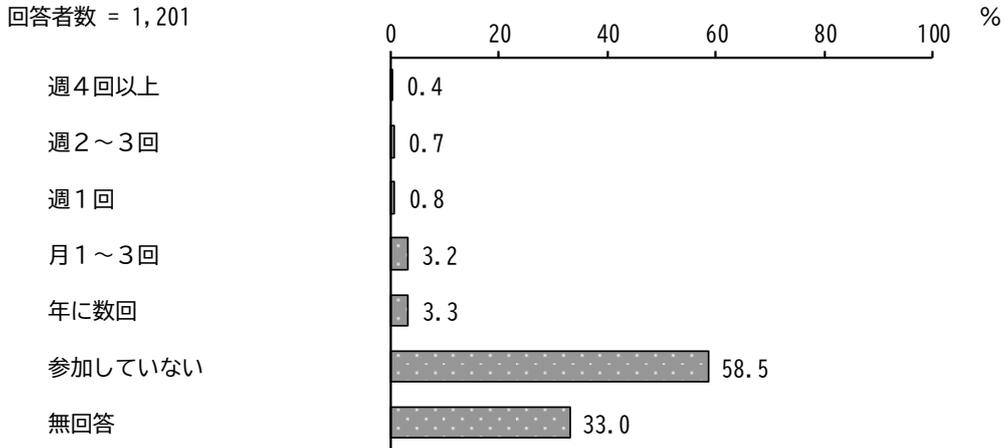
調査結果のまとめ

- ◆ 毎日の生活について物忘れが多いと感じている人が 39.0%となっており、認知症予防に対する普及・啓発を積極的に行う必要があります。
- ◆ パソコンやスマートフォンでメールやインターネットの利用状況を見ると、利用している方は 55.4%となっています。活用方法としては、「知りたいことを調べる」が 92.5%と最も高く、次いで「メール、チャットでメッセージを送る」が 64.2%となっており、高齢者であっても積極的にホームページや SNS を活用した情報発信や情報提供が効果的であると考えられます。
- ◆ 情報提供以外にも、インターネットやメールを利用することは、利用者同士の新たな交流を生み、交流が広がれば刺激が生まれるため、脳の活性化や、新たな役割・居場所の提供も期待できます。例えば、インターネットで交流して新たな趣味の集まりができれば、高齢者同士の交流も増え、あらたな役割・居場所となるのに加え、新たな分野への挑戦により脳を刺激し、認知症予防にもつながると考えられます。
- ◆ 以上より、今後の新型コロナウイルス感染症対策の方向性も踏まえつつ、パソコンやスマートフォンの SNS などを通じて交流ができる機会を提供することが必要であると考えられます。

問5 地域での活動について

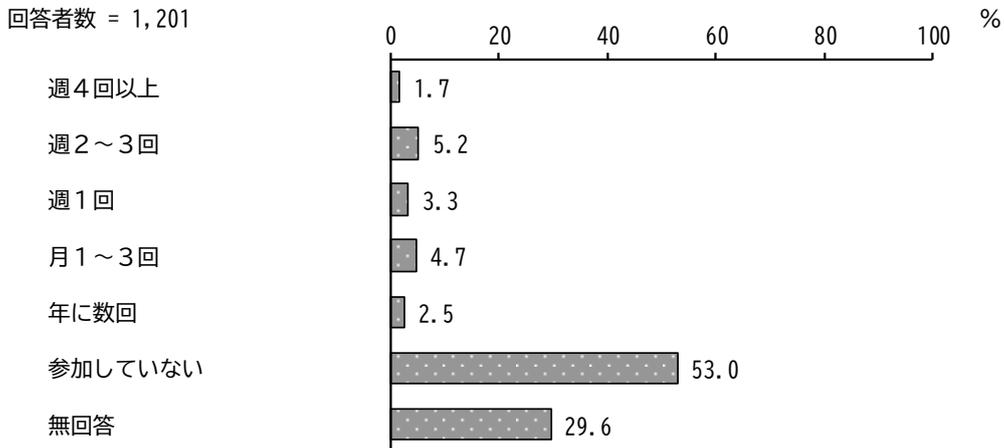
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 (それぞれ○は1つ)
 ①ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が58.5%と最も高くなっています。



②スポーツ関係のグループやクラブ

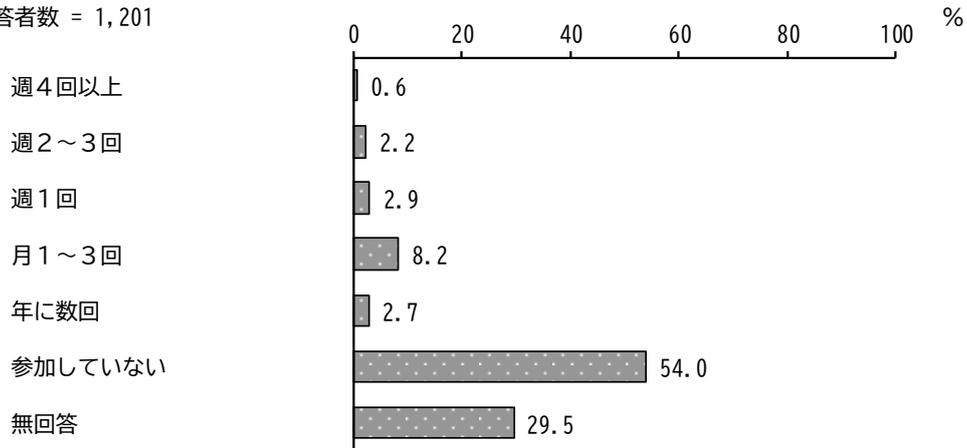
「参加していない」の割合が53.0%と最も高くなっています。



③趣味関係のグループ

「参加していない」の割合が54.0%と最も高くなっています。

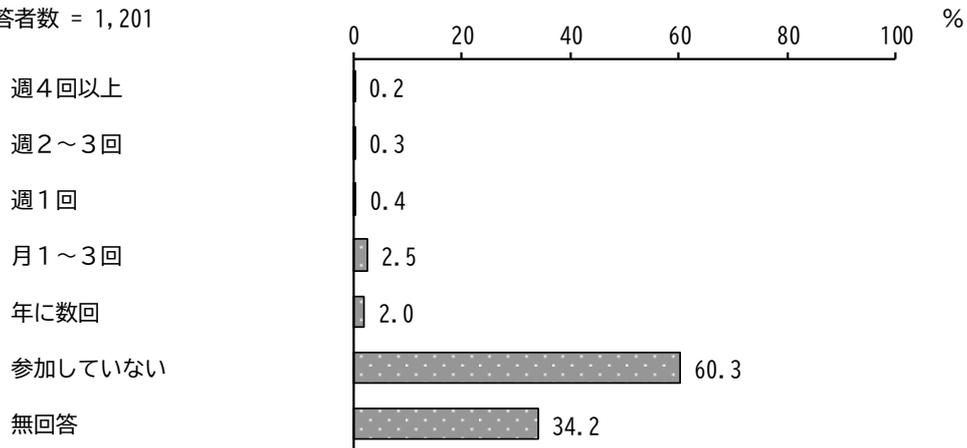
回答者数 = 1,201



④学習・教養サークル

「参加していない」の割合が60.3%と最も高くなっています。

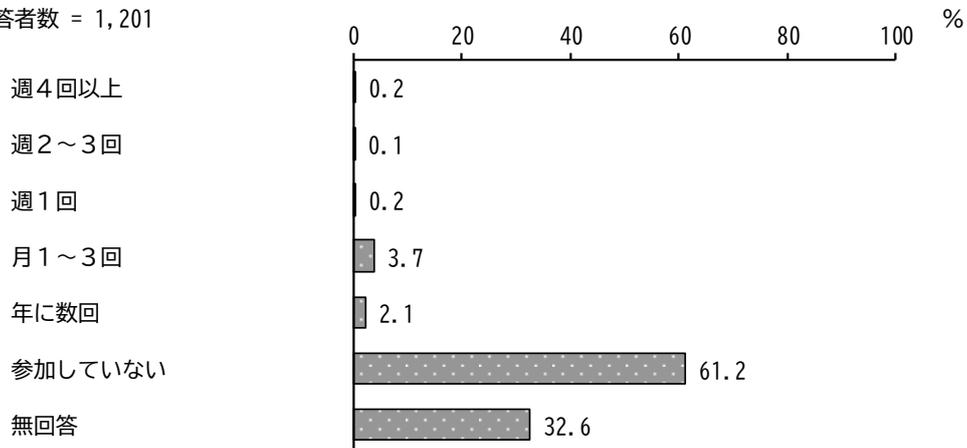
回答者数 = 1,201



⑤ゆとりすとクラブサロン

「参加していない」の割合が61.2%と最も高くなっています。

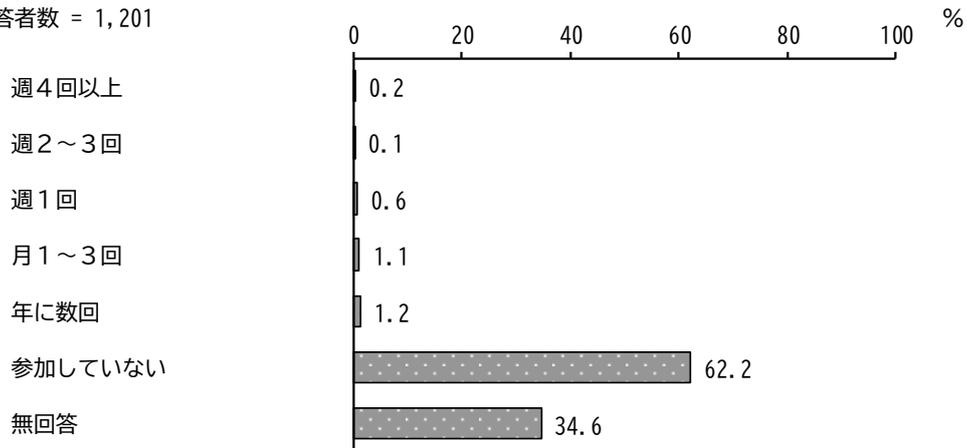
回答者数 = 1,201



⑥街かどカフェ

「参加していない」の割合が62.2%と最も高くなっています。

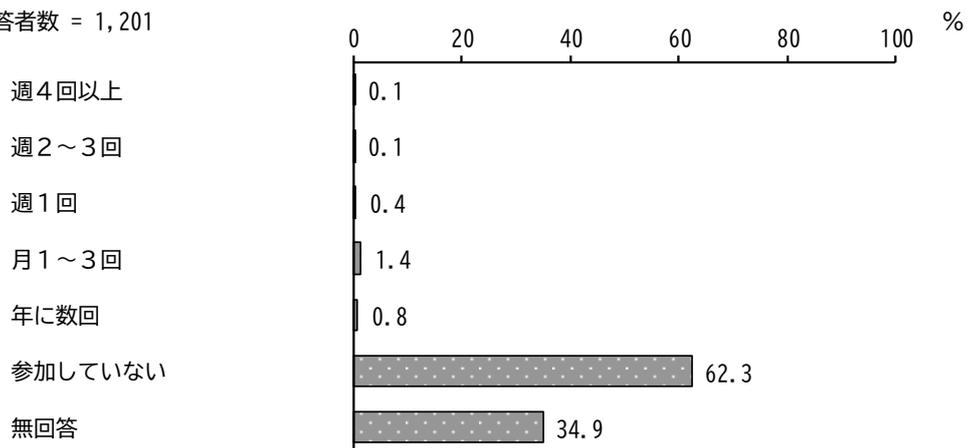
回答者数 = 1,201



⑦富谷市福祉健康センター

「参加していない」の割合が62.3%と最も高くなっています。

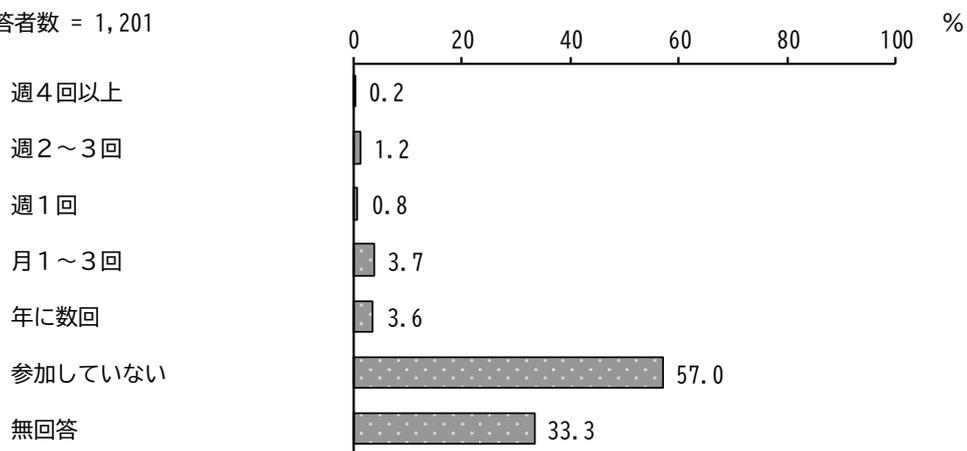
回答者数 = 1,201



⑧近隣でのお茶飲み会など

「参加していない」の割合が57.0%と最も高くなっています。

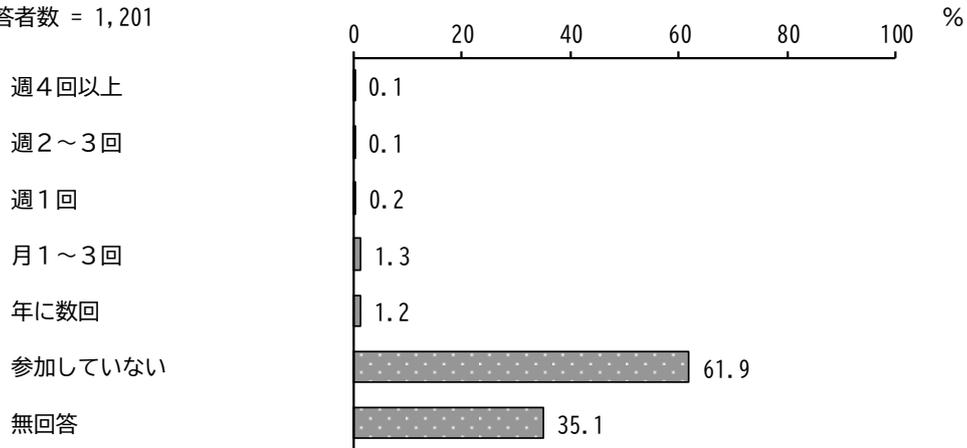
回答者数 = 1,201



⑨老人クラブ

「参加していない」の割合が61.9%と最も高くなっています。

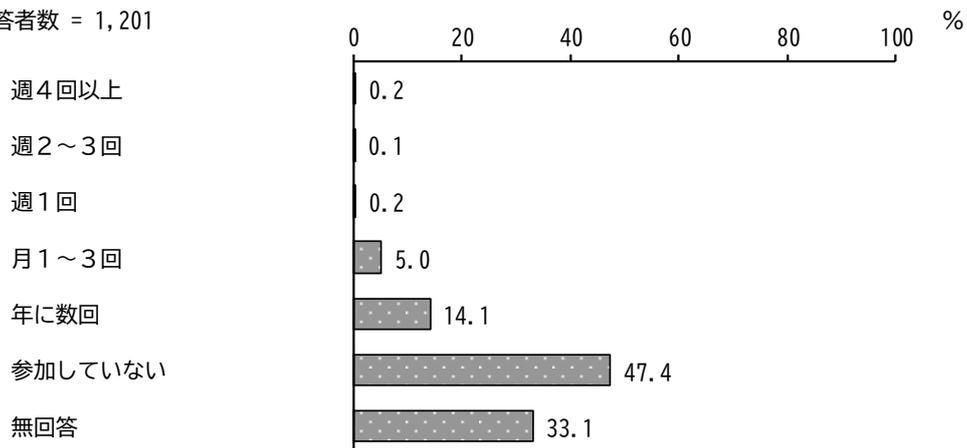
回答者数 = 1,201



⑩町内会・自治会

「参加していない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が14.1%となっています。

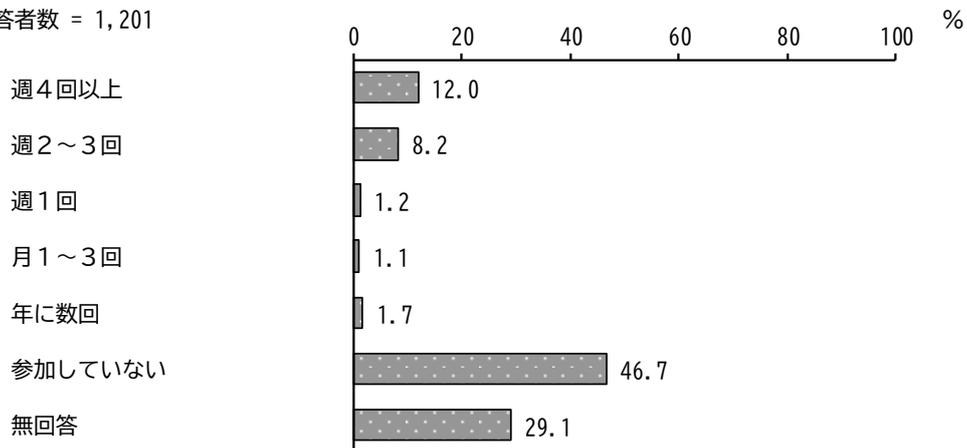
回答者数 = 1,201



⑪収入のある仕事

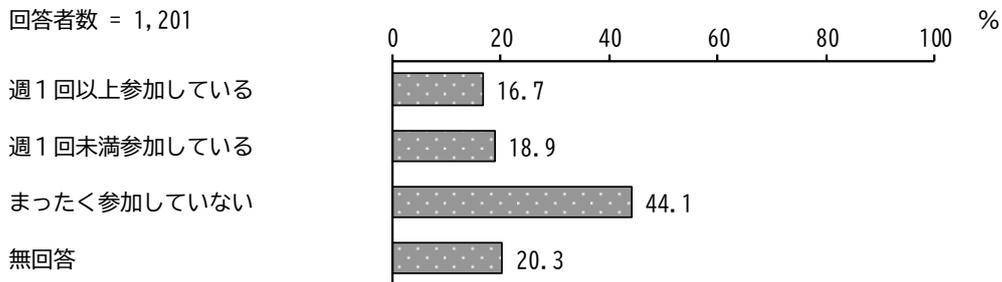
「参加していない」の割合が46.7%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が12.0%となっています。

回答者数 = 1,201



地域活動の参加状況 ※①～⑪のうち一つでも参加していると答えた方の参加状況

いずれの活動にも「まったく参加していない」と答えた割合が44.1%と最も高く、次いで「週1回未満参加している」の割合が18.9%、「週1回以上参加している」の割合が16.7%となっています。



【タイプ別】

タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的で「まったく参加していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	週1回以上参加している	週1回未満参加している	まったく参加していない	無回答
全体	1,201	16.7	18.9	44.1	20.3
インドア派 外交的	109	6.4	11.9	53.2	28.4
インドア派 内向的	64	7.8	17.2	43.8	31.3
アウトドア派 外交的	467	20.3	18.2	44.8	16.7
アウトドア派 内向的	491	17.7	22.2	44.0	16.1

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派外交的で「まったく参加していない」の割合が、東向陽台・成田圏域インドア派内向的で「まったく参加していない」の割合が、富谷中央・あけの平圏域インドア派内向的で「週1回未満参加している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週1回以上参加 している	週1回未満参加 している	まったく参加し ていない	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外交的	33	15.2	21.2	51.5	12.1
東向陽台・成田圏域 インドア派 内向的	23	—	4.3	65.2	30.4
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外交的	160	20.0	19.4	41.9	18.8
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内向的	155	23.2	24.5	38.7	13.5
区分	回答者数 (件)	週1回以上参加 している	週1回未満参加 している	まったく参加し ていない	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外交的	33	3.0	—	72.7	24.2
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内向的	19	10.5	21.1	31.6	36.8
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外交的	170	22.9	14.7	47.1	15.3
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内向的	167	15.0	19.2	47.9	18.0
区分	回答者数 (件)	週1回以上参加 している	週1回未満参加 している	まったく参加し ていない	無回答
富谷中央・あけの 平圏域 インドア派 外交的	41	2.4	14.6	41.5	41.5
富谷中央・あけの 平圏域 インドア派 内向的	20	15.0	30.0	35.0	20.0
富谷中央・あけの 平圏域 アウトドア派 外交的	137	17.5	21.2	45.3	16.1
富谷中央・あけの 平圏域 アウトドア派 内向的	168	14.9	23.2	45.2	16.7

【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、4点未満で「まったく参加していない」の割合が高くなっています。

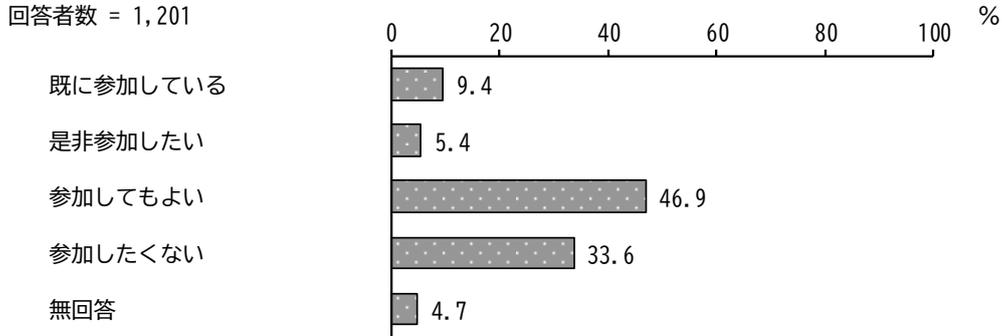
単位：％

区分	回答者数(件)	週1回以上参加している	週1回未満参加している	まったく参加していない	無回答
全 体	1,201	16.7	18.9	44.1	20.3
4点未満	30	3.3	13.3	66.7	16.7
4点以上7点未満	388	12.6	15.7	47.9	23.7
7点以上	755	19.6	21.3	41.9	17.2

※幸福度とは、「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてアンケート回答者が自己評価したもの。【問7 健康について(2)あなたは、現在どの程度幸せですか P91】

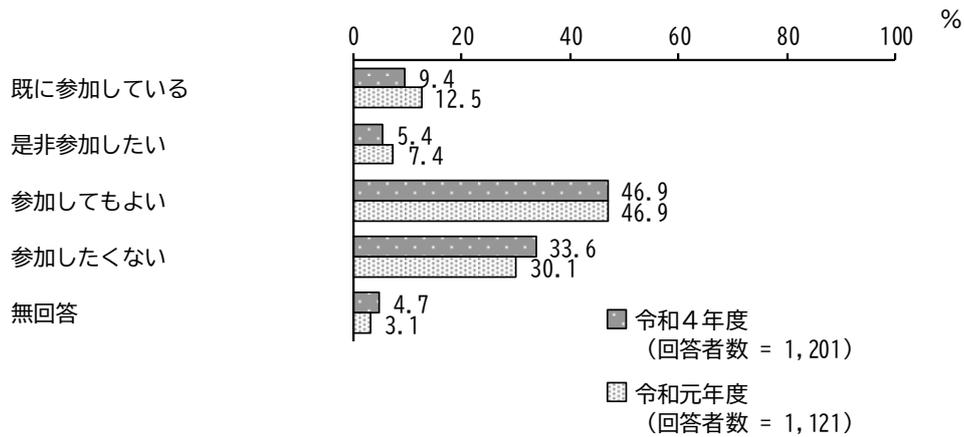
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

「参加してもよい」の割合が46.9%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が33.6%となっています。



【経年比較】

令和元年度（前回調査）と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体	1,201	9.4	5.4	46.9	33.6	4.7
男性	514	7.0	6.0	51.8	31.5	3.7
女性	560	11.8	5.0	43.6	34.3	5.4

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、85歳以上で「参加したくない」の割合が、65～69歳で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体	1,201	9.4	5.4	46.9	33.6	4.7
65～69歳	356	6.5	6.2	54.5	29.8	3.1
70～74歳	364	8.2	5.5	49.2	33.8	3.3
75～79歳	250	10.4	4.4	44.4	36.0	4.8
80～84歳	154	14.3	6.5	38.3	32.5	8.4
85～89歳	48	18.8	2.1	20.8	47.9	10.4
90歳以上	14	7.1	7.1	28.6	50.0	7.1

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体	1,201	9.4	5.4	46.9	33.6	4.7
東向陽台・成田圏域	395	8.1	6.8	45.3	33.9	5.8
富ヶ丘・日吉台圏域	408	11.3	5.1	45.8	33.3	4.4
富谷中央・あけの平圏域	378	8.7	4.5	50.0	33.9	2.9

【第2号被保険者対象ニーズ調査との比較】

第2号被保険者調査との比較をみると、他に比べ、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査で「既に参加している」の割合が、第2号被保険者調査で「参加したくない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	既に参加して いる	是非参加し たい	参加しても よい	参加した くない	無回 答
介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	1,201	9.4	5.4	46.9	33.6	4.7
第2号被保険者調査	504	0.8	3.8	47.3	46.0	1.8

【タイプ別】

タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、アウトドア派内向的で「参加してもよい」の割合が、インドア派外交的、アウトドア派外交的で「参加したくない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	既に参加して いる	是非参加し たい	参加しても よい	参加した くない	無回 答
全 体	1,201	9.4	5.4	46.9	33.6	4.7
インドア派 外交的	109	6.4	9.2	—	84.4	—
インドア派 内向的	64	—	—	100.0	—	—
アウトドア派 外交的	467	22.3	11.8	—	66.0	—
アウトドア派 内向的	491	—	—	100.0	—	—

※区分の分類については5P（タイプ別分類）を参照

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、富谷中央・あけの平圏域インドア派外交的で「参加したくない」の割合が、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派外交的で「参加したくない」の割合が、東向陽台・成田圏域インドア派内向的で「参加してもよい」の割合が、東向陽台・成田圏域アウトドア派内向的で「参加してもよい」の割合が、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派内向的で「参加してもよい」の割合が、富ヶ丘・日吉台圏域アウトドア派内向的で「参加してもよい」の割合が、富谷中央・あけの平圏域インドア派内向的で「参加してもよい」の割合が、富谷中央・あけの平圏域アウトドア派内向的で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外交的	33	9.1	18.2	—	72.7	—
東向陽台・成田圏域 インドア派 内向的	23	—	—	100.0	—	—
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外交的	160	18.1	13.1	—	68.8	—
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内向的	155	—	—	100.0	—	—
区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外交的	33	6.1	6.1	—	87.9	—
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内向的	19	—	—	100.0	—	—
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外交的	170	25.9	11.2	—	62.9	—
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内向的	167	—	—	100.0	—	—
区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 外交的	41	4.9	4.9	—	90.2	—
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 内向的	20	—	—	100.0	—	—
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 外交的	137	22.6	10.9	—	66.4	—
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 内向的	168	—	—	100.0	—	—

【幸福度別】

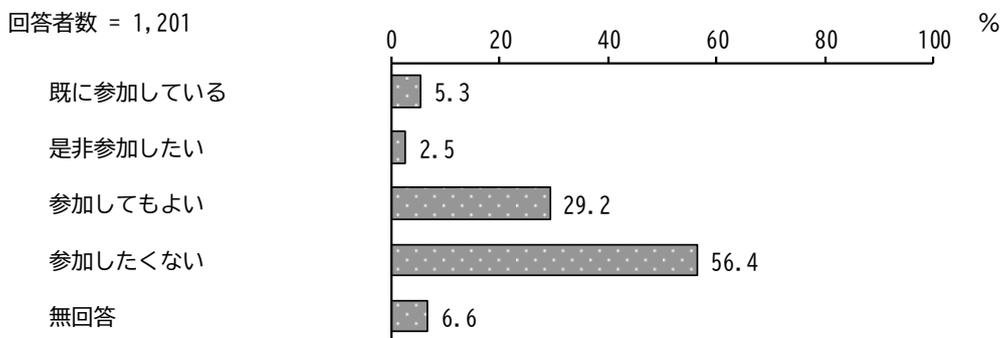
幸福度別にみると、他に比べ、4点未満で「参加したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全 体	1,201	9.4	5.4	46.9	33.6	4.7
4点未満	30	—	3.3	40.0	50.0	6.7
4点以上7点未満	388	7.2	4.4	47.9	37.1	3.4
7点以上	755	11.1	6.2	47.0	31.1	4.5

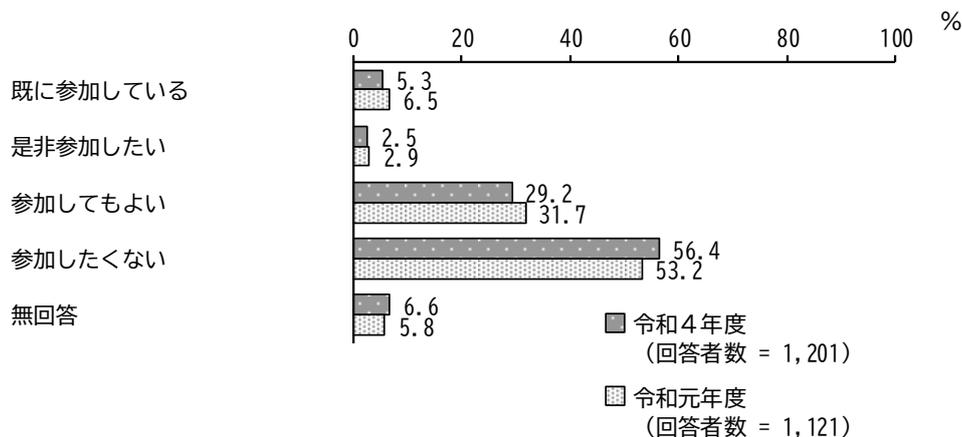
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

「参加したくない」の割合が56.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が29.2%となっています。



【経年比較】

令和元年度（前回調査）と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体	1,201	5.3	2.5	29.2	56.4	6.6
男性	514	5.4	2.5	34.4	53.9	3.7
女性	560	5.5	2.3	24.1	59.1	8.9

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、90歳以上で「参加したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体	1,201	5.3	2.5	29.2	56.4	6.6
65～69歳	356	3.9	2.0	33.7	56.5	3.9
70～74歳	364	5.2	2.5	29.9	58.0	4.4
75～79歳	250	5.6	2.0	27.6	57.6	7.2
80～84歳	154	8.4	5.2	22.7	50.6	13.0
85～89歳	48	4.2	—	27.1	56.3	12.5
90歳以上	14	7.1	7.1	7.1	71.4	7.1

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体	1,201	5.3	2.5	29.2	56.4	6.6
東向陽台・成田圏域	395	5.6	2.5	28.4	56.7	6.8
富ヶ丘・日吉台圏域	408	5.9	2.5	29.4	56.6	5.6
富谷中央・あけの平圏域	378	4.2	2.6	29.9	56.9	6.3

【第2号被保険者対象ニーズ調査との比較】

第2号被保険者調査との比較をみると、第2号被保険者調査で「参加したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,201	5.3	2.5	29.2	56.4	6.6
第2号被保険者調査	504	0.8	1.6	30.2	63.3	4.2

【タイプ別】

タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的、アウトドア派外交的で「参加したくない」の割合が、アウトドア派内向的で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全 体	1,201	5.3	2.5	29.2	56.4	6.6
インドア派 外交的	109	0.9	3.7	9.2	84.4	1.8
インドア派 内向的	64	1.6	1.6	37.5	56.3	3.1
アウトドア派 外交的	467	10.9	3.9	13.3	68.7	3.2
アウトドア派 内向的	491	1.6	1.2	49.7	44.6	2.9

※区分の分類については5P（タイプ別分類）を参照

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派外交的で「参加したくない」の割合が、富谷中央・あけの平圏域インドア派外交的で「参加したくない」の割合が、富谷中央・あけの平圏域アウトドア派内向的で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外交的	33	—	3.0	21.2	72.7	3.0
東向陽台・成田圏域 インドア派 内向的	23	—	4.3	34.8	60.9	—
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外交的	160	11.3	4.4	13.8	68.8	1.9
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内向的	155	1.9	0.6	46.5	47.7	3.2
区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外交的	33	3.0	3.0	3.0	90.9	—
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内向的	19	—	—	42.1	57.9	—
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外交的	170	11.2	2.9	14.7	67.6	3.5
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内向的	167	1.8	2.4	50.3	43.1	2.4
区分	回答者数(件)	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 外交的	41	—	4.9	4.9	87.8	2.4
富谷中央・あけの平 圏域 インドア派 内向的	20	—	—	40.0	50.0	10.0
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 外交的	137	10.2	4.4	10.9	70.1	4.4
富谷中央・あけの平 圏域 アウトドア派 内向的	168	1.2	0.6	51.8	43.5	3.0

【幸福度別】

幸福度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

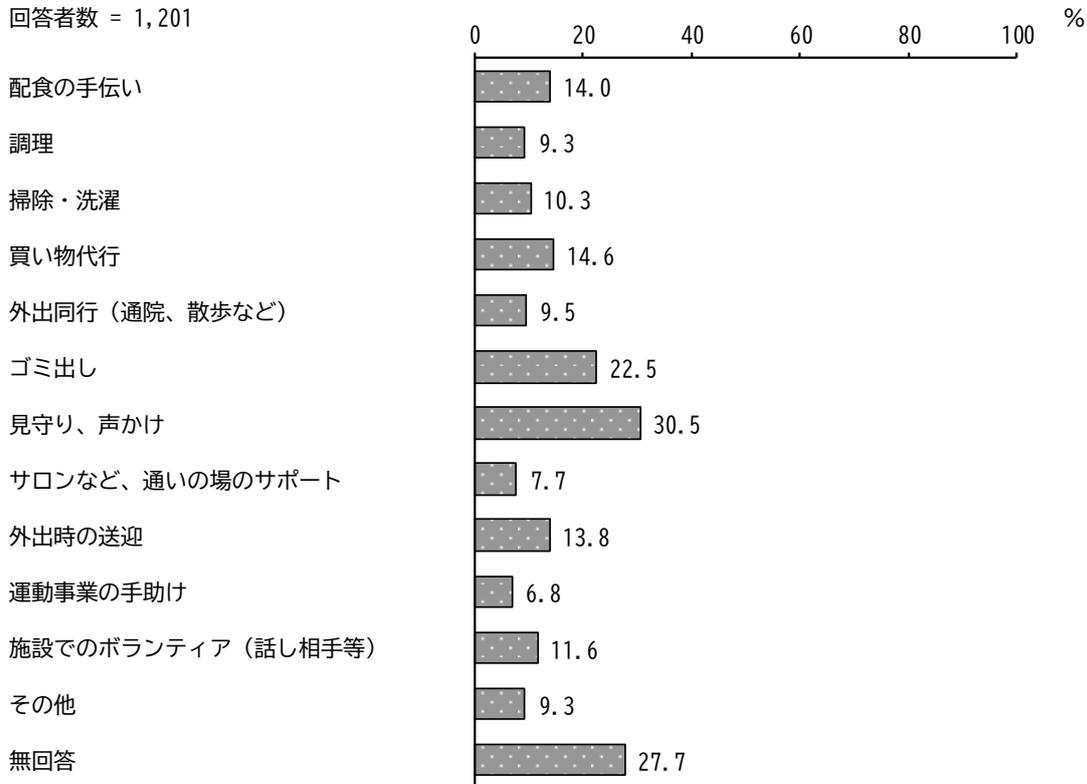
区分	回答者数 (件)	既に 参加して いる	是非 参加し たい	参加 しても よい	参加 した くない	無 回 答
全 体	1,201	5.3	2.5	29.2	56.4	6.6
4点未満	30	—	3.3	30.0	60.0	6.7
4点以上7点未満	388	3.9	2.6	27.8	60.1	5.7
7点以上	755	6.2	2.4	30.3	54.6	6.5

※幸福度とは、「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてアンケート回答者が自己評価したもの。【問7 健康について(2)あなたは、現在どの程度幸せですか P91】

※幸福度別のクロスについては、一定のN値を確保するため三段階に分類し集計しました。

(4) あなたは地域でどんな支援ができると思いますか。(〇はいくつでも)

「見守り、声かけ」の割合が30.5%と最も高く、次いで「ゴミ出し」の割合が22.5%、「買い物代行」の割合が14.6%となっています。



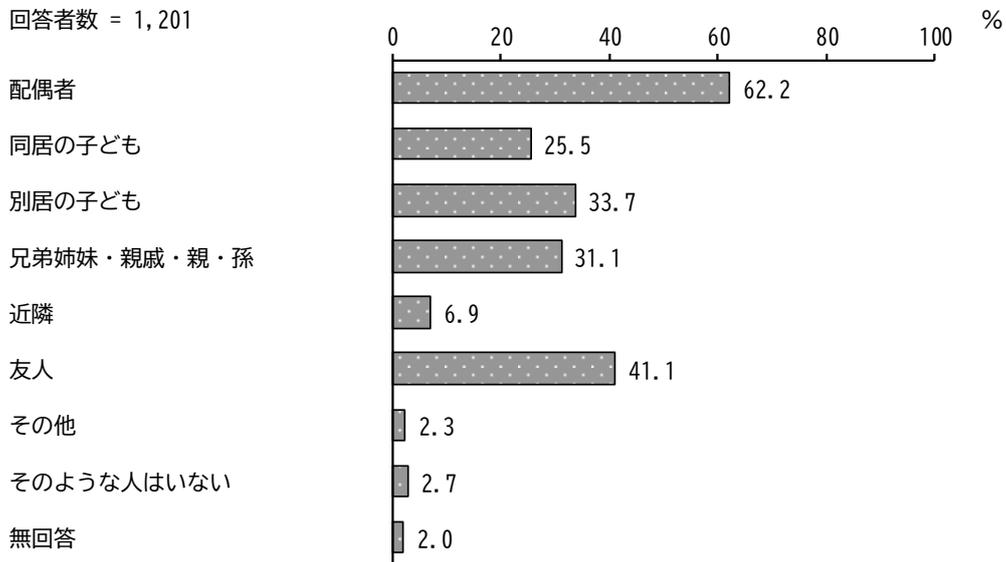
調査結果のまとめ

- ◆ 地域での活動について、地域住民の有志による活動に“参加者として”参加したい方は、「既に参加している」、「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせて61.7%となっています。
- ◆ 地域での活動について地域住民の有志による活動に“企画・運営として”参加したい方は、「既に参加している」、「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせて37.0%となっており、“参加者として”参加したいに比べ、割合が低くなっています。
- ◆ 地域活動は、“企画・運営として”参加する前に、まず“参加者として”地域活動に参加することで、地域活動が広がっていくことから、気軽に地域活動に参加できる体制を整えることが重要です。前述のように、インターネットを利用している人が多いことから、パソコンやスマートフォンでホームページ、SNSを活用して、活動や交流の場を周知し、参加者の輪を広げることが有用と考えられます。
- ◆ また、気軽に参加するためには、活動の内容を多様にすることも有用と考えられます。例えば、セミナーや学びの場といった“個人でも楽しめるコンテンツ”を充実し、参加内容の選択肢を増やすことで、地域活動参加の“はじめの一歩”を促すことができると考えられます。

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が62.2%と最も高く、次いで「友人」の割合が41.1%、「別居の子ども」の割合が33.7%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、7点以上で「配偶者」の割合が高くなっています。

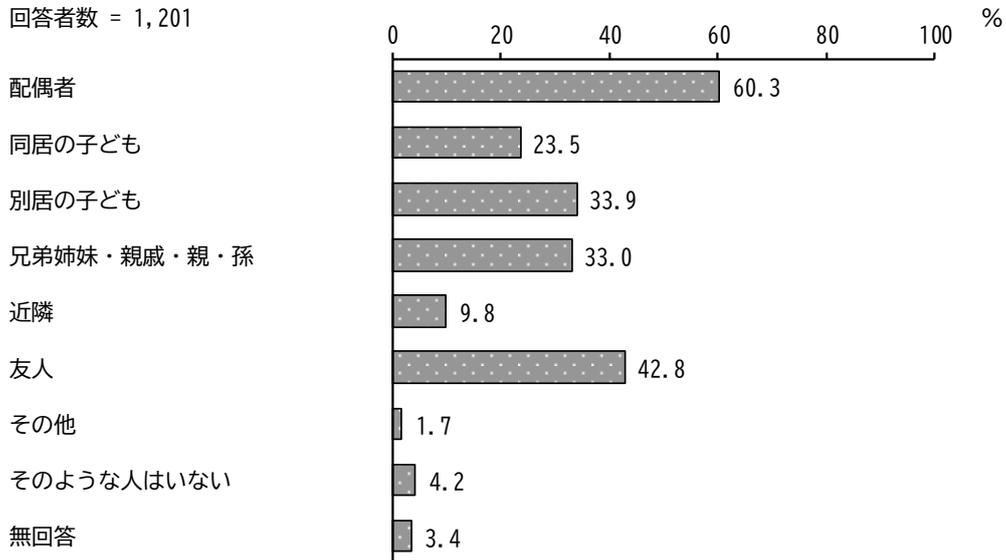
単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全体	1,201	62.2	25.5	33.7	31.1	6.9	41.1	2.3	2.7	2.0
4点未満	30	26.7	20.0	23.3	16.7	6.7	26.7	6.7	13.3	3.3
4点以上7点未満	388	52.6	20.1	28.9	27.8	4.4	38.4	1.8	4.9	0.8
7点以上	755	68.7	28.7	37.4	33.8	8.2	43.6	2.5	1.2	2.1

※幸福度とは、「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてアンケート回答者が自己評価したもの。【問7 健康について(2)あなたは、現在どの程度幸せですか P91】

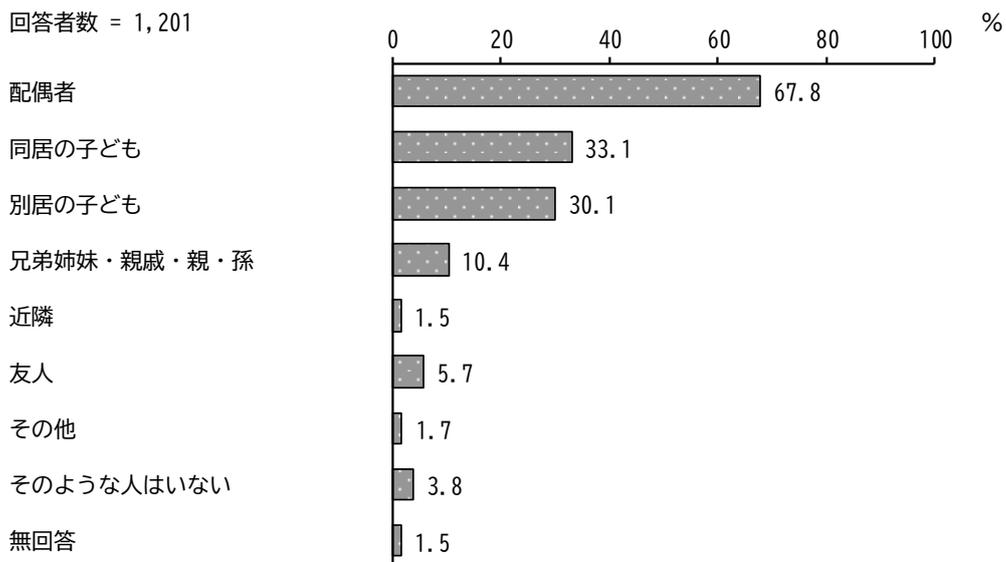
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が60.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が42.8%、「別居の子ども」の割合が33.9%となっています。



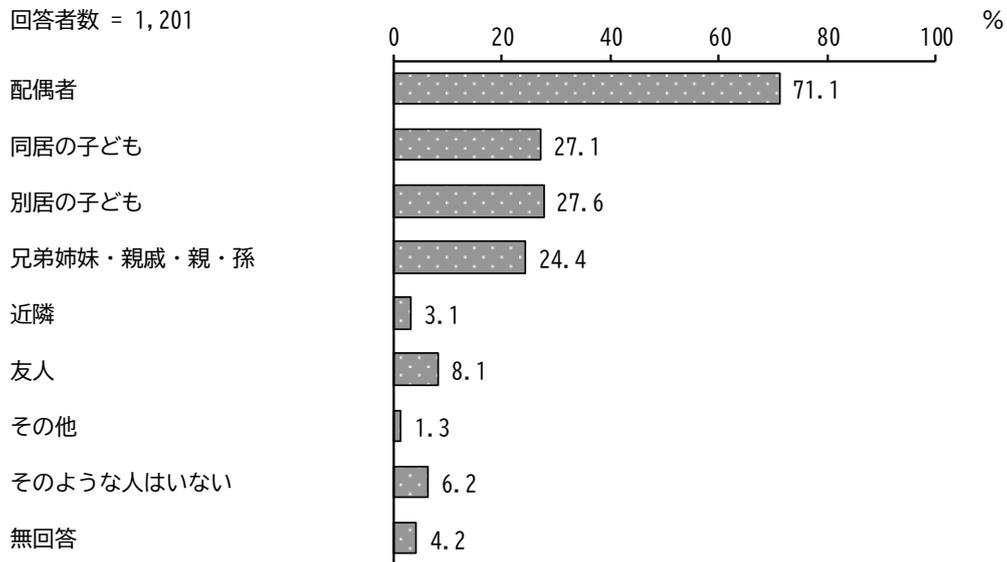
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が67.8%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が33.1%、「別居の子ども」の割合が30.1%となっています。



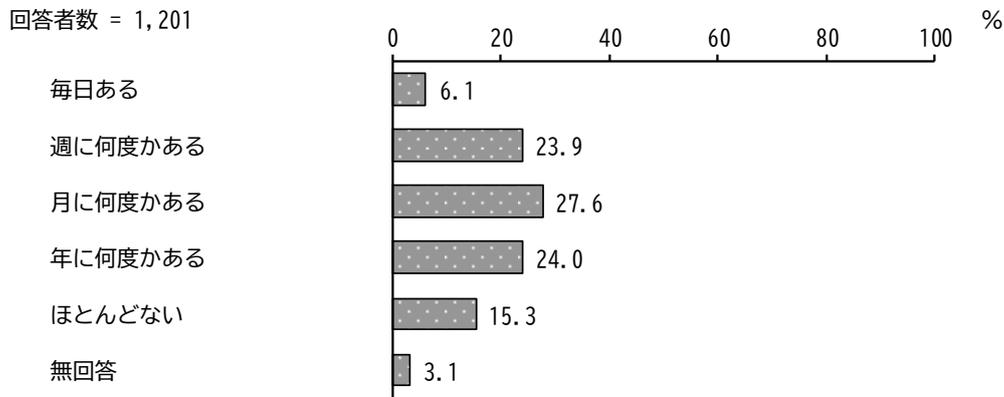
(4) 反対に、あなたが看病や世話をしあける人。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が71.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が27.6%、「同居の子ども」の割合が27.1%となっています。



(5) 友人・知人に会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「月に何度かある」の割合が27.6%と最も高く、次いで「年に何度かある」の割合が24.0%、「週に何度かある」の割合が23.9%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、4点未満で「ほとんどない」「年に何度かある」の割合が高くなっています。

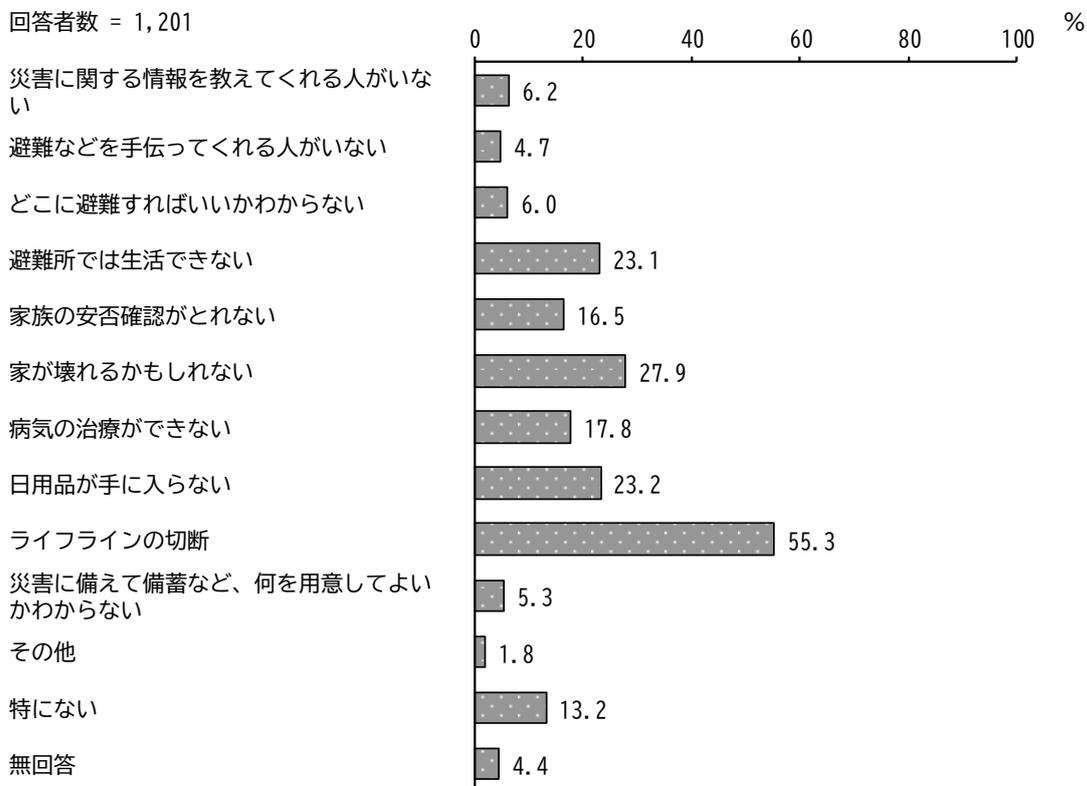
単位：%

区分	回答者数(件)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	1,201	6.1	23.9	27.6	24.0	15.3	3.1
4点未満	30	—	20.0	13.3	33.3	30.0	3.3
4点以上7点未満	388	5.4	20.1	26.0	25.3	19.6	3.6
7点以上	755	6.8	25.6	29.5	23.6	12.5	2.1

※幸福度とは、「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてアンケート回答者が自己評価したもの。【問7 健康について(2)あなたは、現在どの程度幸せですか P91】

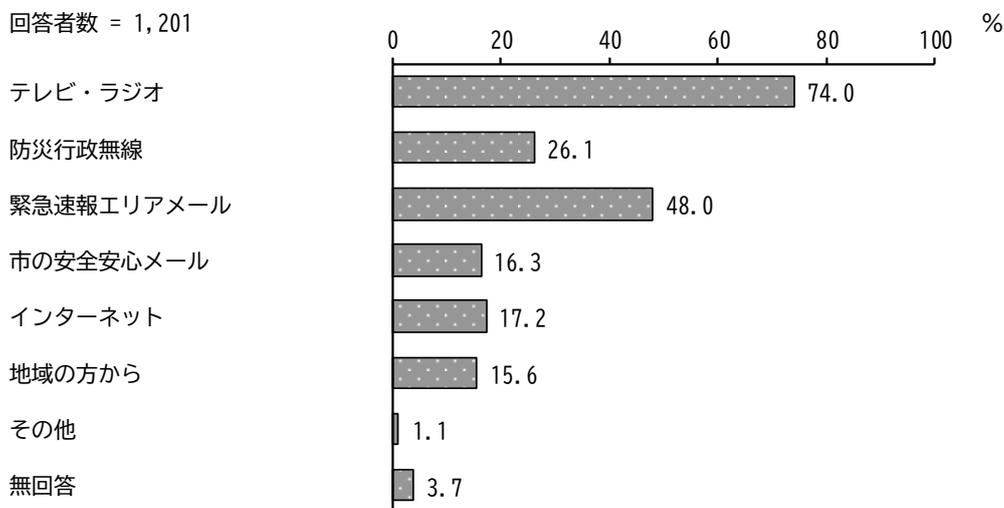
(6) 災害時に、不安に感じることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「ライフラインの切断」の割合が55.3%と最も高く、次いで「家が壊れるかもしれない」の割合が27.9%、「日用品が手に入らない」の割合が23.2%となっています。



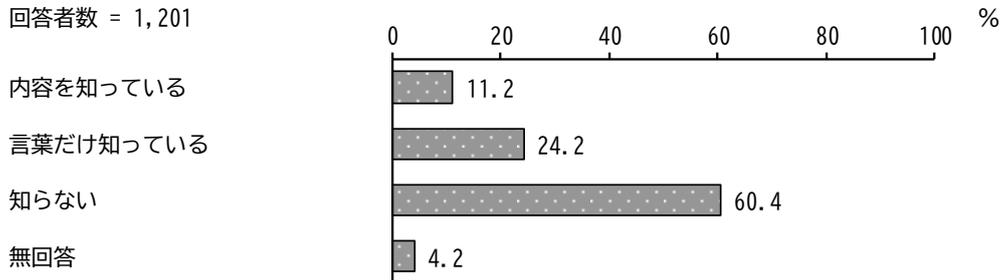
(7) 市からの災害に関する情報をどのように得ていますか。(〇は3つまで)

「テレビ・ラジオ」の割合が74.0%と最も高く、次いで「緊急速報エリアメール」の割合が48.0%、「防災行政無線」の割合が26.1%となっています。



(8) 福祉避難所を知っていますか。(〇は1つ)

「知らない」の割合が60.4%と最も高く、次いで「言葉だけ知っている」の割合が24.2%、「内容を知っている」の割合が11.2%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、90歳以上で「言葉だけ知っている」の割合が、65～69歳で「知らない」の割合が、80～84歳で「言葉だけ知っている」の割合が、85～89歳で「内容を知っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	内容を知っている	言葉だけ知っている	知らない	無回答
全体	1,201	11.2	24.2	60.4	4.2
65～69歳	356	7.0	20.2	69.1	3.7
70～74歳	364	9.1	22.5	65.7	2.7
75～79歳	250	14.4	25.6	57.6	2.4
80～84歳	154	18.2	31.8	43.5	6.5
85～89歳	48	18.8	27.1	33.3	20.8
90歳以上	14	14.3	50.0	35.7	—

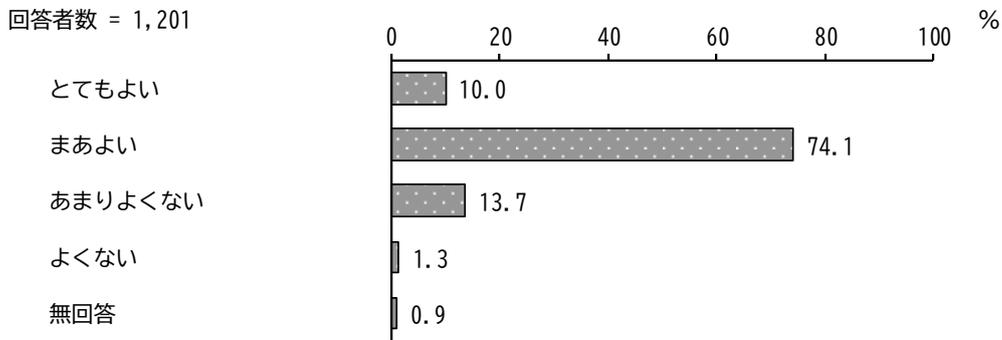
調査結果のまとめ

- ◆ 友人・知人と会う頻度について、「ほとんどない」と回答した人は15.3%となっています。高齢者が地域で孤立することはフレイルや認知症のリスクが高まるため、だれもが地域とのつながりを持てるような取組が必要です。
- ◆ そのため、気軽に地域とのつながりを持てるよう、多様な選択肢を用意することが必要です。例えば、グループで何かをするだけでなく、セミナーや学びの場といった個人でできる地域活動を提供すること、また、ホームページやSNSを活用し、インターネットから参加できる活動や交流の場を提供すること等で、友人づくりや仲間づくりのきっかけをつくる必要があります。

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

「まあよい」の割合が74.1%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が13.7%、「とてもよい」の割合が10.0%となっています。



【年齢別】

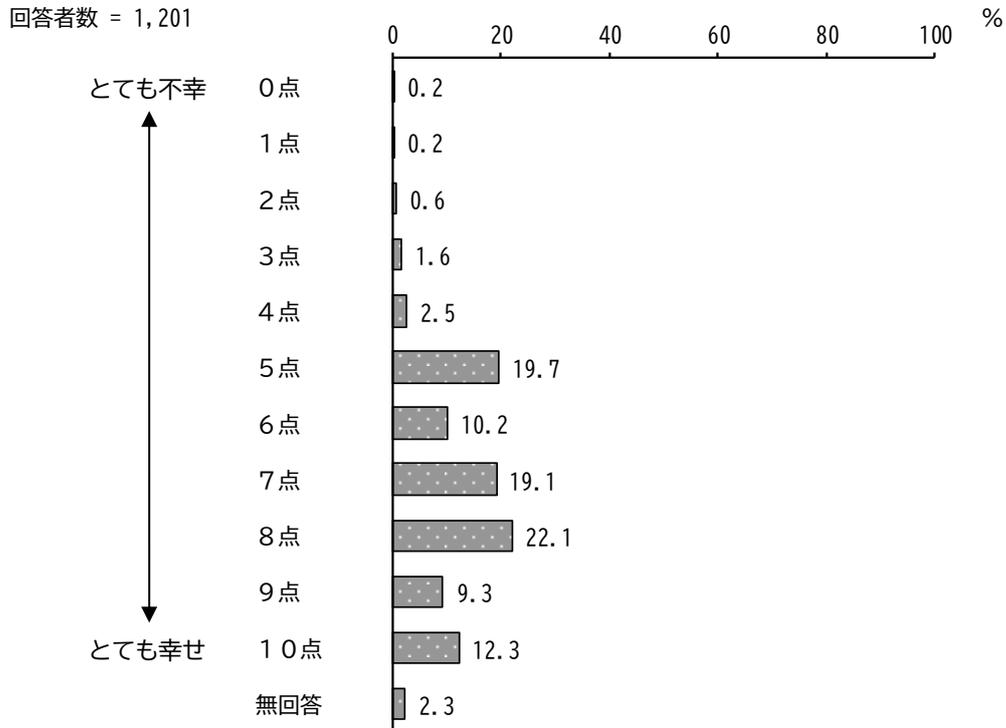
年齢別にみると、他に比べ、80歳以上で「あまりよくない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1,201	10.0	74.1	13.7	1.3	0.9
65～69 歳	356	11.2	77.8	9.3	1.1	0.6
70～74 歳	364	10.2	75.3	12.9	0.8	0.8
75～79 歳	250	10.8	74.4	12.8	0.8	1.2
80～84 歳	154	5.8	70.8	19.5	3.2	0.6
85～89 歳	48	6.3	64.6	27.1	2.1	—
90 歳以上	14	—	57.1	35.7	7.1	—

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

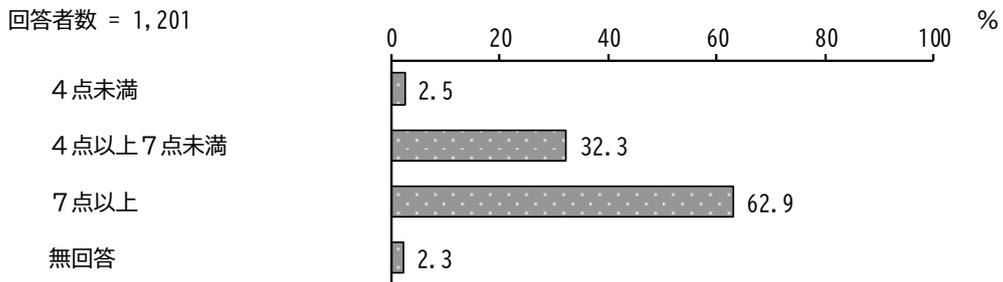
「8点」の割合が22.1%と最も高く、次いで「5点」の割合が19.7%、「7点」の割合が19.1%となっています。



※「とても不幸」0点、「とても幸せ」を10点として回答

【幸福度】

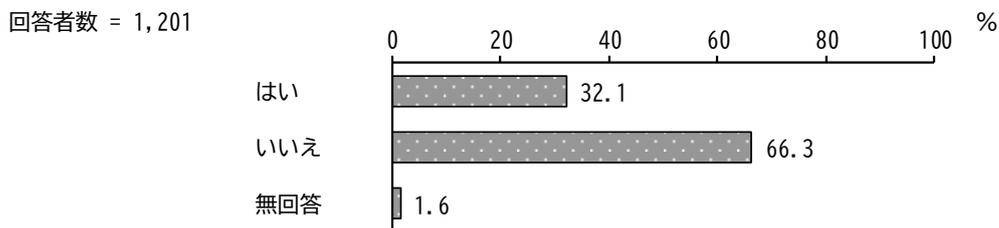
「7点以上」の割合が62.9%と最も高く、次いで「4点以上7点未満」の割合が32.3%となっています。



※幸福度別のクロスについては、一定のN値を確保するため三段階に分類し集計しました。

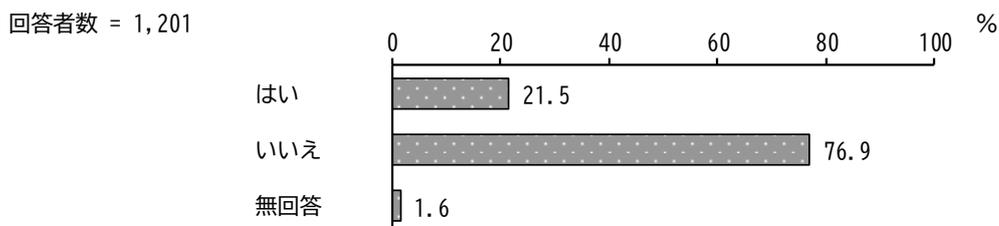
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つ)

「はい」の割合が32.1%、「いいえ」の割合が66.3%となっています。



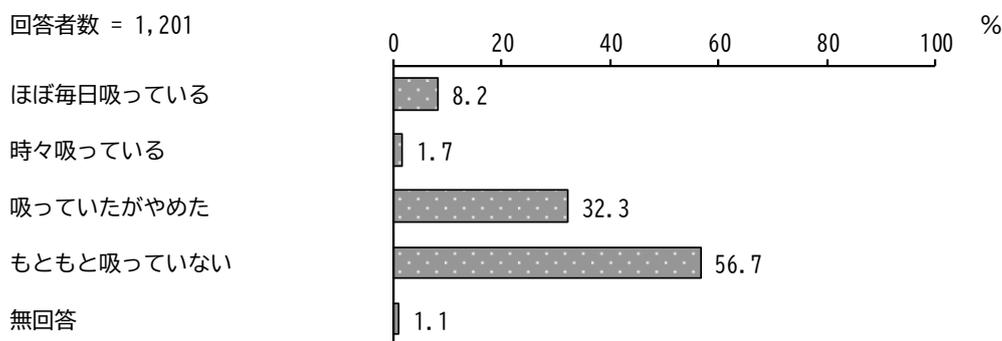
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が21.5%、「いいえ」の割合が76.9%となっています。



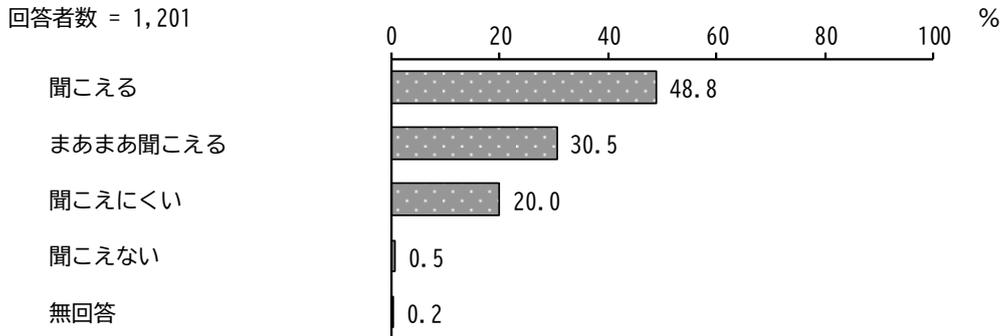
(5) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

「もともと吸っていない」の割合が56.7%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が32.3%となっています。



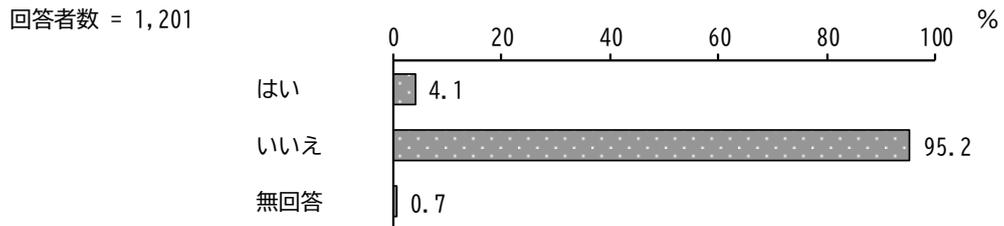
(6) 耳の聞こえに不安はありますか。(○は1つ)

「聞こえる」の割合が48.8%と最も高く、次いで「まあまあ聞こえる」の割合が30.5%、「聞こえにくい」の割合が20.0%となっています。



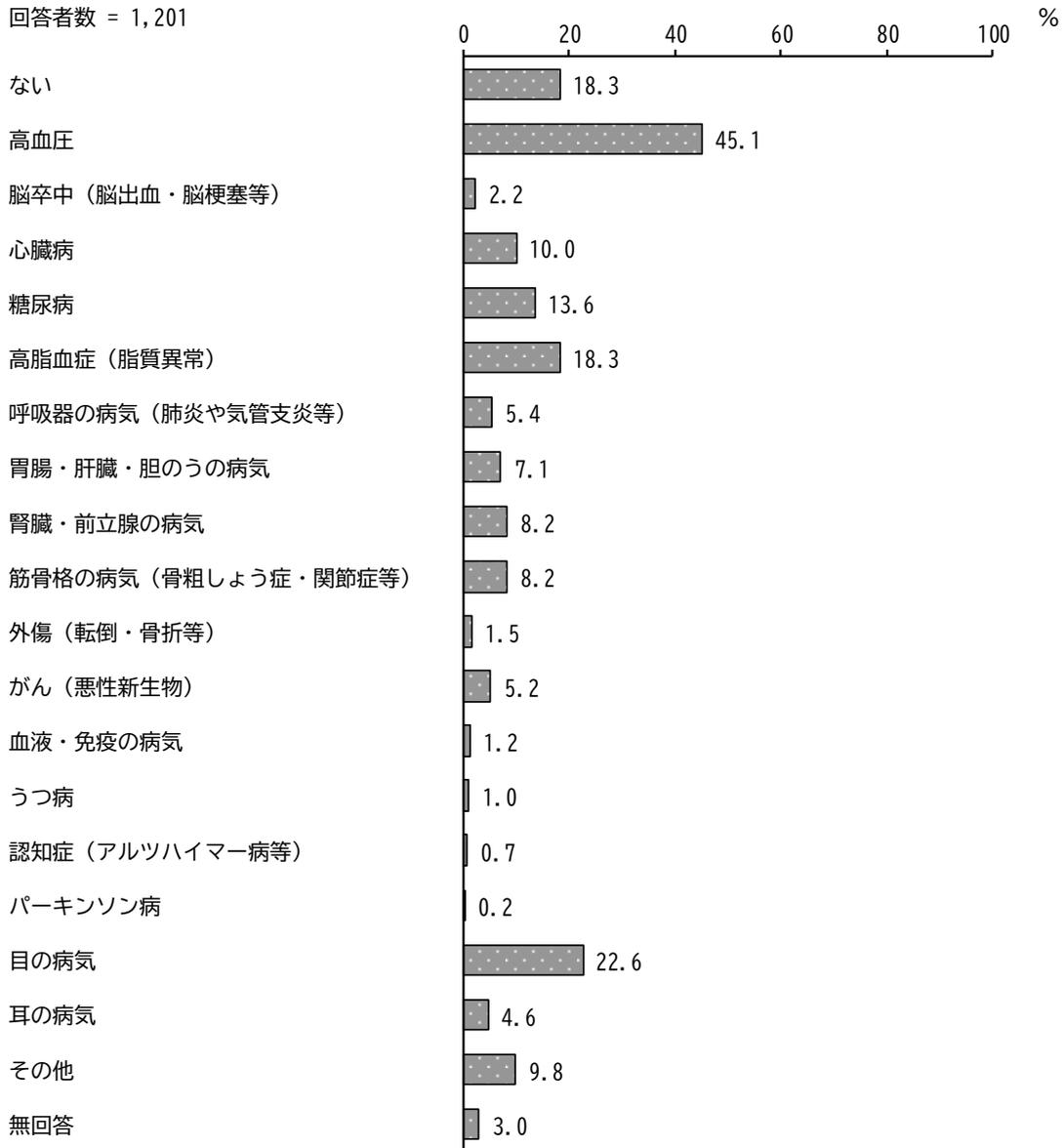
(7) 現在、補聴器を使っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が4.1%、「いいえ」の割合が95.2%となっています。



(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「高血圧」の割合が45.1%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が22.6%、「ない」、「高脂血症(脂質異常)」の割合が18.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、90歳以上で「高血圧」の割合が、80～84歳で「目の病気」の割合が、85～89歳で「目の病気」の割合が高くなっています。

単位：％

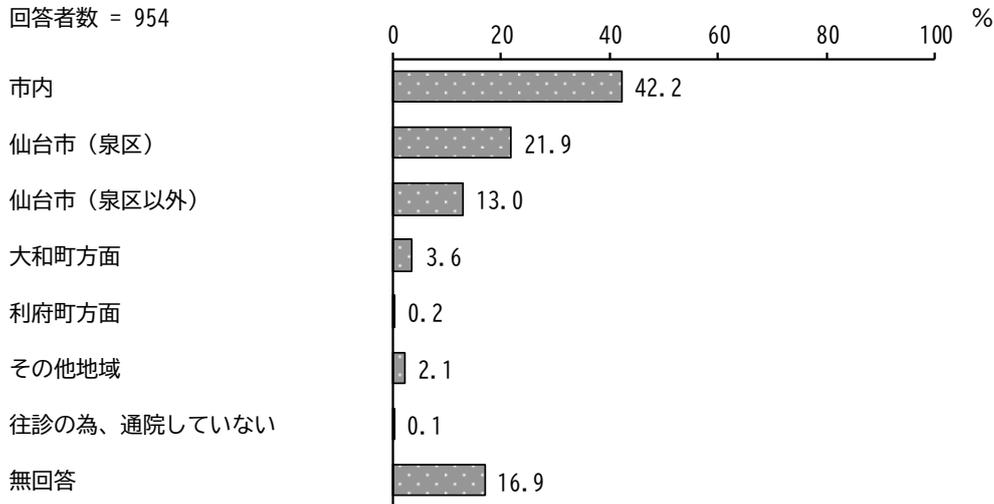
区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	異常(高脂血症(脂質))	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)
全体	1,201	18.3	45.1	2.2	10.0	13.6	18.3	5.4	7.1	8.2	8.2
65～69歳	356	24.7	38.2	0.8	7.3	11.5	17.1	3.7	3.9	3.7	6.5
70～74歳	364	20.1	44.0	1.9	9.1	14.3	17.9	7.1	8.8	8.8	7.4
75～79歳	250	9.2	52.4	3.6	11.6	17.2	21.6	6.4	6.4	11.2	9.6
80～84歳	154	13.6	52.6	1.9	14.9	13.6	22.7	4.5	10.4	13.0	11.7
85～89歳	48	22.9	41.7	4.2	12.5	2.1	4.2	4.2	8.3	10.4	8.3
90歳以上	14	—	64.3	7.1	14.3	7.1	7.1	—	21.4	7.1	21.4

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	1.5	5.2	1.2	1.0	0.7	0.2	22.6	4.6	9.8	3.0
65～69歳	1.7	3.4	1.4	0.6	0.3	0.6	20.2	2.0	10.7	3.4
70～74歳	1.9	6.0	0.8	0.3	0.3	—	18.1	3.6	9.9	3.6
75～79歳	2.0	4.8	1.2	1.2	1.2	—	23.6	4.8	11.6	2.8
80～84歳	—	8.4	1.9	3.9	—	—	36.4	13.0	6.5	—
85～89歳	—	6.3	—	—	4.2	—	31.3	6.3	2.1	6.3
90歳以上	—	—	—	—	—	—	7.1	—	21.4	—

【(8)で「治療中、または後遺症のある病気がある」と回答した方のみ】

①主に通院している医療機関の地域はどこですか。(〇は1つ)

「市内」の割合が42.2%と最も高く、次いで「仙台市（泉区）」の割合が21.9%、「仙台市（泉区以外）」の割合が13.0%となっています。



【圏域別】

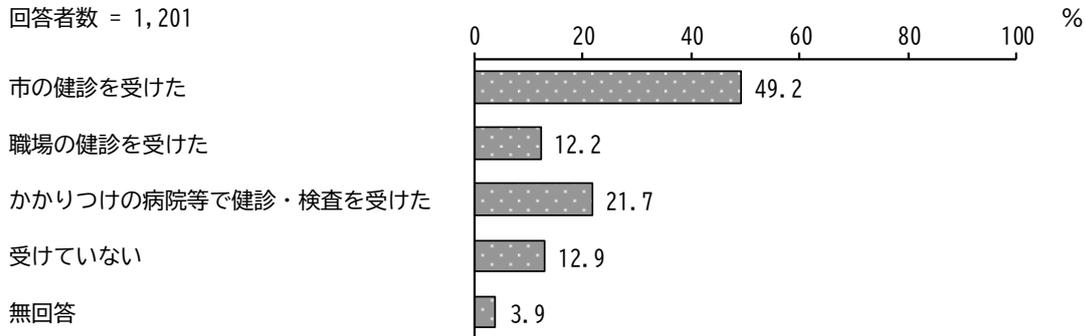
圏域別にみると、他に比べ、富ヶ丘・日吉台圏域で「市内」の割合が、東向陽台・成田圏域で「仙台市（泉区）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	市内	仙台市 (泉区)	外) 仙台市 (泉区以 外)	大和町方面	利府町方面	その他地域	往診の為、 通院 していない	無回答
全 体	954	42.2	21.9	13.0	3.6	0.2	2.1	0.1	16.9
東向陽台・成田圏域	303	31.0	29.0	16.8	0.3	—	3.3	0.3	19.1
富ヶ丘・日吉台圏域	329	49.5	21.9	12.5	1.5	0.3	1.2	—	13.1
富谷中央・あけの平圏域	307	44.6	16.0	9.8	9.1	0.3	1.6	—	18.6

（９）過去１年以内に健診や人間ドックを受けましたか。（○は１つ）

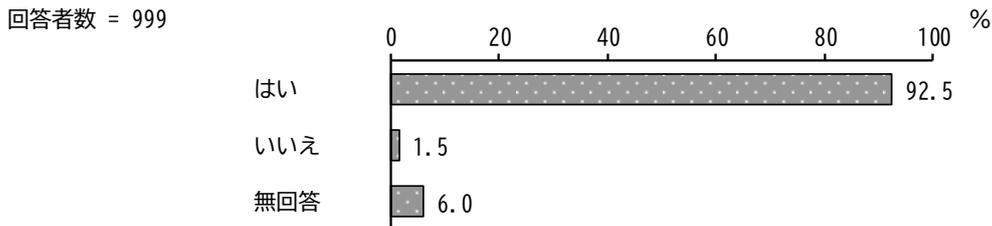
「市の健診を受けた」の割合が49.2%と最も高く、次いで「かかりつけの病院等で健診・検査を受けた」の割合が21.7%、「受けていない」の割合が12.9%となっています。



【（９）で「健診や人間ドックを受けた」と回答した方のみ】

①健診結果を確認しましたか。（○は１つ）

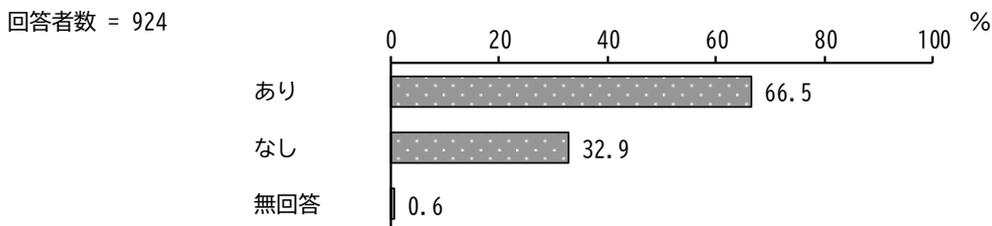
「はい」の割合が92.5%、「いいえ」の割合が1.5%となっています。



【①で「はい」と回答した方のみ】

②健診で「所見あり」となった項目はありますか。（○は１つ）

「あり」の割合が66.5%、「なし」の割合が32.9%となっています。

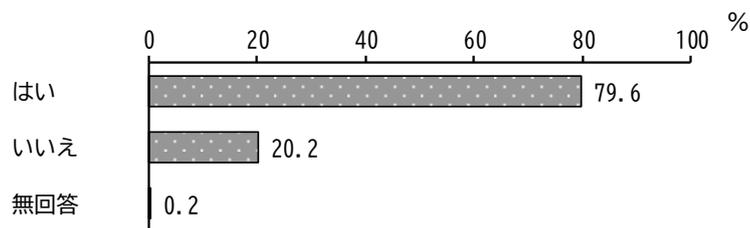


【②で「あり」と回答した方のみ】

③「所見あり」となった項目について、受診や相談をしましたか。(〇は1つ)

「はい」の割合が79.6%、「いいえ」の割合が20.2%となっています。

回答者数 = 614

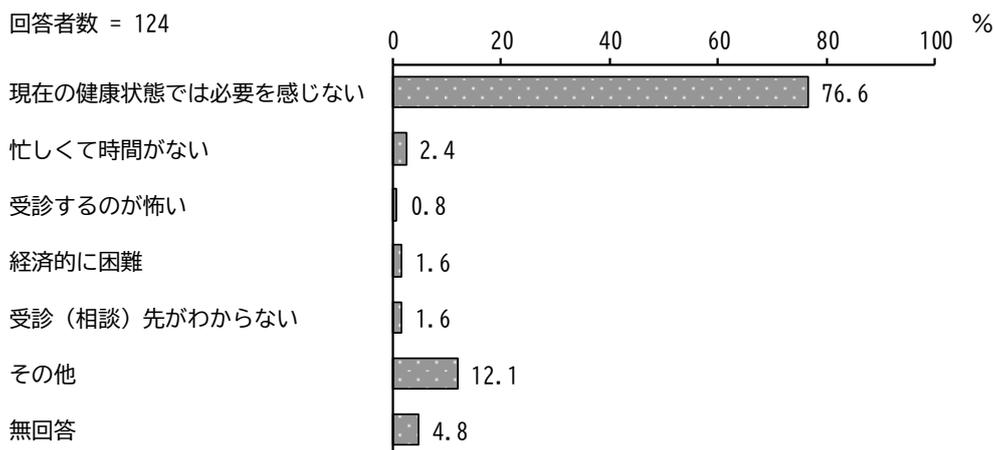


【③で「いいえ」と回答した方のみ】

④受診や相談をしない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

「現在の健康状態では必要を感じない」の割合が76.6%と最も高くなっています。

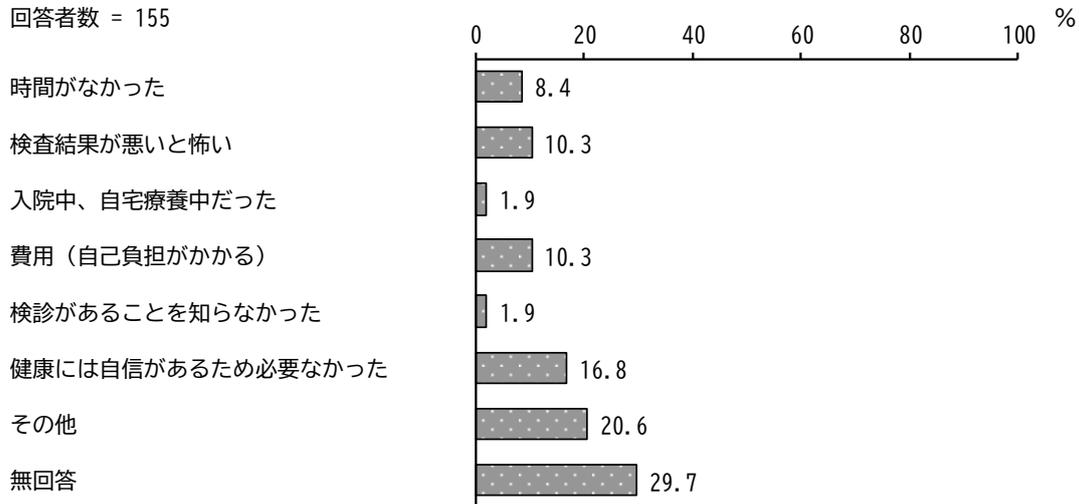
回答者数 = 124



【(9)で「受けていない」と回答した方のみ】

①健診や人間ドックを受けなかった（受けない）最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

「健康には自信があるため必要なかった」の割合が16.8%と最も高く、次いで「検査結果が悪いと怖い」、「費用（自己負担がかかる）」の割合が10.3%となっています。



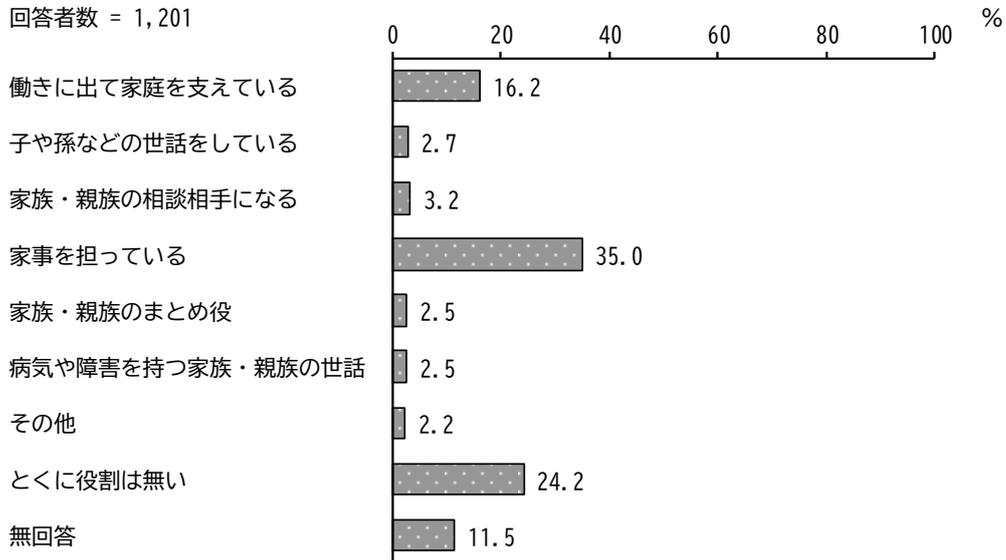
調査結果のまとめ

- ◆ 主観的健康観について「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“健康状態が良い方”は84.1%で、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた“健康状態が悪い方”は15.0%となっています。
- ◆ 現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」（45.1%）が最も高く、他にも「脳卒中」（2.2%）、「心臓病」（10.0%）、「糖尿病」（13.6%）、「高脂血症」（18.3%）、「がん」（5.2%）といった、生活習慣病に関連する疾病が既往症の多くを占めています。
- ◆ そのため、生活習慣病を予防することが、介護予防において重要なファクターになると考えられます。国民健康保険の特定健診などの医療保険との連携を強化し、生活習慣病を予防するなど、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施することが重要です。

問8 家庭や地域での役割や毎日の行動について

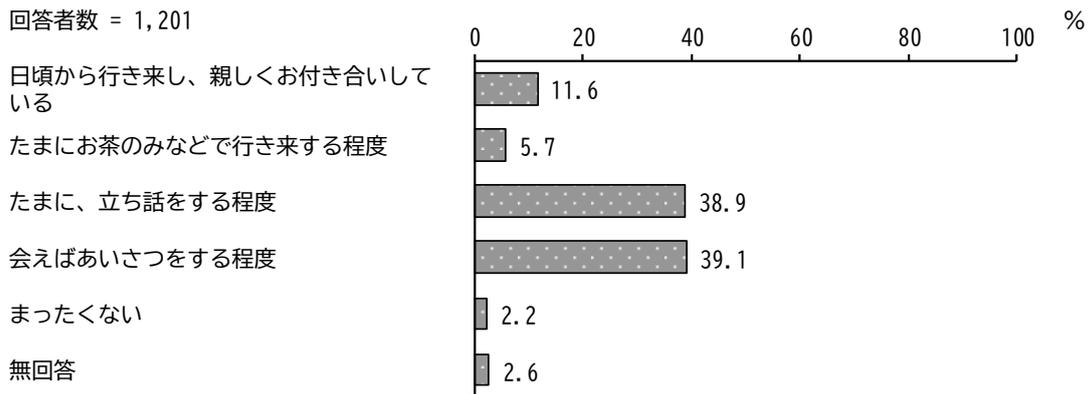
(1) 家庭での役割はどのようなことですか。(○は1つ)

「家事を担っている」の割合が35.0%と最も高く、次いで「とくに役割は無い」の割合が24.2%、「働きに出て家庭を支えている」の割合が16.2%となっています。



(2) 隣近所の方と、どのようなお付き合いをしていますか。(○は1つ)

「会えばあいさつをする程度」の割合が39.1%と最も高く、次いで「たまに、立ち話をする程度」の割合が38.9%、「日頃から行き来し、親しくお付き合いしている」の割合が11.6%となっています。



【家族構成】

家族構成にみると、他に比べ、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）で「会えばあいさつをする程度」の割合が、1人暮らしで「日頃から行き来し、親しくお付き合いしている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	日頃から行き来し、親しくお付き合いしている	たまにお茶のみなどで行き来する程度	たまに、立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	まったくない	無回答
全 体	1,201	11.6	5.7	38.9	39.1	2.2	2.6
1人暮らし	123	17.1	5.7	34.1	39.8	1.6	1.6
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	477	9.0	5.0	43.4	37.9	1.9	2.7
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	65	7.7	6.2	36.9	47.7	1.5	—
息子・娘との2世代	341	11.7	4.4	38.7	40.2	2.1	2.9
その他	162	15.4	9.3	32.7	38.9	2.5	1.2

【タイプ別】

タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的、インドア派内向的で「会えばあいさつをする程度」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	日頃から行き来し、親しくお付き合いしている	たまにお茶のみなどで行き来する程度	たまに、立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	まったくない	無回答
全 体	1,201	11.6	5.7	38.9	39.1	2.2	2.6
インドア派 外交的	109	6.4	5.5	28.4	51.4	4.6	3.7
インドア派 内向的	64	1.6	7.8	39.1	46.9	3.1	1.6
アウトドア派 外交的	467	13.1	4.9	39.0	37.7	2.4	3.0
アウトドア派 内向的	491	11.8	6.5	41.5	38.7	0.8	0.6

※区分の分類については5P（タイプ別分類）を参照

【圏域別×タイプ別】

圏域別×タイプ別にみると、東向陽台・成田圏域インドア派外交的で「会えばあいさつをする程度」の割合が、東向陽台・成田圏域インドア派内向的で「会えばあいさつをする程度」の割合が、富ヶ丘・日吉台圏域インドア派内向的で「たまに、立ち話をする程度」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	日頃から行き来し、親しくお付き合っている	たまにお茶のみなどで行き来する程度	たまに、立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	まったくくない	無回答
東向陽台・成田圏域 インドア派 外交的	33	－	6.1	24.2	63.6	6.1	－
東向陽台・成田圏域 インドア派 内向的	23	－	4.3	30.4	60.9	4.3	－
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 外交的	160	11.9	2.5	37.5	41.9	3.1	3.1
東向陽台・成田圏域 アウトドア派 内向的	155	8.4	7.7	39.4	42.6	0.6	1.3
区分	回答者数(件)	日頃から行き来し、親しくお付き合っている	たまにお茶のみなどで行き来する程度	たまに、立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	まったくくない	無回答
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 外交的	33	12.1	3.0	33.3	42.4	3.0	6.1
富ヶ丘・日吉台圏域 インドア派 内向的	19	－	5.3	52.6	42.1	－	－
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 外交的	170	11.8	5.9	40.0	35.9	2.4	4.1
富ヶ丘・日吉台圏域 アウトドア派 内向的	167	12.0	6.0	43.7	37.1	1.2	－
区分	回答者数(件)	日頃から行き来し、親しくお付き合っている	たまにお茶のみなどで行き来する程度	たまに、立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	まったくくない	無回答
富谷中央・あけの平圏域 インドア派 外交的	41	7.3	7.3	26.8	48.8	4.9	4.9
富谷中央・あけの平圏域 インドア派 内向的	20	－	15.0	35.0	40.0	5.0	5.0
富谷中央・あけの平圏域 アウトドア派 外交的	137	16.1	6.6	39.4	35.0	1.5	1.5
富谷中央・あけの平圏域 アウトドア派 内向的	168	14.3	6.0	41.7	36.9	0.6	0.6

【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、4点以上7点未満で「会えばあいさつをする程度」の割合が高くなっています。

単位：％

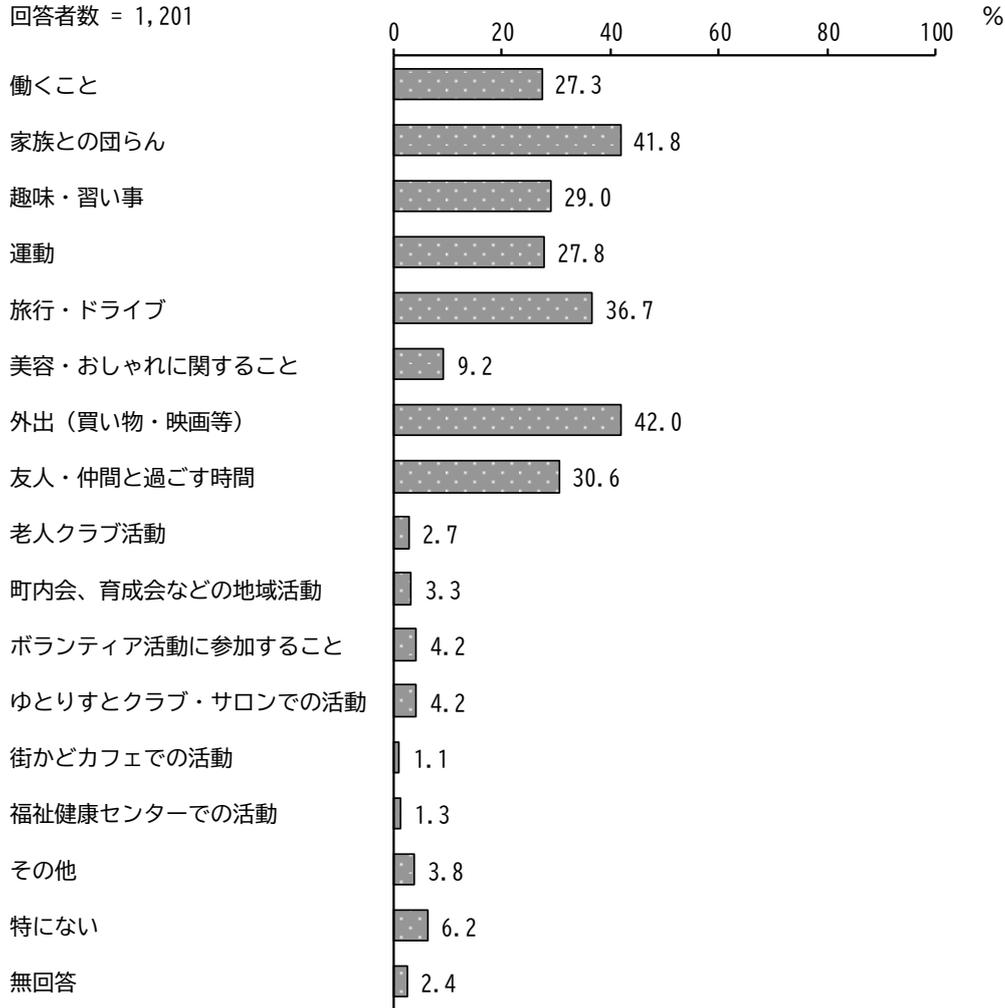
区分	回答者数 (件)	日頃から行き来し、親しくお付き合っている	たまにお茶のみなどで行き来する程度	たまに、立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	まったくない	無回答
全 体	1,201	11.6	5.7	38.9	39.1	2.2	2.6
4点未満	30	3.3	10.0	33.3	43.3	10.0	—
4点以上7点未満	388	7.5	5.9	34.0	46.9	2.1	3.6
7点以上	755	14.2	5.4	41.9	35.0	1.9	1.7

※幸福度とは、「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてアンケート回答者が自己評価したもの。【問7 健康について(2)あなたは、現在どの程度幸せですか P91】



(3) 生きがいや楽しみのある生活のためにやっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

「外出(買い物・映画等)」の割合が42.0%と最も高く、次いで「家族との団らん」の割合が41.8%、「旅行・ドライブ」の割合が36.7%となっています。



【性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「働くこと」の割合が、女性で「友人・仲間と過ごす時間」「外出(買い物・映画等)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	働くこと	家族との団らん	趣味・習い事	運動	旅行・ドライブ	美容・おしゃれに関すること	外出(買い物・映画等)	友人・仲間と過ごす時間
全体	1,201	27.3	41.8	29.0	27.8	36.7	9.2	42.0	30.6
男性	514	37.9	39.7	28.4	33.5	42.0	0.4	35.2	22.4
女性	560	16.6	45.4	30.0	24.1	32.3	16.4	48.2	37.9

区分	老人クラブ活動	町内会、育成会などの地域活動	ボランティア活動に参加すること	ゆとりすとクラブ・サロンでの活動	街かどカフェでの活動	福祉健康センターでの活動	その他	特にない	無回答
全体	2.7	3.3	4.2	4.2	1.1	1.3	3.8	6.2	2.4
男性	3.1	5.1	4.3	1.8	1.0	0.6	4.5	7.6	1.4
女性	2.3	2.3	4.6	6.1	1.3	2.0	3.6	5.5	3.0

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65～69歳で「働くこと」「旅行・ドライブ」の割合が、70～74歳で「友人・仲間と過ごす時間」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	働くこと	家族との団らん	趣味・習い事	運動	旅行・ドライブ	美容・おしゃれに関すること	外出(買い物・映画等)	友人・仲間と過ごす時間
全体	1,201	27.3	41.8	29.0	27.8	36.7	9.2	42.0	30.6
65～69歳	356	37.6	44.7	29.5	27.2	45.8	11.8	44.9	30.3
70～74歳	364	31.3	41.5	31.6	28.3	41.5	9.1	45.9	36.3
75～79歳	250	22.4	42.8	31.2	28.8	33.6	8.4	39.2	28.4
80～84歳	154	10.4	35.1	26.0	33.1	22.7	5.8	38.3	32.5
85～89歳	48	8.3	43.8	14.6	12.5	6.3	2.1	27.1	14.6
90歳以上	14	—	28.6	7.1	21.4	14.3	—	21.4	—

区分	老人クラブ活動	町内会、育成会などの地域活動	ボランティア活動に参加すること	活動・サロンでの活動	ゆとりすくとクラブ・サロンの活動	街かどカフェでの活動	福祉健康センターでの活動	その他	特になし	無回答
全体	2.7	3.3	4.2	4.2	1.1	1.3	3.8	6.2	2.4	
65～69歳	—	2.2	4.2	1.4	0.6	—	3.4	7.3	—	
70～74歳	1.6	3.0	3.6	2.5	1.4	0.5	3.3	3.0	1.6	
75～79歳	2.4	4.4	6.8	4.8	0.4	2.0	6.0	5.6	3.2	
80～84歳	9.7	4.5	3.2	9.1	3.2	4.5	3.9	9.1	5.8	
85～89歳	8.3	6.3	—	16.7	—	2.1	2.1	10.4	8.3	
90歳以上	7.1	—	—	7.1	—	7.1	—	28.6	—	

調査結果のまとめ

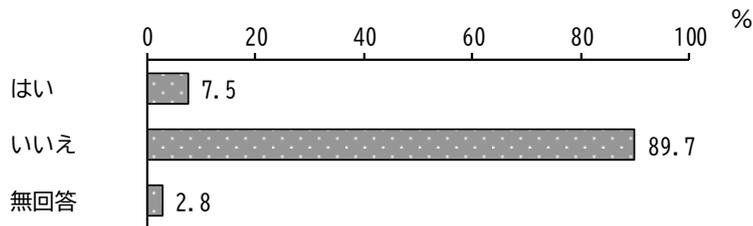
- ◆ 家庭での役割の状況について、「家事を担っている」が 35.0%と最も高くなっています。一方、「とくに役割は無い」が 24.2%となっています。
- ◆ 隣近所の方と、付き合いの程度をみると、ほとんどの人が何らかの付き合いをしています。この好材料を地域におけるたすけ合いに生かして地域づくりを推進していくことが期待できます。
- ◆ 一方、隣近所との付き合いが「まったくない」人は 2.2%にとどまっています。しかし、幸福度とのクロスで見ると、幸福度が低い人では隣近所との付き合いが「まったくない」人が 10.0%と高くなっていることから、近所づきあいがの程度と幸福度に密接な関連性があり、人との交流機会などをもつことが、幸せないきがいのある暮らしをしていくうえで重要と考えられます。

問9 認知症及び介護の相談窓口について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

「はい」の割合が7.5%、「いいえ」の割合が89.7%となっています。

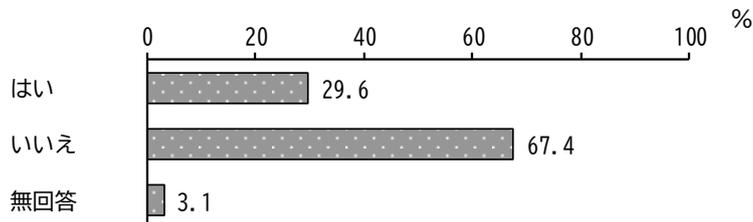
回答者数 = 1,201



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が29.6%、「いいえ」の割合が67.4%となっています。

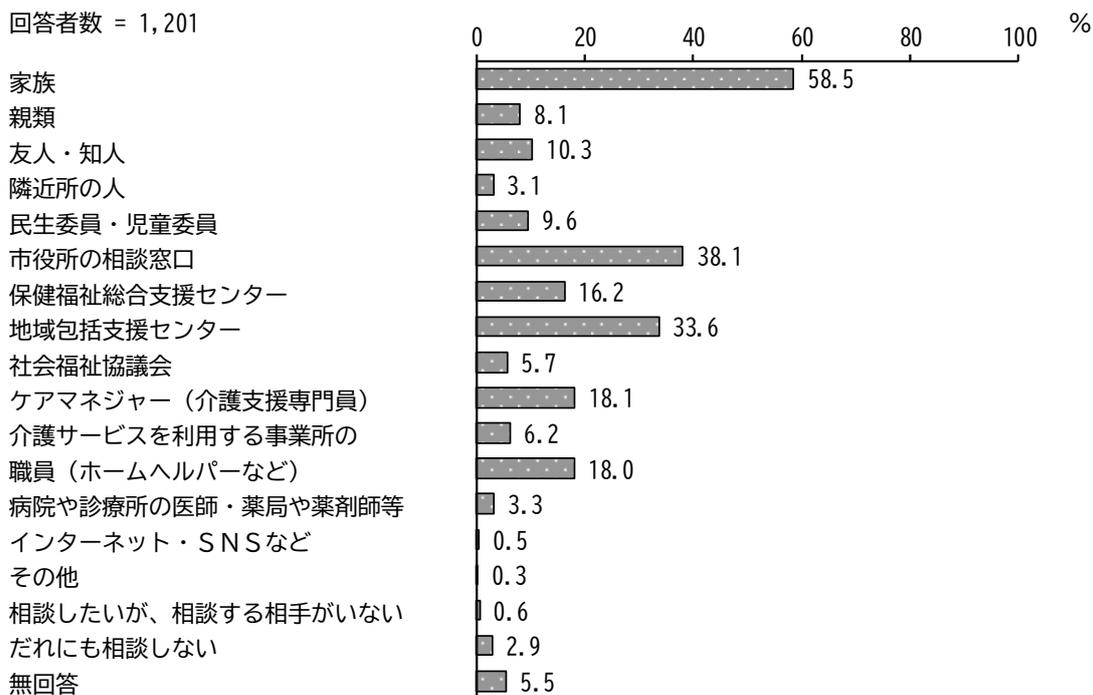
回答者数 = 1,201



(3) 介護について、どこに相談したいと思いますか。(○はいくつでも)

「家族」の割合が58.5%と最も高く、次いで「市役所の相談窓口」の割合が38.1%、「地域包括支援センター」の割合が33.6%となっています。

回答者数 = 1,201



【家族構成】

家族構成にみると、他に比べ、息子・娘との2世代で「家族」の割合が、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「市役所の相談窓口」の割合が高くなっています。

単位：%

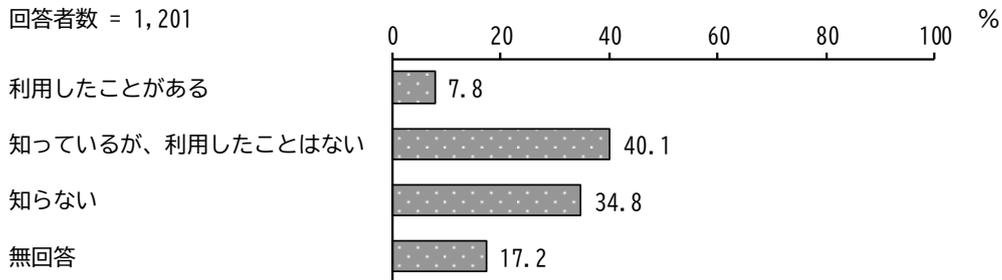
区分	回答者数(件)	家族	親類	友人・知人	隣近所の人	委員 民生委員・児童	□ 市役所の相談窓	援 センター 保健福祉総合支	地域包括支援セ ンター	社会福祉協議会
全 体	1,201	58.5	8.1	10.3	3.1	9.6	38.1	16.2	33.6	5.7
1人暮らし	123	38.2	12.2	14.6	2.4	17.9	26.8	12.2	26.0	4.9
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	477	60.8	8.6	11.9	3.8	8.4	43.6	15.7	37.1	5.7
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	65	60.0	13.8	10.8	3.1	6.2	36.9	13.8	35.4	3.1
息子・娘との2世 代	341	64.2	5.3	7.0	2.9	9.7	36.7	18.2	35.8	6.7
その他	162	58.6	8.0	8.6	1.9	8.6	36.4	17.9	26.5	5.6

区分	ケアマネジャー (介護支援専門 員)	介護サービス を利用する事業所	職員(ホームヘ ルパーなど)	病院や診療所の 医師・薬局や薬 剤師等	インターネッ ト・SNSなど	その他	相談したいが、 相談する相手 がない	だれにも相談 しない	無回答
全 体	18.1	6.2	18.0	3.3	0.5	0.3	0.6	2.9	5.5
1人暮らし	13.8	2.4	13.8	0.8	-	-	1.6	4.1	8.9
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	18.2	6.3	21.0	3.6	0.6	0.6	0.6	2.9	3.6
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	15.4	7.7	15.4	12.3	-	-	-	4.6	3.1
息子・娘との2世 代	19.4	7.0	17.3	2.9	0.6	0.3	0.6	1.8	6.2
その他	21.0	6.2	16.7	2.5	0.6	-	-	3.7	4.9

(4) 地域包括支援センターで実施している主な事業の利用状況について伺います。

①介護や福祉、医療等に関する相談（電話や窓口相談、訪問での相談等）

「知っているが、利用したことはない」の割合が40.1%と最も高く、次いで「知らない」の割合が34.8%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

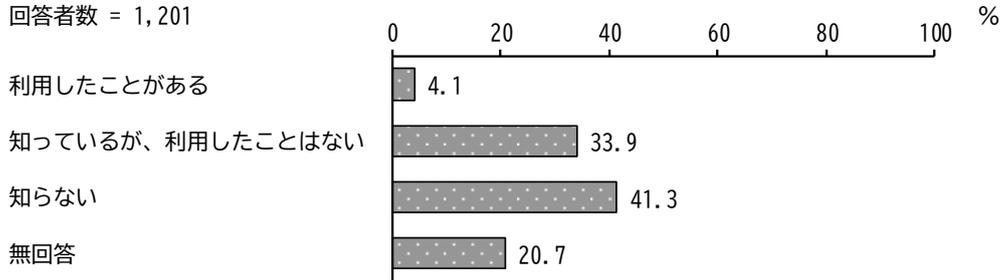
単位：%

区分	回答者数 (件)	ある 利用 した こと が	ない 利用 した こと は 知 っ て い る が、	知らない	無 回 答
全 体	1,201	7.8	40.1	34.8	17.2
東向陽台・成田圏域	395	8.9	36.5	39.0	15.7
富ヶ丘・日吉台圏域	408	7.1	44.6	32.1	16.2
富谷中央・あけの平圏域	378	7.4	40.2	33.6	18.8

(4) 地域包括支援センターで実施している主な事業の利用状況について伺います。

②介護予防に関すること（教室や講話等）

「知らない」の割合が41.3%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が33.9%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

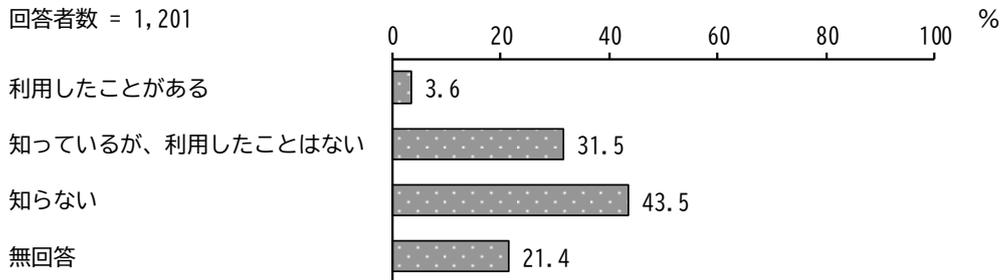
単位：%

区分	回答者数 (件)	ある 利用した ことが	ない 利用した ことが、 知っている が、	知らない	無 回答
全 体	1,201	4.1	33.9	41.3	20.7
東向陽台・成田圏域	395	4.3	31.9	44.6	19.2
富ヶ丘・日吉台圏域	408	3.7	36.3	41.4	18.6
富谷中央・あけの平圏域	378	4.0	35.2	38.1	22.8

(4) 地域包括支援センターで実施している主な事業の利用状況について伺います。

③認知症に関すること（教室や講話、認知症カフェ等）

「知らない」の割合が43.5%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が31.5%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

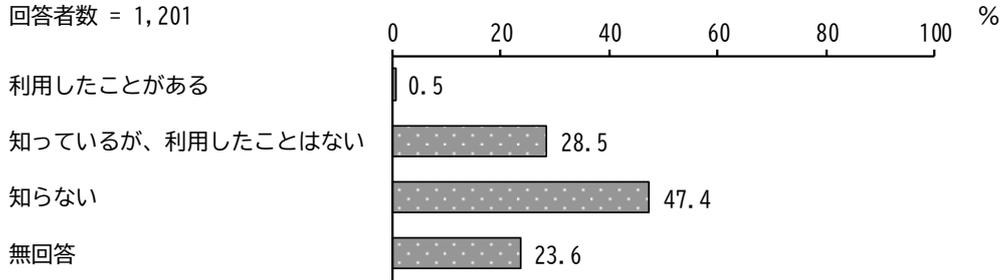
単位：%

区分	回答者数 (件)	ある 利用 した こと が	ない 利用 した こと は 知 っ て い る が、	知らない	無 回 答
全 体	1,201	3.6	31.5	43.5	21.4
東向陽台・成田圏域	395	4.1	30.1	46.8	19.0
富ヶ丘・日吉台圏域	408	3.2	34.1	42.4	20.3
富谷中央・あけの平圏域	378	3.4	31.5	41.8	23.3

(4) 地域包括支援センターで実施している主な事業の利用状況について伺います。

④権利を守ること（消費者被害や虐待等についての教室や相談）

「知らない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が28.5%となっています。



【圏域別】

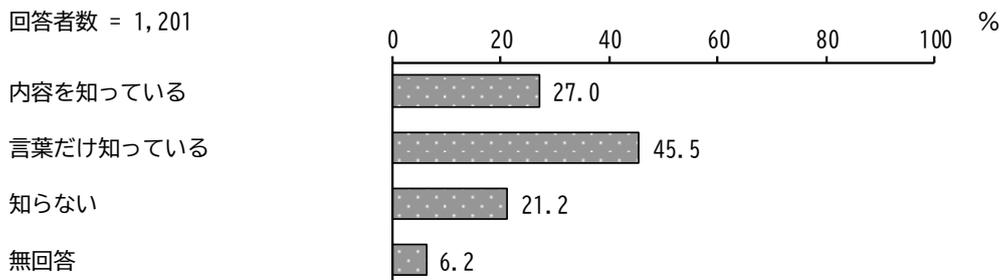
圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある 利用 した こと が	ない 利用 した こと は 知 っ て い る が、	知らない	無 回 答
全 体	1,201	0.5	28.5	47.4	23.6
東向陽台・成田圏域	395	0.5	26.1	51.4	22.0
富ヶ丘・日吉台圏域	408	0.2	30.1	47.3	22.3
富谷中央・あけの平圏域	378	0.5	30.4	43.9	25.1

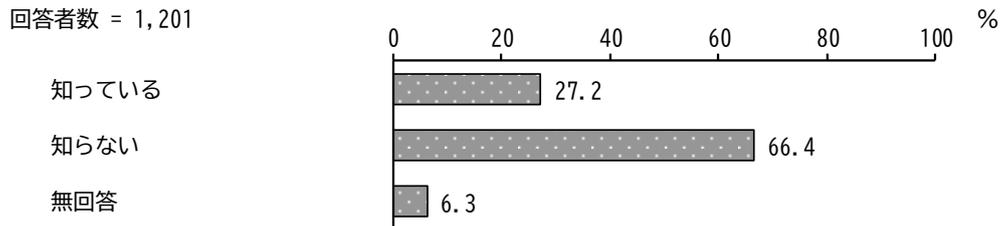
(5) 「成年後見制度」について、知っていますか。(○は1つ)

「言葉だけ知っている」の割合が45.5%と最も高く、次いで「内容を知っている」の割合が27.0%、「知らない」の割合が21.2%となっています。



(6) 「成年後見制度」の相談先を知っていますか。(〇は1つ)

「知っている」の割合が27.2%、「知らない」の割合が66.4%となっています。



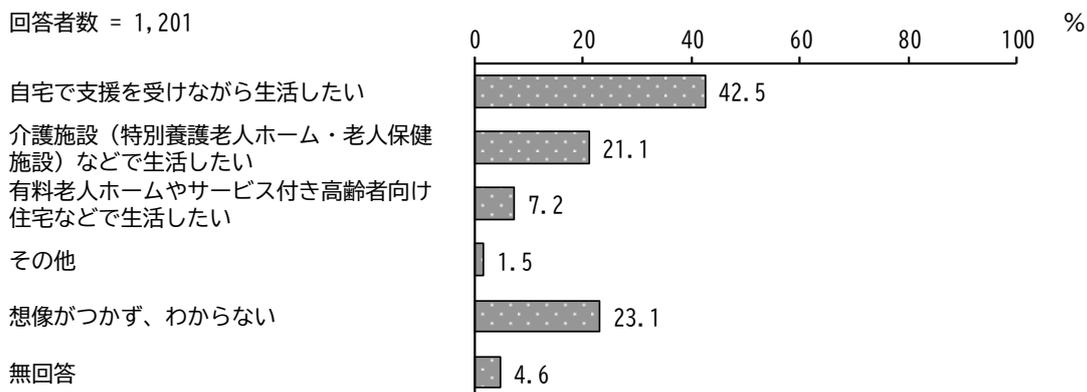
調査結果のまとめ

- ◆ 認知症に関する相談窓口の認知度をみると、知っている方が29.6%となっています。
- ◆ 認知症については、本人や家族に症状が顕在化した時点で気づくこととなり、認知症予防に関するニーズは高いといえます。そのため、広報による周知・啓発のほか、SNSでの周知・啓発を強化するとともに、シニアクラブ（老人クラブ）など高齢者に関連する地域活動の場における周知・啓発活動も今後も継続的に推進する必要があると考えられます。
- ◆ また、地域包括支援センターで実施している主な事業の利用状況について「①介護や福祉、医療等に関する相談」「②介護予防に関すること」「③認知症に関すること」「④権利を守ること」について知らないが約4割となっており、支援が必要な人が支援につながるよう地域包括支援センターの認知度を高め、利用促進を図ることが必要です。

問10 今後の介護について

(1) あなた自身に介護が必要となった場合に、どのような介護を受けながら生活したいと思いますか。(〇は1つ)

「自宅で支援を受けながら生活したい」の割合が42.5%と最も高く、次いで「想像がつかず、わからない」の割合が23.1%、「介護施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設）などで生活したい」の割合が21.1%となっています。



【第2号被保険者対象ニーズ調査との比較】

第2号被保険者調査との比較でみると、「自宅で支援を受けながら生活したい」の割合が高くなっています。

単位：%

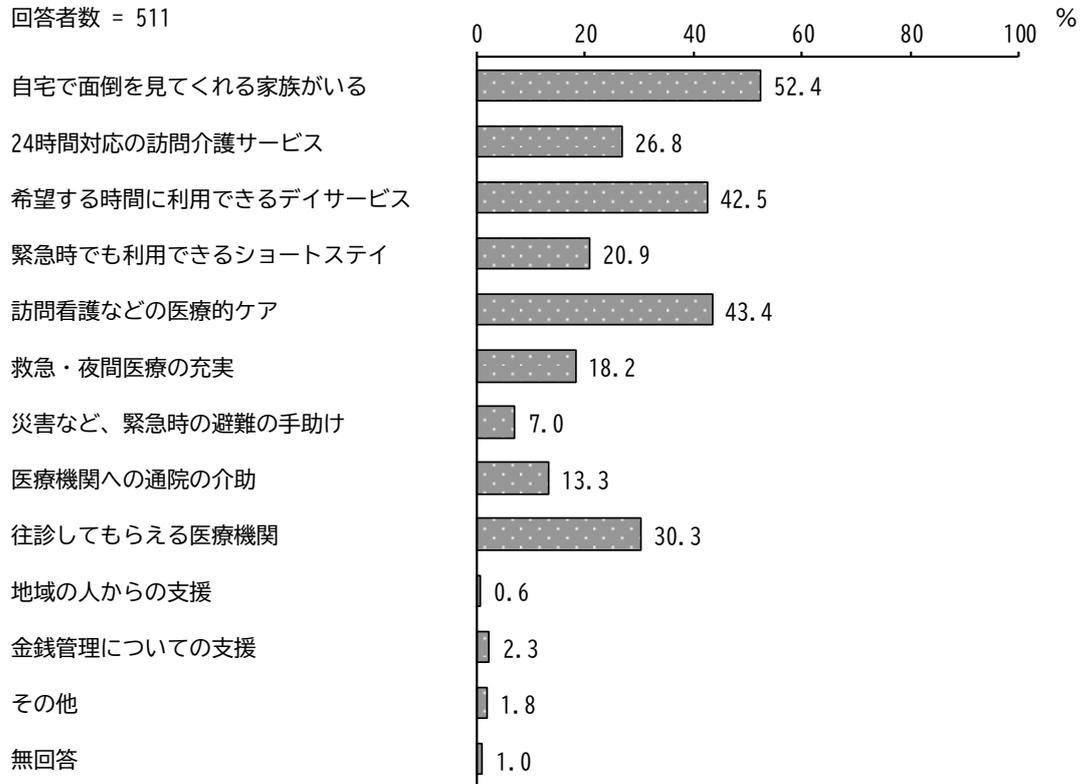
区分	回答者数(件)	自宅で支援を受けながら生活したい	介護施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設）などで生活したい	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで生活したい	その他	想像がつかず、わからない	無回答
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,201	42.5	21.1	7.2	1.5	23.1	4.6
第2号被保険者調査	504	37.3	24.2	14.3	1.0	22.2	1.0

【(1)で「自宅で支援を受けながら生活したい」と回答した方のみ】

①ご自宅で生活を続けるために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

「自宅で面倒を見てくれる家族がいる」の割合が52.4%と最も高く、次いで「訪問看護などの医療的ケア」の割合が43.4%、「希望する時間に利用できるデイサービス」の割合が42.5%となっています。

回答者数 = 511



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、80～84歳で「往診してもらえる医療機関」の割合が、75～79歳で「希望する時間に利用できるデイサービス」の割合が、65～69歳で「24時間対応の訪問介護サービス」の割合が高くなっています。

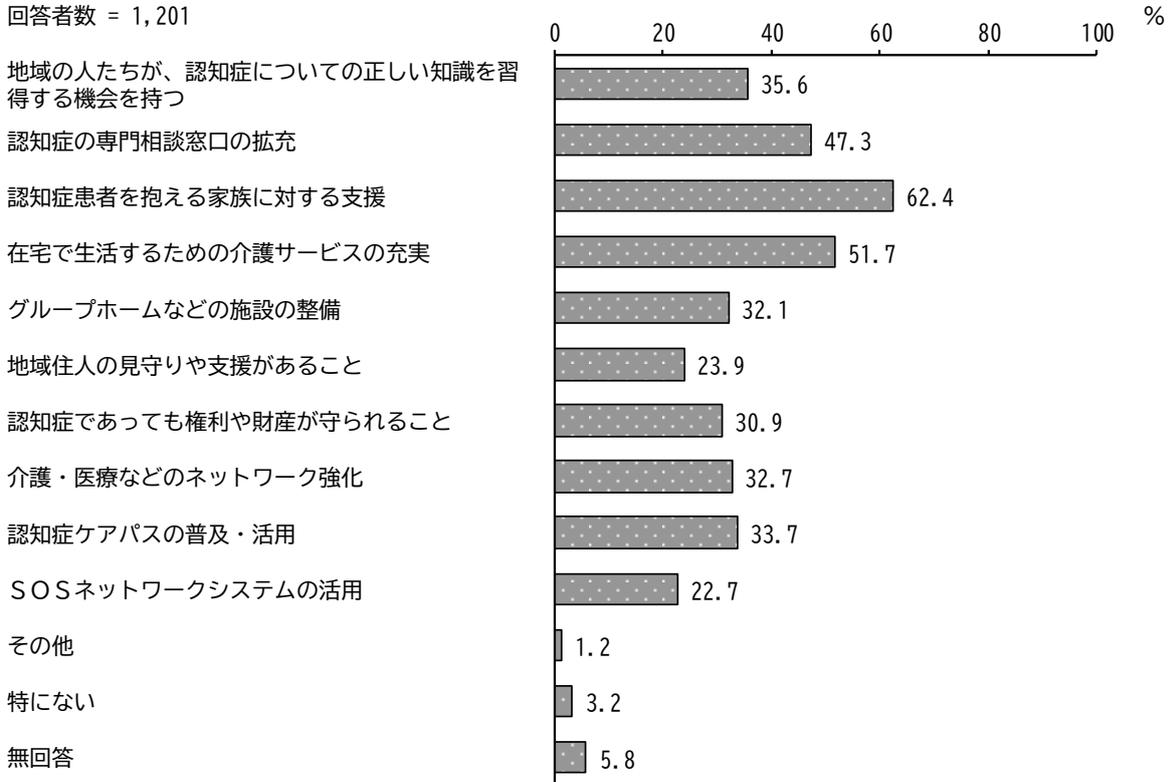
単位：%

区分	回答者数(件)	自宅で面倒を見てくれる家族がいる	24時間対応の訪問介護サービス	希望する時間に利用できるデイサービス	緊急時でも利用できるショートステイ	訪問看護などの医療的ケア	救急・夜間医療の充実	災害など、緊急時の避難の手助け	医療機関への通院の介助	往診してもらえる医療機関	地域の人からの支援	金銭管理についての支援	その他	無回答
全体	511	52.4	26.8	42.5	20.9	43.4	18.2	7.0	13.3	30.3	0.6	2.3	1.8	1.0
65～69歳	136	51.5	33.1	42.6	25.0	48.5	19.1	7.4	14.0	27.2	0.7	0.7	1.5	—
70～74歳	155	50.3	28.4	41.9	20.6	44.5	18.7	5.2	11.0	33.5	—	3.9	2.6	0.6
75～79歳	125	56.8	23.2	49.6	21.6	38.4	20.0	7.2	14.4	27.2	0.8	2.4	0.8	0.8
80～84歳	64	53.1	23.4	35.9	15.6	45.3	17.2	10.9	14.1	37.5	1.6	—	3.1	1.6
85～89歳	20	50.0	10.0	30.0	10.0	25.0	5.0	5.0	15.0	15.0	—	5.0	—	10.0
90歳以上	6	83.3	16.7	16.7	33.3	50.0	—	16.7	16.7	16.7	—	16.7	—	—

(2) 今後、認知症の方が増加することが予想されますが、認知症になっても安心して生活するために必要なことは、どのような事と思いますか。(〇はいくつでも)

「認知症患者を抱える家族に対する支援」の割合が62.4%と最も高く、次いで「在宅で生活するための介護サービスの充実」の割合が51.7%、「認知症の専門相談窓口の拡充」の割合が47.3%となっています。

回答者数 = 1,201



【第2号被保険者対象ニーズ調査との比較】

第2号被保険者調査との比較をみると、第2号被保険者調査で「有認知症患者を抱える家族に対する支援」「グループホームなどの施設の整備」「認知症ケアパスの普及・活用」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	地域の人たちが、認知症についての正しい知識を習得する機会を持つ	認知症の専門相談窓口の拡充	認知症患者を抱える家族に対する支援	在宅で生活するための介護サービスの充実	グループホームなどの施設の整備	地域住人の見守りや支援があること	認知症であっても権利や財産が守られること	介護・医療などのネットワーク強化	認知症ケアパスの普及・活用	SOSネットワークシステムの活用	その他	特になし	無回答
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,201	35.6	47.3	62.4	51.7	32.1	23.9	30.9	32.7	33.7	22.7	1.2	3.2	5.8
第2号被保険者調査	504	35.1	51.8	79.2	53.6	49.8	27.8	35.1	43.3	50.0	38.1	2.6	1.4	1.4

調査結果のまとめ

- ◆ 介護が必要となった場合に、生活したい場所については、「自宅で支援を受けながら生活したい」が42.5%を占めており、自宅で終生暮らすことを希望する人が多くなっています。住み慣れた場所で在宅生活を送ることができるよう、地域包括ケアシステムを引き続き推進していくことが重要です。
- ◆ 自宅で生活続けるために必要な支援やサービスについては、「訪問看護などの医療的ケア」(43.4%)、「希望する時間に利用できるデイサービス」(42.5%)などの介護保険サービスが求められていることから、引き続き介護保険サービスの充実を図っていくことが必要です。
- ◆ また、介護が必要となった場合の生活が「想像がつかず、わからない」方が23.1%となっていることから、元気なうちから将来の生活を考えてもらうための取組が必要です。
- ◆ そのほかにも、介護が必要になったら「介護施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設）などで生活したい」と考える方が21.1%となっていることから、介護施設の充実も求められています。
- ◆ 認知症になっても安心して生活するには「認知症患者を抱える家族に対する支援」が必要と考える方が62.4%を占めています。自宅で生活するためには家族介護が不可欠であることから、家族への支援が必要です。具体的には、認知症に関する知識の普及や見守り体制の強化、相談窓口の拡充などが重要です。

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

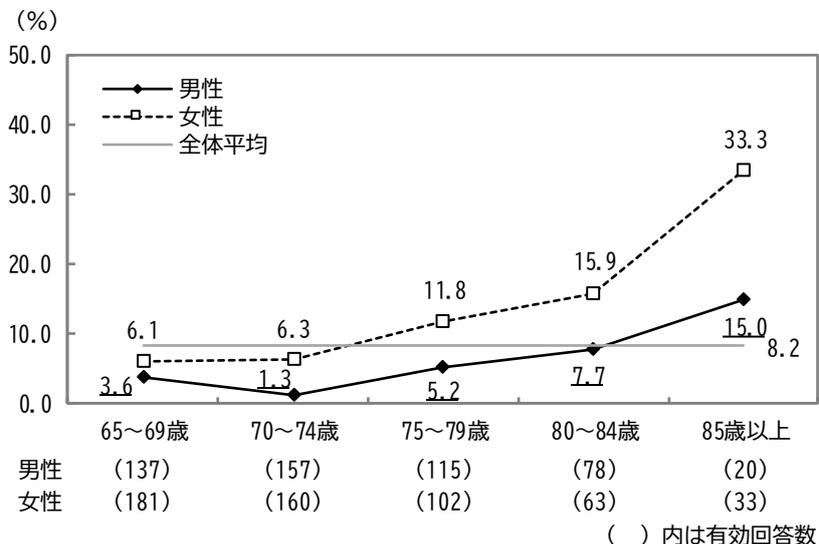
【リスク該当状況】

国の手引き(※)に基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で8.2%(90名)が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では33.3%(11名)と80~84歳(10名)に比べ17.4ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上では15.0%(3名)と80~84歳に比べ7.3ポイント上昇しています。したがって、男性、女性ともに85歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

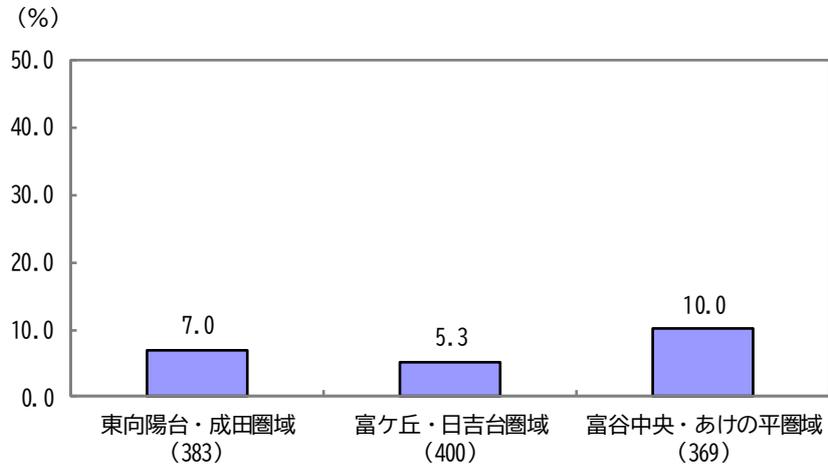
※平成21年3月「介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル」

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、富谷中央・あけの平圏域で該当者割合が全体平均の8.2%を超えています。
 また、最も高い圏域は富谷中央・あけの平圏域で10.0%、最も低い圏域は富ヶ丘・日吉台圏域で5.3%となっており、4.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



(2) 閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

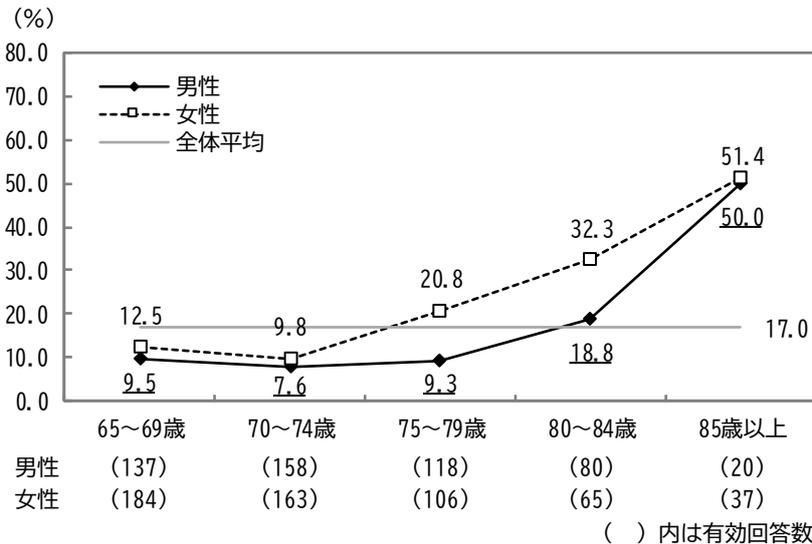
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で17.0%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

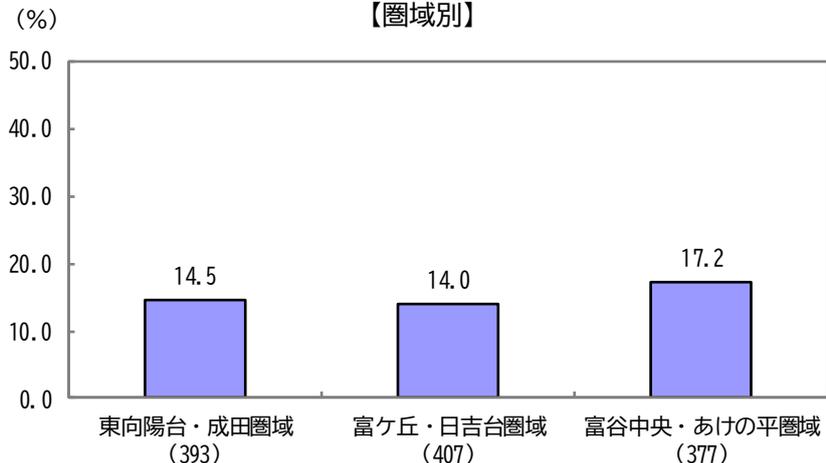
性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では51.4%と80~84歳に比べ19.1ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上では50.0%と80~84歳に比べ31.2ポイント上昇しています。また、男性、女性ともに85歳以上で加齢に伴う身体状態の悪化などにより急激に外出の頻度が減少しています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、富谷中央・あけの平圏域で該当者割合が全体平均の17.0%を超えています。また、最も高い圏域は富谷中央・あけの平圏域で17.2%、最も低い圏域は富ヶ丘・日吉台圏域で14.0%となっており、3.2ポイントの差となっています。

【圏域別】



(3) 転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

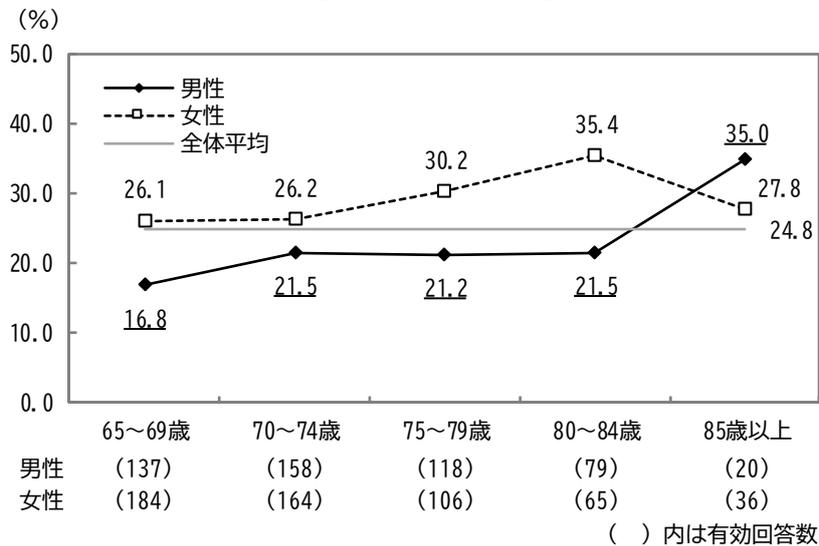
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で24.8%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高くなっています。一方、男性では、80歳代以上になると全体平均より割合が高くなっています。

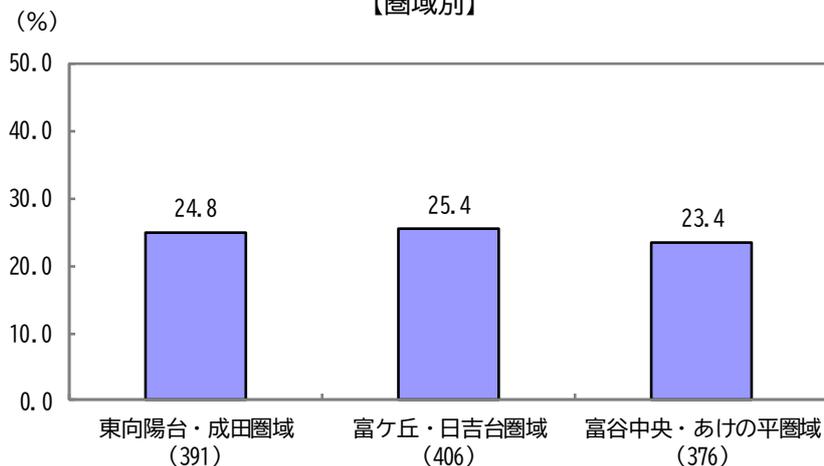
【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、富ヶ丘・日吉台圏域で該当者割合が全体平均の24.8%を超えています。

また、最も高い圏域は富ヶ丘・日吉台圏域で25.4%、最も低い圏域は富谷中央・あけの平圏域で23.4%となっており、2.0ポイントの差となっています。

【圏域別】



(4) 栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

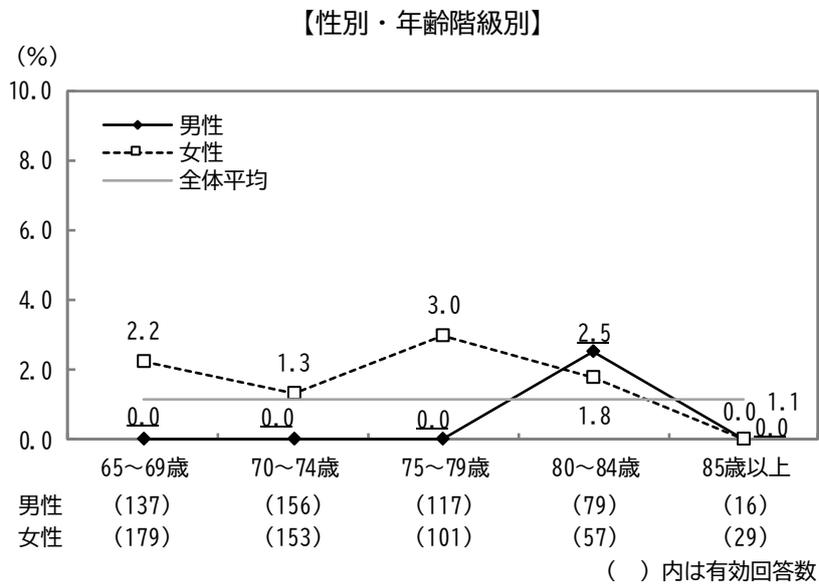
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3 (1)	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問3 (1)	6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

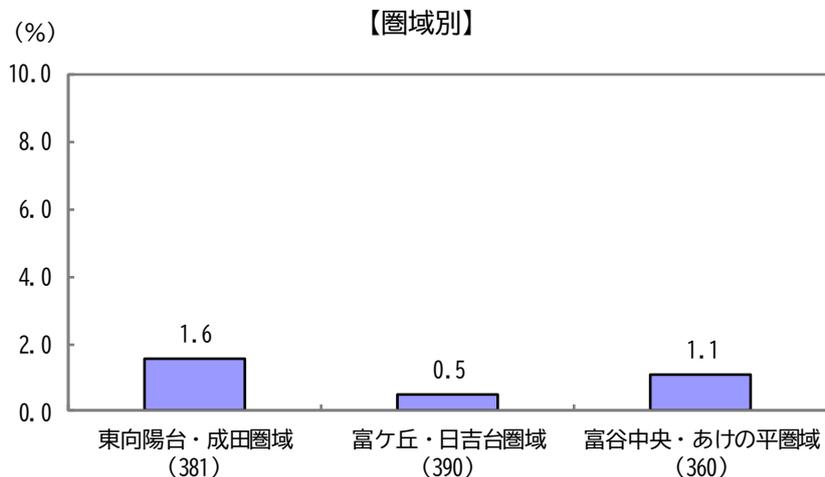
国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で 1.1%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性と女性を比べると 75～79 歳でも 3.0 ポイントと大きな差はありません。



圏域別にみると、東向陽台・成田圏域で該当者割合が全体平均の 1.1%を超えています。

また、最も高い圏域は東向陽台・成田圏域で 1.6%、最も低い圏域は富ヶ丘・日吉台圏域で 0.5% となっており、1.2 ポイントの差となっています。



(5) 口腔

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

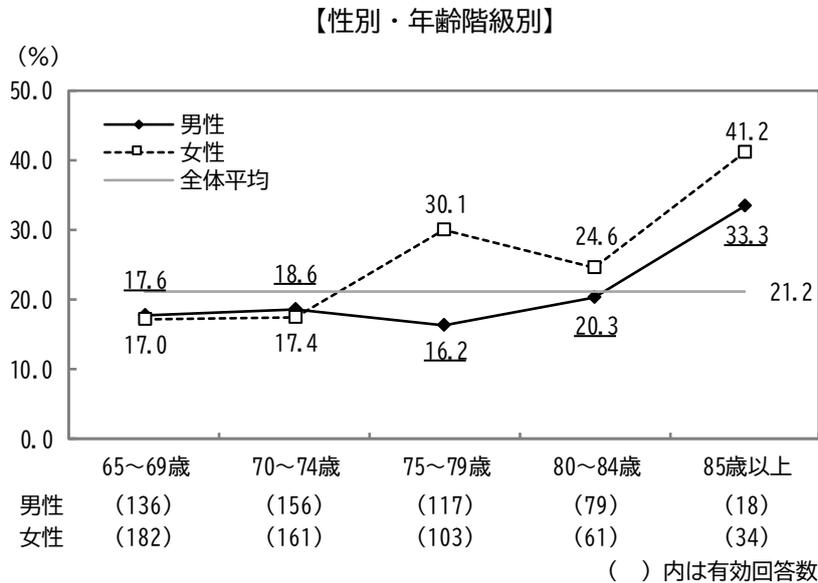
問番号	設問	該当する選択肢
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問3 (4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で21.2%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

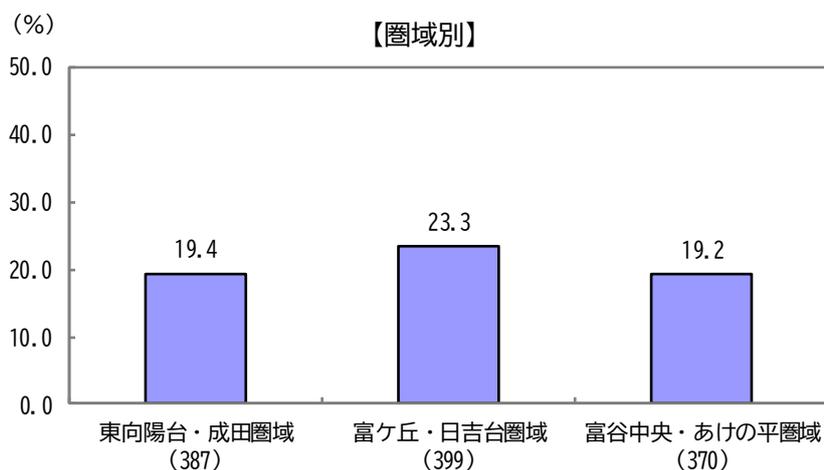
性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で41.2%と80～84歳に比べ16.6ポイント上昇しており、男性では、85歳以上で33.3%と80～84歳に比べ13.0ポイント上昇しています。

したがって、男性、女性ともに85歳以降で口腔機能におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。



圏域別にみると、富ヶ丘・日吉台圏域で該当者割合が全体平均の21.2%を超えています。

また、最も高い圏域は富ヶ丘・日吉台圏域で23.3%、最も低い圏域は富谷中央・あけの平圏域で19.2%となっており、4.1ポイントの差となっています。



(6) 認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

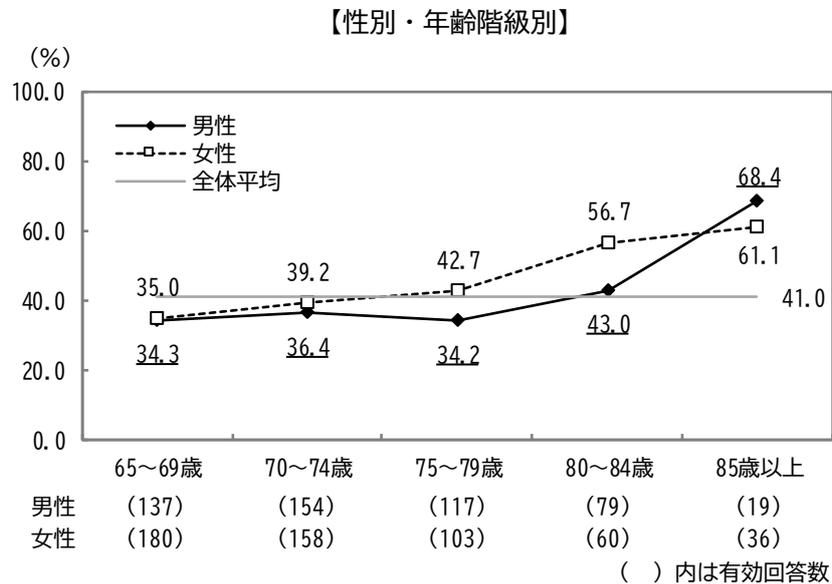
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

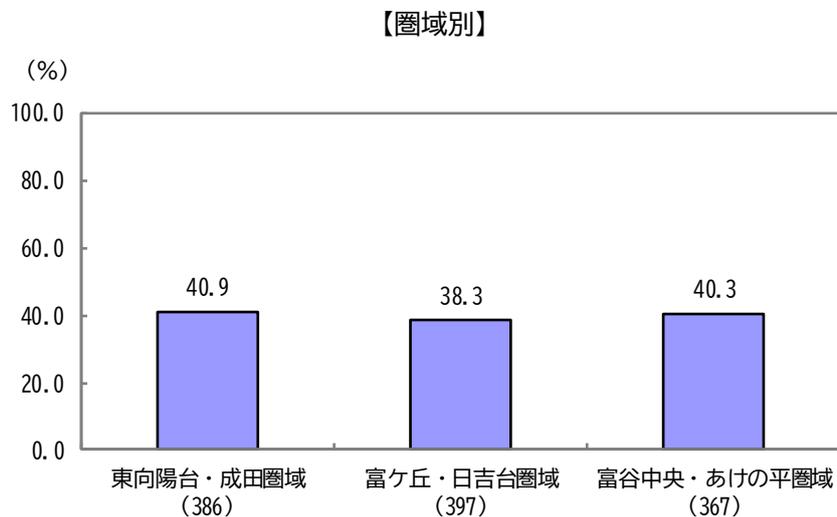
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で41.0%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。また、85歳以上では、女性に比べ、男性で割合が高くなっています。



圏域別にみると、最も高い圏域は東向陽台・成田圏域で40.9%、最も低い圏域は富ヶ丘・日吉台圏域で38.3%となっており、2.6ポイントの差となっています。



(7) うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

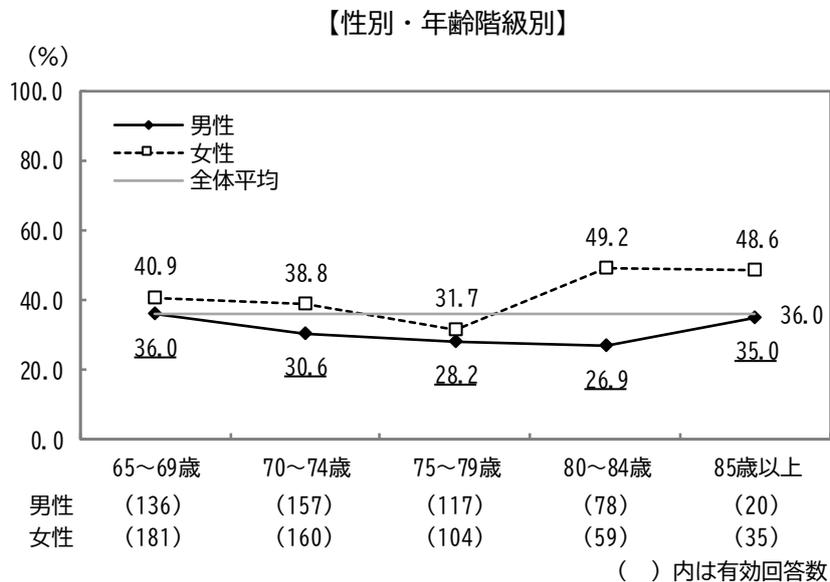
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

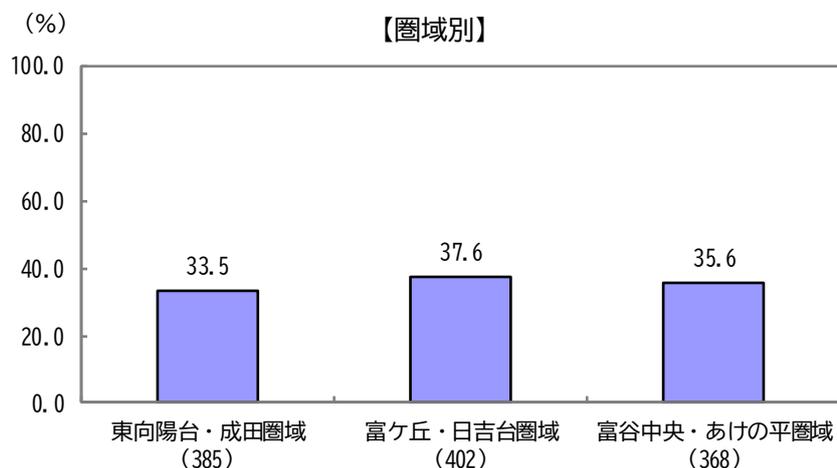
国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で36.0%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84歳で49.2%と75～79歳に比べ17.5ポイント上昇しています。



圏域別にみると、富ヶ丘・日吉台圏域で該当者割合が全体平均の36.0%を超えています。

また、最も高い圏域は富ヶ丘・日吉台圏域で37.6%、最も低い圏域は東向陽台・成田圏域で33.5%となっており、2.1ポイントの差となっています。



2 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) (※)に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

※「IADL」とは、「家事」や「電話対応」など、判断力を伴う日常生活を送る上での動作のこと。

【判定設問】

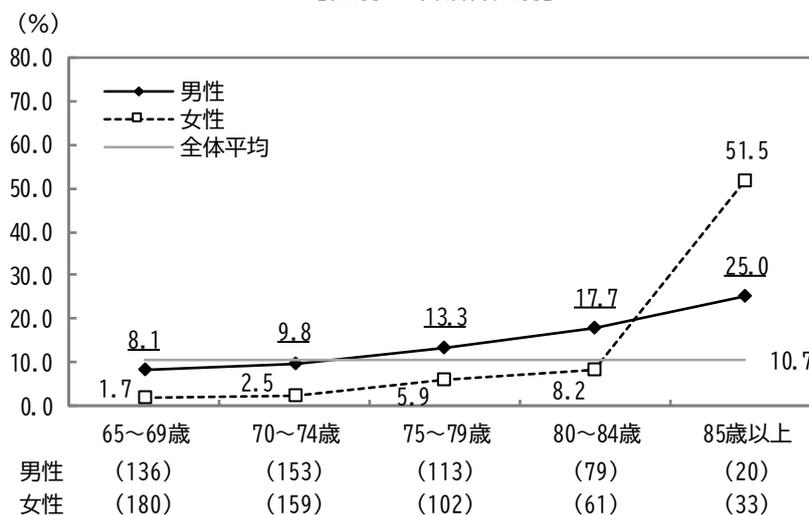
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (7)	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【該当状況】

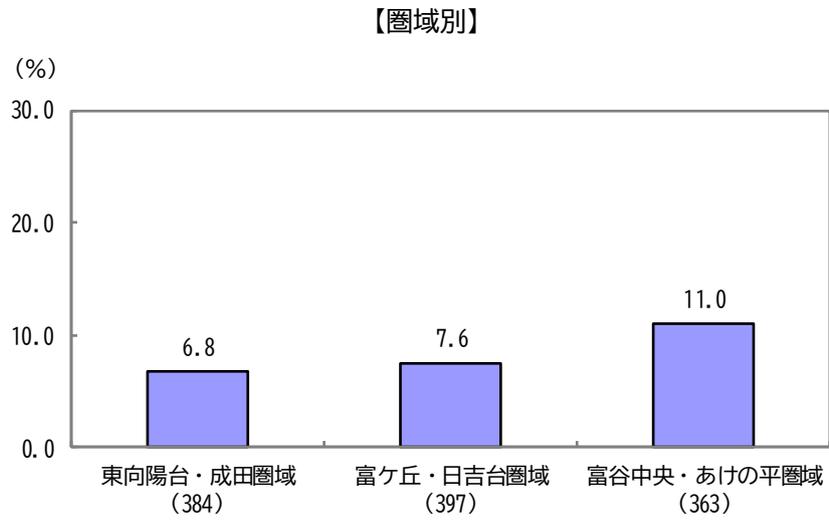
全体平均では10.7%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに、85歳以上になると急激に上昇しています。男性では、85歳以上で25.0%と80～84歳に比べ7.3ポイント、女性では、85歳以上で51.5%と80～84歳に比べ43.3ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、富谷中央・あけの平圏域で該当者割合が全体平均の 10.7%を超えています。また、最も高い圏域は富谷中央・あけの平圏域で 11.0%、最も低い圏域は東向陽台・成田圏域で 6.8%となっており、4.2 ポイントの差となっています。



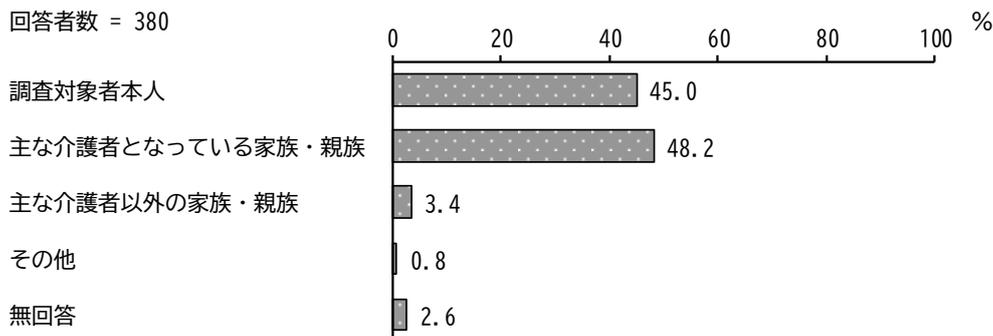
IV 在宅介護実態調査

IV 在宅介護実態調査

(1) 調査対象者本人について

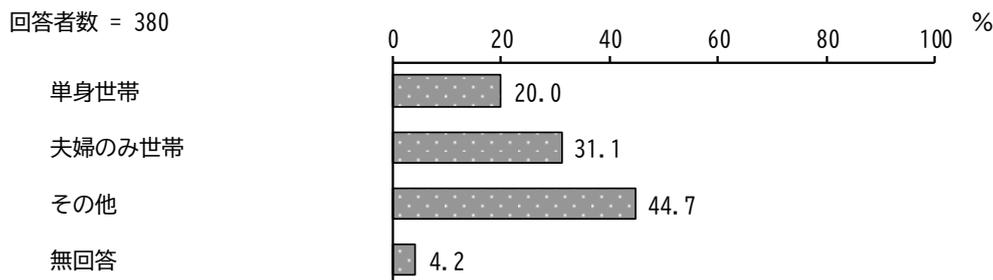
問1 現在、この調査票に回答されているのはどなたですか。

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が48.2%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が45.0%となっています。



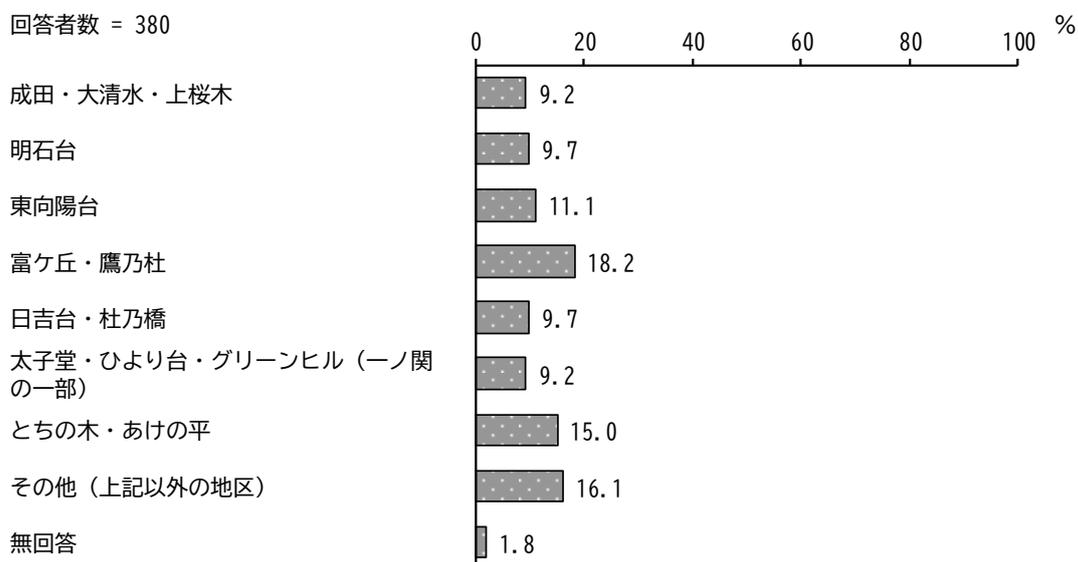
問2 世帯類型について、ご回答ください。

「単身世帯」の割合が20.0%、「夫婦のみ世帯」の割合が31.1%となっています。



問3 ご本人のお住まいの地区は、どこですか。

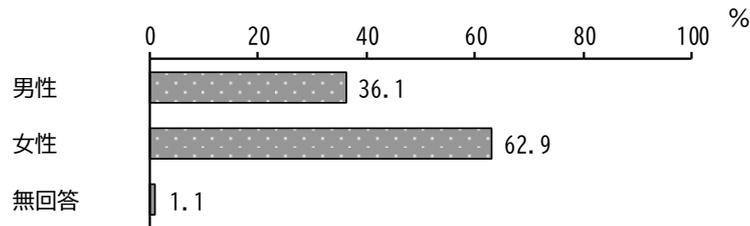
「富ヶ丘・鷹乃杜」の割合が18.2%と最も高く、次いで「その他(上記以外の地区)」の割合が16.1%、「とちの木・あけの平」の割合が15.0%となっています。



問4 ご本人の性別について、ご回答ください。

「男性」の割合が36.1%、「女性」の割合が62.9%となっています。

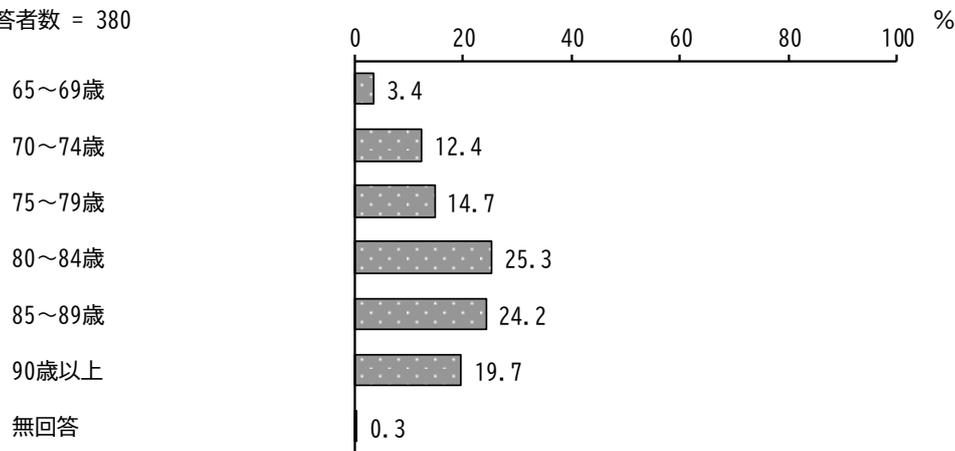
回答者数 = 380



問5 ご本人の年齢について、ご回答ください。

「80～84歳」の割合が25.3%と最も高く、次いで「85～89歳」の割合が24.2%、「90歳以上」の割合が19.7%となっています。

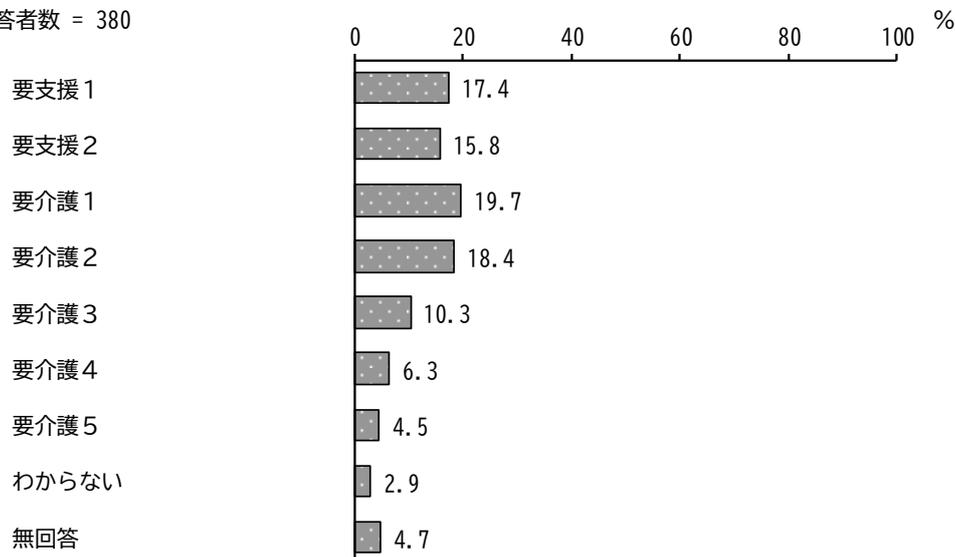
回答者数 = 380



問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください。

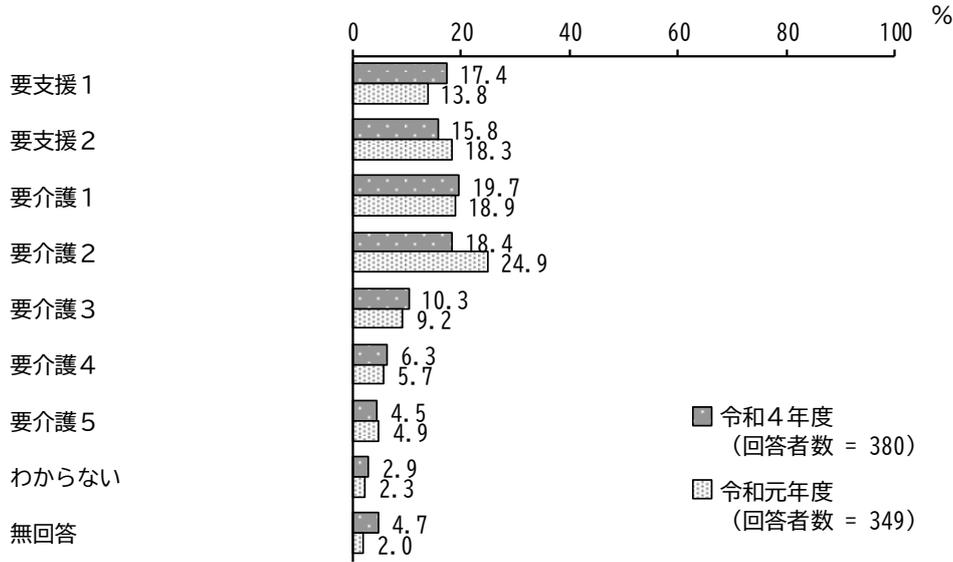
「要介護1」の割合が19.7%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が18.4%、「要支援1」の割合が17.4%となっています。

回答者数 = 380



【経年比較】

令和元年度（前回調査）と比較すると、「要介護2」の割合が減少しています。



【年齢別】

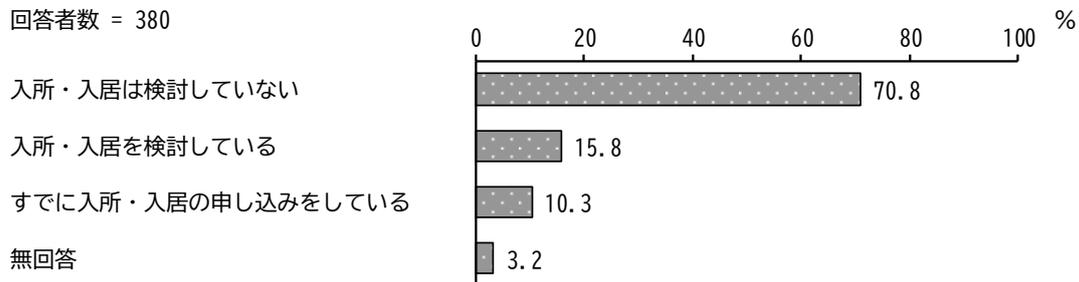
年齢別にみると、他に比べ、90歳以上で「要介護1」「要介護2」の割合が、70～74歳で「要支援1」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
全体	380	17.4	15.8	19.7	18.4	10.3	6.3	4.5	2.9	4.7
65～69歳	13	23.1	15.4	15.4	15.4	—	15.4	—	—	15.4
70～74歳	47	23.4	19.1	10.6	17.0	10.6	8.5	8.5	—	2.1
75～79歳	56	21.4	16.1	17.9	10.7	16.1	8.9	1.8	1.8	5.4
80～84歳	96	16.7	13.5	20.8	18.8	14.6	6.3	2.1	4.2	3.1
85～89歳	92	19.6	19.6	18.5	18.5	4.3	2.2	7.6	4.3	5.4
90歳以上	75	8.0	12.0	26.7	25.3	9.3	6.7	4.0	2.7	5.3

問7 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

「入所・入居は検討していない」の割合が70.8%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が15.8%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」の割合が10.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65～69歳で「入所・入居は検討していない」の割合が、70～74歳で「入所・入居は検討していない」の割合が、85～89歳で「入所・入居を検討している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	入所・入居は 検討して いない	入所・入居を 検討して いる	すでに入所・入 居の申し 込みを している	無回 答
全 体	380	70.8	15.8	10.3	3.2
65～69 歳	13	100.0	—	—	—
70～74 歳	47	83.0	10.6	2.1	4.3
75～79 歳	56	73.2	14.3	10.7	1.8
80～84 歳	96	67.7	14.6	15.6	2.1
85～89 歳	92	67.4	21.7	7.6	3.3
90 歳以上	75	64.0	17.3	13.3	5.3

【要介護度別】

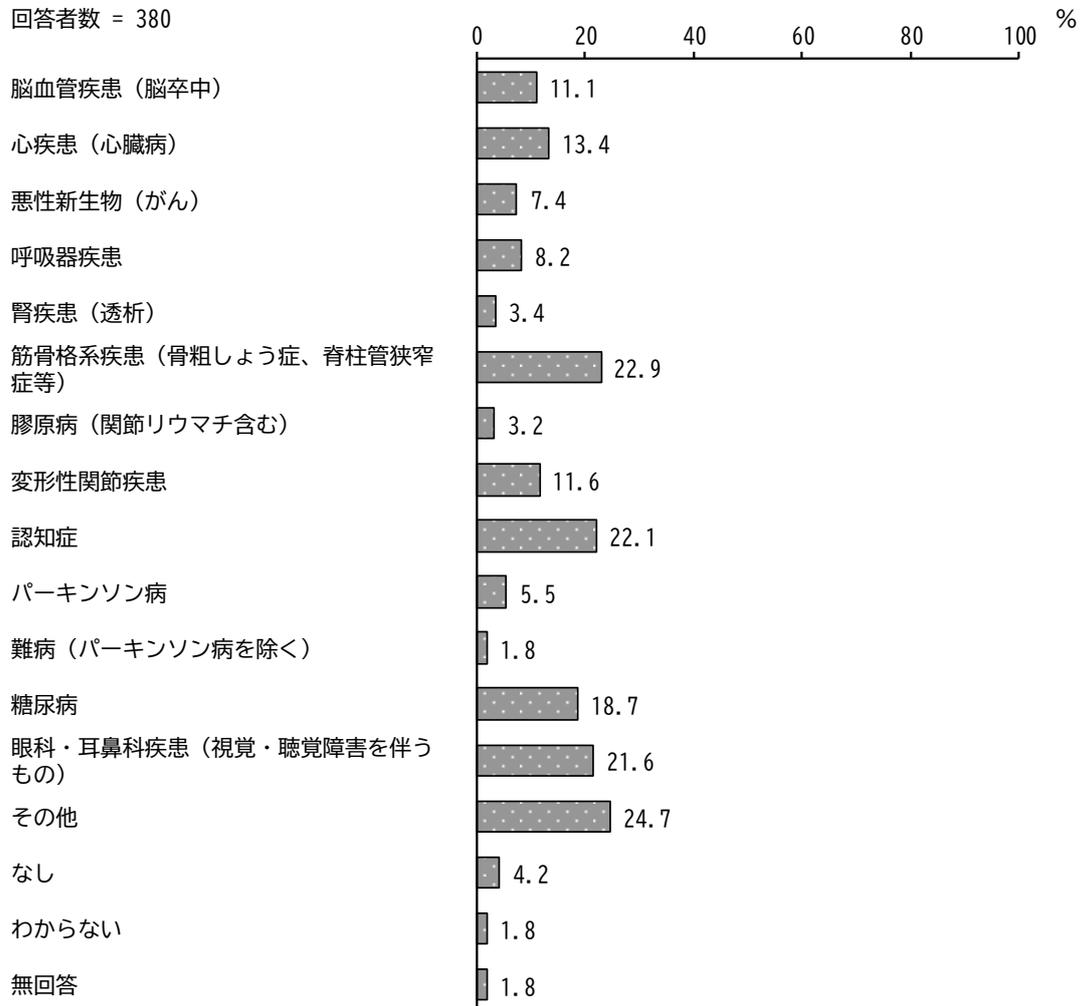
要介護度別にみると、他に比べ、わからないで「入所・入居を検討している」の割合が、要介護4で「すでに入所・入居の申し込みをしている」の割合が、要支援2で「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居の申し込みをしている	無回答
全 体	380	70.8	15.8	10.3	3.2
要支援1	66	81.8	15.2	3.0	—
要支援2	60	86.7	11.7	1.7	—
要介護1	75	69.3	16.0	12.0	2.7
要介護2	70	68.6	18.6	8.6	4.3
要介護3	39	64.1	12.8	23.1	—
要介護4	24	41.7	20.8	29.2	8.3
要介護5	17	64.7	17.6	17.6	—
わからない	11	36.4	36.4	9.1	18.2

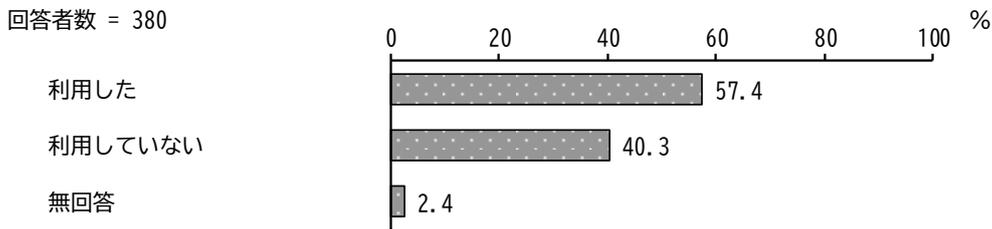
問8 ご本人が、現在抱えている傷病名を教えてください。(〇はいくつでも)

「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が22.9%と最も高く、次いで「認知症」の割合が22.1%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が21.6%となっています。



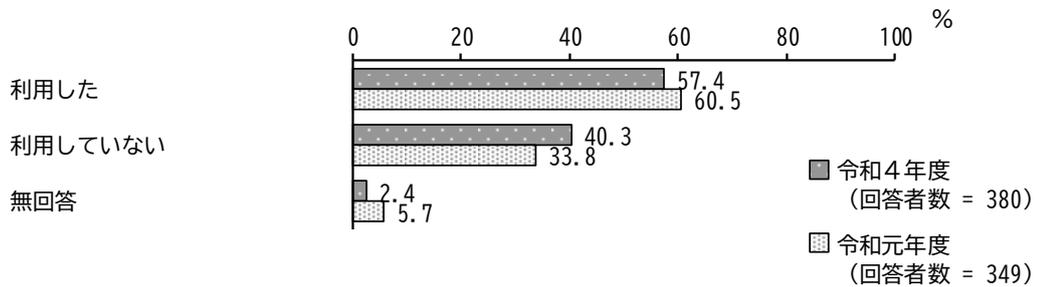
問9 令和4年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(〇は1つ)

「利用した」の割合が57.4%、「利用していない」の割合が40.3%となっています。



【経年比較】

令和元年度(前回調査)と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、他に比べ、わからないで「利用していない」の割合が、要介護4で「利用した」の割合が、要支援1で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用した	利用していない	無回答
全体	380	57.4	40.3	2.4
要支援1	66	36.4	60.6	3.0
要支援2	60	50.0	48.3	1.7
要介護1	75	65.3	34.7	—
要介護2	70	70.0	28.6	1.4
要介護3	39	71.8	23.1	5.1
要介護4	24	79.2	16.7	4.2
要介護5	17	76.5	23.5	—
わからない	11	18.2	81.8	—

問10 問9で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて。令和4年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください。（それぞれ○は1つ）

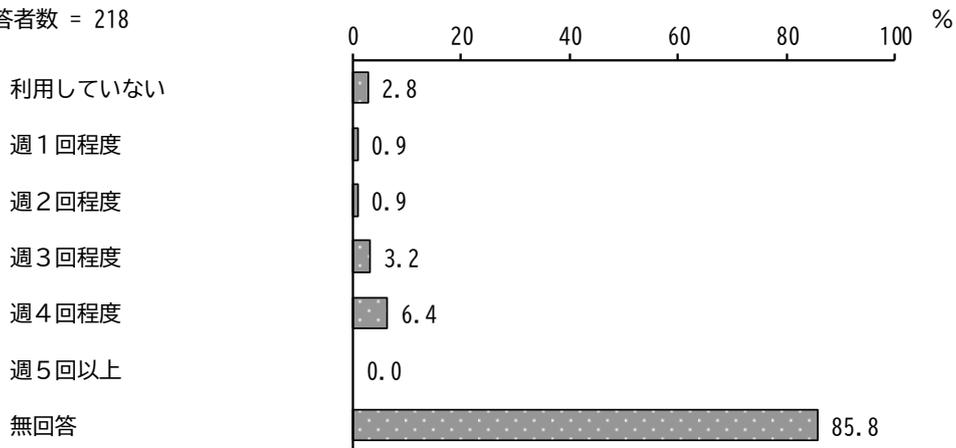
単位：％

	全体	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	218	2.8	0.9	0.9	3.2	6.4	-	85.8
B. 訪問入浴介護	218	1.4	5.5	0.9	-	0.5	-	91.7
C. 訪問看護	218	4.1	1.8	0.5	1.4	0.9	-	91.3
D. 訪問リハビリテーション	218	6.0	4.1	-	0.5	0.5	-	89.0
E. 通所介護（デイサービス）	218	7.8	13.8	11.0	10.1	6.0	-	51.4
F. 通所リハビリテーション（デイケア）	218	7.3	10.1	2.8	0.5	2.3	-	77.1
G. 夜間対応型訪問介護（訪問のあった回数）	218	0.5	-	-	-	-	-	99.5

A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）

1 「週4回程度」の割合が6.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 218



2 【要介護度別】

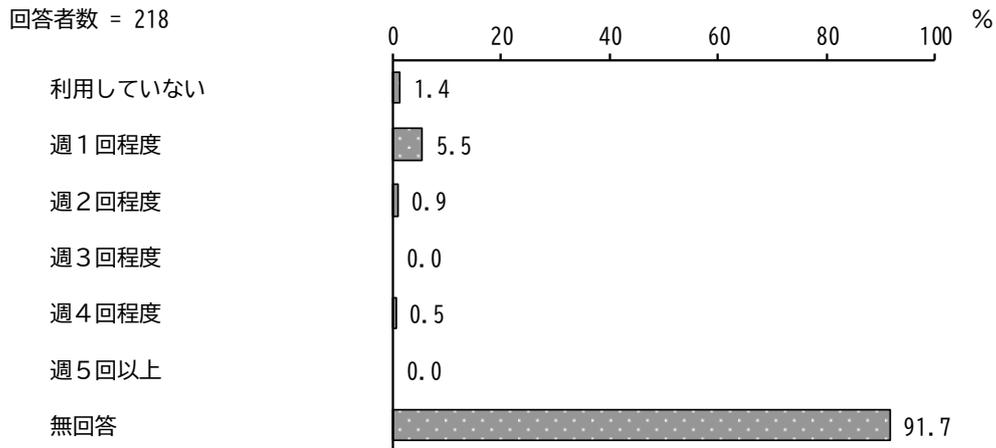
要介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	218	2.8	0.9	0.9	3.2	6.4	—	85.8
要支援1	24	4.2	—	—	8.3	—	—	87.5
要支援2	30	3.3	3.3	3.3	—	—	—	90.0
要介護1	49	4.1	—	—	—	4.1	—	91.8
要介護2	49	—	—	2.0	6.1	6.1	—	85.7
要介護3	28	—	3.6	—	—	7.1	—	89.3
要介護4	19	—	—	—	—	5.3	—	94.7
要介護5	13	7.7	—	—	15.4	46.2	—	30.8
わからない	2	—	—	—	—	—	—	100.0

B. 訪問入浴介護

1 「週1回程度」の割合が5.5%と最も高くなっています。



2 【要介護度別】

要介護度別にみると、大きな差はみられません。

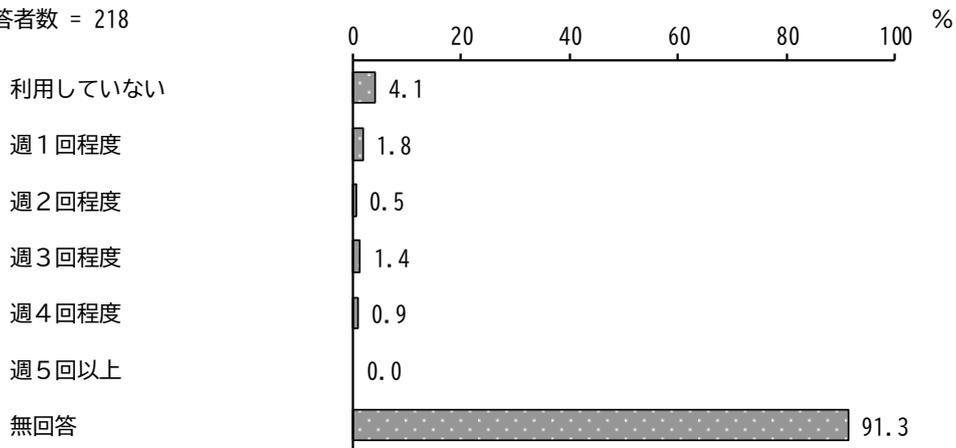
単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	218	1.4	5.5	0.9	—	0.5	—	91.7
要支援1	24	—	—	—	—	—	—	100.0
要支援2	30	—	3.3	—	—	—	—	96.7
要介護1	49	2.0	4.1	—	—	—	—	93.9
要介護2	49	—	6.1	4.1	—	—	—	89.8
要介護3	28	—	—	—	—	—	—	100.0
要介護4	19	5.3	15.8	—	—	—	—	78.9
要介護5	13	7.7	23.1	—	—	7.7	—	61.5
わからない	2	—	—	—	—	—	—	100.0

C. 訪問看護

1 「利用していない」の割合が4.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 218



2 【要介護度別】

要介護度別にみると、大きな差はみられません。

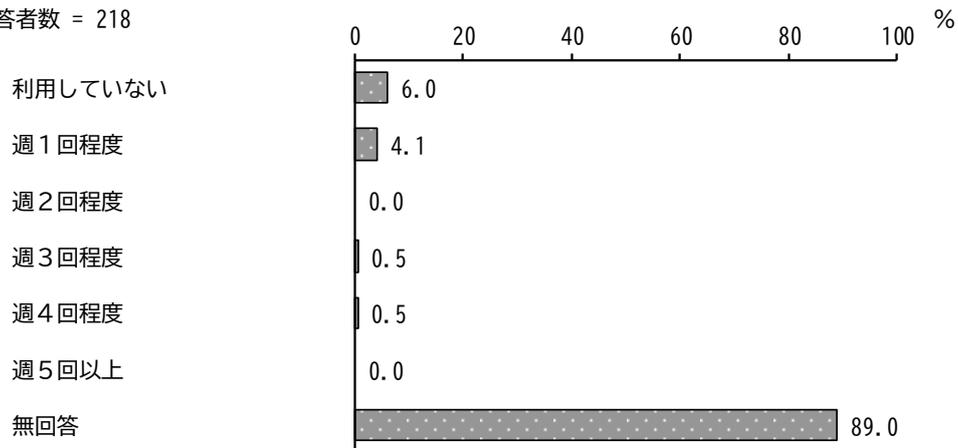
単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全 体	218	4.1	1.8	0.5	1.4	0.9	—	91.3
要支援1	24	—	—	—	4.2	—	—	95.8
要支援2	30	—	—	—	—	—	—	100.0
要介護1	49	4.1	—	—	2.0	—	—	93.9
要介護2	49	—	—	—	—	—	—	100.0
要介護3	28	7.1	—	—	—	—	—	92.9
要介護4	19	—	10.5	—	5.3	—	—	84.2
要介護5	13	38.5	15.4	7.7	—	15.4	—	23.1
わからない	2	—	—	—	—	—	—	100.0

D. 訪問リハビリテーション

1 「利用していない」の割合が6.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 218



2 【要介護度別】

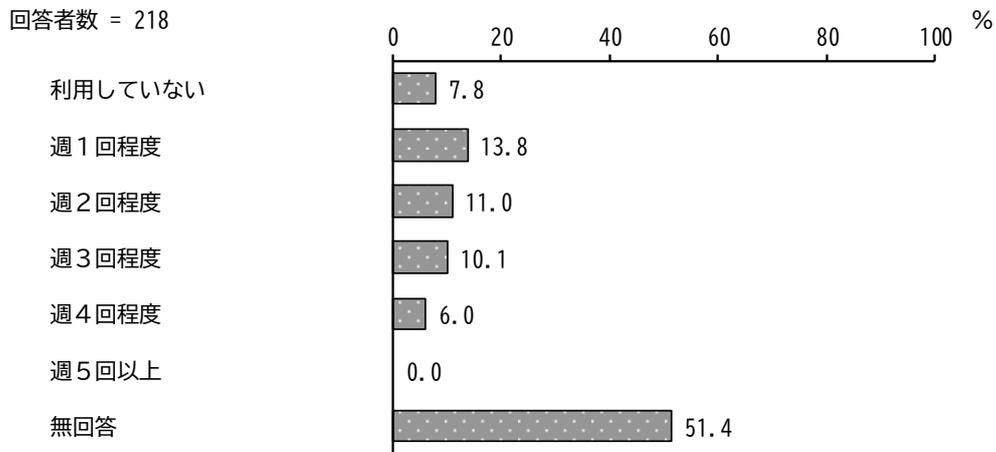
要介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	218	6.0	4.1	—	0.5	0.5	—	89.0
要支援1	24	—	—	—	4.2	—	—	95.8
要支援2	30	—	3.3	—	—	—	—	96.7
要介護1	49	8.2	—	—	—	—	—	91.8
要介護2	49	4.1	4.1	—	—	—	—	91.8
要介護3	28	3.6	3.6	—	—	—	—	92.9
要介護4	19	10.5	15.8	—	—	—	—	73.7
要介護5	13	23.1	15.4	—	—	7.7	—	53.8
わからない	2	—	—	—	—	—	—	100.0

E. 通所介護（デイサービス）

1 「週1回程度」の割合が13.8%と最も高く、次いで「週2回程度」の割合が11.0%、「週3回程度」の割合が10.1%となっています。



2 【要介護度別】

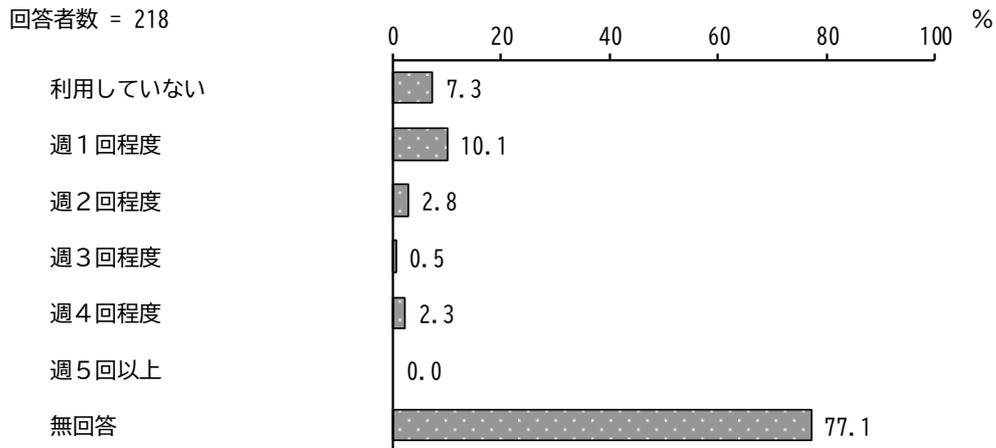
要介護度別にみると、他に比べ、要介護3で「週3回程度」の割合が、要介護1で「週2回程度」の割合が、要介護2で「週2回程度」の割合が、要支援2で「週1回程度」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	218	7.8	13.8	11.0	10.1	6.0	—	51.4
要支援1	24	12.5	4.2	—	—	—	—	83.3
要支援2	30	3.3	20.0	—	6.7	—	—	70.0
要介護1	49	10.2	16.3	20.4	10.2	6.1	—	36.7
要介護2	49	4.1	14.3	20.4	12.2	8.2	—	40.8
要介護3	28	10.7	14.3	3.6	25.0	7.1	—	39.3
要介護4	19	—	15.8	5.3	10.5	10.5	—	57.9
要介護5	13	15.4	—	15.4	—	15.4	—	53.8
わからない	2	—	—	—	—	—	—	100.0

F. 通所リハビリテーション（デイケア）

1 「週1回程度」の割合が10.1%と最も高くなっています。



2 【要介護度別】

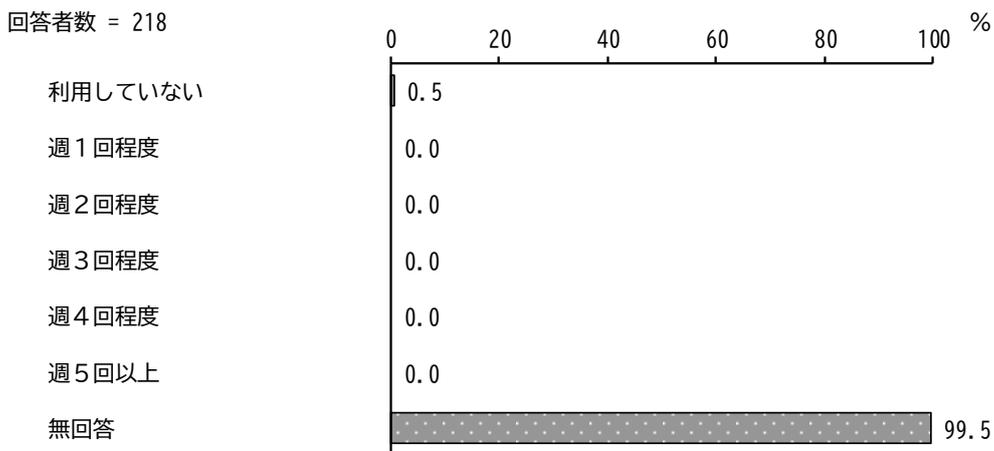
要介護度別にみると、他に比べ、要支援2で「週1回程度」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	218	7.3	10.1	2.8	0.5	2.3	—	77.1
要支援1	24	33.3	—	4.2	—	—	—	62.5
要支援2	30	6.7	30.0	—	—	3.3	—	60.0
要介護1	49	4.1	10.2	4.1	—	4.1	—	77.6
要介護2	49	4.1	8.2	2.0	2.0	4.1	—	79.6
要介護3	28	—	3.6	3.6	—	—	—	92.9
要介護4	19	5.3	10.5	5.3	—	—	—	78.9
要介護5	13	7.7	—	—	—	—	—	92.3
わからない	2	—	—	—	—	—	—	100.0

G. 夜間対応型訪問介護（訪問のあった回数）

1 「利用していない」の割合が0.5%となっています。



2 【要介護度別】

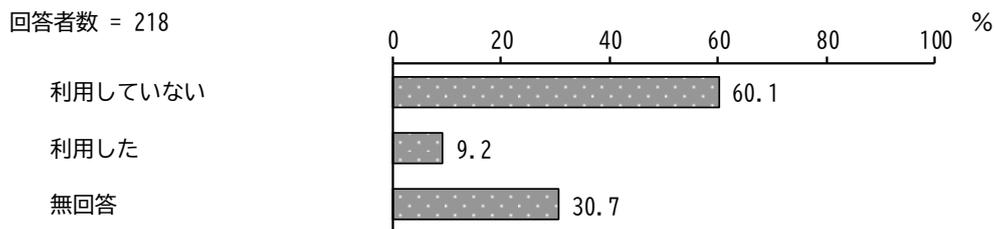
要介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	218	0.5	-	-	-	-	-	99.5
要支援1	24	-	-	-	-	-	-	100.0
要支援2	30	-	-	-	-	-	-	100.0
要介護1	49	-	-	-	-	-	-	100.0
要介護2	49	-	-	-	-	-	-	100.0
要介護3	28	-	-	-	-	-	-	100.0
要介護4	19	-	-	-	-	-	-	100.0
要介護5	13	7.7	-	-	-	-	-	92.3
わからない	2	-	-	-	-	-	-	100.0

H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

1 「利用していない」の割合が60.1%、「利用した」の割合が9.2%となっています。



2 【要介護度別】

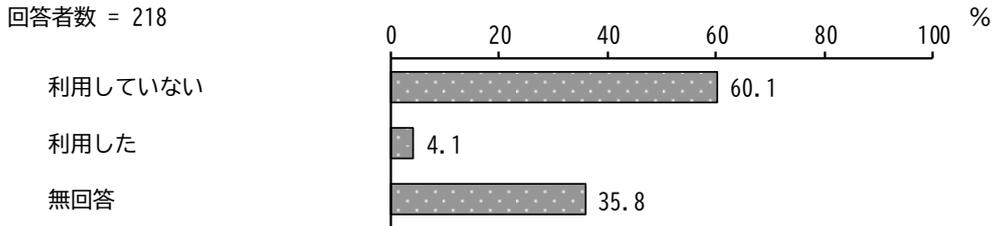
要介護度別にみると、他に比べ、要介護2で「利用していない」の割合が、要介護1で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用していない	利用した	無回答
全 体	218	60.1	9.2	30.7
要支援1	24	62.5	4.2	33.3
要支援2	30	63.3	6.7	30.0
要介護1	49	67.3	6.1	26.5
要介護2	49	71.4	2.0	26.5
要介護3	28	57.1	10.7	32.1
要介護4	19	42.1	15.8	42.1
要介護5	13	23.1	46.2	30.8
わからない	2	—	50.0	50.0

I. 小規模多機能型居宅介護

1 「利用していない」の割合が60.1%、「利用した」の割合が4.1%となっています。



2 【要介護度別】

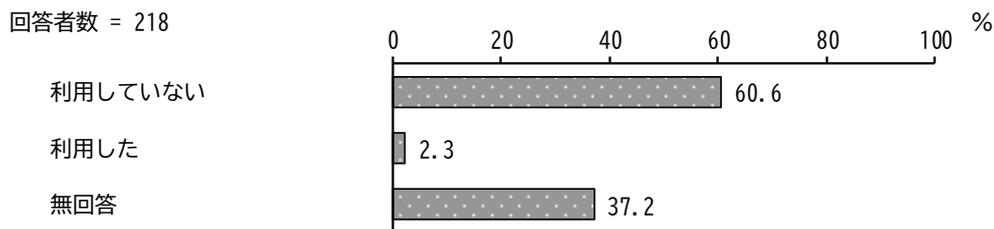
要介護度別にみると、他に比べ、要介護2で「利用していない」の割合が、要支援2で「利用していない」の割合が、要介護1で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用 して いない	利用 した	無 回 答
全 体	218	60.1	4.1	35.8
要支援1	24	58.3	4.2	37.5
要支援2	30	66.7	3.3	30.0
要介護1	49	65.3	4.1	30.6
要介護2	49	67.3	4.1	28.6
要介護3	28	57.1	3.6	39.3
要介護4	19	47.4	—	52.6
要介護5	13	38.5	7.7	53.8
わからない	2	—	50.0	50.0

J. 看護小規模多機能型居宅介護

1 「利用していない」の割合が60.6%、「利用した」の割合が2.3%となっています。



2 【要介護度別】

要介護度別にみると、他に比べ、要介護2で「利用していない」の割合が、要介護1で「利用していない」の割合が、要支援2で「利用していない」の割合が高くなっています。

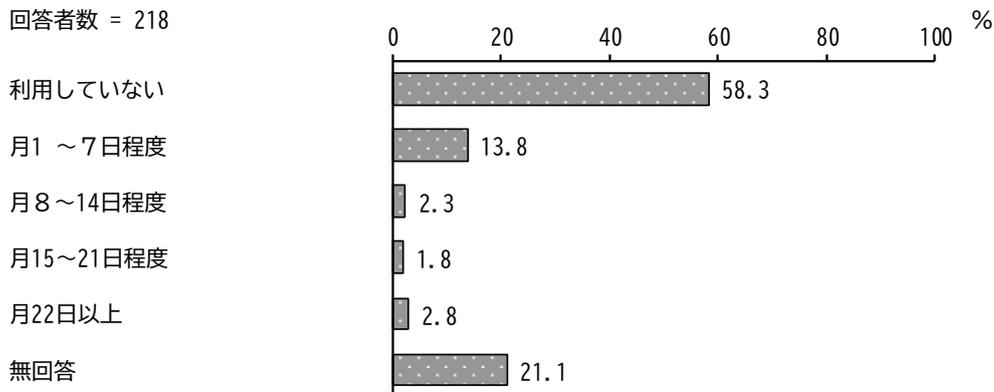
単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	利用した	無回答
全体	218	60.6	2.3	37.2
要支援1	24	58.3	—	41.7
要支援2	30	66.7	—	33.3
要介護1	49	67.3	2.0	30.6
要介護2	49	69.4	2.0	28.6
要介護3	28	53.6	3.6	42.9
要介護4	19	47.4	—	52.6
要介護5	13	38.5	7.7	53.8
わからない	2	—	50.0	50.0

K. 短期入所生活介護（ショートステイ）

1 「利用していない」の割合が58.3%と最も高く、次いで「月1～7日程度」の割合が13.8%となっています。

回答者数 = 218



2 【要介護度別】

要介護度別にみると、他に比べ、要介護4で「月1～7日程度」の割合が、要支援2で「利用していない」の割合が、要介護5で「月1～7日程度」の割合が高くなっています。

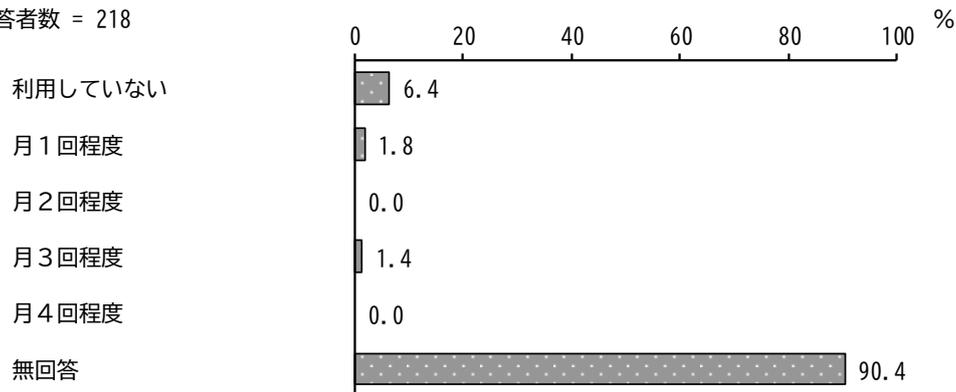
単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	無回答
全体	218	58.3	13.8	2.3	1.8	2.8	21.1
要支援1	24	62.5	4.2	—	—	—	33.3
要支援2	30	70.0	3.3	3.3	—	—	23.3
要介護1	49	67.3	10.2	2.0	—	—	20.4
要介護2	49	55.1	22.4	2.0	2.0	4.1	14.3
要介護3	28	50.0	14.3	7.1	7.1	3.6	17.9
要介護4	19	31.6	26.3	—	5.3	10.5	26.3
要介護5	13	61.5	23.1	—	—	—	15.4
わからない	2	—	—	—	—	—	100.0

L. 居宅療養管理指導

1 「利用していない」の割合が6.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 218



2 【要介護度別】

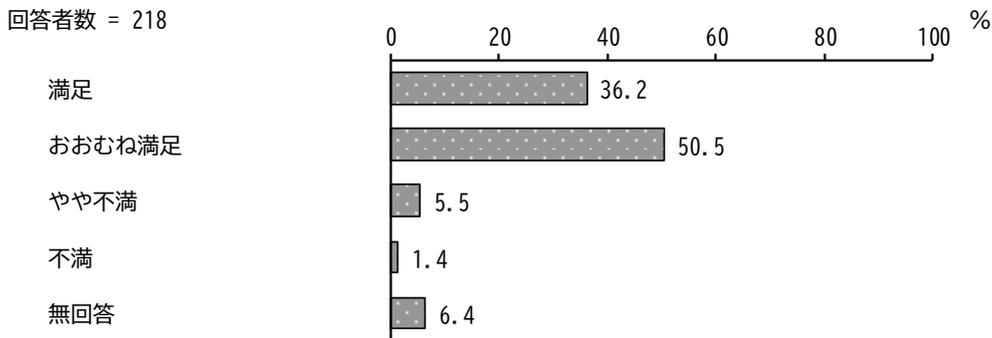
要介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	無回答
全体	218	6.4	1.8	—	1.4	—	90.4
要支援1	24	8.3	—	—	—	—	91.7
要支援2	30	3.3	3.3	—	—	—	93.3
要介護1	49	8.2	4.1	—	2.0	—	85.7
要介護2	49	2.0	—	—	2.0	—	95.9
要介護3	28	3.6	—	—	—	—	96.4
要介護4	19	5.3	—	—	—	—	94.7
要介護5	13	15.4	7.7	—	7.7	—	69.2
わからない	2	50.0	—	—	—	—	50.0

問11 問9で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。あなたが利用しているサービスに対して、どれくらい満足していますか。(〇は1つ)

「おおむね満足」の割合が50.5%と最も高く、次いで「満足」の割合が36.2%となっています。



【要介護度別】

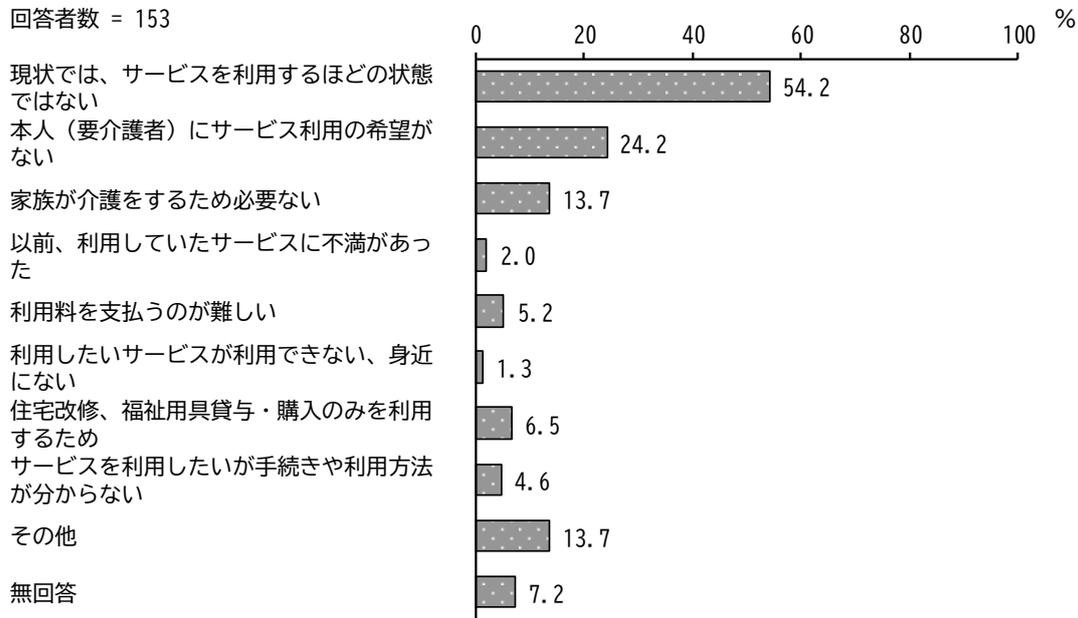
要介護度別にみると、他に比べ、要介護5で「満足」の割合が、要介護4で「おおむね満足」の割合が、要支援1で「満足」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体	218	36.2	50.5	5.5	1.4	6.4
要支援1	24	45.8	37.5	4.2	—	12.5
要支援2	30	26.7	53.3	16.7	—	3.3
要介護1	49	38.8	49.0	4.1	2.0	6.1
要介護2	49	36.7	49.0	6.1	2.0	6.1
要介護3	28	32.1	57.1	—	3.6	7.1
要介護4	19	21.1	68.4	5.3	—	5.3
要介護5	13	61.5	38.5	—	—	—
わからない	2	—	100.0	—	—	—

問12 問9で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が54.2%と最も高く、次いで「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」の割合が24.2%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が13.7%となっています。



【要介護度別】

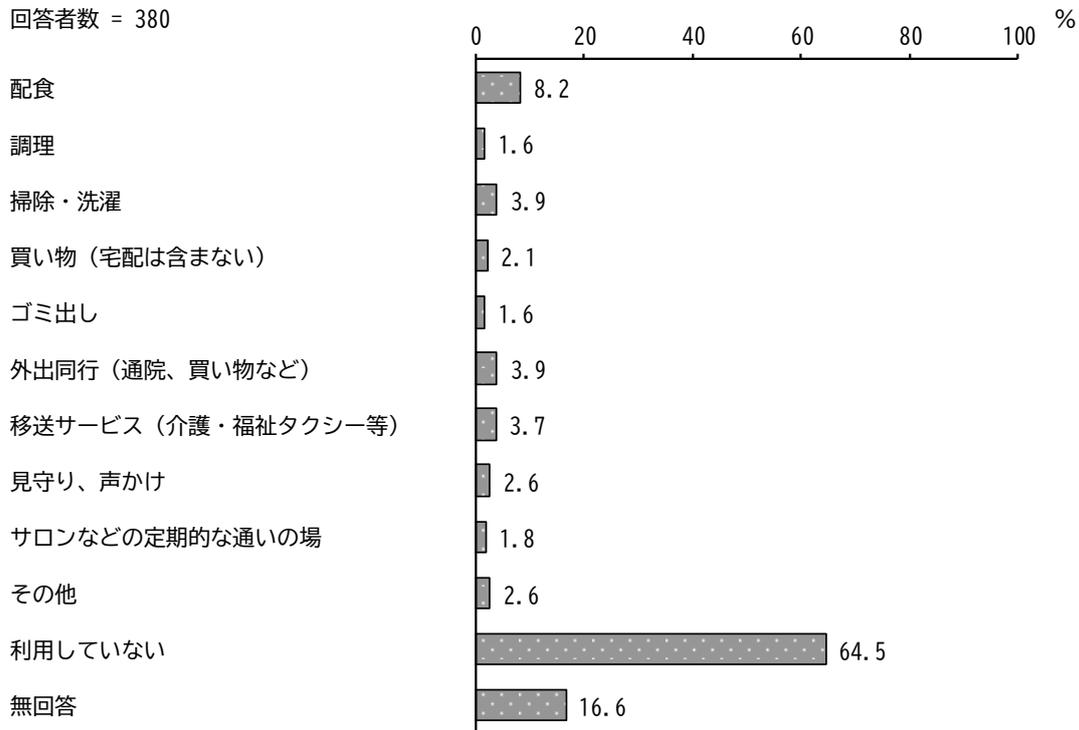
要介護度別にみると、他に比べ、要介護2で「家族が介護をするため必要ない」の割合が、要支援1で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が、要介護1で「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人（要介護者）にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを利用したいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体	153	54.2	24.2	13.7	2.0	5.2	1.3	6.5	4.6	13.7	7.2
要支援1	40	67.5	17.5	5.0	2.5	5.0	—	5.0	2.5	12.5	5.0
要支援2	29	55.2	34.5	10.3	—	3.4	3.4	6.9	—	10.3	3.4
要介護1	26	46.2	34.6	19.2	—	—	—	7.7	7.7	11.5	7.7
要介護2	20	40.0	30.0	30.0	10.0	20.0	—	10.0	10.0	5.0	10.0
要介護3	9	33.3	11.1	22.2	—	—	—	11.1	11.1	22.2	22.2
要介護4	4	—	25.0	—	—	—	—	—	—	50.0	25.0
要介護5	4	—	—	—	—	—	—	25.0	—	75.0	—
わからない	9	77.8	—	11.1	—	11.1	11.1	—	11.1	11.1	—

問 13 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか。
(○はいくつでも)

「利用していない」の割合が 64.5%と最も高くなっています。



【要介護度別】

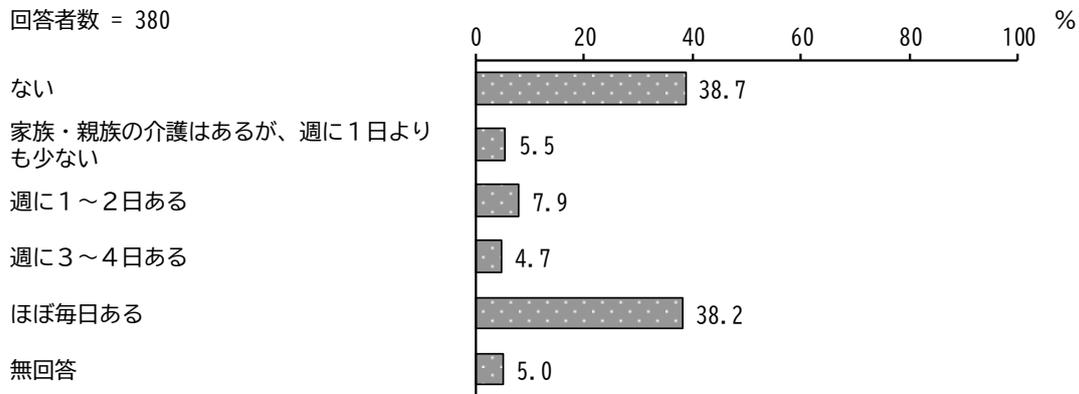
要介護度別にみると、他に比べ、わからないで「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	定期的な通いの場	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	380	8.2	1.6	3.9	2.1	1.6	3.9	3.7	2.6	1.8	2.6	64.5	16.6	
要支援 1	66	6.1	—	6.1	1.5	1.5	3.0	—	1.5	3.0	4.5	65.2	13.6	
要支援 2	60	11.7	3.3	5.0	3.3	3.3	1.7	—	3.3	1.7	3.3	66.7	15.0	
要介護 1	75	12.0	2.7	4.0	1.3	—	5.3	5.3	6.7	4.0	1.3	69.3	13.3	
要介護 2	70	8.6	2.9	7.1	4.3	2.9	4.3	—	1.4	1.4	4.3	58.6	22.9	
要介護 3	39	5.1	—	—	—	2.6	2.6	2.6	2.6	—	2.6	64.1	20.5	
要介護 4	24	8.3	—	—	—	—	—	20.8	—	—	—	58.3	16.7	
要介護 5	17	—	—	—	—	—	5.9	11.8	—	—	—	64.7	17.6	
わからない	11	—	—	—	—	—	9.1	9.1	—	—	—	81.8	—	

問 14 家族や親族の方から介護してもらう日は、週にどのくらいありますか。(○は1つ)
(同居していない子どもや親族の方等からの介護も含みます。)

「ない」の割合が38.7%と最も高く、次いで「ほぼ毎日ある」の割合が38.2%となっています。



【サービス利用】

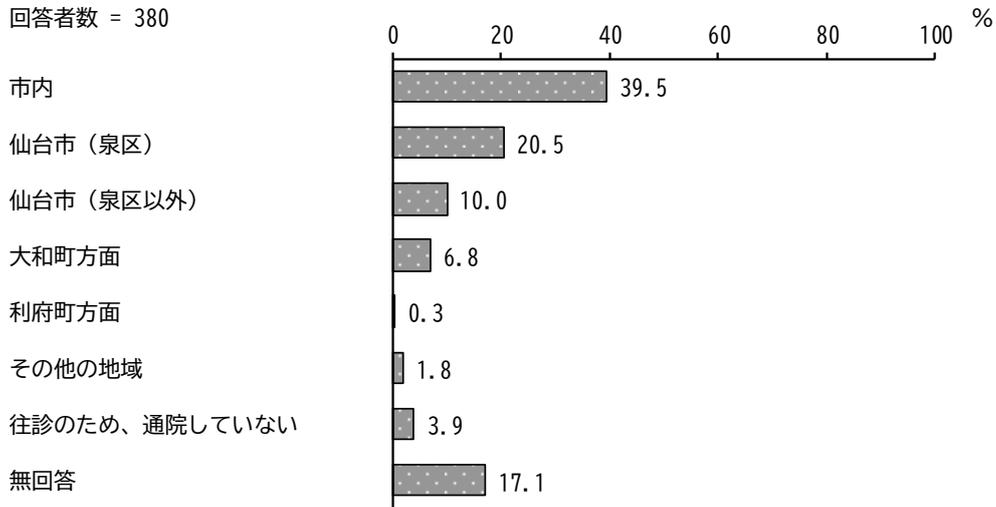
サービス利用にみると、他に比べ、利用していないで「ない」の割合が、利用したで「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ない	ないに に1日 より少 ない	家族・ 親族の 介護は あるが 、週に 1日あ る	週に 1～2 日あ る	週に 3～4 日あ る	ほぼ 毎日 ある	無回 答
全 体	380	38.7	5.5	7.9	4.7	38.2	5.0	
利用した	218	28.0	4.1	10.1	6.0	47.2	4.6	
利用していない	153	55.6	7.8	5.2	3.3	24.8	3.3	

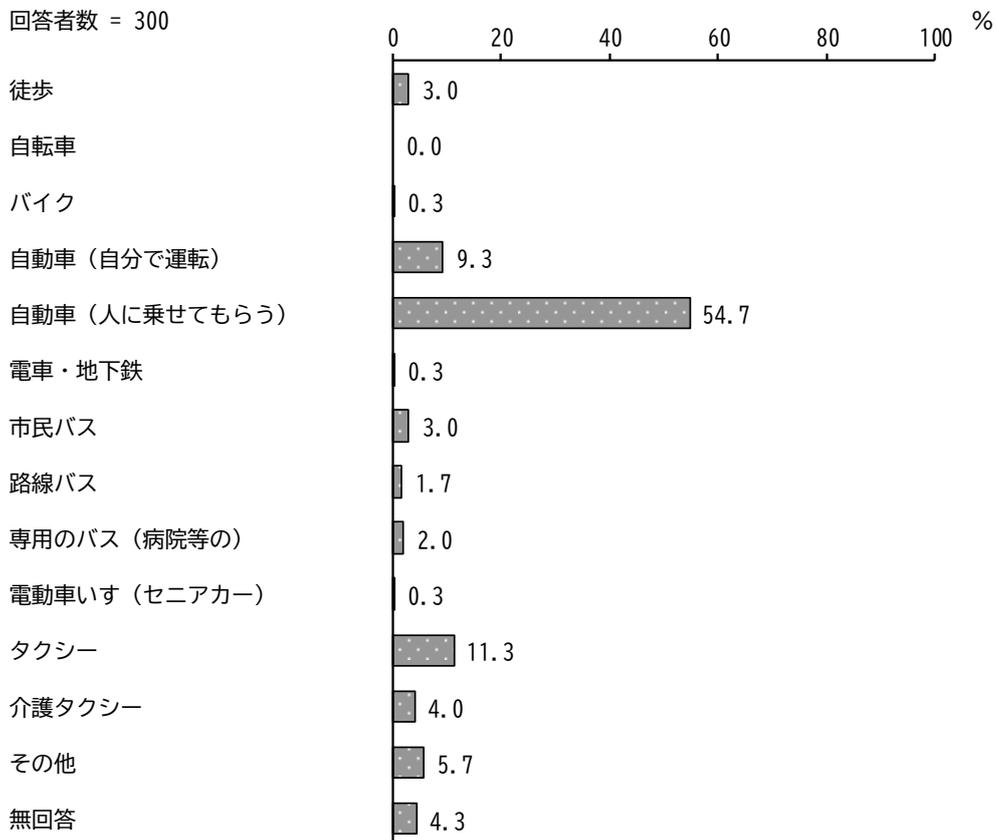
問 15 ご本人（要介護者）が、主に通院している医療機関の地域はどこですか。（○は1つ）

「市内」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「仙台市（泉区）」の割合が 20.5%、「仙台市（泉区以外）」の割合が 10.0%となっています。



問 16 問 15 で「1」～「6」のいずれかの地域の医療機関に通院していると回答した方にお伺いします。医療機関への主な移動手段は何ですか。（○は1つ）

「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「タクシー」の割合が 11.3%となっています。



【要介護度別】

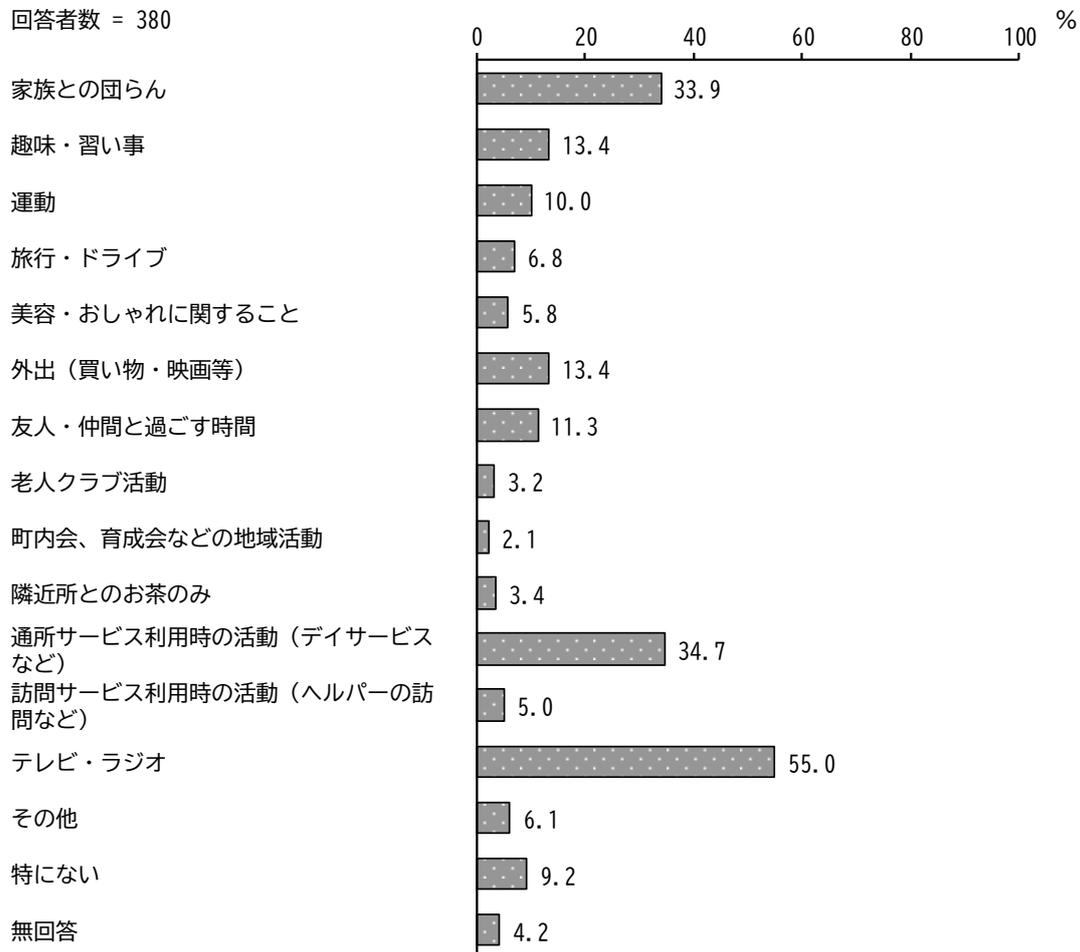
要介護度別にみると、他に比べ、要介護1で「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が、要介護2で「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が、要介護4で「タクシー」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもらう)	電車・地下鉄	市民バス	路線バス	院等 専用のバス (病 院等の)	電動 車いす (セ ニアカー)	タク シー	介 護タク シー	そ の他	無 回 答
全 体	300	3.0	—	0.3	9.3	54.7	0.3	3.0	1.7	2.0	0.3	11.3	4.0	5.7	4.3
要支援1	48	10.4	—	—	20.8	37.5	—	10.4	2.1	—	—	10.4	—	4.2	4.2
要支援2	53	—	—	—	13.2	52.8	1.9	1.9	5.7	—	—	15.1	—	1.9	7.5
要介護1	63	4.8	—	—	3.2	68.3	—	3.2	—	3.2	—	3.2	—	9.5	4.8
要介護2	60	—	—	—	5.0	66.7	—	—	—	5.0	—	16.7	3.3	3.3	—
要介護3	29	—	—	—	6.9	62.1	—	—	3.4	3.4	3.4	10.3	—	10.3	—
要介護4	19	—	—	—	5.3	31.6	—	—	—	—	—	21.1	26.3	—	15.8
要介護5	10	—	—	—	—	30.0	—	—	—	—	—	—	30.0	30.0	10.0
わからない	6	—	—	16.7	33.3	16.7	—	16.7	—	—	—	16.7	—	—	—

問 17 ご本人（要介護者）が、生きがいや楽しみのある生活のためにやっていることは何ですか。（〇はいくつでも）

「テレビ・ラジオ」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「通所サービス利用時の活動（デイサービスなど）」の割合が 34.7%、「家族との団らん」の割合が 33.9%となっています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、どの区分でも「テレビ・ラジオ」の割合が高くなっています。また、他に比べ、要介護4で「家族との団らん」の割合が、要介護3で「家族との団らん」の割合が、要介護1で「通所サービス利用時の活動（デイサービスなど）」の割合が高くなっています。

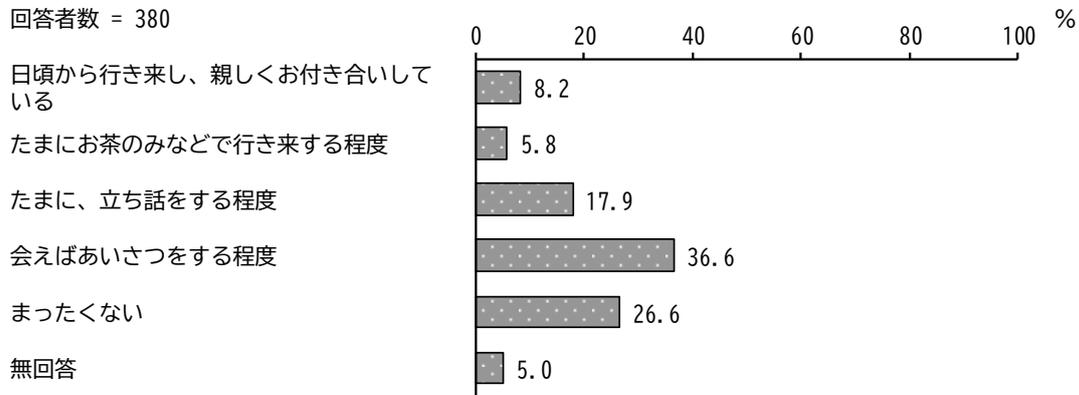
単位：%

区分	回答者数 (件)	家族との団らん	趣味・習い事	運動	旅行・ドライブ	美容・おしゃれ に関すること	外出(買い物・映 画等)	友人・仲間と過 ごす時間	老人クラブ活動
全 体	380	33.9	13.4	10.0	6.8	5.8	13.4	11.3	3.2
要支援1	66	25.8	18.2	24.2	9.1	7.6	27.3	13.6	7.6
要支援2	60	35.0	20.0	10.0	8.3	6.7	11.7	21.7	5.0
要介護1	75	34.7	6.7	5.3	5.3	4.0	9.3	6.7	—
要介護2	70	32.9	15.7	2.9	2.9	8.6	11.4	11.4	2.9
要介護3	39	48.7	12.8	7.7	12.8	10.3	23.1	10.3	5.1
要介護4	24	50.0	4.2	8.3	4.2	—	4.2	8.3	—
要介護5	17	35.3	—	—	—	—	—	—	—
わからない	11	9.1	27.3	18.2	18.2	—	—	9.1	—

区分	町内会、育成会 などの地域活動	隣近所とのお茶 のみ	通所サービス利 用時の活動(デイ サービスなど)	訪問サービス利 用時の活動(ヘル パーの訪問など)	テレビ・ラジオ	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	2.1	3.4	34.7	5.0	55.0	6.1	9.2	4.2
要支援1	4.5	1.5	18.2	3.0	62.1	10.6	4.5	6.1
要支援2	6.7	10.0	25.0	3.3	58.3	5.0	13.3	1.7
要介護1	1.3	2.7	49.3	4.0	50.7	4.0	14.7	4.0
要介護2	—	2.9	42.9	7.1	50.0	10.0	4.3	1.4
要介護3	—	—	43.6	5.1	53.8	—	7.7	—
要介護4	—	—	45.8	12.5	62.5	4.2	8.3	4.2
要介護5	—	—	41.2	11.8	47.1	5.9	23.5	—
わからない	—	—	—	—	63.6	—	9.1	—

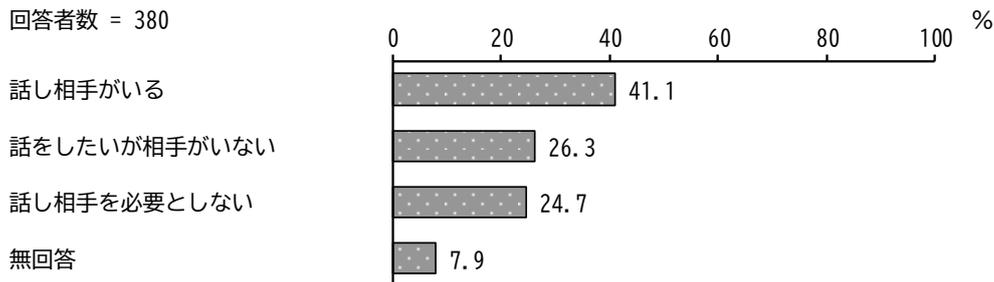
問 18 ご本人（要介護者）は、隣近所の方と、どのようなお付き合いをしていますか。（○は1つ）

「会えばあいさつをする程度」の割合が36.6%と最も高く、次いで「まったくない」の割合が26.6%、「たまに、立ち話をする程度」の割合が17.9%となっています。



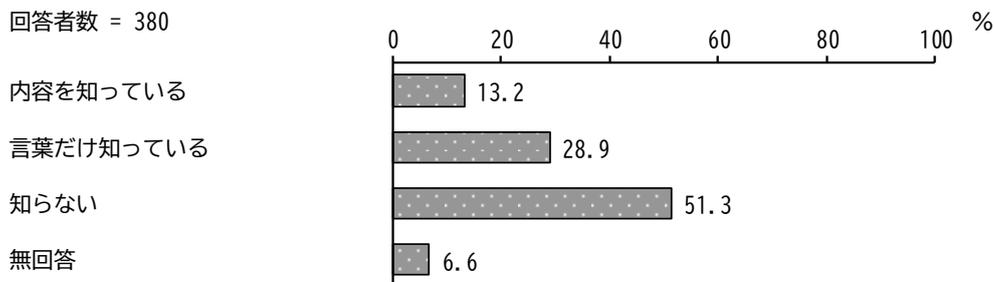
問 19 ご本人（要介護者）は、家族以外で、地域の中に話をする相手がありますか。（○は1つ）

「話し相手がいる」の割合が41.1%と最も高く、次いで「話をしたいが相手がない」の割合が26.3%、「話し相手を必要としない」の割合が24.7%となっています。



問 20 ご本人（要介護者）は、「成年後見制度」について、知っていますか。（○は1つ）

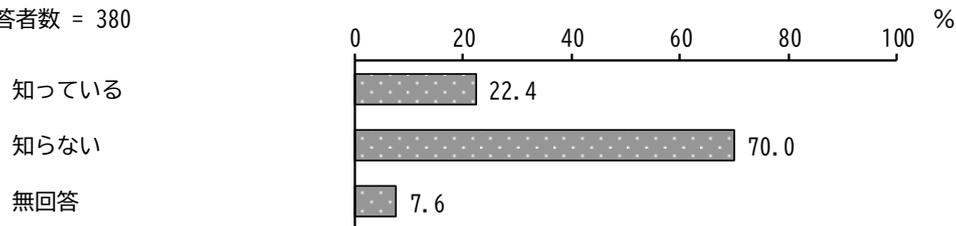
「知らない」の割合が51.3%と最も高く、次いで「言葉だけ知っている」の割合が28.9%、「内容を知っている」の割合が13.2%となっています。



問 21 「成年後見制度」の相談先を、知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が22.4%、「知らない」の割合が70.0%となっています。

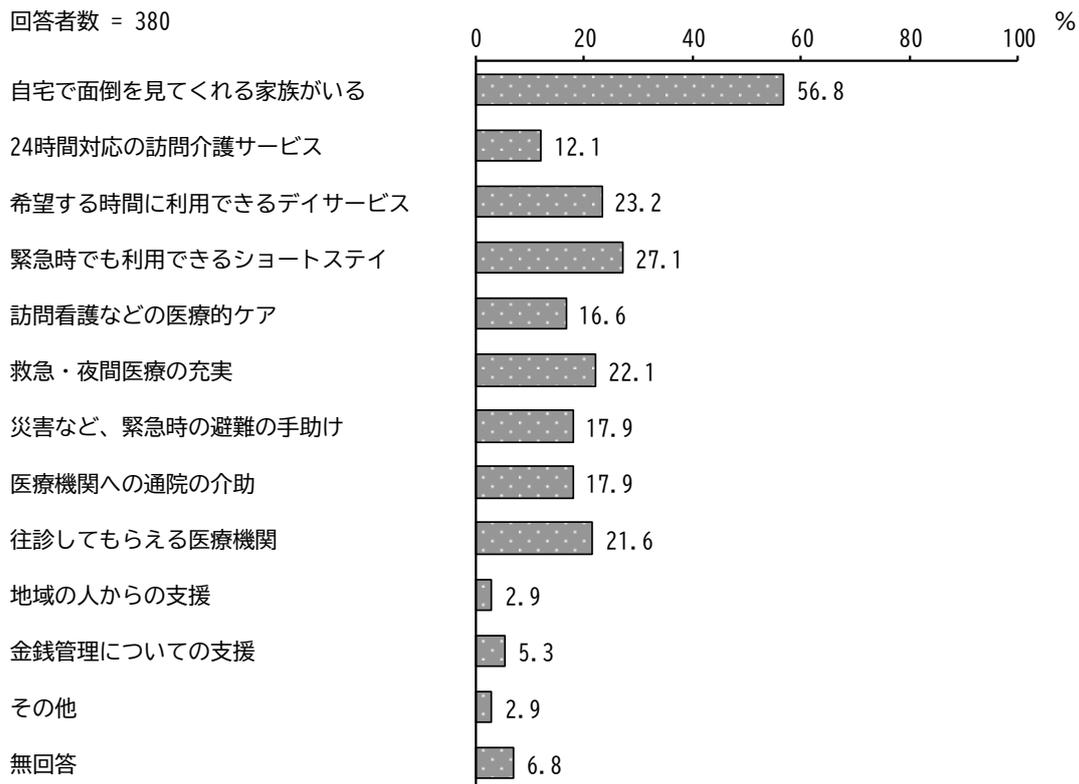
回答者数 = 380



問 22 ご本人（要介護者）が、ご自宅で生活を続けるために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(○は3つまで)

「自宅で面倒を見てくれる家族がいる」の割合が56.8%と最も高く、次いで「緊急時でも利用できるショートステイ」の割合が27.1%、「希望する時間に利用できるデイサービス」の割合が23.2%となっています。

回答者数 = 380



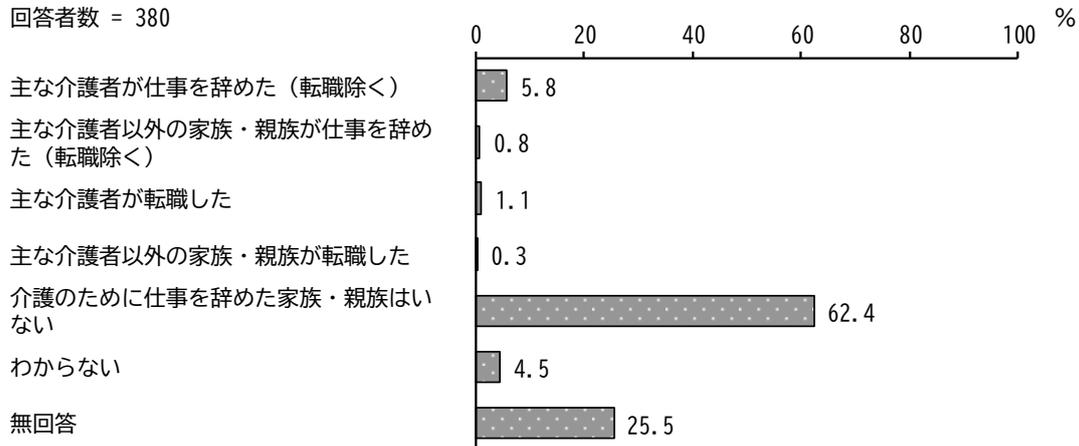
調査結果のまとめ

- ◆ 要介護者の介護度は、「要介護1」の割合が19.7%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が18.4%、「要支援1」の割合が17.4%と、軽度認定者（要支援1・2）と中度認定者（要介護1・2）の割合が高くなっています。これが重度化防止施策の成果なのかを検証しながら、引き続き重度化防止に取り組んでいくことが必要です。また、「要介護5」の割合は70～74歳で若干高いことから、早いうちに要介護状態になった人の重度化が懸念されます。第2号被保険者への生活習慣病予防施策や前期高齢者への介護予防・健康づくり施策を引き続き推進し、生活習慣病やそれに起因する疾患予防施策を推進することが必要です。
- ◆ 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスについては、「自宅で面倒を見てくれる家族がいる」（56.8%）とともに、「緊急時でも利用できるショートステイ」の割合が（27.1%）「救急・夜間医療の充実」（22.1%）の割合が高くなっています。自宅での生活を続けるにあたっては家族による介護が不可欠ですが、家族が対応できる範囲には限界があります。家族では如何ともし難い場合にすぐ利用できるショートステイや医療の充実が求められています。
- ◆ あわせて、隣近所との付き合い状況をみると、近所付き合いが「まったくない」（26.6%）が4分の1を占めています。また、家族以外の話し相手についても、「話をしたいが相手がない」の割合が26.3%と、家族以外の他者と会話する機会が少なくなっているのが現状です。他者との交流によって、要介護者本人と家族が孤立しないよう、また介護度の重度化を防ぐためにも、地域での交流の場や見守り、声掛けの重要性が高まっています。なお、生きがいや楽しみのある生活のために行っていることとして「テレビ・ラジオ」のほか、「通所サービス利用時の活動（デイサービスなど）」（34.7%）が多くなっています。デイサービス利用者は、サービスの利用を通じて、施設の職員や他の利用者と交流して楽しみを広げられていると考えられます。

(2) 主な介護者の方について

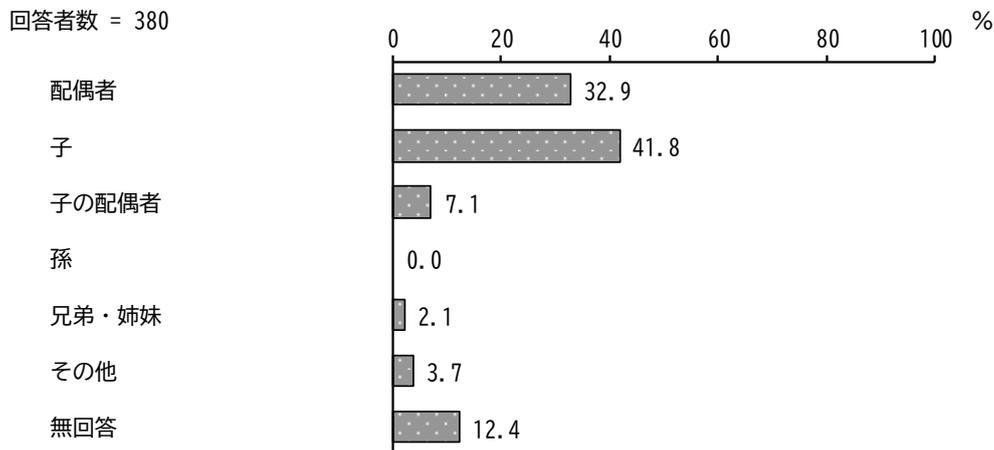
問1 ご家族や親族の方で、ご本人（要介護者）の介護のために、過去1年の間に仕事を辞めた方・転職された方はありますか。（○はいくつでも）（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が62.4%と最も高くなっています。



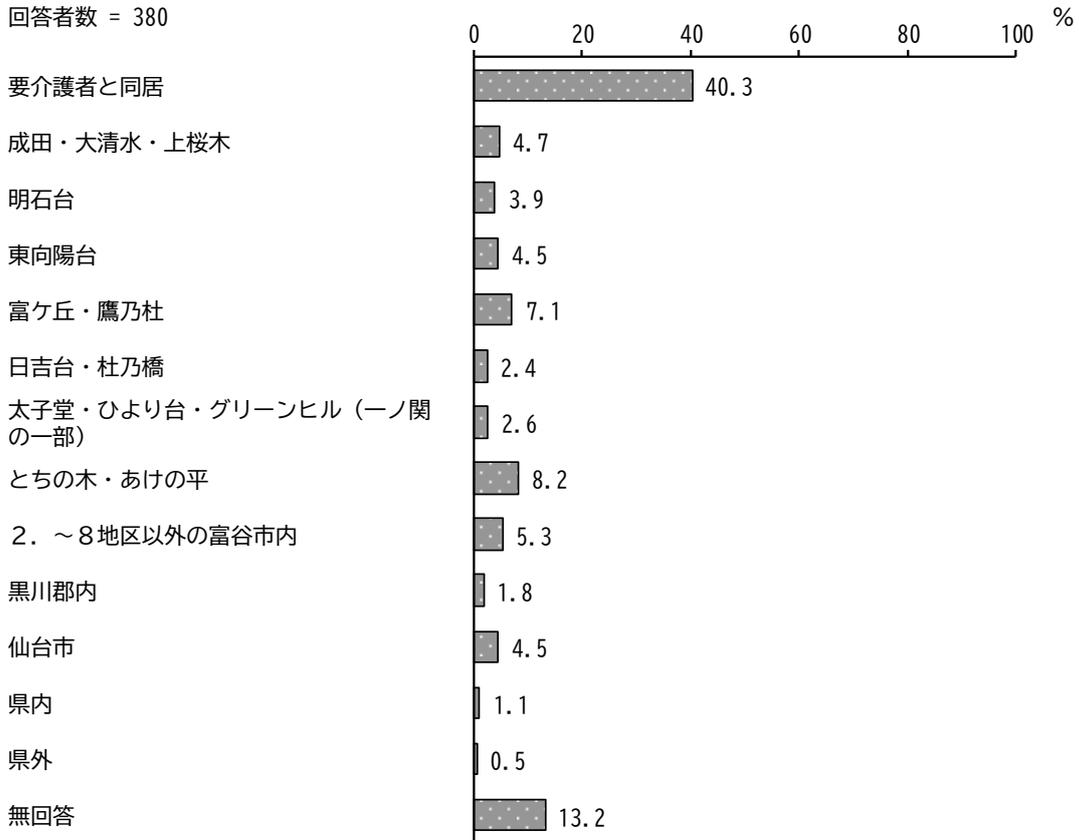
問2 主な介護者の方は、ご本人（要介護者）から見てどなたになりますか。（○は1つ）

「子」の割合が41.8%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が32.9%となっています。



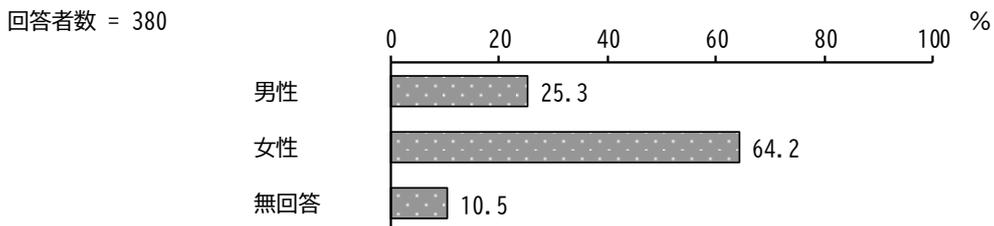
問3 主な介護者の方のお住まいはどこですか。(○は1つ)

「要介護者と同居」の割合が40.3%と最も高くなっています。



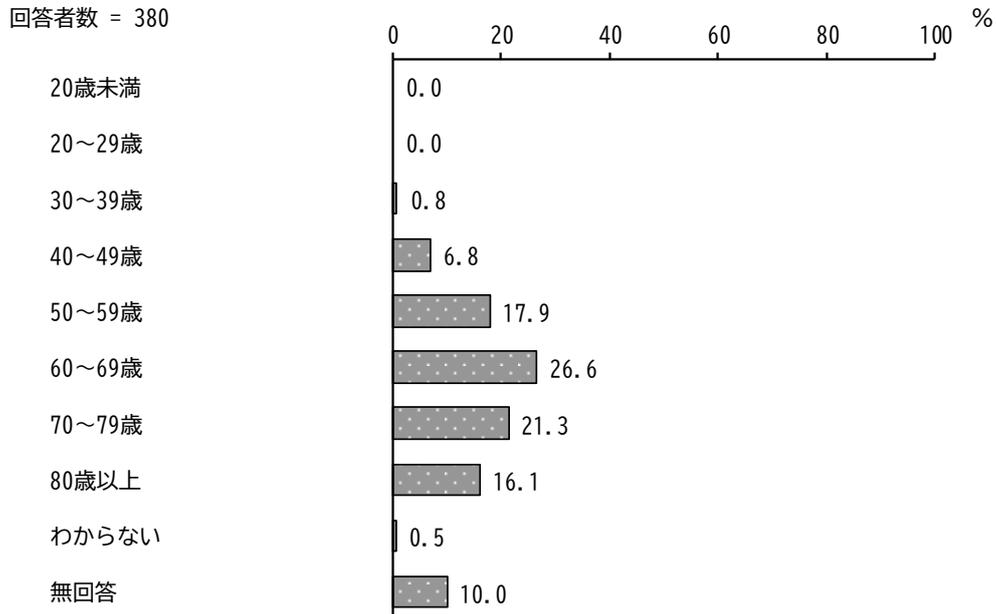
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

「男性」の割合が25.3%、「女性」の割合が64.2%となっています。



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

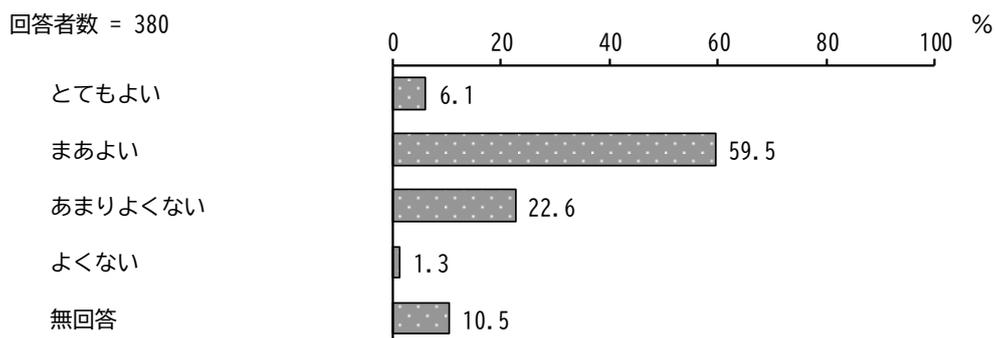
「60～69歳」の割合が26.6%と最も高く、次いで「70～79歳」の割合が21.3%、「50～59歳」の割合が17.9%となっています。



IV

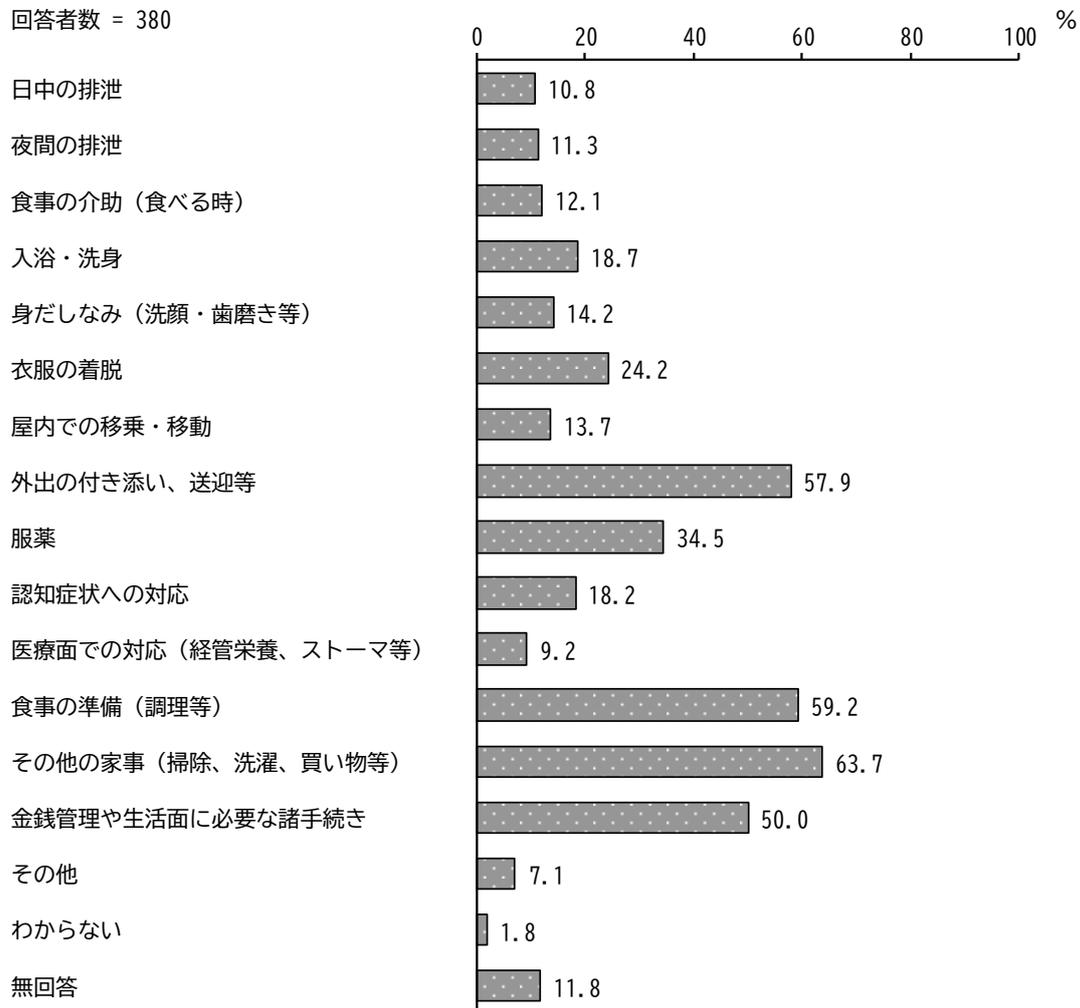
問6 現在の主な介護者の方の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

「まあよい」の割合が59.5%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が22.6%となっています。



問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(〇はいくつでも)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」の割合が 59.2%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が 57.9%となっています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、他に比べ、要介護5で「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「日中の排泄」「食事の介助（食べる時）」の割合が高くなっています。

単位：%

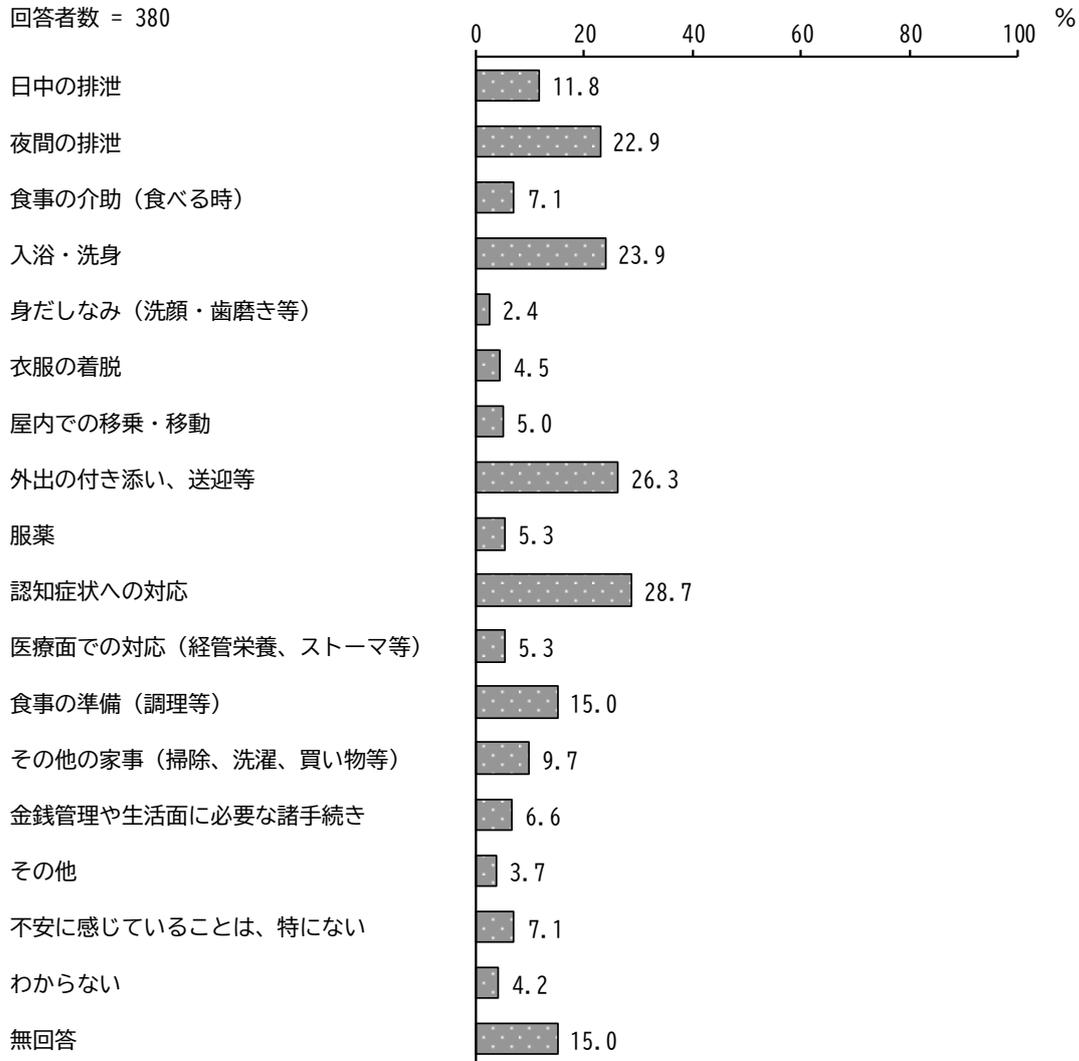
区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内での移乗・ 移動	外出の付き添 い、送迎等
全 体	380	10.8	11.3	12.1	18.7	14.2	24.2	13.7	57.9
要支援1	66	—	1.5	—	7.6	3.0	7.6	4.5	47.0
要支援2	60	—	3.3	5.0	15.0	5.0	8.3	5.0	58.3
要介護1	75	4.0	5.3	9.3	17.3	8.0	21.3	12.0	69.3
要介護2	70	7.1	7.1	8.6	27.1	12.9	27.1	14.3	72.9
要介護3	39	25.6	28.2	23.1	38.5	28.2	51.3	25.6	59.0
要介護4	24	54.2	41.7	45.8	29.2	50.0	66.7	58.3	62.5
要介護5	17	58.8	52.9	58.8	11.8	64.7	58.8	17.6	29.4
わからない	11	—	—	—	—	—	—	—	18.2

区分	認知症 症状への 対応	医療面での 対応 (経管栄養、 ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	金銭管理や生活 面に必要な諸手 続き	その他	わからない	無回答
全 体	18.2	9.2	59.2	63.7	50.0	7.1	1.8	11.8
要支援1	9.1	4.5	36.4	53.0	28.8	10.6	3.0	16.7
要支援2	5.0	8.3	50.0	60.0	36.7	5.0	3.3	15.0
要介護1	30.7	10.7	72.0	65.3	66.7	4.0	2.7	5.3
要介護2	21.4	8.6	74.3	77.1	58.6	8.6	—	4.3
要介護3	25.6	12.8	71.8	74.4	66.7	7.7	—	10.3
要介護4	25.0	12.5	66.7	70.8	58.3	8.3	—	12.5
要介護5	23.5	23.5	58.8	58.8	64.7	11.8	—	—
わからない	—	9.1	45.5	45.5	9.1	9.1	—	27.3

問8 (在宅生活を送る要介護者を介護している) 現在の生活を今後も続けていくためには、主な介護者の方が不安に感じる介護等はどれですか。(〇は3つまで)(現在行っているかどうかは問いません。)

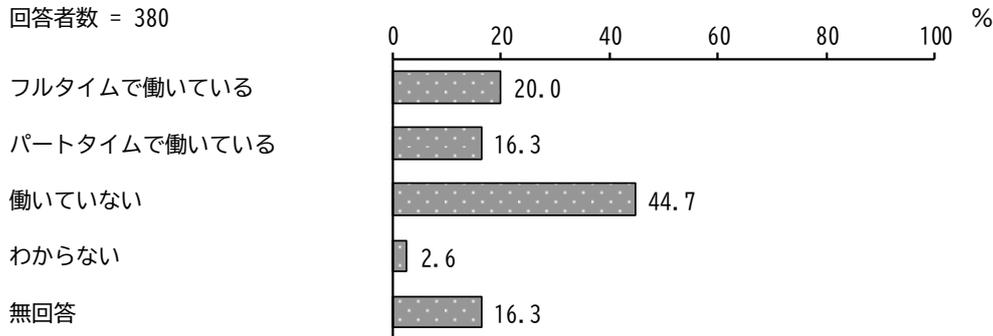
「認知症状への対応」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が 26.3%、「入浴・洗身」の割合が 23.9%となっています。

回答者数 = 380



問9 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか。(○は1つ)

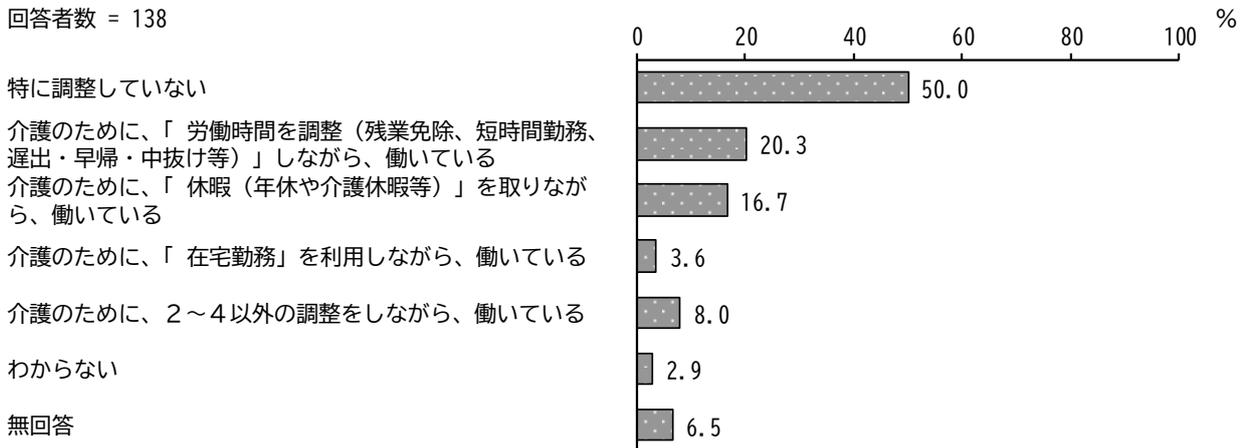
「働いていない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が20.0%、「パートタイムで働いている」の割合が16.3%となっています。



問10 問9で「1. フルタイムで働いている」・「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(○はいくつでも)

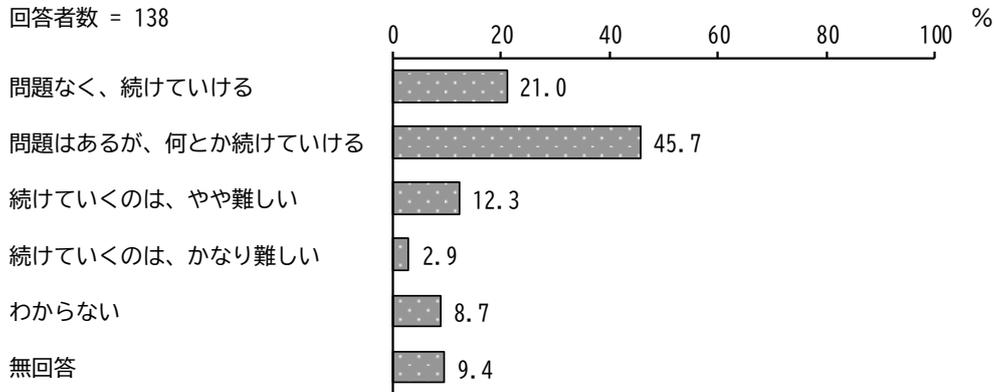
「特に調整していない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が20.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 138



問11 問9で「1. フルタイムで働いている」・「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
(○は1つ)

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が45.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が21.0%、「続けていくのは、やや難しい」の割合が12.3%となっています。



【要介護度別】

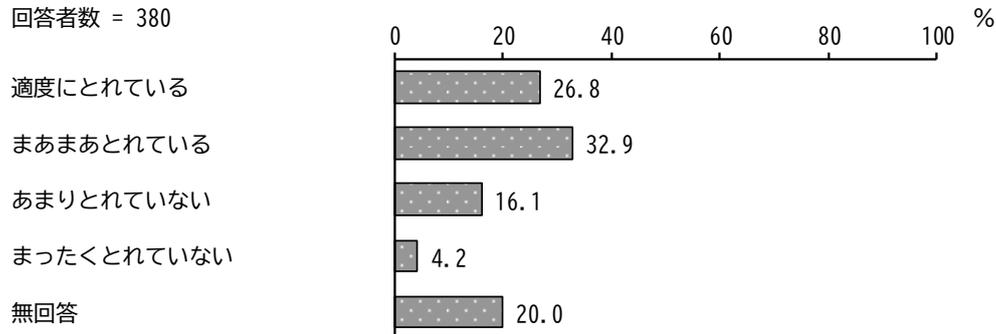
要介護度別にみると、他に比べ、要支援1で「問題なく、続けていける」の割合が、要介護3で「続けていくのは、やや難しい」の割合が、要介護1で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	は、続けていくのは、やや難しい	いは、続けていくのは、かなり難しい	わからない	無回答
全体	138	21.0	45.7	12.3	2.9	8.7	9.4
要支援1	32	37.5	34.4	—	3.1	18.8	6.3
要支援2	25	16.0	48.0	16.0	—	8.0	12.0
要介護1	27	22.2	55.6	3.7	3.7	11.1	3.7
要介護2	26	11.5	50.0	19.2	—	3.8	15.4
要介護3	11	9.1	54.5	27.3	—	—	9.1
要介護4	6	—	66.7	33.3	—	—	—
要介護5	6	16.7	33.3	16.7	33.3	—	—
わからない	1	—	—	—	—	—	100.0

問 12 主な介護者の方は、ご自身の自由な時間がとれていますか。(○は1つ)

「まあまあとれている」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「適度にとれている」の割合が 26.8%、「あまりとれていない」の割合が 16.1%となっています。



【要介護度別】

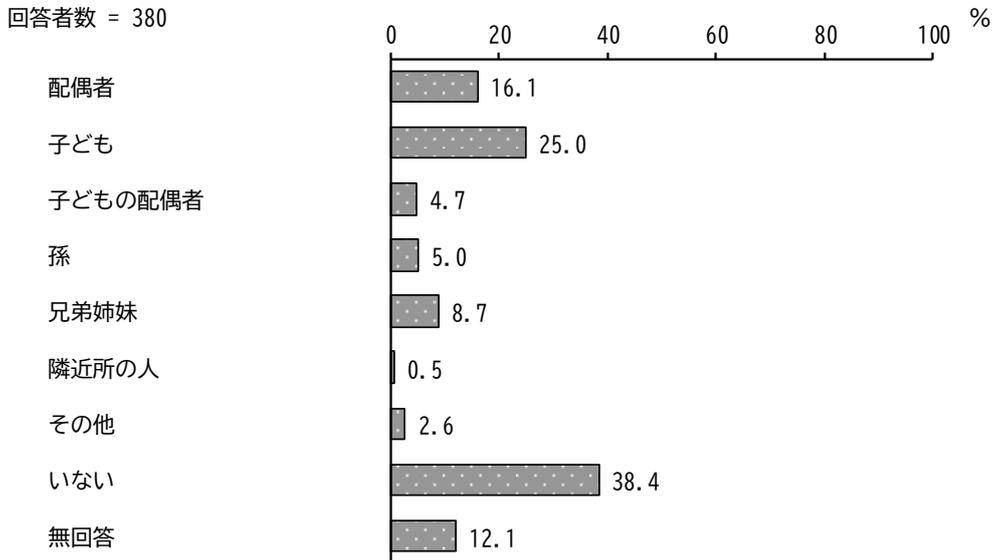
要介護度別にみると、他に比べ、要支援1で「適度にとれている」の割合が、わからないで「適度にとれている」の割合が、要介護3で「あまりとれていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	適度にとれている	まあまあとれている	あまりとれていない	まったくとれていない	無回答
全体	380	26.8	32.9	16.1	4.2	20.0
要支援1	66	39.4	27.3	4.5	—	28.8
要支援2	60	26.7	30.0	16.7	1.7	25.0
要介護1	75	29.3	36.0	18.7	6.7	9.3
要介護2	70	22.9	41.4	17.1	2.9	15.7
要介護3	39	12.8	41.0	25.6	5.1	15.4
要介護4	24	16.7	33.3	25.0	8.3	16.7
要介護5	17	17.6	41.2	11.8	23.5	5.9
わからない	11	36.4	9.1	9.1	—	45.5

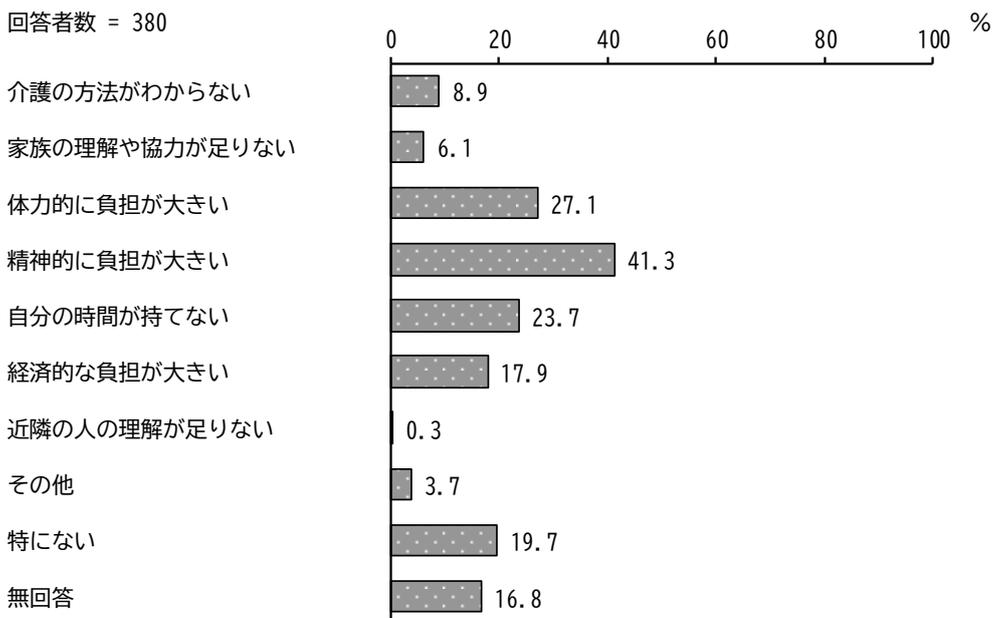
問 13 主な介護者の方が介護をできない場合、代わってくれる方はいますか。
(○はいくつでも)

「いない」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「子ども」の割合が 25.0%、「配偶者」の割合が 16.1%となっています。



問 14 主な介護者の方が特に負担に感じていることは何ですか。(○は3つまで)

「精神的に負担が大きい」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「体力的に負担が大きい」の割合が 27.1%、「自分の時間が持てない」の割合が 23.7%となっています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、他に比べ、要介護5で「体力的に負担が大きい」「経済的な負担が大きい」「自分の時間が持てない」の割合が高くなっています。

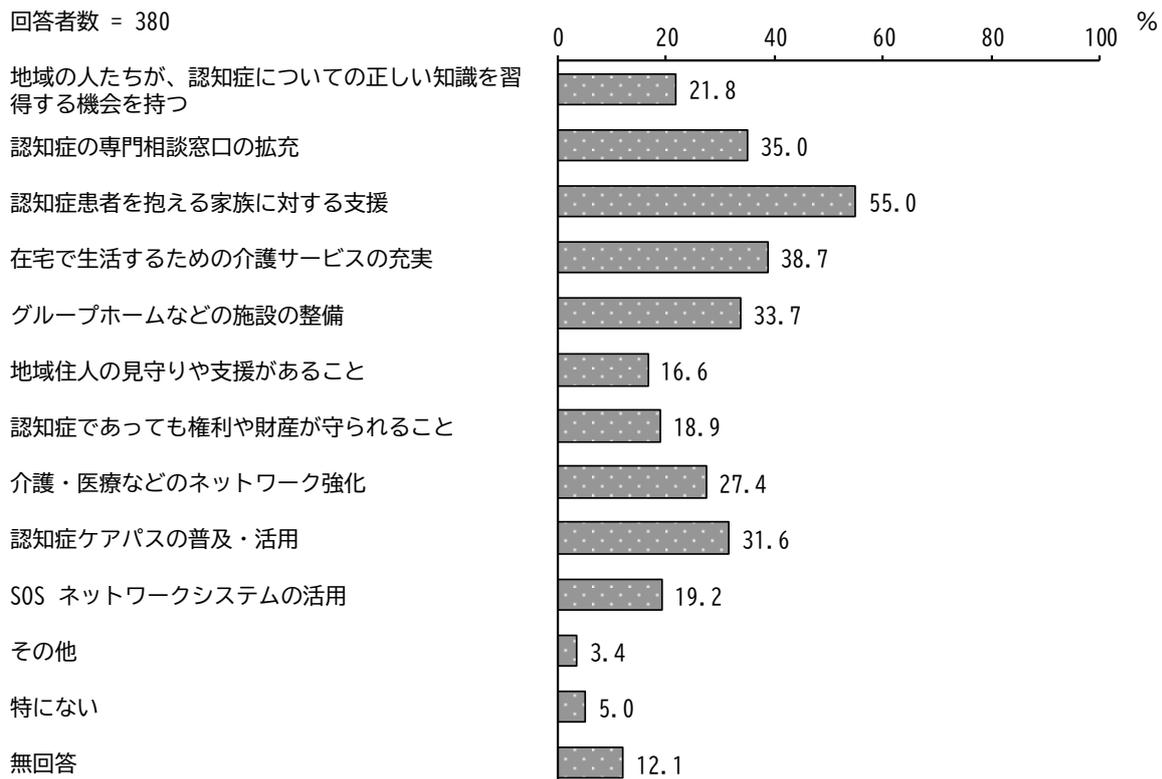
単位：％

区分	回答者数(件)	介護の方法がわからない	家族の理解や協力が足りない	体力的に負担が大きい	精神的に負担が大きい	自分の時間が持てない	経済的な負担が大きい	近隣の人の理解が足りない	その他	特にない	無回答
全体	380	8.9	6.1	27.1	41.3	23.7	17.9	0.3	3.7	19.7	16.8
要支援1	66	12.1	—	18.2	31.8	13.6	15.2	—	7.6	30.3	21.2
要支援2	60	11.7	3.3	21.7	38.3	21.7	11.7	—	—	21.7	25.0
要介護1	75	10.7	12.0	22.7	38.7	24.0	12.0	—	6.7	24.0	9.3
要介護2	70	5.7	8.6	31.4	54.3	24.3	15.7	—	4.3	12.9	10.0
要介護3	39	10.3	5.1	25.6	56.4	35.9	28.2	—	—	15.4	12.8
要介護4	24	4.2	16.7	37.5	45.8	37.5	25.0	4.2	4.2	8.3	16.7
要介護5	17	5.9	—	70.6	23.5	41.2	47.1	—	—	11.8	—
わからない	11	9.1	—	36.4	36.4	9.1	18.2	—	—	18.2	36.4

問15 今後、認知症の方が増加することが予想されますが、認知症になっても安心して生活するために必要なことは、どのような事と思いますか。(〇はいくつでも)

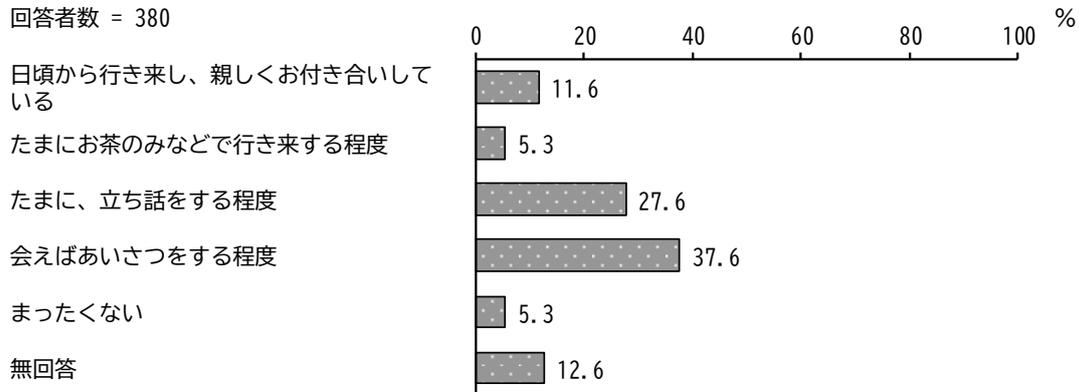
「認知症患者を抱える家族に対する支援」の割合が55.0%と最も高く、次いで「在宅で生活するための介護サービスの充実」の割合が38.7%、「認知症の専門相談窓口の拡充」の割合が35.0%となっています。

回答者数 = 380



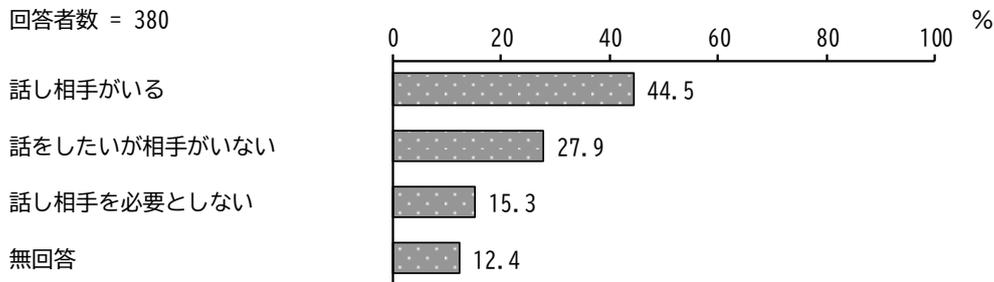
問 16 主な介護者の方は、隣近所の方と、どのようなお付き合いをしていますか。(○は1つ)

「会えばあいさつをする程度」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「たまに、立ち話をする程度」の割合が 27.6%、「日頃から行き来し、親しくお付き合いしている」の割合が 11.6%となっています。



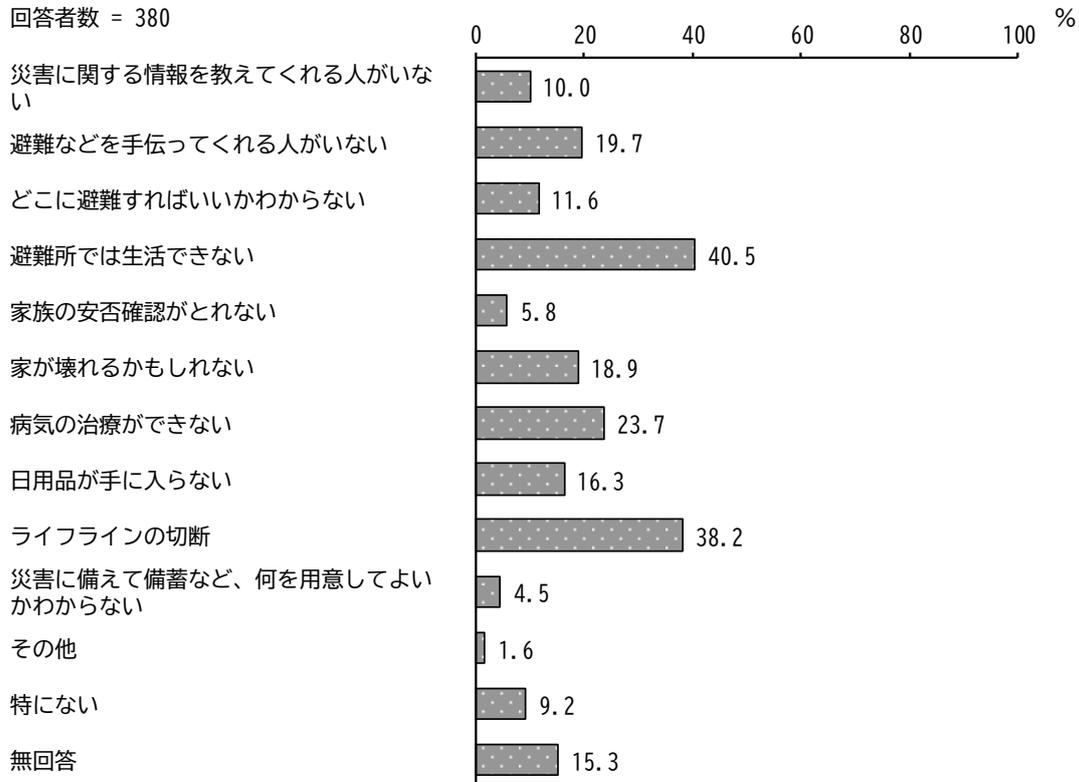
問 17 主な介護者の方には、家族以外で、介護の悩みを相談するなど、地域の中に話をする相手がありますか。(○は1つ)

「話し相手がいる」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「話をしたいが相手がない」の割合が 27.9%、「話し相手を必要としない」の割合が 15.3%となっています。



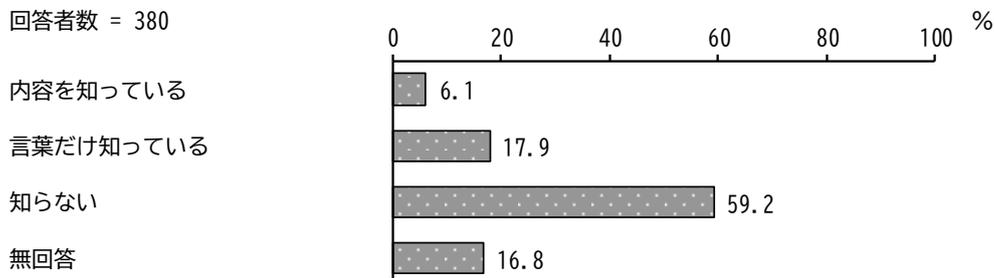
問 18 主な介護者の方が、災害時に、不安に感じることはどのようなことですか。
(○はいくつでも)

「避難所では生活できない」の割合が40.5%と最も高く、次いで「ライフラインの切断」の割合が38.2%、「病気の治療ができない」の割合が23.7%となっています。



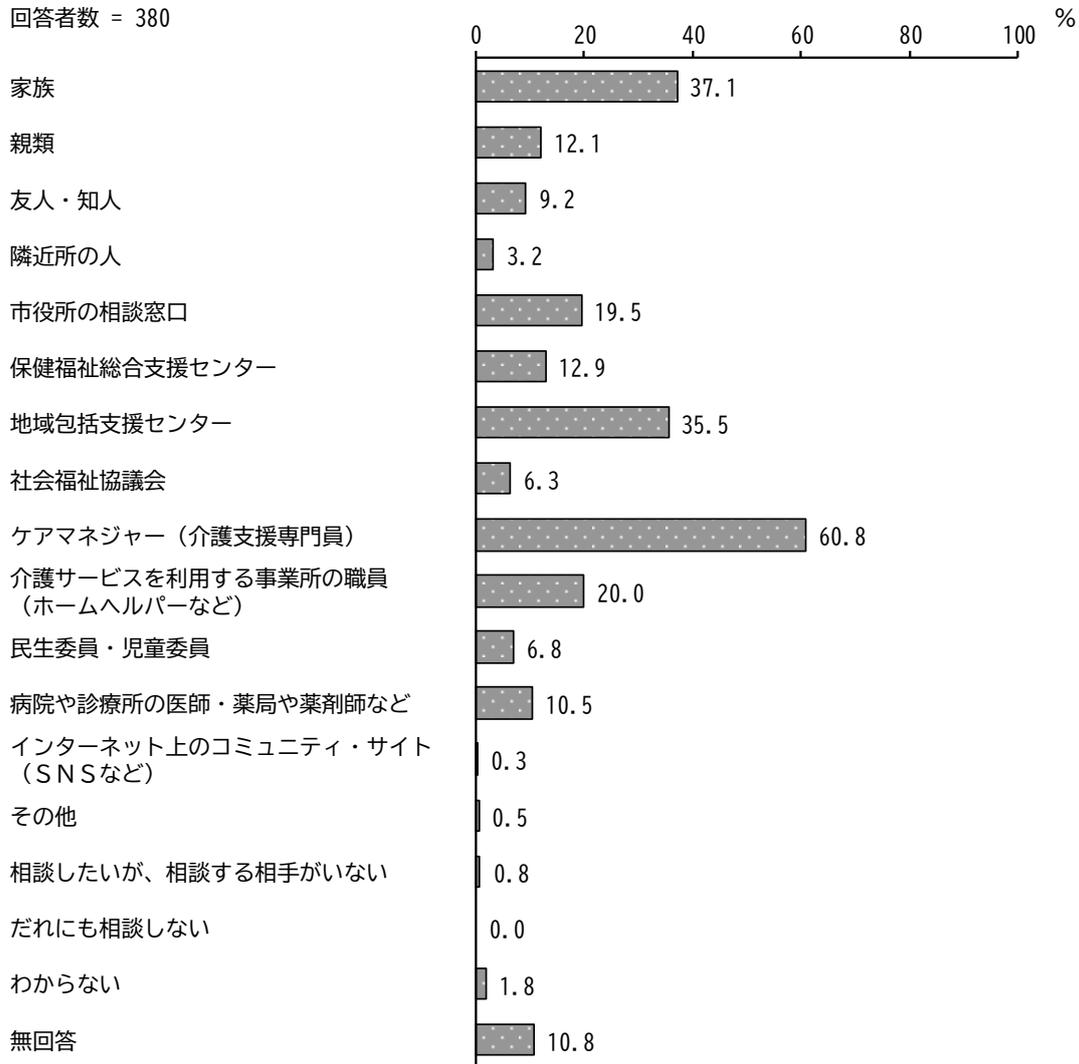
問 19 主な介護者の方は、福祉避難所を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」の割合が59.2%と最も高く、次いで「言葉だけ知っている」の割合が17.9%となっています。



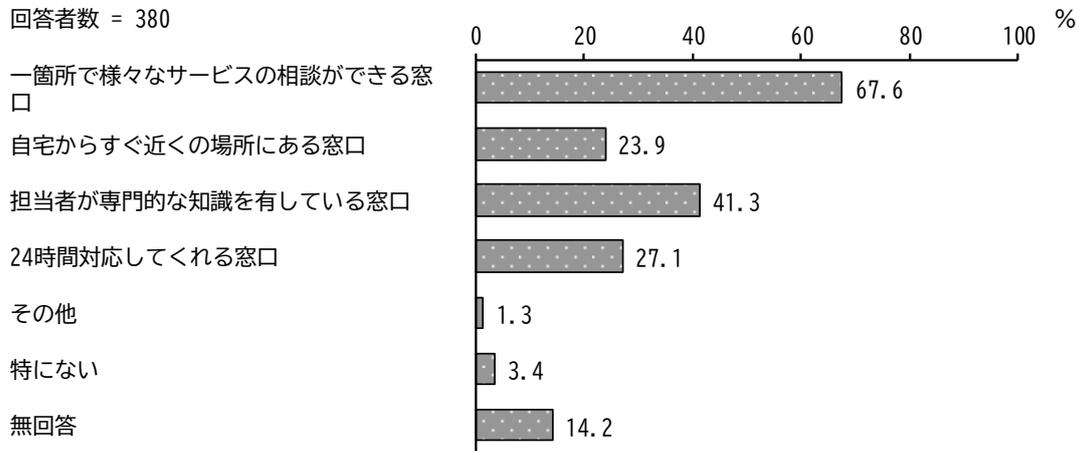
問 20 主な介護者の方は、介護について、どこに相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「ケアマネジャー(介護支援専門員)」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「家族」の割合が 37.1%、「地域包括支援センター」の割合が 35.5%となっています。



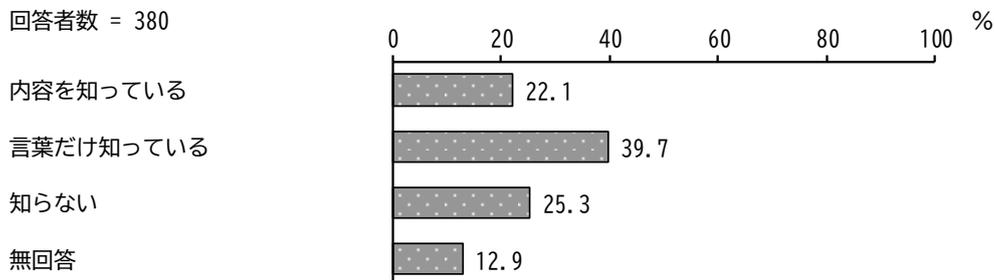
問 21 主な介護者の方が、介護に関する相談窓口を求めるものは何ですか。(○は3つまで)

「一箇所で様々なサービスの相談ができる窓口」の割合が67.6%と最も高く、次いで「担当者が専門的な知識を有している窓口」の割合が41.3%、「24時間対応してくれる窓口」の割合が27.1%となっています。



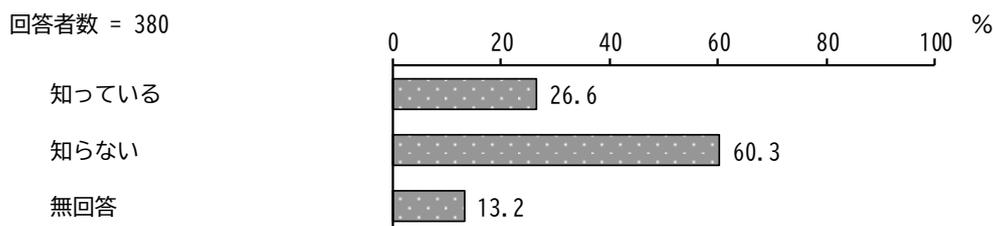
問 22 主な介護者の方は、「成年後見制度」について、知っていますか。(○は1つ)

「言葉だけ知っている」の割合が39.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が25.3%、「内容を知っている」の割合が22.1%となっています。



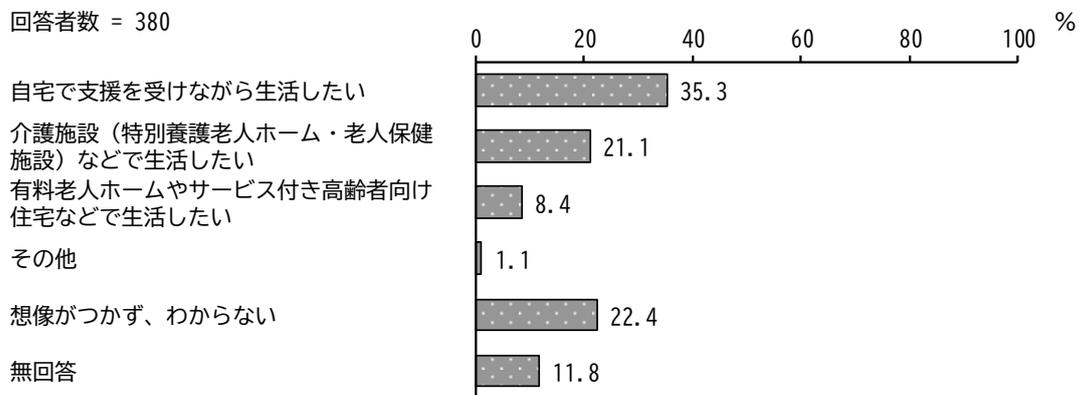
問 23 「成年後見制度」の相談先を、知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が26.6%、「知らない」の割合が60.3%となっています。



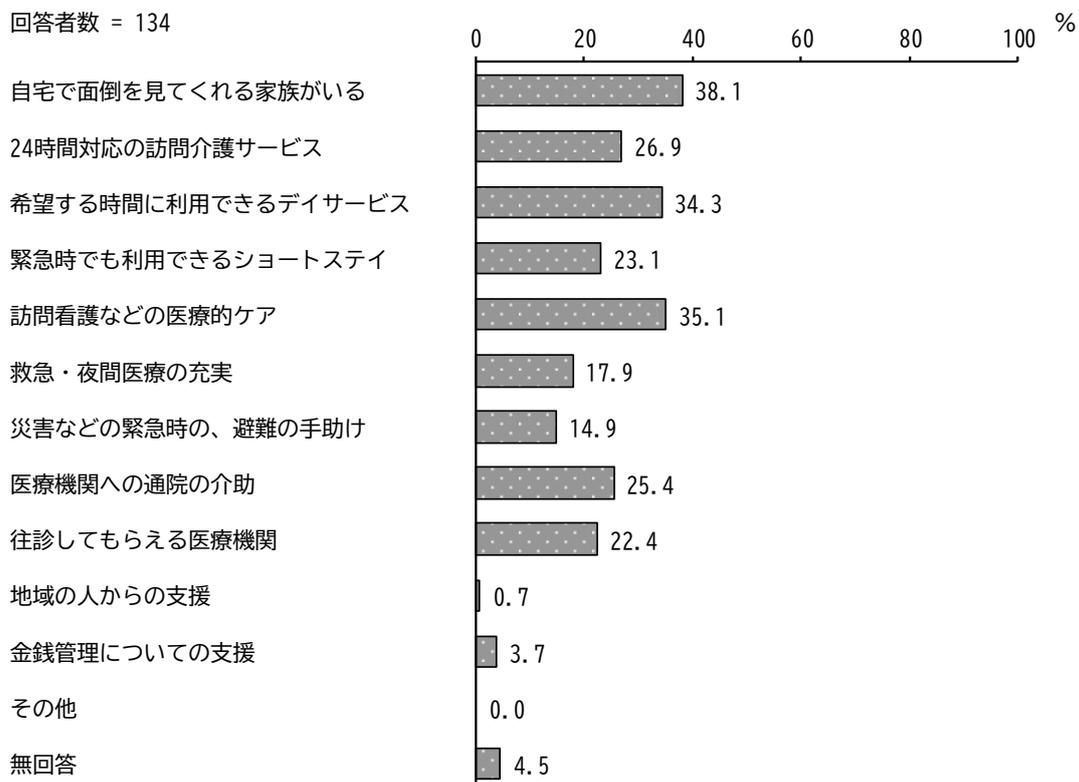
問 24 主な介護者の方自身に介護が必要となった場合に、どのような介護を受けながら生活したいと思いますか。(〇は1つ)

「自宅で支援を受けながら生活したい」の割合が35.3%と最も高く、次いで「想像がつかず、わからない」の割合が22.4%、「介護施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設）などで生活したい」の割合が21.1%となっています。



問 25 問 24 で「1. 自宅で支援を受けながら生活したい」に回答した方にお伺いします。主な介護者の方がご自宅で生活を続けるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「自宅で面倒を見てくれる家族がいる」の割合が38.1%と最も高く、次いで「訪問看護などの医療的ケア」の割合が35.1%、「希望する時間に利用できるデイサービス」の割合が34.3%となっています。



調査結果のまとめ

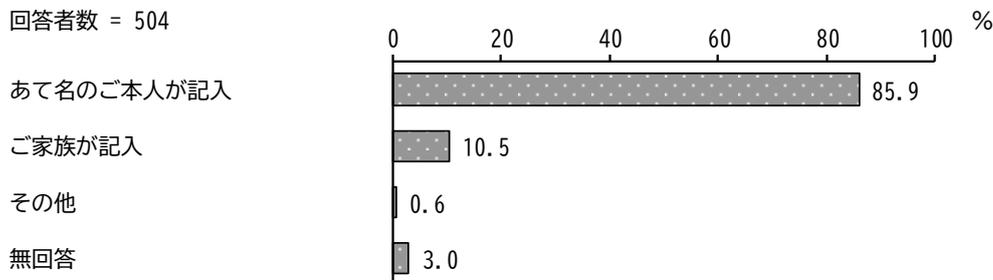
- ◆ 主な介護者の続柄は「子」(41.8%)の割合が最も高く、次いで「配偶者」(32.9%)となっています。また、主な介護者の年齢は、「60～69歳」(26.6%)と最も高いものの、70歳以上が約4割を占めており、介護者の高齢化により在宅介護の継続が難しくなってくる懸念されます。
- ◆ 現在の在宅生活を続けていくために不安を感じる介護は、「認知症状への対応」(28.7%)、「外出の付き添い、送迎等」(26.3%)が上位になっています。また、介護度が要介護3以上となると、不安を感じる人の割合が高くなる項目が多くなり、身体介護・生活援助のほとんどの項目で介護が必要な状況となっています。
- ◆ 介護者の勤務状況を見ると、「フルタイム」(20.0%)、「パートタイム」(16.3%)をあわせて約4割の人が就労していますが、その約半数の人が介護のために働き方を調整しています。また、今後の介護と仕事の両立については、「続けていくのは、やや難しい」(12.3%)、「続けていくのは、かなり難しい」(2.9%)と回答した“就労継続が難しい”と感じる人が1割半ばとなっています。また、主な介護者が介護をできない場合に代わってくれる方が、「いない」人は38.4%に上っています。
- ◆ 介護者が特に負担に感じていることとしては、「精神的に負担が大きい」(41.3%)と最も高く、介護度が上がるにつれて負担が大きくなる傾向もみられます。
- ◆ このように介護者は、介護への不安においても、就労においても、また精神的にも難しい状況を抱えている人が多くなっています。そのため、介護そのもの負担軽減・支援はもちろん、介護者が就労を継続できるような就労環境の整備をするとともに、精神的な負担も軽減できるよう、認知症カフェの周知・拡充や相談窓口の拡充、レスパイトの充実が急務となっており、このことは「今後、認知症になっても安心して生活するために必要なこと」として「認知症患者を抱える家族に対する支援」の割合が55.0%と最も高くなっていることにも現れています。
- ◆ 相談制度については介護者の負担を軽減するために重要な役割を果たしています。介護に関する相談窓口を求めるものとして、「一箇所で様々なサービスの相談ができる窓口」の割合が67.6%と最も高く、次いで「担当者が専門的な知識を有している窓口」の割合が41.3%となっています。ワンストップで完結できる相談窓口や、ケアマネジャーが中心となりながらも、対応が困難な場合に専門的な相談や適切な支援につなげられる相談体制の連携強化が重要です。
- ◆ 災害時に不安を感じることでは、「避難所では生活できない」(40.5%)と感じている人が多い一方、福祉避難所の「内容を知っている」人は6.1%にとどまっており、福祉避難所の需要が高いにもかかわらず認知度が低い状況となっています。要配慮者に対する福祉避難所の周知が引き続き求められます。

V 第2号被保険者調査

V 第2号被保険者対象ニーズ調査

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

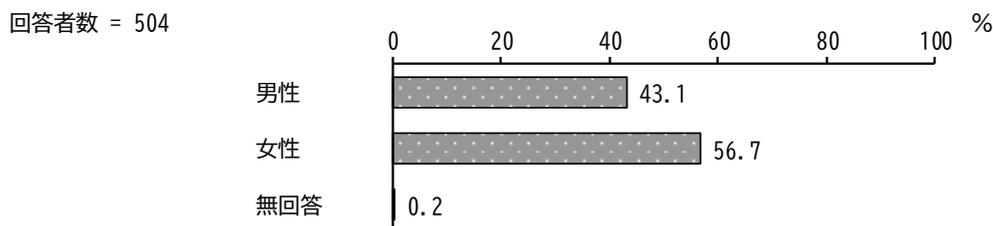
「あて名のご本人が記入」の割合が85.9%、「ご家族が記入」の割合が10.5%となっています。



(1) あなたご自身のことについて

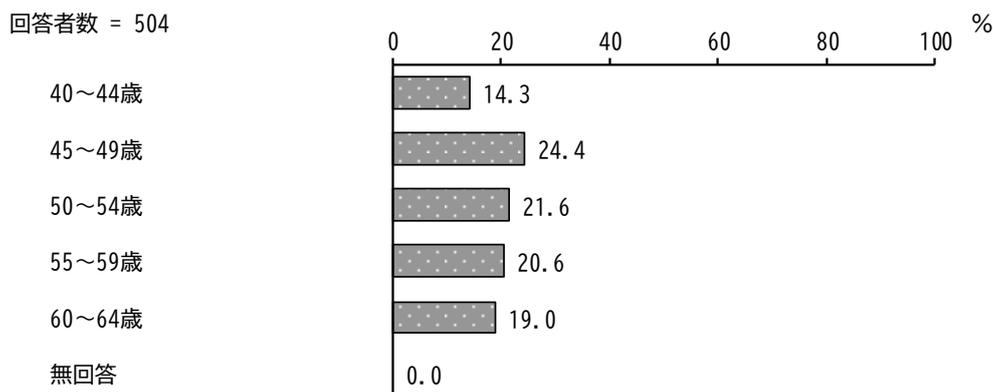
問1 あて名のご本人の性別について、ご回答ください。

「男性」の割合が43.1%、「女性」の割合が56.7%となっています。



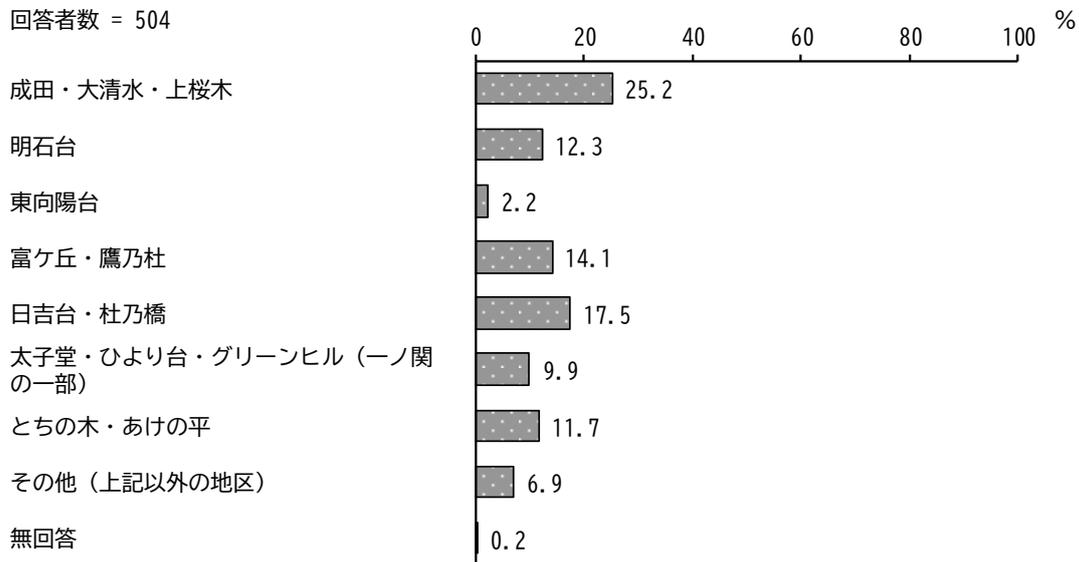
問2 あなたの年齢について、ご回答ください。

「45～49歳」の割合が24.4%と最も高く、次いで「50～54歳」の割合が21.6%、「55～59歳」の割合が20.6%となっています。



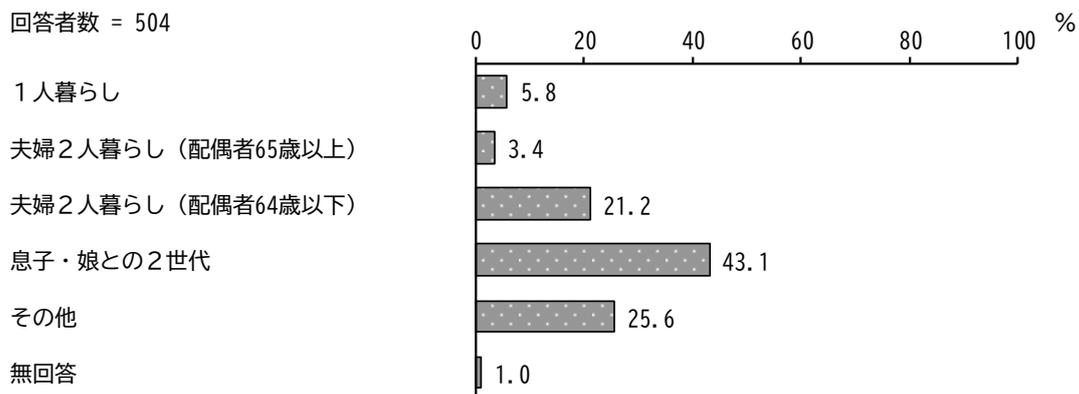
問3 あなたのお住まいの地区は、どこですか。

「成田・大清水・上桜木」の割合が25.2%と最も高く、次いで「日吉台・杜乃橋」の割合が17.5%、「富ヶ丘・鷹乃杜」の割合が14.1%となっています。



問4 あなたの家族構成は、次のうちどれですか。

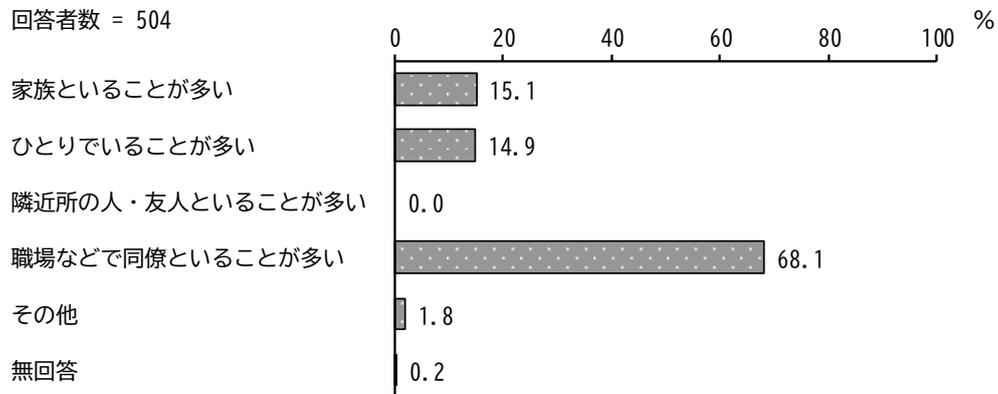
「息子・娘との2世代」の割合が43.1%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」の割合が21.2%となっています。



問5 あなたは、日中、主に誰とお過ごしですか。(○は1つ)

「職場などで同僚といることが多い」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「家族といることが多い」の割合が 15.1%、「ひとりであることが多い」の割合が 14.9%となっています。

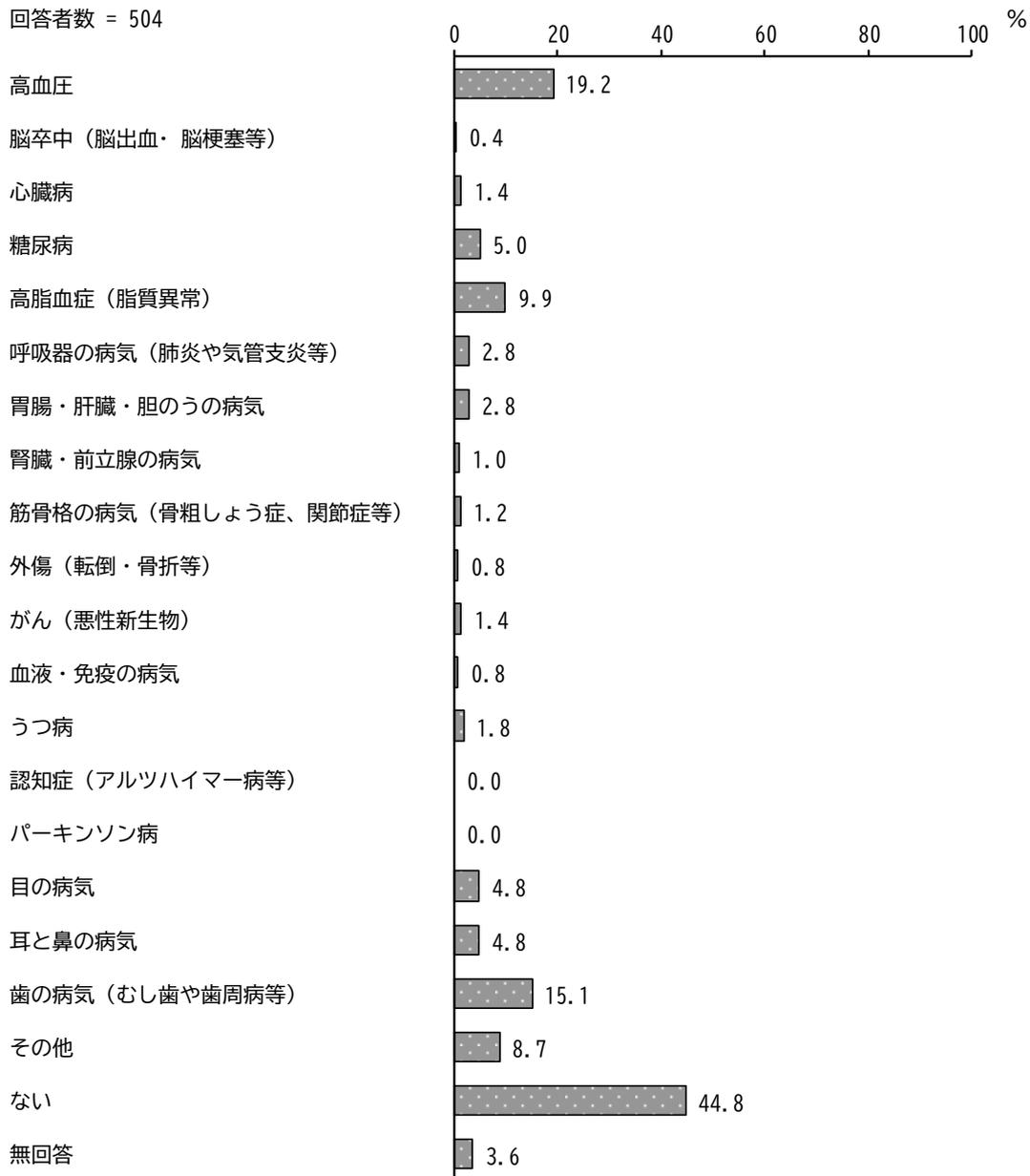
回答者数 = 504



(2) あなた自身の健康状況について

問6 あなたは、現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「ない」の割合が44.8%と最も高く、次いで「高血圧」の割合が19.2%、「歯の病気（むし歯や歯周病等）」の割合が15.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、60～64歳で「高血圧」の割合が、40～49歳で「ない」の割合が高くなっています。

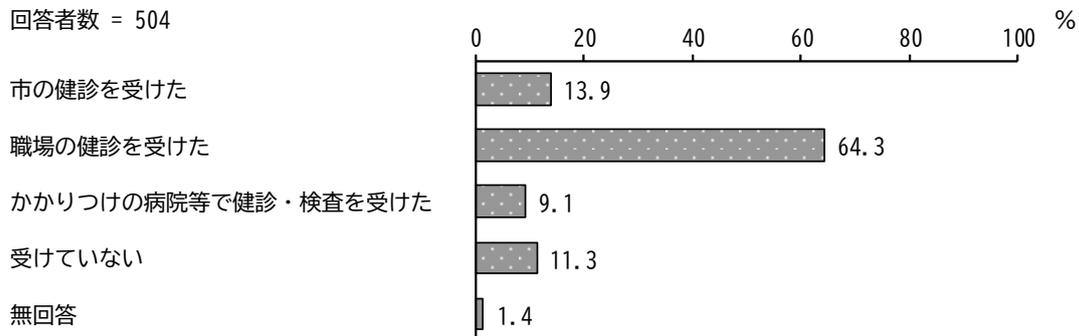
単位：％

区分	回答者数(件)	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)
全体	504	19.2	0.4	1.4	5.0	9.9	2.8	2.8	1.0	1.2	0.8
40～44歳	72	5.6	—	—	2.8	5.6	1.4	2.8	—	—	—
45～49歳	123	9.8	—	—	4.9	5.7	4.1	3.3	0.8	—	0.8
50～54歳	109	17.4	0.9	—	3.7	8.3	1.8	2.8	0.9	1.8	1.8
55～59歳	104	25.0	—	4.8	5.8	10.6	3.8	1.9	1.9	1.9	1.0
60～64歳	96	37.5	1.0	2.1	7.3	19.8	2.1	3.1	1.0	2.1	—

区分	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳と鼻の病気	歯の病気(むし歯や歯周病等)	その他	ない	無回答
全体	1.4	0.8	1.8	—	—	4.8	4.8	15.1	8.7	44.8	3.6
40～44歳	2.8	—	—	—	—	2.8	2.8	13.9	13.9	59.7	5.6
45～49歳	1.6	—	4.1	—	—	1.6	3.3	9.8	6.5	53.7	4.1
50～54歳	—	1.8	0.9	—	—	3.7	7.3	15.6	9.2	45.9	4.6
55～59歳	1.0	1.9	1.0	—	—	8.7	6.7	19.2	5.8	37.5	3.8
60～64歳	2.1	—	2.1	—	—	7.3	3.1	17.7	10.4	29.2	—

問7 過去1年以内に健診や人間ドックを受けましたか。(○は1つ)

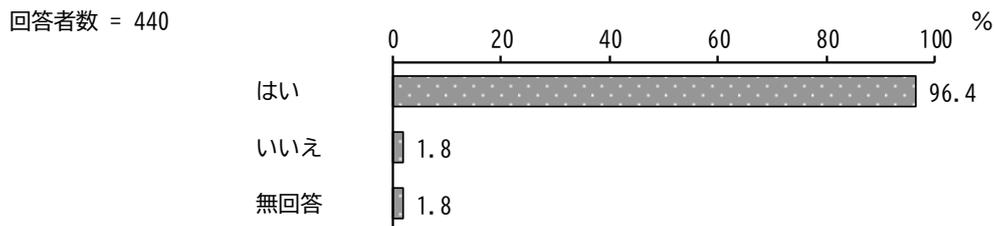
「職場の健診を受けた」の割合が64.3%と最も高く、次いで「市の健診を受けた」の割合が13.9%、「受けていない」の割合が11.3%となっています。



【問7で「健診や人間ドックを受けた」と回答した方のみ】

① 健診結果を確認しましたか。(○は1つ)

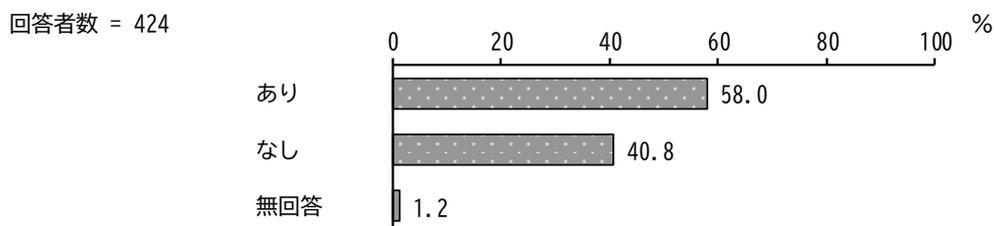
「はい」の割合が96.4%、「いいえ」の割合が1.8%となっています。



【問7①で「はい」と回答した方のみ】

② 健診で「所見あり」となった項目はありますか。(○は1つ)

「あり」の割合が58.0%、「なし」の割合が40.8%となっています。

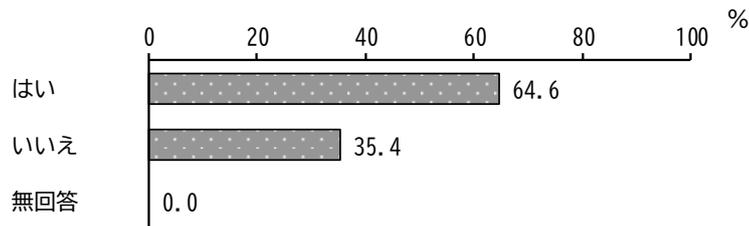


【問7②で「あり」と回答した方のみ】

③ 「所見あり」となった項目について、受診や相談をしましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が64.6%、「いいえ」の割合が35.4%となっています。

回答者数 = 246

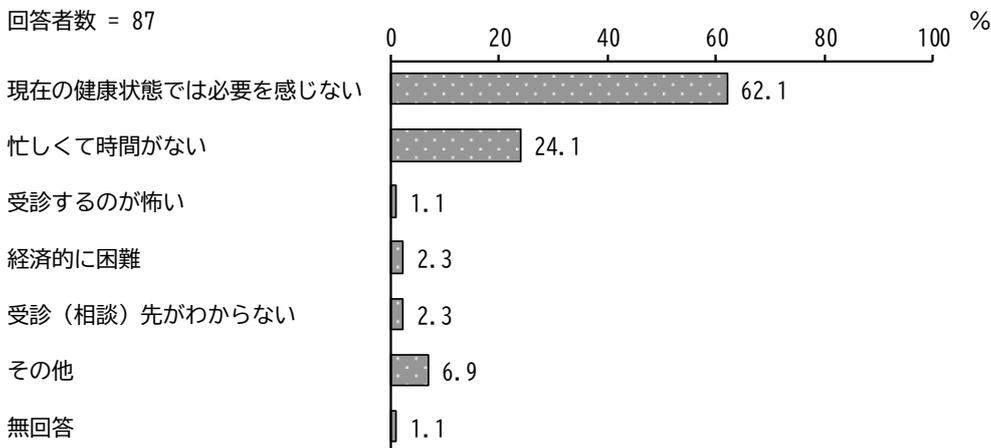


【問7③で「いいえ」と回答した方のみ】

④ 受診や相談をしない最も大きな理由はなんですか。(○は1つ)

「現在の健康状態では必要を感じない」の割合が62.1%と最も高く、次いで「忙しくて時間がない」の割合が24.1%となっています。

回答者数 = 87

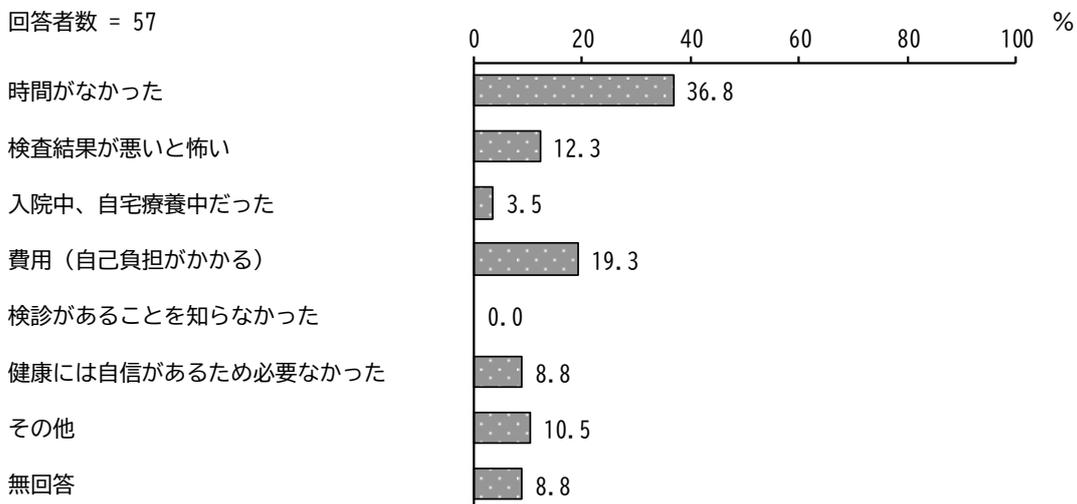


【問7で「受けていない」の方のみ】

⑤ 健診や人間ドックを受けなかった(受けない)最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

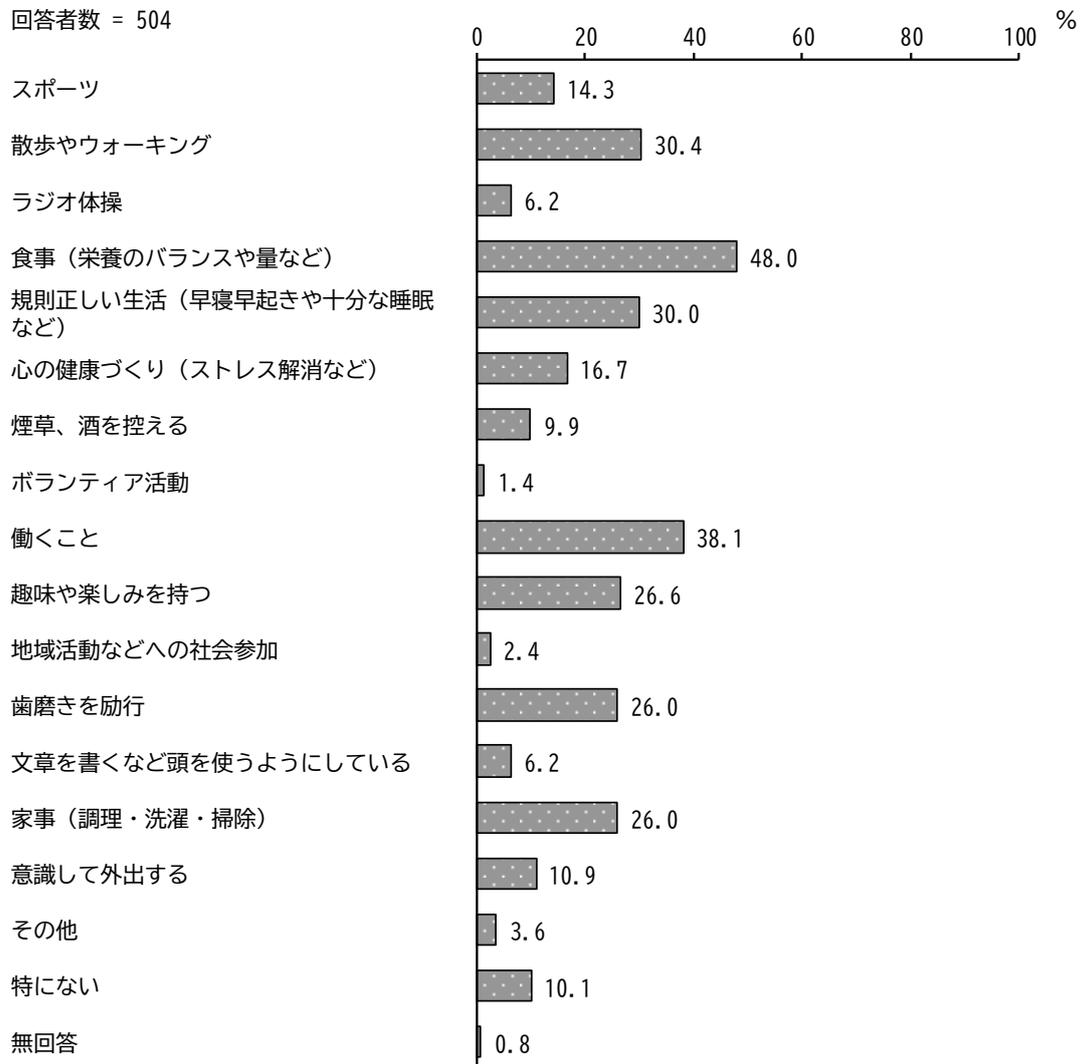
「時間がなかった」の割合が36.8%と最も高く、次いで「費用(自己負担がかかる)」の割合が19.3%、「検査結果が悪いと怖い」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 57



問8 健康のために意識していることや取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

「食事(栄養のバランスや量など)」の割合が48.0%と最も高く、次いで「働くこと」の割合が38.1%、「散歩やウォーキング」の割合が30.4%となっています。



【性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「家事（調理・洗濯・掃除）」の割合が、男性で「散歩やウォーキング」「スポーツ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	スポーツ	散歩やウォーキング	ラジオ体操	食事（栄養のバランスや量など）	規則正しい生活（早寝早起きや十分な睡眠など）	心の健康づくり（ストレス解消など）	煙草、酒を控える	ボランティア活動	働くこと
全 体	504	14.3	30.4	6.2	48.0	30.0	16.7	9.9	1.4	38.1
男性	217	20.7	37.3	6.0	40.1	24.9	9.2	11.1	—	32.3
女性	286	9.4	25.2	6.3	53.8	33.9	22.4	9.1	2.4	42.7

区分	趣味や楽しみを持つ	地域活動などへの社会参加	歯磨きを励行	文章を書くなど頭を使うようにしている	家事（調理・洗濯・掃除）	意識して外出する	その他	特にない	無回答
全 体	26.6	2.4	26.0	6.2	26.0	10.9	3.6	10.1	0.8
男性	25.8	2.3	19.8	2.3	11.1	10.1	2.3	12.4	0.9
女性	27.3	2.4	30.4	9.1	37.4	11.5	4.5	8.4	0.7

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、60～64歳で「家事（調理・洗濯・掃除）」の割合が、55～64歳で「散歩やウォーキング」の割合が、50～54歳で「趣味や楽しみを持つ」の割合が高くなっています。

単位：%

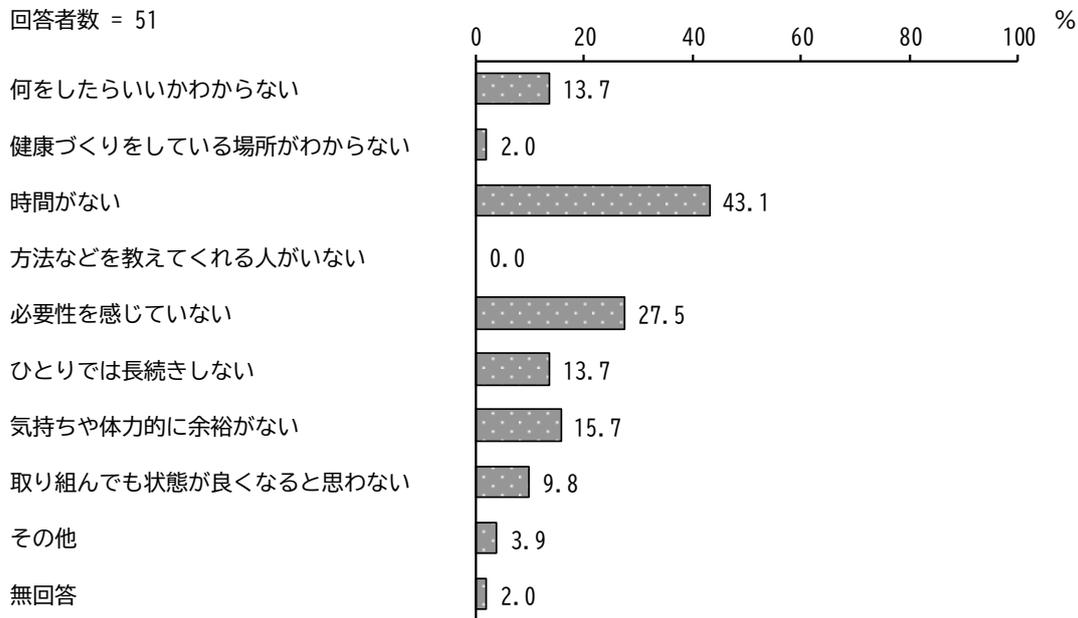
区分	回答者数(件)	スポーツ	散歩やウォーキング	ラジオ体操	食事(栄養のバランスや量など)	規則正しい生活(早寝早起きや十分な睡眠など)	心の健康づくり(ストレス解消など)	煙草、酒を控える	ボランティア活動	働くこと
全体	504	14.3	30.4	6.2	48.0	30.0	16.7	9.9	1.4	38.1
40～44歳	72	15.3	25.0	2.8	47.2	20.8	19.4	8.3	—	33.3
45～49歳	123	14.6	25.2	4.9	46.3	30.1	19.5	11.4	2.4	39.8
50～54歳	109	16.5	28.4	5.5	51.4	33.9	14.7	11.9	2.8	41.3
55～59歳	104	16.3	36.5	8.7	49.0	31.7	17.3	11.5	1.0	40.4
60～64歳	96	8.3	36.5	8.3	45.8	30.2	12.5	5.2	—	33.3

区分	趣味や楽しみを持つ	地域活動などへの社会参加	歯磨きを励行	文章を書くなど頭を使うようにしている	家事(調理・洗濯・掃除)	意識して外出する	その他	特にない	無回答
全体	26.6	2.4	26.0	6.2	26.0	10.9	3.6	10.1	0.8
40～44歳	20.8	1.4	25.0	—	22.2	11.1	2.8	13.9	2.8
45～49歳	23.6	3.3	24.4	4.1	21.1	8.9	2.4	13.8	—
50～54歳	32.1	0.9	26.6	7.3	26.6	13.8	3.7	7.3	—
55～59歳	25.0	1.9	24.0	5.8	26.0	10.6	4.8	7.7	—
60～64歳	30.2	4.2	30.2	12.5	34.4	10.4	4.2	8.3	2.1

【問8で「特にない」の方のみ】

① 取り組めない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「時間がない」の割合が43.1%と最も高く、次いで「必要性を感じていない」の割合が27.5%、「気持ちや体力的に余裕がない」の割合が15.7%となっています。



【性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「気持ちや体力的に余裕がない」「ひとりでは長続きしない」の割合が、男性で「時間がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	何をしたらいいかわからない	健康づくりをしている場所がわからない	時間がない	方法などを教えてくれる人がいない	必要性を感じていない	ひとりでは長続きしない	気持ちや体力的に余裕がない	状態が良くなると思わない	その他	無回答
全体	51	13.7	2.0	43.1	—	27.5	13.7	15.7	9.8	3.9	2.0
男性	27	11.1	—	48.1	—	25.9	7.4	7.4	14.8	3.7	—
女性	24	16.7	4.2	37.5	—	29.2	20.8	25.0	4.2	4.2	4.2

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、40～44歳で「必要性を感じていない」「時間がない」「何をしたらいいかわからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	何をしたらいいかわからない	健康づくりをしている場所がない	時間がない	方法などを教えてくれる人がいない	必要性を感じていない	ひとりでは長続きしない	気持ちや体力的に余裕がない	取り組んでも状態が良くなると思わない	その他	無回答
全体	51	13.7	2.0	43.1	—	27.5	13.7	15.7	9.8	3.9	2.0
40～44歳	10	20.0	—	50.0	—	50.0	10.0	10.0	10.0	—	—
45～49歳	17	11.8	—	35.3	—	23.5	17.6	17.6	23.5	—	—
50～54歳	8	—	—	37.5	—	50.0	—	12.5	—	12.5	—
55～59歳	8	—	—	62.5	—	12.5	12.5	25.0	—	—	—
60～64歳	8	37.5	12.5	37.5	—	—	25.0	12.5	—	12.5	12.5

調査結果のまとめ

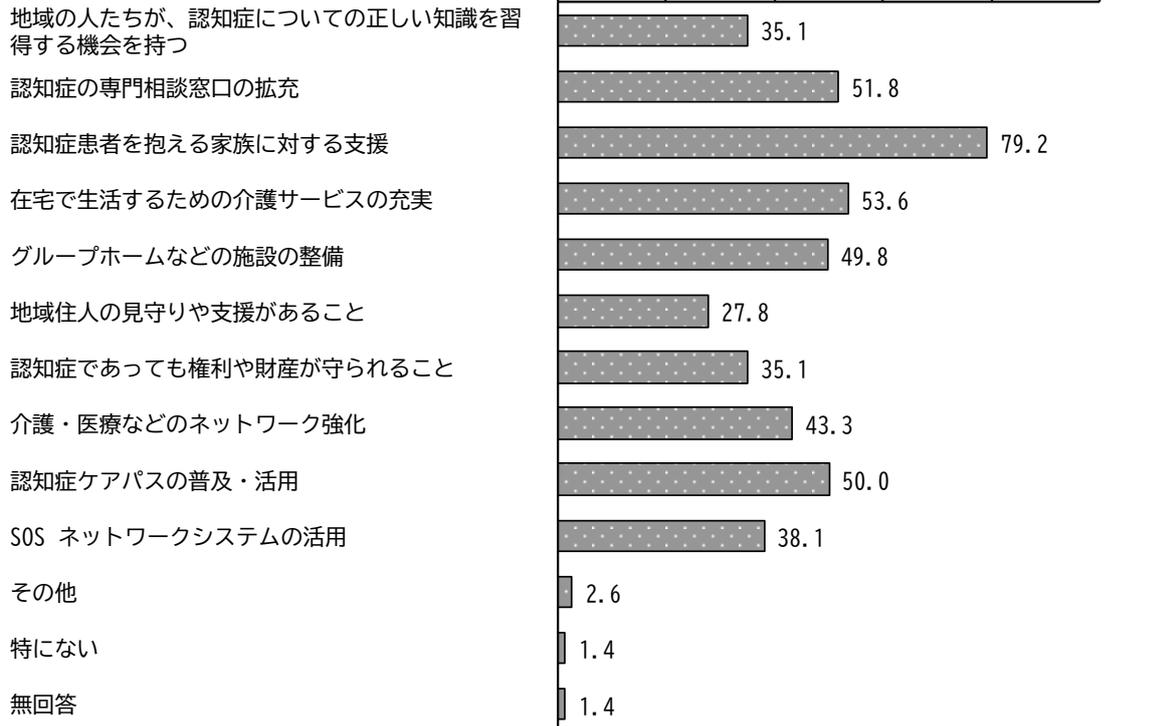
- ◆ 現在治療中、または後遺症のある病気をみると、「高血圧」の割合が19.2%と高く、次いで「歯の病気（むし歯や歯周病等）」、「脂質異常（高脂血症）」が上位に位置しています。生活習慣病の予防とともに、オーラルフレイルを予防するための口腔の健康についても周知啓発していくことが必要です。
- ◆ 健康のための取り組みに取り組めない理由では、「時間がない」の割合が43.1%と最も高く、次いで「必要性を感じていない」の割合が27.5%となっています。時間がなくても健康づくりに取り組めるよう、民間企業等と連携し、日々の生活の中に健康づくりの取組を取り入れられるよう啓発することが必要です。

(3) 認知症について

問9 今後、認知症の方が増加することが予想されますが、認知症になっても安心して生活するために必要なことは、どのような事と思いますか。(〇はいくつでも)

「認知症患者を抱える家族に対する支援」の割合が79.2%と最も高く、次いで「在宅で生活するための介護サービスの充実」の割合が53.6%、「認知症の専門相談窓口の拡充」の割合が51.8%となっています。

回答者数 = 504



調査結果のまとめ

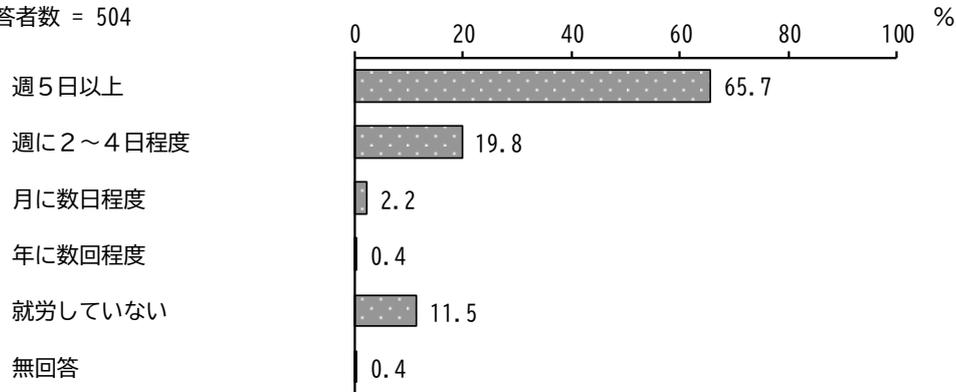
- ◆ 認知症になっても安心して生活するために必要なことについては、「認知症患者を抱える家族に対する支援」の割合が79.2%と突出して高くなっています。あわせて、「認知症の専門相談窓口の拡充」(51.8%)、「在宅で生活するための介護サービスの充実」(53.6%)、が5割を超えており、第2号被保険者では支える側への支援策と、そのための具体的なサービスの充実が求められています。
- ◆ また、「認知症ケアパスの普及・活用」(50.0%)も半数を占めています。若年者では認知症への対応方法などを知らない人もいることから、認知症患者への対応方法や相談方法・相談場所を早期に知っておきたい需要も高いと思われます。

(4) 生活状況について

問10 あなたの就労日数についてお答えください。(○は1つ)

「週5日以上」の割合が65.7%と最も高く、次いで「週に2～4日程度」の割合が19.8%、「就労していない」の割合が11.5%となっています。

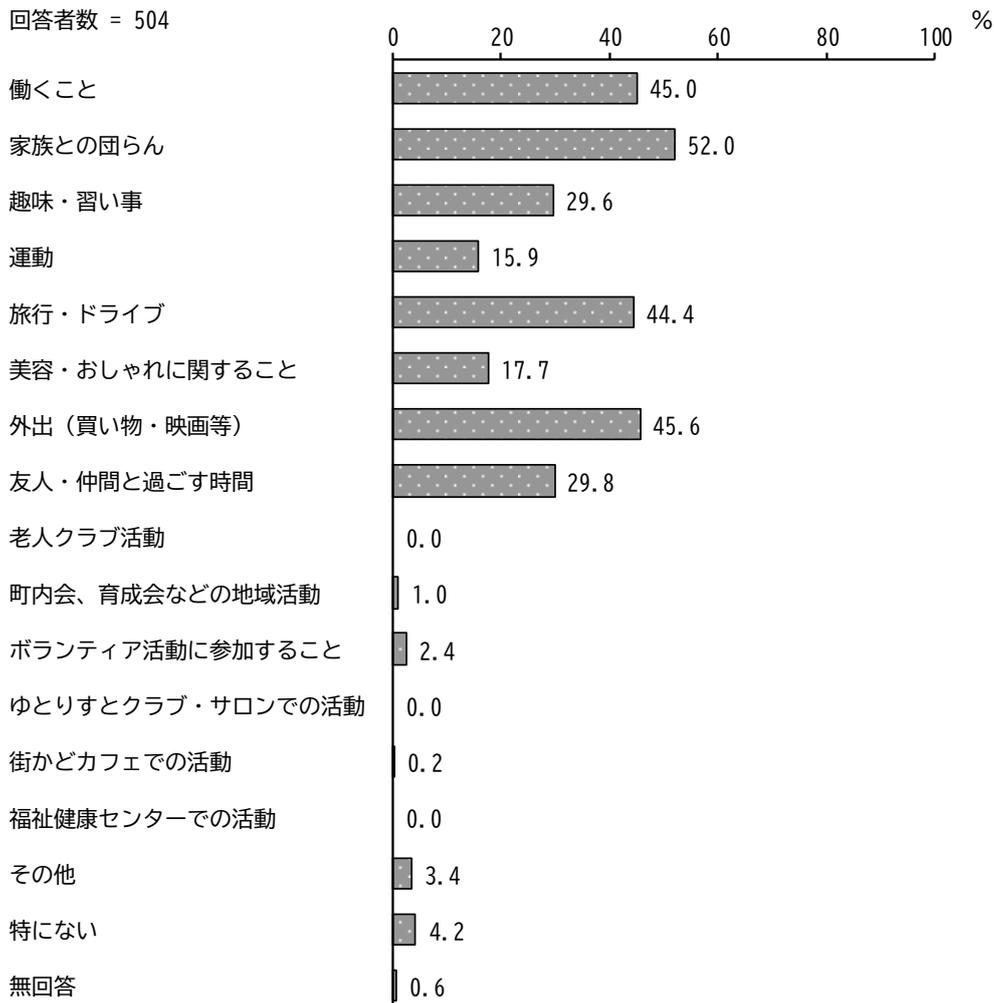
回答者数 = 504



問11 あなたが生きがいや楽しみのある生活のためにやっていることは何ですか。(○はいくつでも)

「家族との団らん」の割合が52.0%と最も高く、次いで「外出(買い物・映画等)」の割合が45.6%、「働くこと」の割合が45.0%となっています。

回答者数 = 504



【性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「美容・おしゃれに関すること」「友人・仲間と過ごす時間」「外出（買い物・映画等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	働くこと	家族との 団らん	趣味・習い事	運動	旅行・ドライブ	美容・おしゃれ に関する こと	外出(買い物・映 画等)	友人・仲間と過 す時間
全 体	504	45.0	52.0	29.6	15.9	44.4	17.7	45.6	29.8
男性	217	43.3	48.8	34.1	21.2	45.2	1.4	36.9	16.1
女性	286	46.5	54.5	26.2	11.9	44.1	30.1	52.4	40.2

区分	老人クラブ活動	町内会、育成会 などの地域活動	ボランティア活 動に参加するこ と	ゆとりすとクラ ブ・サロンでの 活動	街かどカフェで の活動	福祉健康センタ ーでの活動	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	－	1.0	2.4	－	0.2	－	3.4	4.2	0.6
男性	－	1.4	－	－	0.5	－	1.4	5.1	0.9
女性	－	0.7	4.2	－	－	－	4.9	3.1	0.3

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、40～44歳で「家族との団らん」の割合が、50～54歳で「働くこと」「外出（買い物・映画等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	働くこと	家族との団らん	趣味・習い事	運動	旅行・ドライブ	美容・おしゃれ に関すること	外出(買い物・映 画等)	友人・仲間と過 ごす時間
全 体	504	45.0	52.0	29.6	15.9	44.4	17.7	45.6	29.8
40～44歳	72	36.1	72.2	18.1	12.5	41.7	13.9	45.8	30.6
45～49歳	123	43.9	56.1	30.9	14.6	45.5	21.1	46.3	33.3
50～54歳	109	53.2	49.5	32.1	15.6	48.6	22.9	51.4	28.4
55～59歳	104	47.1	51.9	29.8	17.3	41.3	16.3	47.1	31.7
60～64歳	96	41.7	34.4	33.3	18.8	43.8	11.5	36.5	24.0

区分	老人クラブ活動	町内会、育成会 などの地域活動	ボランティア活 動に参加するこ と	ゆとりすとクラ ブ・サロンでの 活動	街かどカフェで の活動	福祉健康センタ ーでの活動	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	—	1.0	2.4	—	0.2	—	3.4	4.2	0.6
40～44歳	—	—	—	—	—	—	8.3	2.8	1.4
45～49歳	—	0.8	2.4	—	0.8	—	1.6	4.1	—
50～54歳	—	0.9	3.7	—	—	—	1.8	0.9	0.9
55～59歳	—	1.0	2.9	—	—	—	3.8	4.8	—
60～64歳	—	2.1	2.1	—	—	—	3.1	8.3	1.0

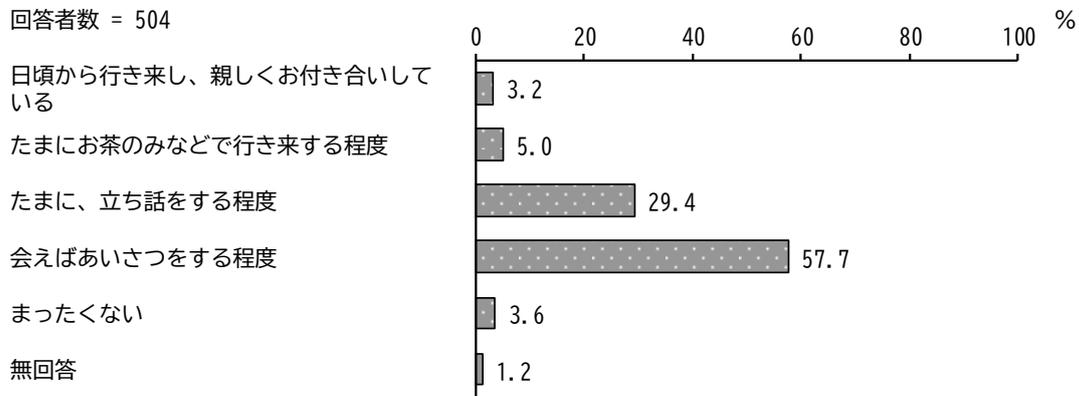
調査結果のまとめ

- ◆ 就労日数をみると6割以上の方が「週5日以上」働いていますが、将来の退職後の生活においても生きがいや楽しみのある生活を過ごすことができるよう、地域活動やボランティア活動等について関わる機会を引き続き周知していくことが必要です。
- ◆ 生きがいや楽しみのある生活のために行っていることは、「家族との団らん」、「外出（買い物・映画等）」、「働くこと」が上位となっていますが、「町内会、育成会などの地域活動」や「ボランティア活動に参加すること」など地域活動に関する項目の割合は、性別・年代を問わず低くなっています。就労や子育ての世代ではなかなか地域活動に携わる機会も少ないと思われませんが、若年者の地域活動への参加により地域の活性化、世代間交流も期待できるため、家族との団らんの中で地域活動やボランティア活動等についての話題が上がるよう引き続き周知啓蒙を行うことが必要です。

(5) 地域との関わりについて

問 12 あなたは、隣近所の方と、どのようなお付き合いをしていますか。(○は1つ)

「会えばあいさつをする程度」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「たまに、立ち話をする程度」の割合が 29.4%となっています。



【圏域別】

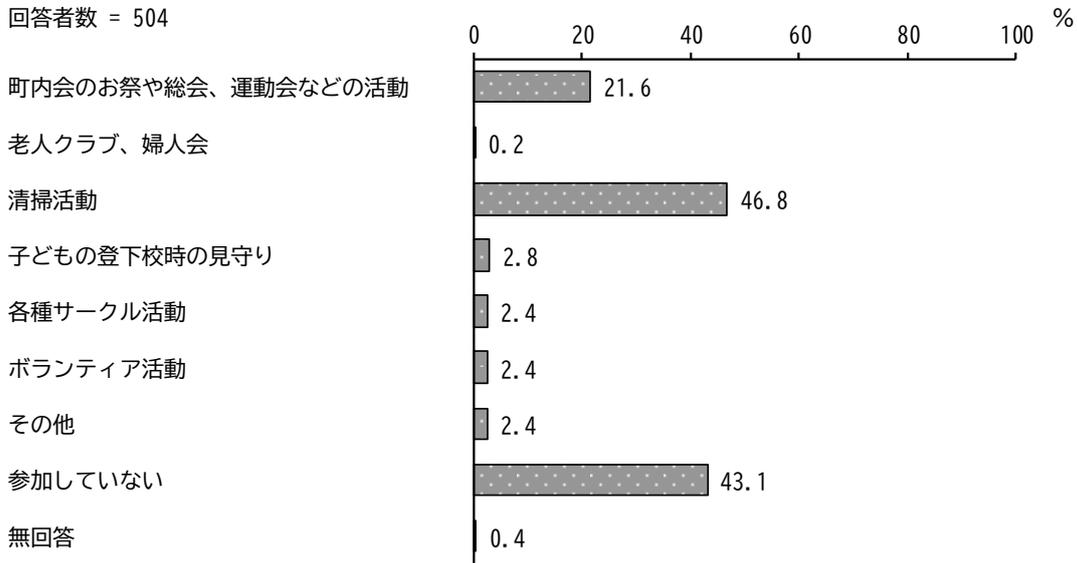
圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	日頃から行き来し、親しくお付き合いしている	たまにお茶のみなどで行き来する程度	たまに、立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	まったくない	無回答
全 体	504	3.2	5.0	29.4	57.7	3.6	1.2
東向陽台・成田圏域	200	2.5	5.5	28.5	61.5	1.0	1.0
富ヶ丘・日吉台圏域	159	5.0	3.8	30.2	52.2	7.5	1.3
富谷中央・あけの平圏域	144	2.1	5.6	29.9	58.3	2.8	1.4

問13 あなたは町内会やサークル活動、ボランティア活動などの地域活動に参加していますか。
(〇はいくつでも)

「清掃活動」の割合が46.8%と最も高く、次いで「参加していない」の割合が43.1%、「町内会のお祭や総会、運動会などの活動」の割合が21.6%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、東向陽台・成田圏域で「清掃活動」の割合が、富ヶ丘・日吉台圏域で「参加していない」の割合が高くなっています。

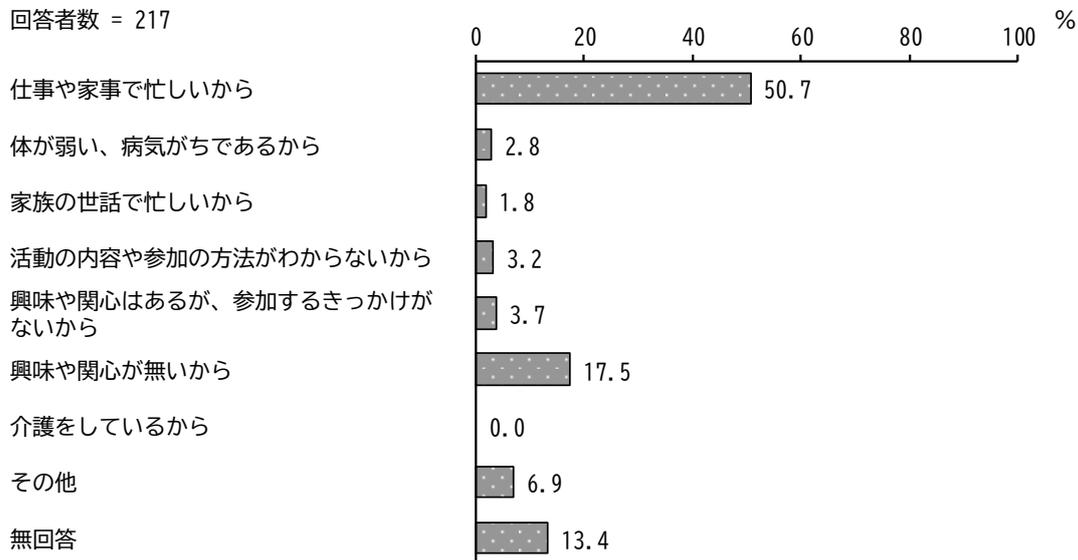
単位：%

区分	回答者数 (件)	町内会のお祭や総会、運動会などの活動	老人クラブ、婦人会	清掃活動	子どもの登下校時の見守り	各種サークル活動	ボランティア活動	その他	参加していない	無回答
全体	504	21.6	0.2	46.8	2.8	2.4	2.4	2.4	43.1	0.4
東向陽台・成田圏域	200	24.5	—	59.0	4.0	2.0	2.5	1.5	31.5	0.5
富ヶ丘・日吉台圏域	159	19.5	—	39.6	3.8	3.1	1.9	1.3	53.5	0.6
富谷中央・あけの平圏域	144	20.1	0.7	37.5	—	2.1	2.8	4.9	47.9	—

【問 13 で「参加していない」の方のみ】

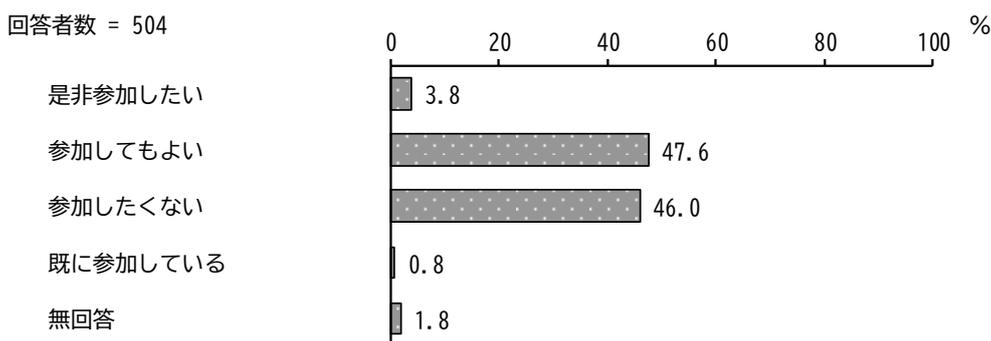
① あなたが地域活動に参加していない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

「仕事や家事で忙しいから」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「興味や関心が無いから」の割合が 17.5%となっています。



問 14 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

「参加してもよい」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 46.0%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、富谷中央・あけの平圏域で「参加したくない」の割合が、東向陽台・成田圏域で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

単位：%

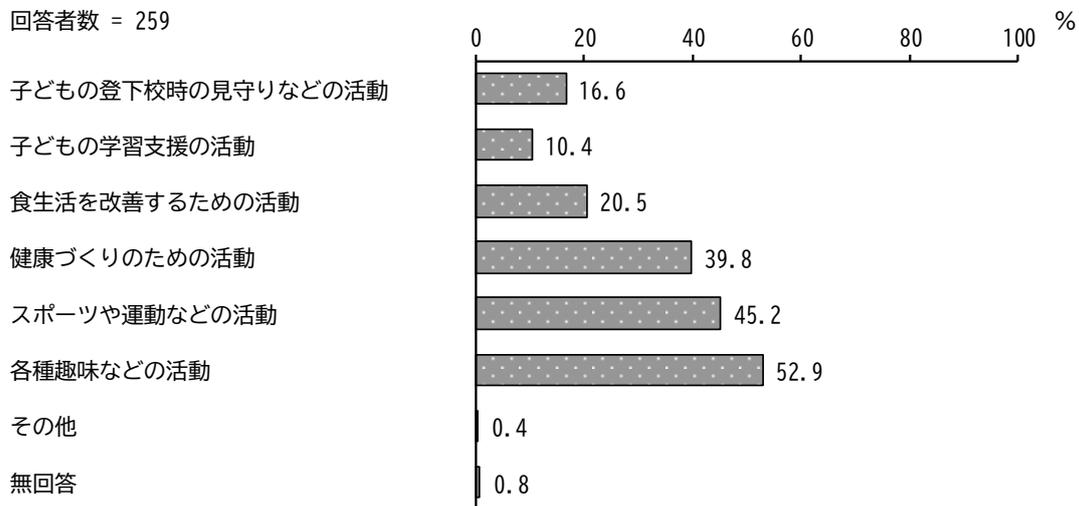
区分	回答者数 (件)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全 体	504	3.8	47.6	46.0	0.8	1.8
東向陽台・成田圏域	200	4.0	55.0	38.5	1.0	1.5
富ヶ丘・日吉台圏域	159	4.4	44.7	47.8	0.6	2.5
富谷中央・あけの平圏域	144	2.8	41.0	54.2	0.7	1.4

【問 14 で「是非参加したい」「参加してもよい」の方のみ】

① どのような地域活動に参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「各種趣味などの活動」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「スポーツや運動などの活動」の割合が 45.2%、「健康づくりのための活動」の割合が 39.8%となっています。

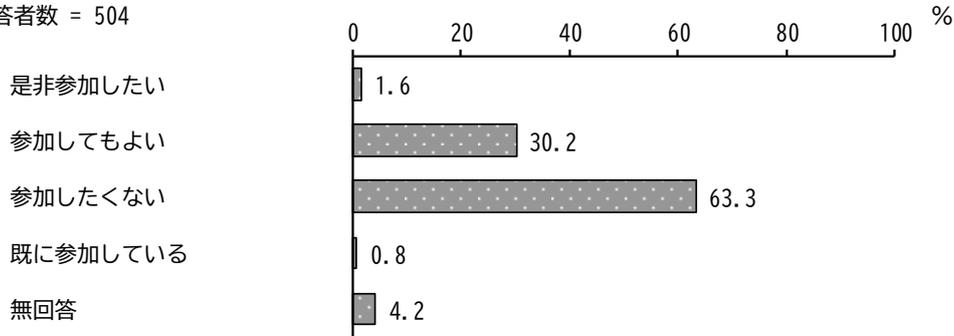
回答者数 = 259



問 15 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

「参加したくない」の割合が63.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が30.2%となっています。

回答者数 = 504



【圏域別】

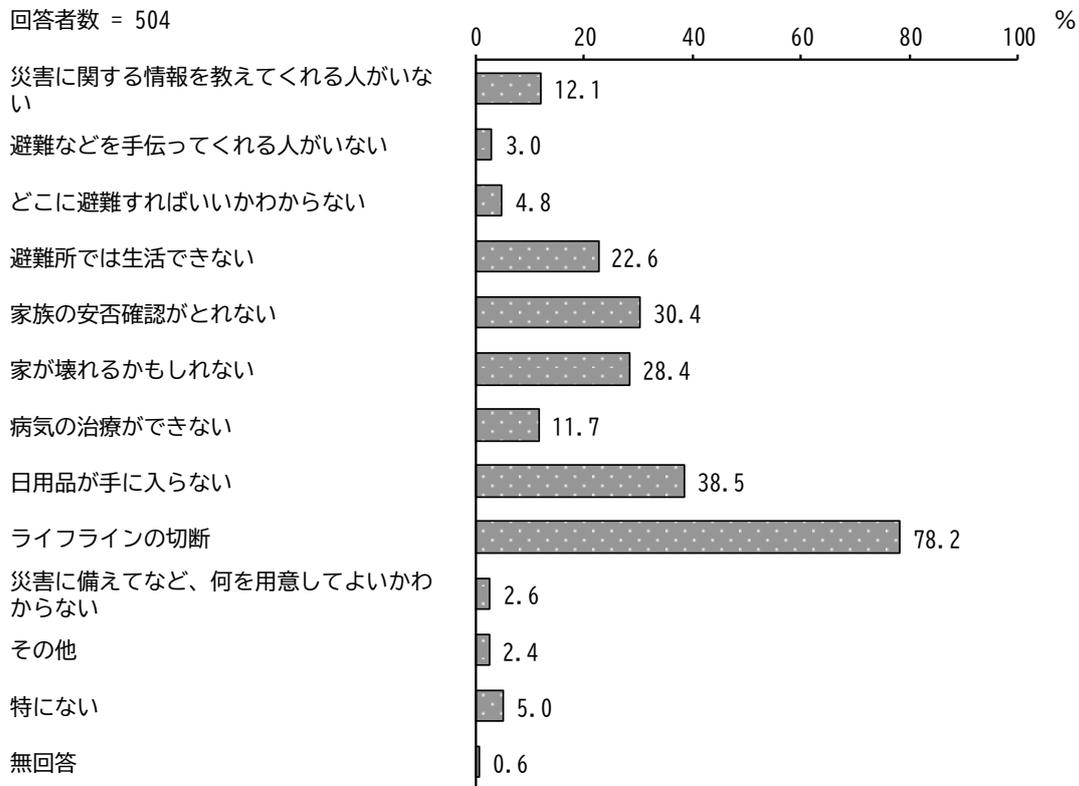
圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全 体	504	1.6	30.2	63.3	0.8	4.2
東向陽台・成田圏域	200	1.5	33.5	62.0	—	3.0
富ヶ丘・日吉台圏域	159	1.9	28.3	63.5	1.9	4.4
富谷中央・あけの平圏域	144	1.4	27.8	64.6	0.7	5.6

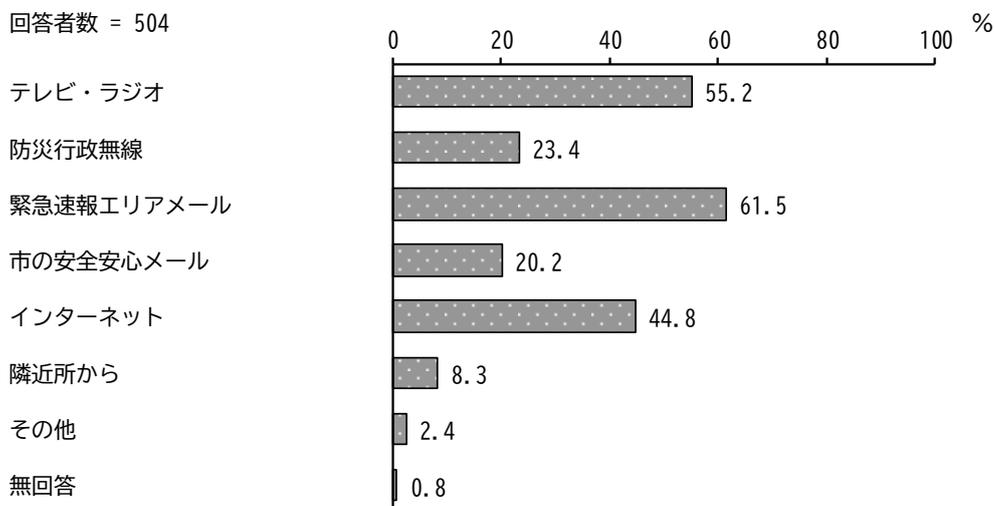
問16 災害時に、不安に感じることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「ライフラインの切断」の割合が78.2%と最も高く、次いで「日用品が手に入らない」の割合が38.5%、「家族の安否確認がとれない」の割合が30.4%となっています。



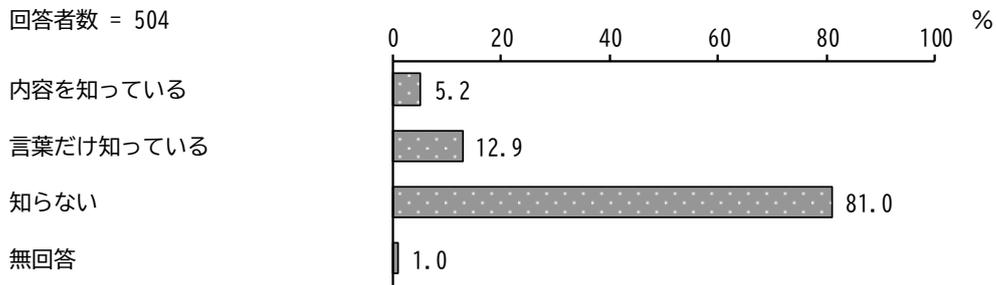
問17 市からの災害に関する情報をどのように得ていますか。(〇は3つまで)

「緊急速報エリアメール」の割合が61.5%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」の割合が55.2%、「インターネット」の割合が44.8%となっています。



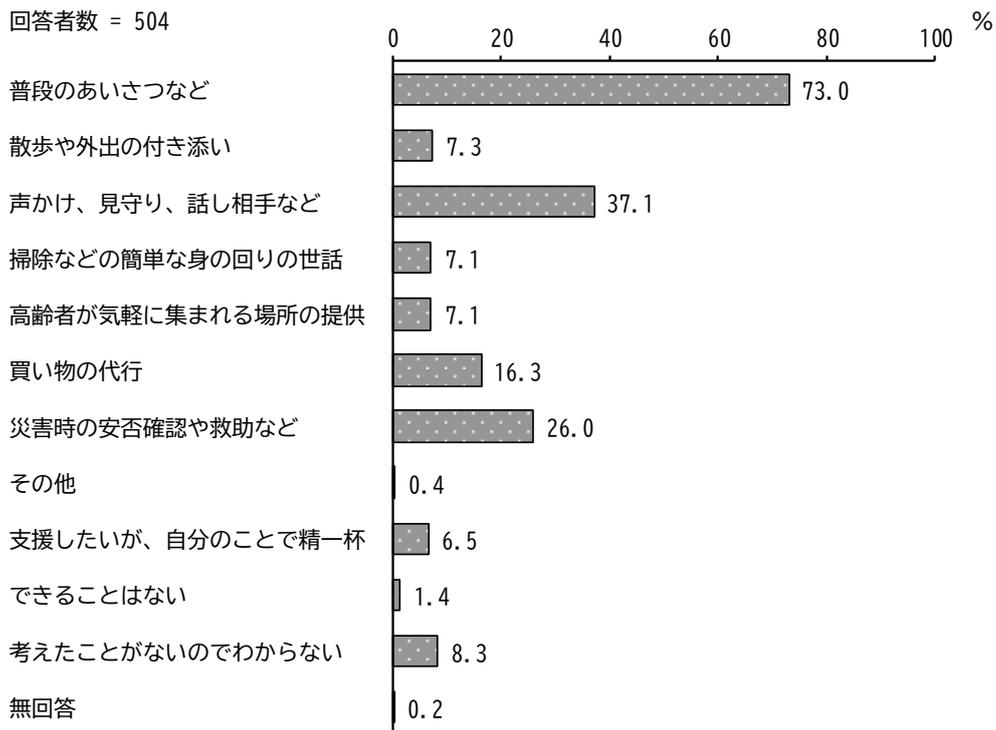
問 18 あなたは、福祉避難所を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」の割合が81.0%と最も高く、次いで「言葉だけ知っている」の割合が12.9%となっています。



問 19 高齢者が地域の中で安心して生活するために、あなたができることは何ですか。(○はいくつでも)

「普段のあいさつなど」の割合が73.0%と最も高く、次いで「声かけ、見守り、話し相手など」の割合が37.1%、「災害時の安否確認や救助など」の割合が26.0%となっています。



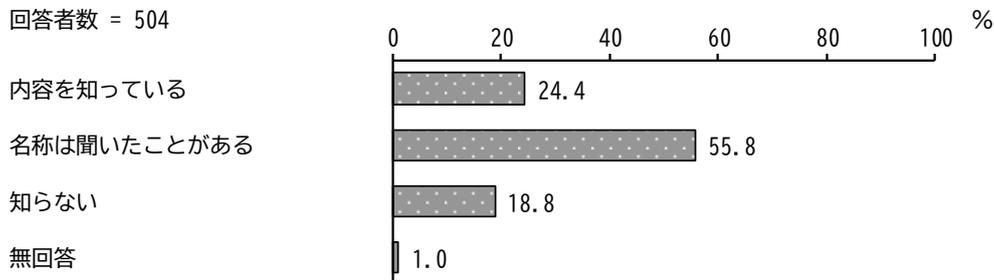
調査結果のまとめ

- ◆ 地域活動への参加状況を見ると、「参加していない」の割合が 43.1%にのぼり、参加していない理由では「仕事や家事で忙しいから」の割合が 50.7%と半数を超えています。若年層が地域活動に関わるきっかけづくりや地域活動への関心を高める啓発を進めるとともに、企業へのワークライフバランスの推進の働きかけなど、若い世代が地域活動に参加しやすい環境づくりを進めることも必要です。
- ◆ 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加については、「是非参加したい」(3.8%)、「参加してもよい」(47.6%)をあわせた半数の方が参加の意向を示しており、企画・運営としての参加についても3割の方が参加の意向を持っています。活動への参加を促すとともに、参加意向を持った人を地域における支援の実践者として育成していくことが必要です。
- ◆ 福祉避難所の認知状況は、「知らない」の割合が 81.0%と最も高くなっており、引き続き周知が必要です。
- ◆ 高齢者が地域の中で安心して生活するためにできることについては、「声かけ、見守り、話し相手など」の割合が 37.1%、「災害時の安否確認や救助など」の割合が 26.0%となっており、これらの支援への意向がある人を地域への見守り活動へとつなげていくことが必要です。

(6) 相談窓口などについて

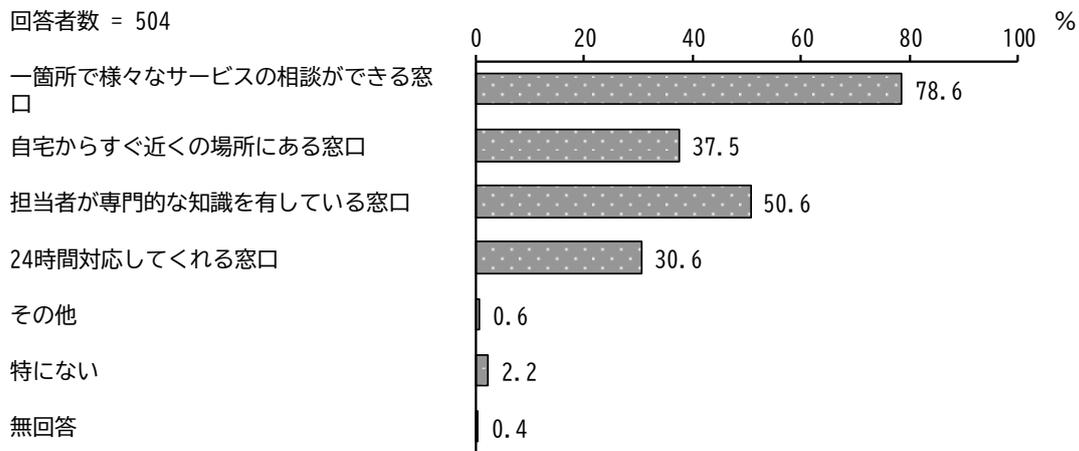
問 20 あなたは介護保険制度の内容について、知っていますか。(○は1つ)

「名称は聞いたことがある」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「内容を知っている」の割合が 24.4%、「知らない」の割合が 18.8%となっています。



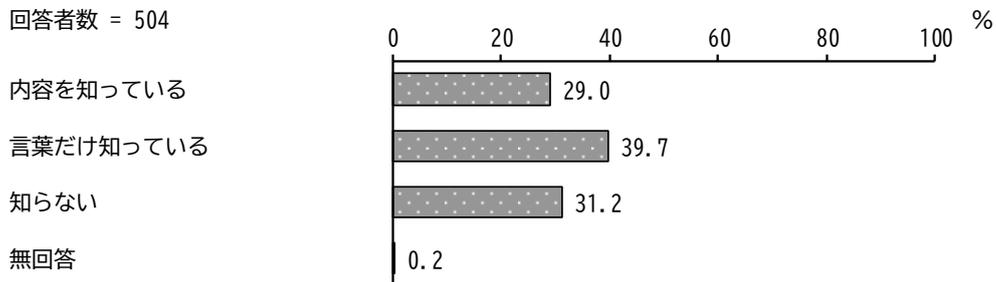
問 21 あなたが介護に関する相談窓口に求めるものは何ですか。(○は3つまで)

「一箇所で様々なサービスの相談ができる窓口」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「担当者が専門的な知識を有している窓口」の割合が 50.6%、「自宅からすぐ近くの場所にある窓口」の割合が 37.5%となっています。



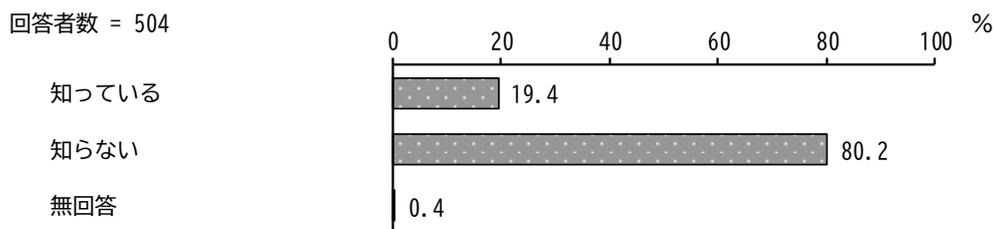
問22 「成年後見制度」について、知っていますか。(○は1つ)

「言葉だけ知っている」の割合が39.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が31.2%、「内容を知っている」の割合が29.0%となっています。



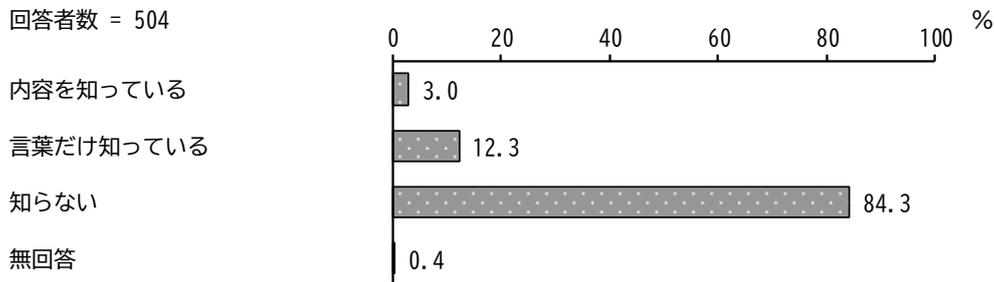
問23 「成年後見制度」の相談先を、知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が19.4%、「知らない」の割合が80.2%となっています。



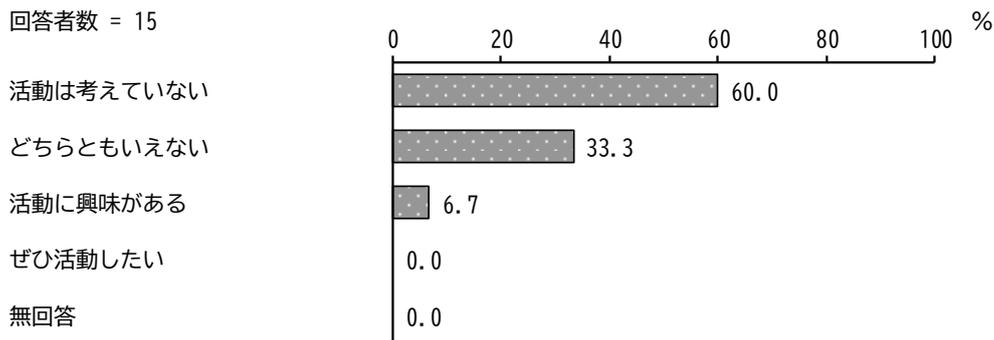
問 24 「市民後見人」について、知っていますか。(○は1つ)

「知らない」の割合が 84.3%と最も高く、次いで「言葉だけ知っている」の割合が 12.3%となっています。



【問 24 で「内容を知っている」と回答した方のみ】
① 「市民後見人」として活動したいと思いますか。(○は1つ)

「活動は考えていない」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 33.3%となっています。



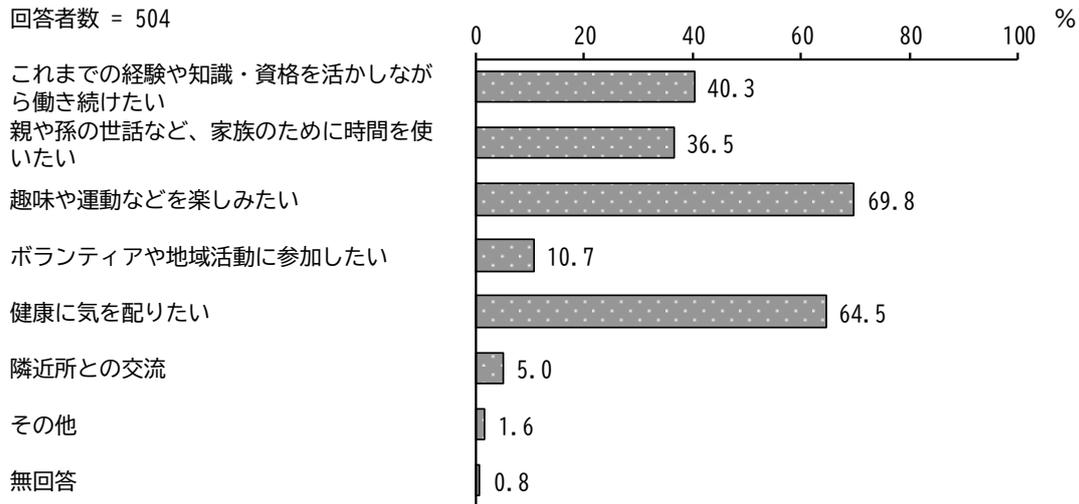
調査結果のまとめ

- ◆ 介護保険制度の内容について、「名称は聞いたことがある」の割合が 55.8%、「知らない」の割合が 18.8%と制度の内容を知らない人が7割以上となっており、家族に介護が必要になったときの備えの観点からも、若年層にも介護保険制度やサービスの内容について周知していくことが必要です。
- ◆ 介護に関する相談窓口に求めるものについて、「一箇所で様々なサービスの相談ができる窓口」の割合が 78.6%と最も高く、ワンストップ型の相談窓口が求められています。
- ◆ 成年後見制度については、「内容を知っている」の割合が 29.0%、成年後見制度の相談先の認知状況は、「知っている」の割合が 19.4%と、成年後見制度の周知は十分とは言えない状況です。今後、認知症の高齢者の増加が予測される中、成年後見制度を広く周知していくことが必要です。

(7) 将来の生活（介護の考え方を含む）について

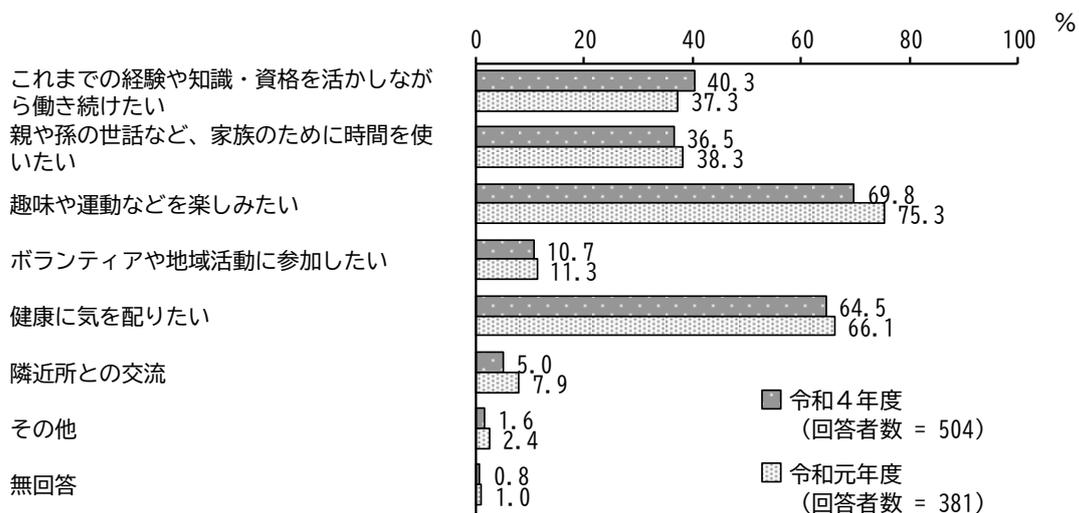
問 25 あなたは 65 歳以降の生活を、どのように過ごしたいと考えていますか。
 (○はいくつでも)

「趣味や運動などを楽しみたい」の割合が 69.8%と最も高く、次いで「健康に気を配りたい」の割合が 64.5%、「これまでの経験や知識・資格を活かしながら働きたい」の割合が 40.3%となっています。



【経年比較】

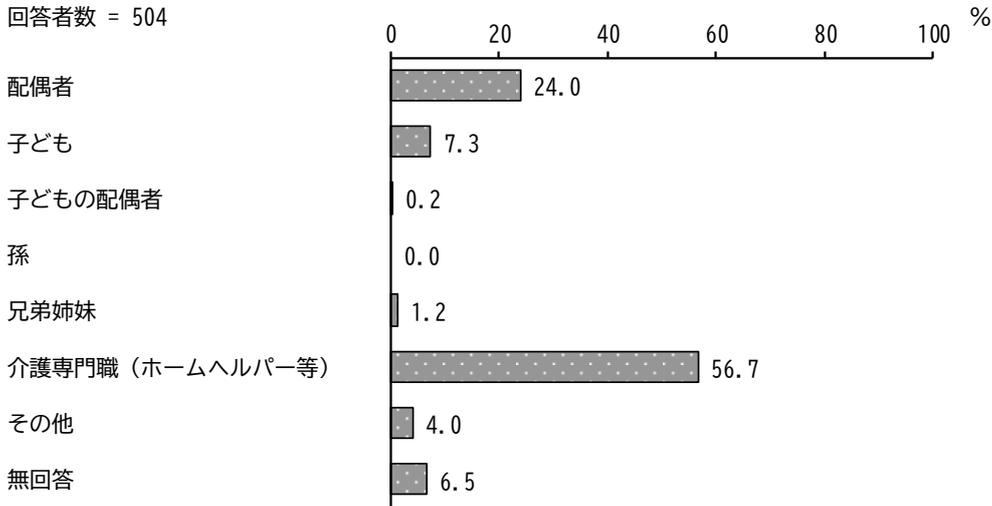
令和元年度（前回調査）と比較すると、「趣味や運動などを楽しみたい」の割合が減少しています。



問 26 あなた自身に将来介護が必要となった場合に、誰に介護をされたいと思いますか。
(○は1つ)

「介護専門職（ホームヘルパー等）」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 24.0%となっています。

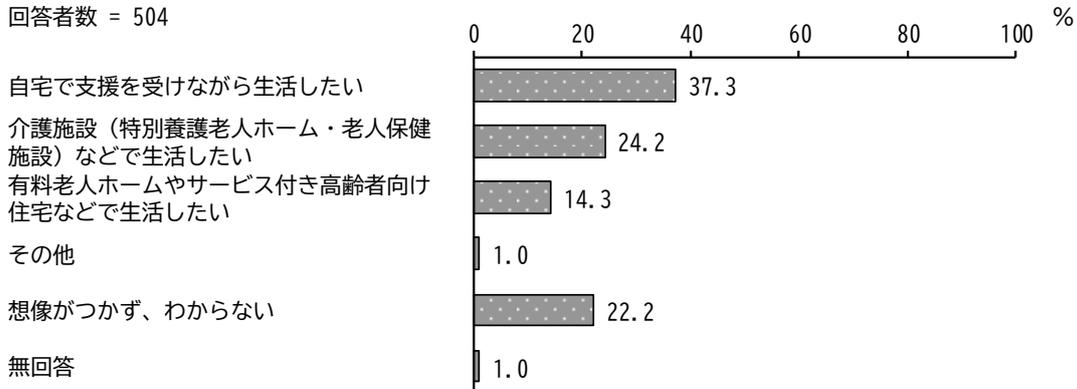
回答者数 = 504



問 27 あなた自身に介護が必要となった場合に、どのような介護を受けながら生活したいと思いますか。(○は1つ)

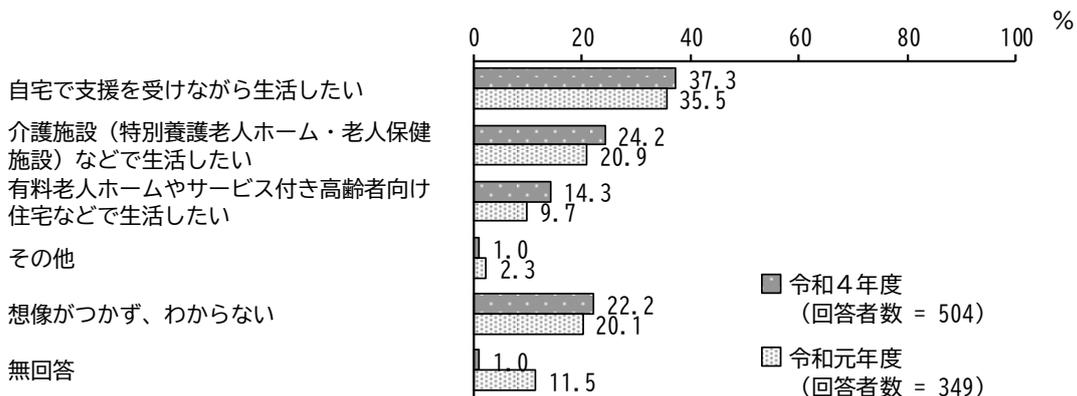
「自宅で支援を受けながら生活したい」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「介護施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設）などで生活したい」の割合が 24.2%、「想像がつかず、わからない」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 504



【経年比較】

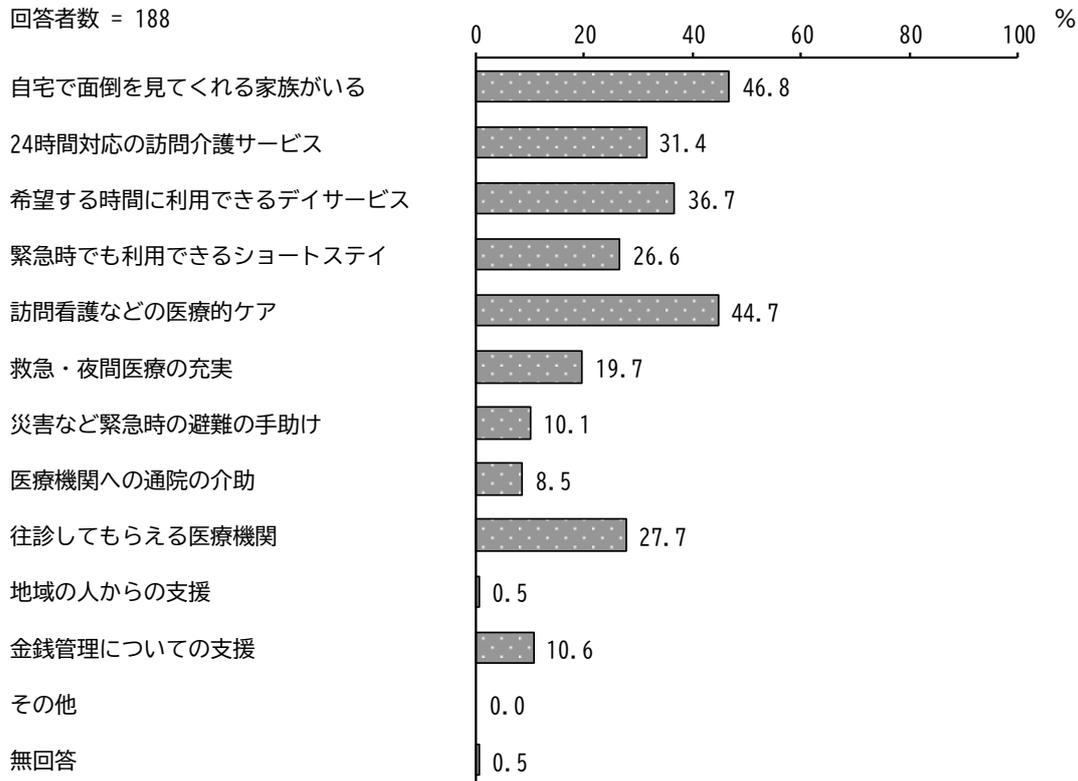
令和元年度（前回調査）と比較すると、大きな変化はみられません。



【問27で「自宅で支援を受けながら生活したい」の方のみ】

① あなた自身に介護が必要となって、ご自宅で生活するためには、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「自宅で面倒を見てくれる家族がいる」の割合が46.8%と最も高く、次いで「訪問看護などの医療的ケア」の割合が44.7%、「希望する時間に利用できるデイサービス」の割合が36.7%となっています。



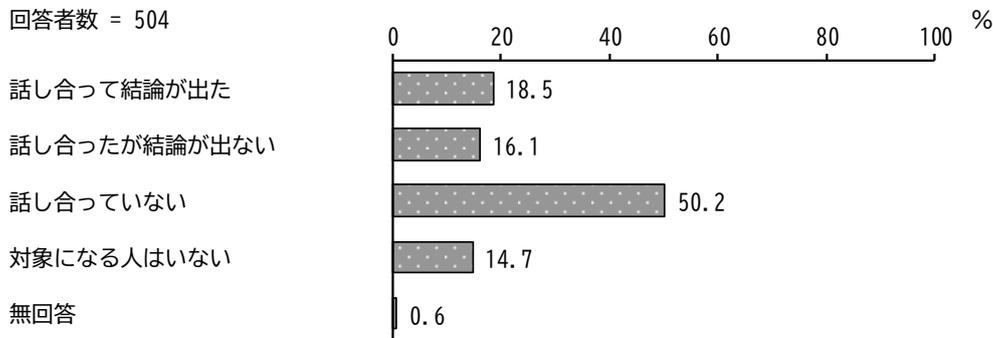
調査結果のまとめ

- ◆ 65歳以降の過ごし方の考えの問いでは、「趣味や運動などを楽しみたい」(69.8%)、「健康に気を配りたい」(64.5%)がともに6割を超えて高く、運動や健康づくりへの意欲が高いことから、高齢期を迎えたときに健康づくり・介護予防活動にスムーズに移行できるよう、若いうちからの健康づくり、介護予防等の意識付けを行うことが必要です。
- ◆ 介護が必要になった場合に介護されたい人では、「介護専門職(ホームヘルパー等)」の割合が56.7%と最も高く、また、介護が必要になった場合の生活の仕方では「自宅で支援を受けながら生活したい」の割合が37.3%と最も高いものの、「介護施設(特別養護老人ホーム・老人保健施設)などで生活したい」(24.2%)、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで生活したい」(14.3%)をあわせた“自宅以外で生活したい”人も4割程度いることから、自宅で専門職に介護してもらうといった需要と、施設で介護される需要とが同程度となっています。
- ◆ 自宅で生活するために必要な支援やサービスについては、「自宅で面倒を見てくれる家族がいる」(46.8%)と並んで「訪問看護などの医療的ケア」の割合が44.7%と高くなっています。また、「往診してもらえる医療機関」(27.7%)、「救急・夜間医療の充実」(19.7%)といった医療の充実の割合も高いことから、地域包括ケアシステムを推進していく中で、医療的ケアの充実が求められていることがうかがえます。

(8) ご両親の介護について

問 28 家族や兄弟の間で、ご両親の介護について話し合いをしていますか。(○は1つ)

「話し合っていない」の割合が50.2%と最も高く、次いで「話し合っていて結論が出た」の割合が18.5%、「話し合ったが結論が出ない」の割合が16.1%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	話し合っていて結論が出た	話し合ったが結論が出ない	話し合っていない	対象になる人はいない	無回答
全体	504	18.5	16.1	50.2	14.7	0.6
男性	217	16.1	15.2	53.0	15.2	0.5
女性	286	20.3	16.4	48.3	14.3	0.7

【年齢別】

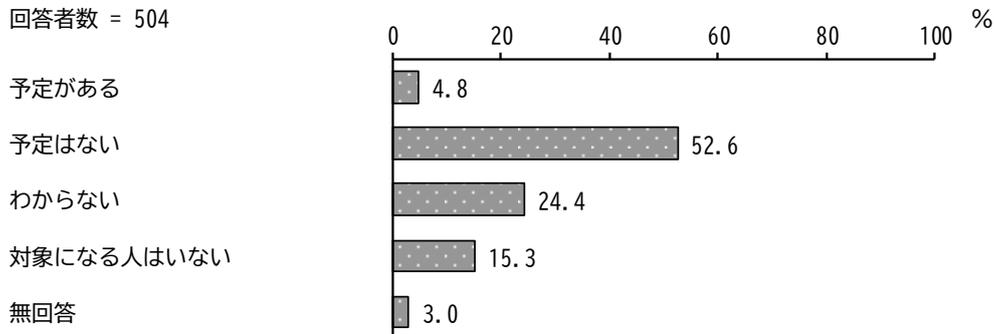
年齢別にみると、他に比べ、45～49歳で「話し合っていない」の割合が、60～64歳で「対象になる人はいない」「話し合っていて結論が出た」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	話し合っていて結論が出た	話し合ったが結論が出ない	話し合っていない	対象になる人はいない	無回答
全体	504	18.5	16.1	50.2	14.7	0.6
40～44歳	72	11.1	22.2	62.5	4.2	—
45～49歳	123	9.8	13.8	67.5	8.9	—
50～54歳	109	13.8	14.7	57.8	11.9	1.8
55～59歳	104	26.9	19.2	34.6	19.2	—
60～64歳	96	31.3	12.5	27.1	28.1	1.0

問 29 あなたは近い将来（今後2～3年の間）に、ご両親を呼び寄せて介護をする予定はありますか。（○は1つ）

「予定はない」の割合が52.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が24.4%、「対象になる人はいない」の割合が15.3%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	予定がある	予定はない	わからない	対象になる人はいない	無回答
全 体	504	4.8	52.6	24.4	15.3	3.0
男性	217	5.1	53.9	23.5	14.7	2.8
女性	286	4.5	51.7	24.8	15.7	3.1

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、60～64歳で「対象になる人はいない」の割合が、50～54歳で「わからない」の割合が、45～49歳で「予定はない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	予定がある	予定はない	わからない	対象になる人はいない	無回答
全 体	504	4.8	52.6	24.4	15.3	3.0
40～44 歳	72	1.4	59.7	34.7	4.2	—
45～49 歳	123	3.3	63.4	22.0	8.9	2.4
50～54 歳	109	4.6	46.8	35.8	9.2	3.7
55～59 歳	104	8.7	50.0	21.2	18.3	1.9
60～64 歳	96	5.2	42.7	10.4	35.4	6.3

調査結果のまとめ

- ◆ 両親の介護について話し合いの有無については、「話し合っていない」の割合が 50.2%と最も高く、半数を超えています。特に 40～49 歳では「話し合っていない」人が 6 割超を占めています。
- ◆ 両親を呼び寄せて介護をする予定では「予定はない」に次いで「わからない」の割合が 24.4%となっており、特に両親が 80～85 歳に差し掛かると想定される 50～54 歳において、「わからない」の割合が高くなっています。
- ◆ このように、50 歳代以下では、将来の両親の介護についての話し合いや、同居しての介護について、明確なビジョンがない人が多くなっていますが、介護が必要な状況になってから困らないよう、将来の両親の介護について話し合いの機会を設けること、また、介護についての知識を普及することが重要です。

VI 共通設問等の分析

VI 共通設問等の分析

1 健康状況について

(1) 治療中、または後遺症のある病気や要介護者が現在抱えている傷病名

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、現在治療中、または後遺症のある病気の有無について、「高血圧」の割合が45.1%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が22.6%、「ない」、「高脂血症（脂質異常）」の割合が18.3%となっています。【ニーズ：問7（8）P94】
- 「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が22.9%と最も高く、次いで「認知症」の割合が22.1%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が21.6%となっています。【在宅：問8 P135】
- 「ない」の割合が44.8%と最も高く、次いで「高血圧」の割合が19.2%、「歯の病気（むし歯や歯周病等）」の割合が15.1%となっています。【第2号被保険者：問6 P183】

(2) 健診や人間ドックについて

- 「市の健診を受けた」の割合が49.2%と最も高く、次いで「かかりつけの病院等で健診・検査を受けた」の割合が21.7%、「受けていない」の割合が12.9%となっています。また、受けなかった理由については、「健康には自信があるため必要なかった」の割合が16.8%と最も高く、次いで「検査結果が悪いと怖い」、「費用（自己負担がかかる）」の割合が10.3%となっています。【ニーズ：問7（9）P97・99】
- 「職場の健診を受けた」の割合が64.3%と最も高く、次いで「市の健診を受けた」の割合が13.9%、「受けていない」の割合が11.3%となっています。また、受けなかった理由については、「時間がなかった」の割合が36.8%と最も高く、次いで「費用（自己負担がかかる）」の割合が19.3%、「検査結果が悪いと怖い」の割合が12.3%となっています。【第2号被保険者：問7 P185・186】

(3) 健康のために意識していることや取り組んでいること

- 「散歩やウォーキング」の割合が43.0%と最も高く、次いで「食事（栄養のバランスや量など）」の割合が37.0%、「家事（調理・洗濯・掃除）」の割合が29.5%となっています。【ニーズ：問2（11）P32】
- 「食事（栄養のバランスや量など）」の割合が48.0%と最も高く、次いで「働くこと」の割合が38.1%、「散歩やウォーキング」の割合が30.4%となっています。【第2号被保険者：問8 P187】

【課題分析（健康状況について）】

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査や第2号被保険者において、現在治療中、または後遺症のある病気の有無について、「高血圧」の割合が高く、在宅介護実態調査においては、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が高くなっています。

これらの病気は生活習慣の改善で予防できる部分もあるため、生活習慣病等の疾病予防を進めていく必要があります。

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、人間ドッグを受けていない理由として、「健康には自信があるため必要なかった」が最も高くなっており、引き続き健診や人間ドッグ受診の周知啓蒙活動が必要です。

また、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と第2号被保険者調査の両方において、「費用（自己負担がかかる）」と「検査結果が悪いと怖い」の割合が10～20%程いることから、金銭的な補助や積極的な受診を推進していく必要があります。

2 生きがいづくりについて

(1) 生きがいや余暇の過ごし方

- 「外出（買い物・映画等）」の割合が42.0%と最も高く、次いで「家族との団らん」の割合が41.8%、「旅行・ドライブ」の割合が36.7%となっています。【ニーズ：問8（3）P104】
- 「テレビ・ラジオ」の割合が55.0%と最も高く、次いで「通所サービス利用時の活動（デイサービスなど）」の割合が34.7%、「家族との団らん」の割合が33.9%となっています。【在宅：問17 P156】
- 「家族との団らん」の割合が52.0%と最も高く、次いで「外出（買い物・映画等）」の割合が45.6%、「働くこと」の割合が45.0%となっています。【第2号被保険者：問11 P193】

【課題分析（生きがいづくりについて）】

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査や第2号被保険者と比較して、在宅介護実態調査において、「テレビ・ラジオ」の割合が高く、「旅行」や「外出」の割合が低くなっています。これは、身体機能の低下によって行動範囲が狭くなっていることが主な理由だと考えられます。

もっとも、在宅介護実態調査では「通所サービス利用時の活動（デイサービスなど）」を生きがいにしている人も多いことから、要介護状態になっても住み慣れた地域でQOLの高い生活ができるようにするためには、介護サービスの利用促進や、サロンなどの通いの場の充実も効果的だと考えられます。

3 認知症について

(1) 安心して生活するために必要なこと

- 「認知症患者を抱える家族に対する支援」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「在宅で生活するための介護サービスの充実」の割合が 51.7%、「認知症の専門相談窓口の拡充」の割合が 47.3%となっています。【ニーズ：問 10 (2) P115】
- 「認知症患者を抱える家族に対する支援」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「在宅で生活するための介護サービスの充実」の割合が 38.7%、「認知症の専門相談窓口の拡充」の割合が 35.0%となっています。【在宅：問 15 P171】
- 「認知症患者を抱える家族に対する支援」の割合が 79.2%と最も高く、次いで「在宅で生活するための介護サービスの充実」の割合が 53.6%、「認知症の専門相談窓口の拡充」の割合が 51.8%となっています。【第2号被保険者：問9 P192】

【課題分析（認知症について）】

- すべての調査で、「認知症患者を抱える家族に対する支援」の割合が最も高くなっており、認知症患者だけでなく、周囲の人を含めたサポートの充実と支援の周知を推進していく必要があります。

4 地域とのつながり

(1) 隣近所との関わり

- 「会えばあいさつをする程度」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「たまに、立ち話をする程度」の割合が 38.9%、「日頃から行き来し、親しくお付き合いしている」の割合が 11.6%となっています。【ニーズ：問 8 (2) P100】
- 「会えばあいさつをする程度」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「たまに、立ち話をする程度」の割合が 27.6%、「日頃から行き来し、親しくお付き合いしている」の割合が 11.6%となっています。【在宅：問 16 P172】
- 「会えばあいさつをする程度」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「たまに、立ち話をする程度」の割合が 29.4%となっています。【第2号被保険者：問 12 P196】

【課題分析（地域とのつながり）】

- すべての調査で、前回調査よりも隣近所との何らかの関わりをもつ割合が向上しています。こうした関係が持続できるように、地域活動の充実を継続して推進していく必要があります。
- また、在宅介護実態調査では、4人に1人が、隣近所との人との関わりが「まったくない」と回答しています。
隣近所との人との関わりがある人は幸福度も高くなる傾向があるため、生きがいを持って人生を送るために、家に閉じこもらず地域社会と関わりを持てるきっかけを作ることが重要です。

5 災害時の対応について

(1) 福祉避難所の周知状況

- 「知らない」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「言葉だけ知っている」の割合が 24.2%、「内容を知っている」の割合が 11.2%となっています。【ニーズ：問6（8）P88】
- 「知らない」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「言葉だけ知っている」の割合が 17.9%となっています。（介護者の方）【在宅：問19 P173】
- 「知らない」の割合が 81.0%と最も高く、次いで「言葉だけ知っている」の割合が 12.9%となっています。【第2号被保険者：問18 P202】

(2) 災害時に不安に感じること

- 「ライフラインの切断」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「家が壊れるかもしれない」の割合が 27.9%、「日用品が手に入らない」の割合が 23.2%となっています。【ニーズ：問6（6）P87】
- 「避難所では生活できない」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「ライフラインの切断」の割合が 38.2%、「病気の治療ができない」の割合が 23.7%となっています。（介護者の方）【在宅：問18 P173】
- 「ライフラインの切断」の割合が 78.2%と最も高く、次いで「日用品が手に入らない」の割合が 38.5%、「家族の安否確認がとれない」の割合が 30.4%となっています。【第2号被保険者：問16 P201】

【課題分析（災害時の対応について）】

- すべての調査で、福祉避難所の認知状況は低くなっており、認知状況を高めていくためにさらなる周知を推進していく必要があります。
特に、在宅介護実態調査においては、災害時に「避難所では生活できない」といった不安を抱く人が多いことから、要介護の人も安心して避難できるよう福祉避難所についての周知を図ることが必要です。
- すべての調査で、災害時に不安に感じることについて「ライフラインの切断」の割合が高くなっています。
また、在宅介護実態調査では「病気の治療ができない」の割合が高く、第2号被保険者調査では「家族の安否がとれない」の割合が高くなっています。引き続き災害時のガイドラインの周知を進めていく必要があります。また、災害時の医療体制の整備や、災害時に備えて家族での話し合いを促すことも必要です。

6 相談窓口について

(1) 介護に関する相談窓口を求めるもの

- 「一箇所で様々なサービスの相談ができる窓口」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「担当者が専門的な知識を有している窓口」の割合が 41.3%、「24 時間対応してくれる窓口」の割合が 27.1%となっています。(介護者の方)【在宅：問 21 P175】
- 「一箇所で様々なサービスの相談ができる窓口」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「担当者が専門的な知識を有している窓口」の割合が 50.6%、「自宅からすぐ近くの場所にある窓口」の割合が 37.5%となっています。【第2号被保険者：問 21 P204】

(2) 成年後見制度について

- 成年後見制度の認知状況について、「言葉だけ知っている」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「内容を知っている」の割合が 27.0%、「知らない」の割合が 21.2%となっています。【ニーズ：問 9 (5) P111】
- 成年後見制度の認知状況について、「知らない」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「言葉だけ知っている」の割合が 28.9%、「内容を知っている」の割合が 13.2%となっています。(介護者の方)【在宅：問 20 P158】
- 成年後見制度の認知状況について、「言葉だけ知っている」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 31.2%、「内容を知っている」の割合が 29.0%となっています。【第2号被保険者：問 22 P205】

【課題分析（相談窓口について）】

- 介護に関する相談窓口を求めるものについて、「一箇所で様々なサービスの相談ができる窓口」と「担当者が専門的な知識を有している窓口」の割合が高くなっています。
相談窓口に対しては依然としてワンストップによる希望が多いため、種々の相談に対応できるよう、地域包括支援センターやケアマネジャーに対しての研修の充実や情報共有体制の整備が必要です。
また、第2号被保険者調査と比較して在宅介護実態調査調査では「24 時間対応してくれる窓口」の割合が高くなっており、緊急事態が生じた場合の介護者のニーズに応えられるような相談体制の整備が求められます。
- 成年後見制度の認知度は介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と第2号被保険者調査で3割近くと前回調査から依然として低くなっています。
また、在宅介護実態調査では知らない人が約5割と高くなっています。判断能力が低下している人の財産を保護するためにも、成年後見制度の意義を周知し、また手続きなどの相談窓口を整備することが求められます。

7 将来の生活（介護の考え方を含む）について

（1）どのような介護を受けながら生活したいか

- 「自宅で支援を受けながら生活したい」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「想像がつかず、わからない」の割合が 23.1%、「介護施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設）などで生活したい」の割合が 21.1%となっています。【ニーズ：問 10（1）P113】
- 「自宅で面倒を見てくれる家族がいる」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「緊急時でも利用できるショートステイ」の割合が 27.1%、「希望する時間に利用できるデイサービス」の割合が 23.2%となっています。【在宅：問 22 P159】
- 「自宅で支援を受けながら生活したい」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「介護施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設）などで生活したい」の割合が 24.2%、「想像がつかず、わからない」の割合が 22.2%となっています。【第2号被保険者：問 27 P208】

【課題分析（将来の生活（介護の考え方を含む）について）】

- すべての調査で、将来の生活について、介護を受けることになっても自宅での生活を続けたい人の割合が高くなっています。在宅での生活を支える支援が必要です。
また、在宅介護実態調査で、「緊急時でも利用できるショートステイ」と「希望する時間に利用できるデイサービス」の割合が高くなっており、利便性の高いサービスの提供が求められています。こうした状況から、地域包括ケアシステムのさらなる推進が必要です。

資料編

資料編

アンケート調査票

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【*****】

**《第9期》
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査**

調査協力をお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をお願いでき、誠にありがとうございます。富谷市では現在、「高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生活を過ごせるまちづくり」を基本理念に基いて、令和5年度には第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定を予定しています。計画の策定にあたり、高齢者の皆様のご要望（ニーズ）等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、介護予防に関する地域の課題を把握するため、富谷市にお住まいの要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方の中から無作為に抽出した1,500名の方を対象としています。

なお、ご記入いただいた内容は、富谷市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとともに、前述以外の目的に使用することはありません。大変お忙しいとは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年1月 富谷市

記入日	令和 年 月 日
-----	----------

※ 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____）
3. その他

ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒に入れ、**1月31日（火）までに** 郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

富谷市 保健福祉部 長寿福祉課
電話：022-358-0513 FAX：022-358-9915

ご記入にあたってのお願い

- この調査の対象となる方は、市内にお住まいで、令和4年12月1日現在、要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方です。
- ご回答にあたっては表紙に記載の「あて名のご本人」についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
- ご回答にあたっては費時をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰めでご記入ください。（例： 6 2 kg）
- この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態。
介助…ご自分の意志により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態。

※あて名のご本人（以下、「あなた」という）のお住まいの地区は、どこですか。

1. 成田・大清水・上桜木	2. 明石台
3. 東門岡台	4. 富ヶ丘・徳乃社
5. 日吉台・杜乃橋	6. 太子堂・ひより台・グリーンヒル（一ノ岡の一部）
7. たちの木・あけの平	8. その他（上記以外の地区）

※あなたの年齢について、ご回答ください。

1. 65～69歳	2. 70～74歳	3. 75～79歳
4. 80～84歳	5. 85～89歳	6. 90歳以上

※あなたの性別について、ご回答ください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問1 あなたの生活状況やご家族について

(1) 家族構成をお教えてください。（○は1つ）

1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	4. 息子・娘との2世代
5. その他（例：孫を含む3世代同居等）	

【(1)において「1. 1人暮らし」以外の方のみ】

① 日中、1人になることがありますか。（○は1つ）

1. よくある	2. たまにある	3. ない
---------	----------	-------

1

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ）

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ）

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（○は1つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は1つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(3) 15分位続けて歩いていますか。（○は1つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。（○は1つ）

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
----------	---------	-------

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。（○は1つ）

1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。（○は1つ）

1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2～4回	4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は1つ）

1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない

2

(8) 外出を控えていますか。（○は1つ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)と回答した方のみ】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）

1. 病気	2. 障害（脳卒中の後遺症など）
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配（失禁など）
5. 耳の障害（聞こえの問題など）	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. 新型コロナウイルス感染予防のため
11. その他（ ）	

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車（自分で運転）	5. 自動車（人に乗せてもらう）	6. 電車・地下鉄
7. 路線バス（盲導交通）	8. 市民バス	9. 病院や施設のバス
10. 車いす	11. 電動車いす（カート）	12. 歩行器・シルバーカー
13. タクシー	14. その他（ ）	

【70歳以上の方のみ】

(10) とみばす®の利用の申請をしましたか。また、実際に利用はしていますか。（○は1つ）

1. 申請し、利用したことがある（利用している）
2. 申請したが、まだ利用していない
3. 申請は、これからする予定
4. 申請するつもりはない
5. 申請対象外である

※とみばす：70歳以上の高齢者・60歳以上の免許返納者、障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方を対象とした仙台市交通局発行のICカード（イクスカ）を活用した、外出支援車です。

【(10)で「1. 申請し、利用したことがある（利用している）」と回答した方のみ】

① とみばすの2回目以降の入金申請をしましたか。（○は1つ）

1. した	2. していない
-------	----------

【(10)で「2. 申請したが、まだ利用していない」と回答した方のみ】

② 入金申請をしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 入金申請をするほど利用していない	2. 入金申請の手続きに行く時間がない
3. 入金申請の手続きに行く交通手段がない	4. 自分で入金を行っている
5. 入金申請の手続きの仕方がわからない	6. 入金申請の手続きが面倒
7. とみばすの仕組みがわからない	8. その他（ ）

3

【(10) で「4. 申請するつもりはない」と回答した方のみ】

③ とみばすを申請しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 自家用車等(本人運転)を利用しており、バスや地下鉄等を利用しない
2. 自家用車等(家族等運転)を利用しており、バスや地下鉄等を利用しない
3. 体調の問題等により、バスや地下鉄等を利用できない
4. 近くに公共交通機関がない
5. 徒歩で行ける範囲のみの移動しかしない
6. 外出する機会がない
7. 申請が面倒
8. とみばすの制度や使い方がわからない
9. その他 ()

【(11) 介護予防や健康のため、取り組んでいることはありますか。(〇は3つまで)】

1. スポーツ (具体的に)
2. 散歩やウォーキング
3. 食事 (栄養のバランスや量など)
4. 規則正しい生活 (早寝早起き、睡眠)
5. 心の健康づくり (ストレス解消など)
6. 煙草、酒を控える
7. ボランティア活動
8. 働くこと
9. 趣味や楽しみを持つ
10. 地域活動などへの社会参加
11. 文章を書くなど顔を扱うようにしている
12. 家事 (調理・洗濯・掃除)
13. 急用で外出する
14. その他 (具体的に)
15. 特になし

【(11) で「1. ～14.」のいずれかに回答した方のみ】

① 取り組みの頻度はどのくらいですか。(それぞれ〇は1つ)

回答番号と項目	毎日	週に2～3日	週に1日	月に2～3日	年に数回
① 1. スポーツ (ゴルフ)	1	2	③	4	5
	1	2	3	4	5
	1	2	3	4	5
	1	2	3	4	5

【(11) で「15. 特になし」と回答した方のみ】

① 取り組めない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 何をしたらいいかわからない
2. 健康づくりをされている場所がわからない
3. 時間が無い
4. 方法などを教えてくれる人がいない
5. 必要性を感じていない
6. ひとりでは長続きしない
7. 気持ちや体力的に余裕がない
8. 取り組んでも状態が良くなると思わない
9. その他 (具体的に)

問3 食べることについて

(1) 身長・体重 (最近測定した数字を記入)

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることはありますか。(〇はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか。(〇はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか。(〇はひとつ)

1. している
2. していない

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(〇は1つ)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(7) 6か月間で2～3kgの体重減少がありましたか。(〇はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(8) どなたかと食事をとる機会がありますか。(〇は1つ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(〇は1つ)

1. はい
2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (〇は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(〇は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(4) 自分で食事の用意をしていますか。(〇は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(〇は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(〇は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(7) インターネットを利用していますか。(〇は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

【(7) で「1. 利用している」と回答した方のみ】

① お使いの端末は次のどれですか。(〇は3つまで)

1. パソコン
2. スマートフォン
3. 携帯電話
4. タブレット
5. その他 ()

② インターネットをどのように活用していますか。(〇は3つまで)

1. 知りたいことを調べ
2. メール、チャットでメッセージを送る
3. SNS でコミュニケーションをとる
4. 情報を発信する
5. 動画を投稿、視聴する
6. 商品やサービスを購入、販売する
7. その他 ()

【(7) で「2. 利用していない」と回答した方のみ】

① インターネットを利用しない理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 使い方がわからない
2. 必要性を感じない
3. 購入場所・方法がわからない
4. お金がかかる
5. 文字が見にくい
6. 使い方を教えてくれる人がいない
7. その他 ()

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①～⑩それぞれに回答してください。(それぞれ〇は1つ)

区 分	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サロン	1	2	3	4	5	6
⑤ ゆとりすとクラブサロン ^{※1}	1	2	3	4	5	6
⑥ 街かどカフェ ^{※2}	1	2	3	4	5	6
⑦ 富谷市福祉健康センター ^{※3}	1	2	3	4	5	6
⑧ 近隣でのお茶飲み会 など	1	2	3	4	5	6
⑨ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑩ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑪ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

※1 「ゆとりすとクラブサロン」：最近近隣の会館や公民館等で、地域サポーターの支援のもとお茶飲みやレクリエーションなどを行うことにより、高齢者の間にこもり予防や生きがいづくりにつなげる事業。
 ※2 「街かどカフェ」：地域のママが住みながら地域で変わって自分らしく生活を継続できるよう、地域の幅広い世代のママが集い出逢える地域の居場所。
 ※3 「福祉健康センター」：市民の健康（65歳以上のママ）が、ふれあいの場・健康づくりの場、そして生きがい活動の場として、気軽にご利用できる施設。

- (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)
1. 既に参加している 2. 是非参加したい
3. 参加してもよい 4. 参加したくない
- (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)
1. 既に参加している 2. 是非参加したい
3. 参加してもよい 4. 参加したくない
- (4) あなたは地域でどんな支援ができてと思いますか。(〇はいくつでも)
1. 配食の手伝い 2. 調理
3. 掃除・洗濯 4. 買い物代行
5. 外出同行(通院、散歩など) 6. ゴミ出し
7. 見守り、声かけ 8. サロンなど、週いの惠のサポート
9. 外出時の送迎 10. 運動事業の手助け
11. 施設でのボランティア(話し相手等)
12. その他()

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします

- (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(〇はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(〇はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

8

- (4) 反対に、あなたが看病や世話をしてくれる人。(〇はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない
- (5) 友人・知人に会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)
1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない
- (6) 災害時に、不安に感じることほどどのようなことですか。(〇はいくつでも)
1. 災害に関する情報を教えてくれる 2. 避難などを手伝ってくれる人がいない
3. どこに避難すればいいかわからない 4. 避難所では生活できない
5. 家族の安否確認がとれない 6. 家が壊れるかもしれない
7. 病気の治療ができない 8. 日用品が手に入らない
9. ライフラインの切断 10. 災害に備えて備蓄など、何を用途していいかわからない
11. その他(具体的に) 12. 特になし
- (7) 市からの災害に関する情報をどのように得ていますか。(〇は3つまで)
1. テレビ・ラジオ 2. 防災行政無線
3. 緊急連絡工リアメール 4. 市の安全安心メール
5. インターネット 6. 地域の方から
7. その他()

- (8) 福祉避難所[※]を知っていますか。(〇は1つ)

1. 内容を知っている 2. 言葉だけ知っている 3. 知らない

※「福祉避難所」：災害時に在宅の高齢者、障がい者その他の特に配慮を要する方で指定の避難所での生活が困難な要支援者を福祉施設で受け入れ、緊急な生活の温を確保できるようにします。なお、福祉避難所は、災害時に必要に応じて開設される二次的避難所となります。

問7 健康について

- (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)
1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
- (2) あなたは、現在の健康状態はどうか。(〇は1つ)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)
- | とても不幸 | 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 | とても幸せ |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-------|
| | | | | | | | | | | | | |

9

- (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がつかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (5) タバコは吸っていますか。(〇は1つ)
1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない
- (6) 耳の聞こえに不安はありますか(テレビの音や人の会話など聞こえにくさを感じることはありませんか)。(〇は1つ)
1. 聞こえる 2. まあまあ聞こえる
3. 聞こえにくい 4. 聞こえない
- (7) 現在、補聴器を使っていますか。(〇は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)
1. ない 2. 高血圧
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病
5. 糖尿病 6. 高脂血症(総コレステロール)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 腎臓・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節炎等)
11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気 14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病
17. 目の病気 18. 耳の病気
19. その他()

10

- 【(8)で「治療中、または後遺症のある病気がある」と回答した方のみ】
- ① 主に通院している医療機関の地域はどこですか。(〇は1つ)
1. 市内 2. 仙台市(泉区) 3. 仙台市(泉区以外) 4. 大和町方面
5. 利府町方面 6. その他地域() 7. 住診のみ、通院していない
- (9) 過去1年以内に健診や人間ドックを受けましたか。(〇は1つ)
1. 市の健診を受けた 2. 職場の健診を受けた
3. かがりつけの病院等で健診・検査を受けた 4. 受けていない
- 【(9)で「健診や人間ドックを受けた」と回答した方のみ】
- ① 健診結果を確認しましたか。(〇は1つ)
1. はい 2. いいえ
- 【①で「はい」と回答した方のみ】
- ② 健診で「所見あり」となった項目はありますか。(〇は1つ)
1. あり 2. なし
- 【②で「あり」と回答した方のみ】
- ③ 「所見あり」となった項目について、受診や相談をしましたか。(〇は1つ)
1. はい 2. いいえ
- 【③で「2. いいえ」と回答した方のみ】
- ④ 受診や相談をしない最大な理由はなんですか。(〇は1つ)
1. 現在の健康状態では必要を感じない 2. 忙しくて時間が無い
3. 受診するのが怖い 4. 経済的に困難
5. 受診(相談)先がわからない 6. その他(具体的に)
- 【(9)で「4. 受けていない」と回答した方のみ】
- ① 健診や人間ドックを受けなかった(受けない)最大な理由は何ですか。(〇は1つ)
1. 時間がなかった 2. 検査結果が悪いと怖い
3. 入院中、自宅療養中だった 4. 費用(自己負担がかかる)
5. 検査があることを知らなかった 6. 健康には自信があるため必要なかった
7. その他(具体的に)

11

問8 家庭や地域での役割や毎日の行動について

- (1) 家庭での役割はどのようなことですか。(〇は1つ)
1. 働きに出て家庭を支えている
 2. 子や孫などの世話をしている
 3. 家族・親族の相談相手になる
 4. 家事を担っている
 5. 家族・親族のまとめ役
 6. 病気や障害を持つ家族・親族の世話
 7. その他 ()
 8. とくに役割はない
- (2) 隣近所の方と、どのようなお付き合いをしていますか。(〇は1つ)
1. 日頃から行き来し、親しくお付き合いしている
 2. たまにお茶のみなどで行き来する程度
 3. たまに、立ち話をする程度
 4. 会えばあいさつをする程度
 5. まったくない
- (3) 生きがいや楽しみのある生活のためにやっていることは何ですか。(〇はいくつでも)
1. 働くこと
 2. 家族との回らん
 3. 趣味・昔い事 (具体的に)
 4. 運動 (具体的に)
 5. 旅行・ドライブ
 6. 美容・おしゃれに関すること
 7. 外出 (買い物・映画等)
 8. 友人・仲間と過ごす時間
 9. 老人クラブ活動
 10. 町内会、育成会などの地域活動
 11. ボランティア活動に参加すること
 12. ゆとりすとクラブ・サロンでの活動
 13. 街かどカフェでの活動
 14. 福祉健康センターでの活動
 15. その他 (具体的に)
 16. 特にない

問9 認知症及び介護の相談窓口について

- (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇は1つ)
1. はい
 2. いいえ
- (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇は1つ)
1. はい
 2. いいえ

12

(3) 介護について、どこに相談したいと思えますか。(〇はいくつでも)

1. 家族
2. 親類
3. 友人・知人
4. 隣近所の人
5. 民生委員・児童委員
6. 市役所の相談窓口
7. 保健福祉総合支援センター
8. 地域包括支援センター*
9. 社会福祉協議会
10. ケアマネジャー (介護支援専門員)
11. 介護サービスを利用する事業所の職員 (ホームヘルパーなど)
12. 病院や診療所の医師・薬剤師や薬局や薬剤師等
13. インターネット・SNSなど
14. その他 (具体的に)
15. 相談したいが、相談する相手がない
16. だれにも相談しない
17. わからない

*「地域包括支援センター」：高齢者の総合相談窓口として、介護・福祉・医療等の様々な相談を受け、支援を行う。市内には、富ヶ丘・日吉台圏域地域包括支援センター (愛称 いちい)、東河岡台・成田圏域地域包括支援センター (愛称 さくら)、富谷中央・あけの平圏域地域包括支援センター (愛称 わかば) がある。

(4) 地域包括支援センターで実施している主な事業の利用状況について伺います。

事業名	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない
① 介護や福祉、医療等に関する相談 (電話や窓口相談、訪問での相談等)	1	2	3
② 介護予防に関すること (教室や講話等)	1	2	3
③ 認知症に関すること (教室や講話、認知症カフェ等)	1	2	3
④ 権利を守ること (消費者被害や虐待等) についての教室や相談	1	2	3
⑤ その他 (具体的に)			

(5) 「成年後見制度」*について、知っていますか。(〇は1つ)

1. 内容を知っている
 2. 言葉だけ知っている
 3. 知らない
- *「成年後見制度」：認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分ではない人の預貯金の管理 (財産管理) や日常生活での様々な契約 (身上監護) などを、支援していく制度。

(6) 「成年後見制度」の相談先*を知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている
 2. 知らない
- *「成年後見制度」の相談先：地域包括支援センター、保健福祉総合支援センター、社会福祉協議会、市役所、家庭裁判所、弁護士、司法書士等。

13

問10 今後の介護について

- (1) あなた自身に介護が必要となった場合に、どのような介護を受けながら生活したいと思えますか。(〇は1つ)
1. 自宅で支援を受けながら生活したい
 2. 介護施設 (特別養護老人ホーム・老人保健施設) などで生活したい
 3. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで生活したい
 4. その他 (具体的に)
 5. 想像がつかず、わからない
- 【(1) で「1. 自宅で支援を受けながら生活したい」と回答した方のみ】
- ① ご自宅で生活を続けるために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇は3つまで)
1. 自宅で面倒を見てくれる家族がいる
 2. 24 時間対応の訪問介護サービス
 3. 希望する時間に利用できるデイサービス
 4. 緊急時でも利用できるショートステイ
 5. 訪問看護などの医療的ケア
 6. 救急・夜間医療の充実
 7. 災害など、緊急時の避難の手助け
 8. 医療機関への通院の介助
 9. 往診してもらえる医療機関
 10. 地域の人からの支援
 11. 金融管理についての支援
 12. その他 (具体的に)

14

(2) 今後、認知症の方が増加することが予想されますが、認知症になっても安心して生活するために必要なことは、どのような事と思えますか。(〇はいくつでも)

1. 地域の人たちが、認知症についての正しい知識を習得する機会を持つ
2. 認知症の専門相談窓口の拡充
3. 認知症患者を迎える家族に対する支援
4. 在宅で生活するための介護サービスの充実
5. グループホーム*1 などの施設の整備
6. 地域住人の見守りや支援があること
7. 認知症であっても権利や財産が守られること
8. 介護・医療などのネットワーク強化
9. 認知症ケアパス**2 の普及・活用
10. SOS ネットワークシステム**3 の活用
11. その他 (具体的に)
12. 特にない

*1 「グループホーム」：認知症のための介護を必要とする方が、少人数で共同生活をする施設で、入浴や食事、排せつなどの介護、日常生活の世話を職員が実施を行います。
 *2 「認知症ケアパス」：認知症の人やその家族が、認知症と疑われる症状が発生した時からの進行状況に合わせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けられるかの情報を示すもの。
 *3 「SOS ネットワークシステム」：認知症の高齢者が徘徊等が発生した場合に、事務局である認知症緊急対応センターを通じて手配します。事前登録もできますので、いざという時に早めの対応が図れます。

(3) 最後に、市の高齢者福祉サービスやその他のまちづくりに関するご意見・ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■■
 記入もれがないか、今一度お確かめください。
 1月31日(火)までに郵便ポストに投函してください。

15

(2) 在宅介護実態調査

【*****】

**《第9期》
②在宅介護実態
調査票**

調査協力をお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

富谷市では現在、「高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生涯を過ごせるまちづくり」を基本理念に据えて、令和5年度には第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定を予定しています。

計画の策定にあたり、富谷市にお住まいの65歳以上の要支援・要介護認定者（以下「要介護者」という。）及びその介護者を対象とするアンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、富谷市にお住まいの要介護者の中から無作為に抽出した500名の方を対象としています。

なお、ご記入いただいた内容は、富谷市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとともに、前記以外の目的に使用することはありません。大変お忙しいとは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年1月

富 谷 市

ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒に入れ、
1月31日（火）までに 郵便ポストへご投函ください。

＜この調査に関するお問い合わせ先＞

富谷市 保健福祉部 長寿福祉課
電話：022-358-0513 FAX：022-358-9915

ご記入にあたってのお願い

1. この調査の対象となる方は、市内にお住まいで、令和4年12月1日現在、要支援・要介護認定を受けている方及び主な介護者様です。

2. ご回答にあたっては表紙に記載の「あて名のご本人」についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。

3. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。

介護…介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票に回答されているのはどなたですか。

1. 調査対象者本人 2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族 4. その他（ ）

問2 世帯類型について、ご回答ください。

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他（ ）

問3 ご本人のお住まいの地区は、どこですか。

1. 成田・大滝水・上桜木 2. 明石台
3. 東向陽台 4. 富ヶ丘・鷹乃杜
5. 日古台・村乃橋 6. 太子堂・ひより台・グリーンヒル（一ノ岡の一部）
7. どの木・あけの平 8. その他（上記以外の地区）

問4 ご本人の性別について、ご回答ください。

1. 男性 2. 女性

問5 ご本人の年齢について、ご回答ください。

1. 65～69歳 2. 70～74歳 3. 75～79歳
4. 80～84歳 5. 85～89歳 6. 90歳以上

1

問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください。

1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1
4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4
7. 要介護5 8. わからない

問7 現時点での、施設等[※]への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（○は1つ）

1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居の申し込みをしている

※「施設等」：特設介護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問8 ご本人が、現在抱えている傷病名を教えてください。（○はいくつでも）

1. 脳血管疾患（脳卒中） 2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん） 4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析） 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、肩こり、腰痛等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む） 8. 変形性関節疾患
9. 認知症 10. パーキンソン病
11. 糖尿病（パーキンソン病を除く） 12. 糖尿病
13. 視覚・聴覚障害（眼鏡・聴覚障害を伴うもの） 14. その他（ ）
15. なし 16. わからない

問9 令和4年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は1つ）

1. 利用した ⇒ 問10、問11へ 2. 利用していない ⇒ 問12へ

2

問10 問9で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和4年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください。（それぞれ0は1つ）

	1週間あたりの利用回数（それぞれ1つに○）					
	利用していない	1回程度	2回程度	3回程度	4回程度	5回以上
(回答例) ●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E. 通所介護（デイサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F. 通所リハビリテーション（デイケア）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
G. 夜間対応型訪問介護（訪問のあった回数）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
	利用の有無（1つに○）					
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した				
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した				
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した				
	1か月あたりの利用日数（1つに○）					
	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	
K. 短期入所生活介護（ショートステイ）	0日	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上	
	1か月あたりの利用回数（1つに○）					
	利用していない	1回程度	2回程度	3回程度	4回程度	
L. 居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回	

3

問11 問9で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。
あなたが利用しているサービスに対して、どれくらい満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足 2. おおむね満足
3. やや不満 4. 不満

問12 問9で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人(要介護者)にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを利用したいが手続きや利用方法が分からない
9. その他 ()

問13 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか。(〇はいくつでも)

1. 配食 2. 調理
3. 掃除・洗濯 4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し 6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ
9. サロン[※]などの定期的な通いの場 10. その他 ()
11. 利用していない
※サロンより量は介護保険サービスに含まれるため、この設問の対象には含まれません。

問14 家族や親族の方から介護してもらう日は、週にどのくらいありますか。(〇は1つ)
(同居していない子どもや親族の方等からの介護も含みます。)

1. ない 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1~2日ある 4. 週に3~4日ある 5. ほぼ毎日ある

4

問15 ご本人(要介護者)が、主に通院している医療機関の地域はどこですか。(〇は1つ)

1. 市内 2. 仙台市(市区)
3. 仙台市(市区以外) 4. 大和町方面
5. 利府町方面 6. その他の地域
(具体的に)

7. 往診のため、通院していない

問16 問15で「1」~「6」のいずれかの地域の医療機関に通院していると回答した方にお伺いします。
医療機関への主な移動手段は何ですか。(〇は1つ)

1. 徒歩 2. 自転車
3. バイク 4. 自動車(自分で運転)
5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車・地下鉄
7. 市営バス 8. 路線バス
9. 専用のバス(病院等の) 10. 電動車いす(セニアカー)
11. タクシー 12. 介護タクシー
13. その他(具体的に)

問17 ご本人(要介護者)が、生きがいや楽しみのある生活のためにやっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 家族との団らん 2. 趣味・習い事(具体的に)
3. 運動(具体的に) 4. 旅行・ドライブ
5. 美容・おしゃれに装すること 6. 外出(買い物・映画等)
7. 友人・仲間と過ごす時間 8. 老人クラブ活動
9. 町内会、育成会などの地域活動 10. 隣近所とのお茶のみ
11. 通所サービス利用時の活動(デイサービスなど) 12. 訪問サービス利用時の活動(ヘルパーの前泊など)
13. テレビ・ラジオ 14. その他(具体的に)
15. 籍にない

5

問18 ご本人(要介護者)は、隣近所の方と、どのようなお付き合いをしていますか。(〇は1つ)

1. 日頃から行き来し、親しくお付き合い 2. たまにお茶のみなどで行き来する程度している
3. たまに、立ち話をする程度 4. 会話はあいつつをする程度
5. まったくない

問19 ご本人(要介護者)は、家族以外で、地域の中に話をする相手がありますか。(〇は1つ)

1. 話し相手がいる 2. 話したいが相手がない
3. 話し相手が必要としない

問20 ご本人(要介護者)は、「成年後見制度」[※]について、知っていますか。(〇は1つ)

1. 内容を知っている 2. 言葉だけ知っている 3. 知らない
※「成年後見制度」：認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人の財産の管理(財産管理)や日常生活での様々な契約(金上監護)などを、変更していく制度。

問21 「成年後見制度」の相談先[※]を、知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている 2. 知らない
※「成年後見制度」の相談先：地域包括支援センター、保健福祉総合支援センター、社会福祉協議会、市役所、家庭裁判所、弁護士、司法書士等。

問22 ご本人(要介護者)が、ご自宅で生活を続けるために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 自宅で面倒を見てくれる家族がいる 2. 24時間対応の訪問介護サービス
3. 希望する時間に利用できるデイサービス 4. 緊急時でも利用できるショートステイ
5. 訪問看護などの医療的ケア 6. 救急・夜間医療の充実
7. 災害など、緊急時の避難の手助け 8. 医療機関への通院の介助
9. 往診してもらえる医療機関 10. 地域の人からの支援
11. 金銭管理についての支援 12. その他(具体的に)

6

B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族や親族の方で、ご本人(要介護者)の介護のために、過去1年の間に仕事[※]を辞めた方・転職された方はありますか。(〇はいくつでも)
(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない
※自営業や農林水産業の仕事を辞めた・転職した場合は含みます。

問2 主な介護者の方は、ご本人(要介護者)から見てどなたになりますか。(〇は1つ)

1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者
4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他()

問3 主な介護者の方のお住まいはどこですか。(〇は1つ)

1. 要介護者と同居 2. 成田・大清水・上桜木 3. 明石台
4. 東向陽台 5. 富ヶ丘・鷹乃社 6. 白古台・杜乃橋
7. 太子堂・ひより台・グリーンヒル(一ノ坂の一部)
8. ところの木・あけの平 9. 2~8地区以外の富谷市内 10. 黒川郡内
11. 仙台市 12. 県内 13. 県外

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)

1. 男性 2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

1. 20歳未満 2. 20~29歳 3. 30~39歳
4. 40~49歳 5. 50~59歳 6. 60~69歳
7. 70~79歳 8. 80歳以上 9. わからない

問6 現在の主な介護者の方の健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

7

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護術について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

〔身体介護〕

1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時)

4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等) 6. 衣服の着脱

7. 屋内での移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬

10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)

〔生活援助〕

12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き

〔その他〕

15. その他() 16. わからない

問8 (在宅生活を送る要介護者を介護している)現在の生活を今後も続けていくためには、主な介護者の方が不安に感じる介護等はどれですか。(〇は3つまで)(現在行っているかどうかは問いません。)

〔身体介護〕

1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時)

4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等) 6. 衣服の着脱

7. 屋内での移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬

10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)

〔生活援助〕

12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き

〔その他〕

15. その他() 16. 不安に感じていることは、特にな
17. わからない

8

問9 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか。(〇は1つ)

1. フルタイムで働いている } ⇒ 問10~問11へ

2. パートタイム[※]で働いている } ⇒ 問12へ

3. 働いていない }

4. わからない }

※「パートタイム」：「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い労」が該当します。いわゆる「アルバイト」・「臨時」・「契約社員」等の方を含みます。日勤専・フレックス等の場合は、日勤専・日勤専から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択。

問10 問9で「1. フルタイムで働いている」・「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 特に調整していない

2. 介護のために、「労働時間調整(残業免除、短期間勤務、週休・半休・中抜け等)」しながら、働いている

3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている

4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている

5. 介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている

6. わからない

問11 「問9で「1. フルタイムで働いている」・「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける

3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい

5. わからない

問12 主な介護者の方は、ご自身の自由な時間がとれていますか。(〇は1つ)

1. 適度にとれている 2. ままあととれている

3. あまりとれていない 4. まったくとれていない

9

問13 主な介護者の方が介護をできない場合、代わってくれる方はいますか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者 2. 子ども

3. 子どもの配偶者 4. 孫

5. 兄弟姉妹 6. 隣近所の人

7. その他(具体的に) 8. いない

問14 主な介護者の方が特に負担に感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 介護の方法がわからない 2. 家族の理解や協力が足りない

3. 体力的に負担が大きい 4. 精神的に負担が大きい

5. 自分の時間が持たない 6. 経済的な負担が大きい

7. 近隣の人の理解が足りない 8. その他(具体的に)

9. 特にな

問15 今後、認知症の方が増加することが予想されますが、認知症になっても安心して生活するために必要なことは、どのような事と見えますか。(〇はいくつでも)

1. 地域の人たちが、認知症についての正しい知識を習得する機会を持つ

2. 認知症の専門相談窓口の拡充

3. 認知症患者を抱える家族に対する支援

4. 在宅で生活するための介護サービスの充実

5. グループホーム^{※1}などの施設整備

6. 地域住人の見守りや支援があること

7. 認知症であっても権利や財産が守られること

8. 介護・医療などのネットワーク強化

9. 認知症ケアパス^{※2}の普及・活用

10. SOSネットワークシステム^{※3}の活用

11. その他(具体的に)

12. 特にな

※1「グループホーム」：認知症の適切な介護を必要とする方が、少数で共同生活を営む施設で、入浴や食事、排せつなどの介護、日常生活の世帯や備品を管理します。

※2「認知症ケアパス」：認知症の人やその家族が、認知症と疑われる症状が発生した時からの進行状況に合わせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けられるかの経路を示すもの。

※3「SOSネットワークシステム」：認知症の高齢者が徘徊等で所件不明になった場合に、事務局である大和警察署生活安全課を通じて手配します。事前登録もできますので、いざという時に早めの対応が図れます。

10

問16 主な介護者の方は、隣近所の方と、どのようなお付き合いをしていますか。(〇は1つ)

1. 日頃から行き来し、親しくお付き合いしている

2. たまにお茶のみなどで行き来する程度

3. たまに、立ち話をする程度

4. 会えばあいさつをする程度

5. まったくない

問17 主な介護者の方には、家族以外で、介護の悩みを相談するなど、地域の中に話をする相手はいますか。(〇は1つ)

1. 話し相手がいる 2. 話をしたいが相手がない

3. 話し相手が必要としない

問18 主な介護者の方が、災害時に、不安に感じることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 災害に関する情報を教えてくれる 2. 避難などを手伝ってくれる人がいない

3. どこに避難すればいいかわからない 4. 避難所では生活できない

5. 家族の安否確認がとれない 6. 家が壊れるかもしれない

7. 病気の治療ができない 8. 日用品が手に入らない

9. ライフラインの切断 10. 災害に備えて備蓄など、何を用意してよいかわからない

11. その他(具体的に) 12. 特にな

問19 主な介護者の方は、福祉避難所[※]を知っていますか。(〇は1つ)

1. 内容を知らない 2. 言葉だけ知っている 3. 知らない

※「福祉避難所」：災害時に住所の高齢者、障がい者その他の特に配慮を要する方で指定の避難所での生活が困難な要支援者を福祉施設で受け入れ、緊急な生活の確保を確保できるようにします。なお、福祉避難所は、災害時に必要に応じて開設される二次的避難所となります。

11

問20 主な介護者の方は、介護について、どこに相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 家族 2. 親類 3. 友人・知人 4. 隣近所の人
 5. 市役所の相談窓口 6. 保健福祉総合支援センター
 7. 地域包括支援センター※ 8. 社会福祉協議会
 9. ケアマネジャー（介護支援専門員） 10. 介護サービスを利用する事業所の職員（ホームヘルパーなど）
 11. 民生委員・児童委員 12. 病院や診療所の医師・薬剤師や薬剤師など
 13. インターネット上のコミュニティ・サイト（SNSなど）
 14. その他（具体的に）)
 15. 相談したいが、相談する相手がない 16. だれにも相談しない
 17. わからない

※「地域包括支援センター」：高齢者の総合相談窓口として、介護・福祉・医療等の様々な相談を受け、支援を行う。市域には、香ケ丘・白土台南地区域包括支援センター（豊崎 しいらい）、栗原総合・坂田総合地域包括支援センター（豊崎 さくら）、富谷中央・あけの平総合地域包括支援センター（豊崎 わかば）がある。

問21 主な介護者の方が、介護に関する相談窓口に求めるものは何ですか。(〇は3つまで)

1. 一箇所ですべてのサービスの相談ができる窓口 2. 自宅からすぐ近くの場所にある窓口
 3. 担当者が専門的な知識を有している 4. 24時間対応してくれる窓口
 5. その他（具体的に）)
 6. 特にない

問22 主な介護者の方は、「成年後見制度」※について、知っていますか。(〇は1つ)

1. 内容を知っている 2. 言葉だけ知っている 3. 知らない

※「成年後見制度」：認知症、知的障害、身体的障害などにより判断能力が十分でない人の財産管理（財産管理）や日常生活での様々な援助（身上監護）などを、支援していく制度。

問23 「成年後見制度」の相談先※を、知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

※「成年後見制度」の相談先：地域包括支援センター、保健福祉総合支援センター、社会福祉協議会、市役所、家庭裁判所、弁護士、司法書士等。

問24 主な介護者の方自身に介護が必要となった場合に、どのような介護を受けながら生活したいと思いますか。(〇は1つ)

1. 自宅で支援を受けながら生活したい
 2. 介護施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設）などで生活したい
 3. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで生活したい
 4. その他（具体的に）)
 5. 想像がつかず、わからない

問25 問24で「1. 自宅で支援を受けながら生活したい」に回答した方にお伺いします。主な介護者の方がご自宅で生活を続けるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 自宅で面会を見てくれる家族がいる 2. 24時間対応の訪問介護サービス
 3. 希望する時間に利用できるデイサービス 4. 緊急時でも利用できるショートステイ
 5. 訪問看護などの医療的ケア 6. 救急・夜間医療の充実
 7. 災害などの緊急時の、避難の手助け 8. 医療機関への通院の介助
 9. 往診してもらえる医療機関 10. 地域の人からの支援
 11. 金銭管理についての支援 12. その他（具体的に）)

問26 最後に、市の高齢者福祉サービスやその他のまちづくりに関するご意見・ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■■
 記入もれがないか、今一度お確かめください。
 1月31日（火）までに郵便ポストに投函してください。

(3) 第2号被保険者調査

【*****】

**《第9期》
③第2号被保険者対象
ニーズ調査**

調査協力をお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
富谷市では現在、「高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生活を過ごせるまちづくり」を基本理念に基いて、令和5年度には第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定を予定しています。
計画の策定にあたり、このたび地域の課題や皆様の要望（ニーズ）等を把握するためのアンケート調査を実施することになりました。
この調査は、富谷市にお住まいの40歳から64歳までの方の中から無作為に抽出した800名の方を対象としています。
なお、ご記入いただいた内容は、富谷市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとともに前述以外の目的に使用することはありません。大変お忙しいとは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年1月 富 谷 市

記入日	令和 年 月 日
※ 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____ ）	
3. その他	

ご記入後、お手数ですが、このアンケートを封筒の返信用封筒に入れ、
1月31日（火）までに 郵便ポストへご投函ください。

＜この調査に関するお問い合わせ先＞

富谷市 保健福祉部 長寿福祉課
電話：022-358-0513 FAX：022-358-9915

ご記入にあたってのお願い

- この調査の対象となる方は、市内にお住まいで、令和4年12月1日現在、**40歳から64歳まで**の方です。
- ご回答にあたっては表紙に記載の「あて名のご本人」についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
- この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

あなたご自身のことについて

問1 あて名のご本人（以下、「あなた」という）の性別について、ご回答ください。

- 男性
- 女性

問2 あなたの年齢について、ご回答ください。

- 40～44歳
- 45～49歳
- 50～54歳
- 55～59歳
- 60～64歳

問3 あなたのお住まいの地区は、どこですか。

- 成田・大清水・上桜木
- 明石台
- 奥向陽台
- 富ヶ丘・磯乃杜
- 日吉台・杜乃橋
- 太子堂・ひより台・グリーンヒル（一ノ関の一部）
- とちの木・あけの平
- その他（上記以外の地区）

問4 あなたの家族構成は、次のうちどれですか。

- 1人暮らし
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
- 息子・娘との2世代
- その他（例：孫を含む3世代同居等）

1

問5 あなたは、日中、主に誰とお過ごしですか。（○は1つ）

- 家族といることが多い
- ひとりであることが多い
- 隣近所の人・友人といることが多い
- 職場などで同僚といることが多い
- その他（具体的に _____ ）

あなた自身の健康状況について

問6 あなたは、現在治療中、または後述のある病気はありますか。（○はいくつでも）

- 高血圧
- 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
- 心臓病
- 糖尿病
- 高脂血症（総脂質異常）
- 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
- 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 腎臓・前立腺の病気
- 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
- 外傷（転倒・骨折等）
- がん（悪性新生物）
- 血液・免疫の病気
- うつ病
- 認知症（アルツハイマー病等）
- パーキンソン病
- 目の病気
- 耳と鼻の病気
- 歯の病気（むし歯や歯周病等）
- その他（具体的に _____ ）
- ない

※介護保険法施行に定める特定疾病に罹患していることと診断され、要介護、要支援状態になる可能性がある方は、40歳以上65歳未満でも、介護サービスを受けられる場合があります。

問7 過去1年以内に健診や人間ドックを受けましたか。（○は1つ）

- 市の健診を受けた
- 職場の健診を受けた
- かかりつけの病院等で健診・検査を受けた
- 受けていない → 問7-⑤△

【問7で「健診や人間ドックを受けた」と回答した方のみ】

① 健診結果を確認しましたか。（○は1つ）

- はい
- いいえ

2

【問7①で「1. はい」と回答した方のみ】

② 健診で「所見あり」となった項目はありますか。（○は1つ）

- あり
- なし

【問7②で「1. あり」と回答した方のみ】

③ 「所見あり」となった項目について、受診や相談をしましたか。（○は1つ）

- はい
- いいえ

【問7③で「2. いいえ」と回答した方のみ】

④ 受診や相談をしない最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

- 現在の健康状態では必要を感じない
- 忙しくて時間が合わない
- 受診するのが怖い
- 経済的に困難
- 受診（相談）先がわからない
- その他（具体的に _____ ）

【問7で「4. 受けていない」の方のみ】

⑤ 健診や人間ドックを受けなかった（受けない）最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

- 時間がなかった
- 検査結果が怖い
- 入院中、自宅療養中だった
- 費用（自己負担がかかる）
- 検診があることを知らなかった
- 健康には自信があるため必要なかった
- その他（具体的に _____ ）

問8 健康のために意識していることや取り組んでいることはありますか。（○はいくつでも）

- スポーツ（具体的に _____ ）
- 散歩やウォーキング
- ラジオ体操
- 食事（栄養のバランスや量など）
- 規則正しい生活（早寝早起きや十分な睡眠など）
- 心の健康づくり（ストレス解消など）
- 煙草、酒を控える
- ボランティア活動
- 働くこと
- 趣味や楽しみを持つ
- 地域活動などへの社会参加
- 車椅子を助行
- 文庫を書くなど語を使うようにしている
- 家事（調理・洗濯・掃除）
- 意識して外出する
- その他（具体的に _____ ）
- 特になし

3

【問8で「17. 特にない」の方のみ】

① 取り組めない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 何をしたらいいかわからない
2. 健康づくりをしている場所がわからない
3. 時間がない
4. 方法などを教えてくれる人がいない
5. 必要性を感じていない
6. ひとりでは長続きしない
7. 気持ちや体力的に余裕がない
8. 取り組んでも状態が悪くならない
9. その他 (具体的に)

認知症について

問9 今後、認知症の方が増加することが予想されますが、認知症になっても安心して生活するために必要なことは、どのような事と思えますか。(〇はいくつでも)

- 1. 地域の人たちが、認知症についての正しい知識を習得する機会を持つ
2. 認知症の専門相談窓口の拡充
3. 認知症患者を抱える家族に対する支援
4. 在宅で生活するための介護サービスの充実
5. グループホーム※1などの施設の整備
6. 地域住人の見守りや支援があること
7. 認知症であっても権利や財産が守られること
8. 介護・医療などのネットワーク強化
9. 認知症ケアパス※2の普及・活用
10. SOS ネットワークシステム※3の活用
11. その他 (具体的に)
12. 特にない
※1 「グループホーム」：認知症のため介護を必要とする方が、少人数で共同生活をする施設で、入浴や食事、排せつなどの介護、日常生活の世話や福祉的支援を行います。
※2 「認知症ケアパス」：認知症の人やその家族が、認知症と疑われる症状が発生した時からの進行状況に合わせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいかの経路を示すもの。
※3 「SOS ネットワークシステム」：認知症の高齢者が徘徊等で所在不明になった場合に、事務局である大和警察署生活安全課を通じて手配します。事前登録もできますので、いざという時に早めの対応が図れます。

生活状況について

問10 あなたの就労日数についてお答えください。(〇は1つ)

- 1. 週5日以上
2. 週に2～4日程度
3. 月に数日程度
4. 年に数回程度
5. 就労していない

問11 あなたが生きがいや楽しみのある生活のためにやっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 働くこと
2. 家族との団らん
3. 趣味・遊び等 (具体的に)
4. 運動 (具体的に)
5. 旅行・ドライブ
6. 美容・おしゃれに関すること
7. 外出 (買い物・映画等)
8. 友人・仲間と過ごす時間
9. 老人クラブ活動
10. 町内会、育成会などの地域活動
11. ボランティア活動に参加すること
12. ゆとりずとクラブ・サロン※1での活動
13. 街かどカフェ※2での活動
14. 福祉健康センター※3での活動
15. その他 (具体的に)
16. 特にない

※1 「ゆとりずとクラブ(サロン)」：自治会地区の会館や公民館等で、地域ネットワークの交流の場とお茶飲みやレクリエーションなどを行うことにより、高齢者の居心地も良くなり生きがいづくりにつながる事業。
※2 「街かどカフェ」：地域の町が住みやすい地域で安心して自分らしく生活を継続できるような、地域の福祉・世代のつながりが強い社会を築くための活動。
※3 「福祉健康センター」：市民の健康(20歳以上の方)が、られぬ健康・健康づくりの場。そして生きがい活動の場として、気軽に利用できる施設。

地域との関わりについて

問12 あなたは、隣近所の方と、どのようなお付き合いをしていますか。(〇は1つ)

- 1. 口元から行き来し、親しくお付き合いしている
2. たまにお米のみなどで行き来する程度
3. たまに、立ち話をする程度
4. 会えばあいさつをする程度
5. まったくない

問13 あなたは町内会やサークル活動、ボランティア活動などの地域活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

- 1. 町内会のお祭や総会、運動会などの活動
2. 老人クラブ、婦人会
3. 清掃活動
4. 子どもの登下校時の見守り
5. 各種サークル活動
6. ボランティア活動 (具体的に)
7. その他 (具体的に)
8. 参加していない =>問13-0A

【問13で「8. 参加していない」の方のみ】

① あなたが地域活動に参加していない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

- 1. 仕事や家事で忙しいから
2. 体が弱い、病気がちであるから
3. 家族の世話で忙しいから
4. 活動の内容や参加の方法がわからないから
5. 興味や関心はあるが、参加するきっかけがないから
6. 興味や関心がないから
7. 介護をしているから
8. その他 (具体的に)

問14 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思えますか。(〇は1つ)

- 1. 是非参加したい =>問14-0A
2. 参加してもよい =>問14-0B
3. 参加したくない
4. 断りに参加している

【問14で「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」の方のみ】

① どのような地域活動に参加してみたいと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1. 子どもの登下校時の見守りなどの活動
2. 子どもの学習支援の活動
3. 食生活を改善するための活動
4. 健康づくりのための活動
5. スポーツや運動などの活動
6. 各種趣味などの活動
7. その他 (具体的に)

問15 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思えますか。(〇は1つ)

- 1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 断りに参加している

問16 災害時に、不安に感じることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- 1. 災害に関する情報を教えてくれる人がいない
2. 避難などを手伝ってくれる人がいない
3. どこに避難すればいいかわからない
4. 避難所では生活できない
5. 家族の安全確認がとれない
6. 家が壊れるかもしれない
7. 病気の治療ができない
8. 日用品が手に入らない
9. ライフラインの切断
10. 災害に備えてなど、何を用品してよいかかわからない
11. その他 (具体的に)
12. 特にない

問17 市からの災害に関する情報をどのように得ていますか。(〇は3つまで)

- 1. テレビ・ラジオ
2. 防災行政無線
3. 緊急速報エリアメール
4. 市の安全安心メール
5. インターネット
6. 隣近所から
7. その他 (具体的に)

問18 あなたは、福祉避難所を知っていますか。(〇は1つ)

- 1. 内容を知っている
2. 言葉だけ知っている
3. 知らない
※「福祉避難所」：災害時に在宅の高齢者、障がい者その他の特に配慮を要する方で指定の避難所での生活が困難な要支援者を福祉施設で受け入れ、緊急な生活を確保できるようにします。なお、福祉避難所は、災害時に必要に応じて開設される二次的避難所となります。

問19 高齢者が地域の中で安心して生活するために、あなたができることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 散歩のあいさつなど
2. 散歩や外出の付き添い
3. 声かけ、見守り、話し相手など
4. 掃除などの簡単な身の回りの世話
5. 高齢者が気軽に集まれる場所の提供
6. 買い物代行
7. 災害時の安全確認や救助など
8. その他 (具体的に)
9. 支援したいが、自分のことで精一杯
10. できることはない
11. 考えたことがないのでわからない

相談窓口などについて

- 問20 あなたは介護保険制度の内容について、知っていますか。(○は1つ)
1. 内容を知っている
 2. 名称は聞いたことがある
 3. 知らない
- 問21 あなたが介護に関する相談窓口に求めるものは何ですか。(○は3つまで)
1. 一箇所ですべてのサービスの相談ができる窓口
 2. 自宅からすぐ近くの場所にある窓口
 3. 担当者が専門的な知識を有している窓口
 4. 24時間対応してくれる窓口
 5. その他 (具体的に)
 6. 特になし
- 問22 「成年後見制度」*について、知っていますか。(○は1つ)
1. 内容を知っている
 2. 言葉だけ知っている
 3. 知らない
- *「成年後見制度」：認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分ではない人の預貯金の管理（財産管理）や日常生活での様々な契約（身上看護）などを、支えていく制度。
- 問23 「成年後見制度」の相談先*を知っていますか。(○は1つ)
1. 知っている
 2. 知らない
- *「成年後見制度」の相談先：地域包括支援センター、保健福祉総合支援センター、社会福祉協議会、市役所、家庭裁判所、弁護士、司法書士等。
- 問24 「市民後見人」*について、知っていますか。(○は1つ)
1. 内容を知っている(問24-①)
 2. 言葉だけ知っている
 3. 知らない
- *「市民後見人」：難関研修を受講するなど、成年後見人等として必要な知識を得た、市区以外の市民の中から、家庭裁判所が成年後見人等として選任した方です。富谷市では、3名の方が市民後見人養成研修を受講しています。
- 【問24で「1. 内容を知っている」と回答した方のみ】
- ① 「市民後見人」として活動したいと思いませんか。(○は1つ)
1. 活動は考えていない
 2. どちらともいえない
 3. 活動に興味がある
 4. ぜひ活動したい

将来の生活（介護の考え方を含む）について

- 問25 あなたは65歳以降の生活を、どのように過ごしたいと考えていますか。(○はいくつでも)
1. これまでの経験や知識・資格を活かしながら働き続けたい
 2. 親や孫の世話など、家族のために暗電を使いたい
 3. 趣味や運動などを楽しみたい
 4. ボランティアや地域活動に参加したい
 5. 健康に気を配りたい
 6. 隣近所との交流
 7. その他 (具体的に)
- 問26 あなた自身に将来介護が必要となった場合に、誰に介護をされたいと思いませんか。(○は1つ)
1. 配偶者
 2. 子ども
 3. 子どもの配偶者
 4. 孫
 5. 兄弟姉妹
 6. 介護専門職（ホームヘルパー等）
 7. その他 (具体的に)
- 問27 あなた自身に介護が必要となった場合に、どのような介護を受けながら生活したいと思いませんか。(○は1つ)
1. 自宅で支援を受けながら生活したい
 2. 介護施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設）などで生活したい
 3. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで生活したい
 4. その他 (具体的に)
 5. 想像がつかず、わからない
- 【問27で「1. 自宅で支援を受けながら生活したい」の方のみ】
- ① あなた自身に介護が必要となって、ご自宅で生活を続けるためには、どのような支援やサービスが必要だと思いませんか。(○は3つまで)
1. 自宅で面会してくれる家族がいる
 2. 24時間対応の訪問介護サービス
 3. 希望する時間に利用できるデイサービス
 4. 緊急時でも利用できるショートステイ
 5. 認知看護などの医療的ケア
 6. 救命・夜間急患の充実
 7. 災害など緊急時の避難の手助け
 8. 医療機関への通院の介助
 9. 往診してもらえる医療機関
 10. 地域の人からの支援
 11. 金銭管理についての支援
 12. その他 (具体的に)

ご両親の介護について

- 問28 家族や兄弟の間で、ご両親の介護について話し合いをしていますか。(○は1つ)
1. 話し合って結論が出た
 2. 話し合ったが結論が出ない
 3. 話し合っていない
 4. 対象になる人はいない
- 問29 あなたは近い将来（今後2～3年の間）に、ご両親を呼び寄せて介護をする予定はありますか。(○は1つ)
1. 予定がある
 2. 予定はない
 3. わからない
 4. 対象になる人はいない
- 問30 最後に、市の高齢者福祉サービスやその他のまちづくりに関するご意見・ご要望がございましたら、自由にご記入ください。
- _____
- _____
- _____
- _____

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■■
記入もれがないか、今一度お確かめください。
1月31日（火）までに郵便ポストに投函してください。

別紙

令和4年度富谷市介護人材実態調査
結果報告書

令和5年3月
富谷市保健福祉部長寿福祉課

目 次

1 調査概要について

- (1) 調査目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 調査対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) 調査実施期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (4) 調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (5) 回収状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (6) 調査項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2 調査結果について

- (1) 事業所の従事者数（正規職員・非正規職員）について・・・・・・・・ 4
- (2) 職員の従事者数（職種別）及び募集人数について・・・・・・・・ 7
- (3) 職員の離職者数及び雇用者数について・・・・・・・・ 10
- (4) 職員の離職理由について・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- (5) 介護人材の不足感について・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- (6) 人材募集の方法について・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (7) 人材不足によって生じている問題について・・・・・・・・ 16
- (8) 人材確保のための取り組みについて・・・・・・・・ 17
- (9) 人材不足を解消するために行政に求める役割について・・・・・・・・ 18
- (10) みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度について・・・・・・・・ 19
- (11) ボランティア人材の活用状況について・・・・・・・・ 20
- (12) ボランティア活用の効果について・・・・・・・・ 20
- (13) 自由回答について・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

3 資料

- (1) アンケート調査票・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

1 調査概要について

(1) 調査目的

厚生労働省から示された介護人材実態調査に基づき、市内の介護事業所の人材確保における課題等を把握し、富谷市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画における施策の方針を検討する基礎資料とする。

(2) 調査対象

市内の介護保険事業所61カ所（サービス種類別にカウント）

(3) 調査実施期間

令和5年1月17日（火）～令和5年1月31日（火）

※調査基準日：令和4年12月1日（木）

(4) 調査方法

市ホームページにおける電子メール回答及び、WEB 回答フォーム（みやぎ電子申請サービス）での調査。

(5) 回答状況

調査対象 （事業所数）	調査票 回収数	区分		有効回収率
		メール	WEB	
61	42	12	30	68.9%

※ 複数のサービス指定を受けている場合については指定数でカウント。

例) 介護老人福祉施設と短期入所生活介護の指定 →2 事業所とカウント

(6) 調査項目 ※全12問

問1	事業所の従事者数について
問2	職員の従事者数及び募集人数について
問3	職員の離職者数及び雇用者数について
問4	職員の離職理由について
問5	介護人材の不足感について
問6	人材募集の方法について
問7	人材不足によって生じている問題について
問8	人材確保のための取り組みについて
問9	人材不足を解消するために行政に求める役割について
問10	みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度について
問11	ボランティア人材の活用状況について
問12	ボランティア活用の効果について

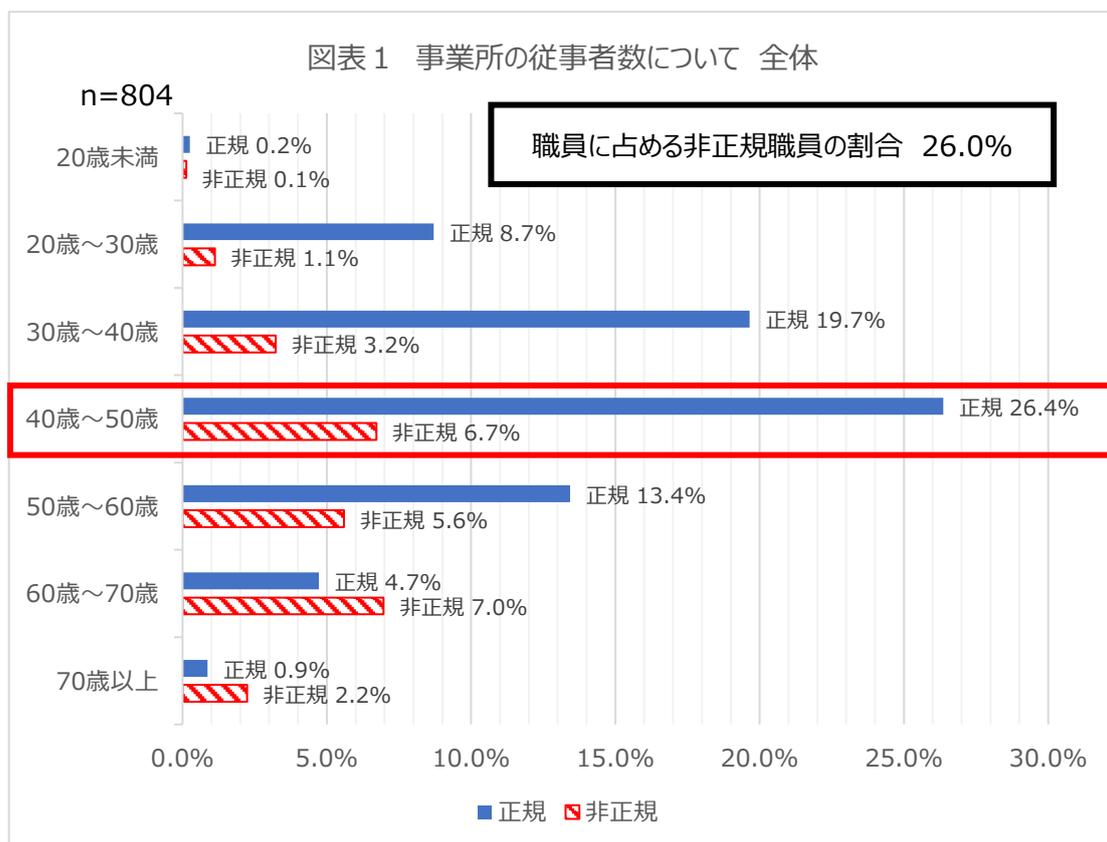
2 調査結果について

設問別の集計結果は、次ページ以降に掲載。なお、サービス種別については、下記のとおり通所系・訪問系・施設系サービスに大別して集計を実施。

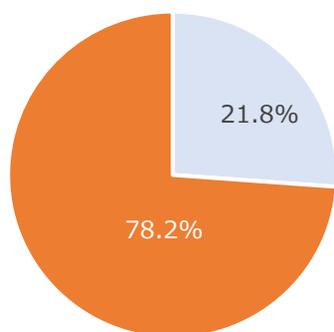
区分	サービス種別
①通所系サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護 ・地域密着型通所介護 ・通所リハビリテーション ・小規模多機能型居宅介護 ・看護小規模多機能型居宅介護 ・通所型サービス（総合事業）
②訪問系サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援 ・介護予防支援 ・訪問介護 ・訪問リハビリテーション ・訪問看護 ・訪問入浴介護
③施設系サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人福祉施設 ・地域密着型介護老人福祉施設 ・介護老人保健施設 ・短期入所生活介護 ・認知症対応型共同生活介護 ・特定施設入居者生活介護 ・ケアハウス ・有料老人ホーム

(1) 事業所の従事者数について

問1 貴事業所にて従事する方（事務職員・介護助手を含む。）は、男女それぞれいずれの年齢層にありますか。当てはまる年齢層に、男女別の人数をご入力ください。（R4年12月1日現在）

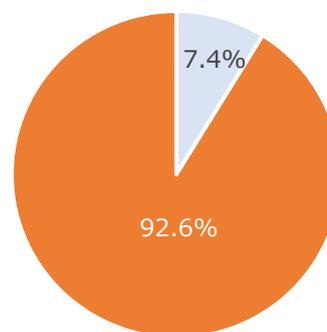


図表2 男女割合 正規職員

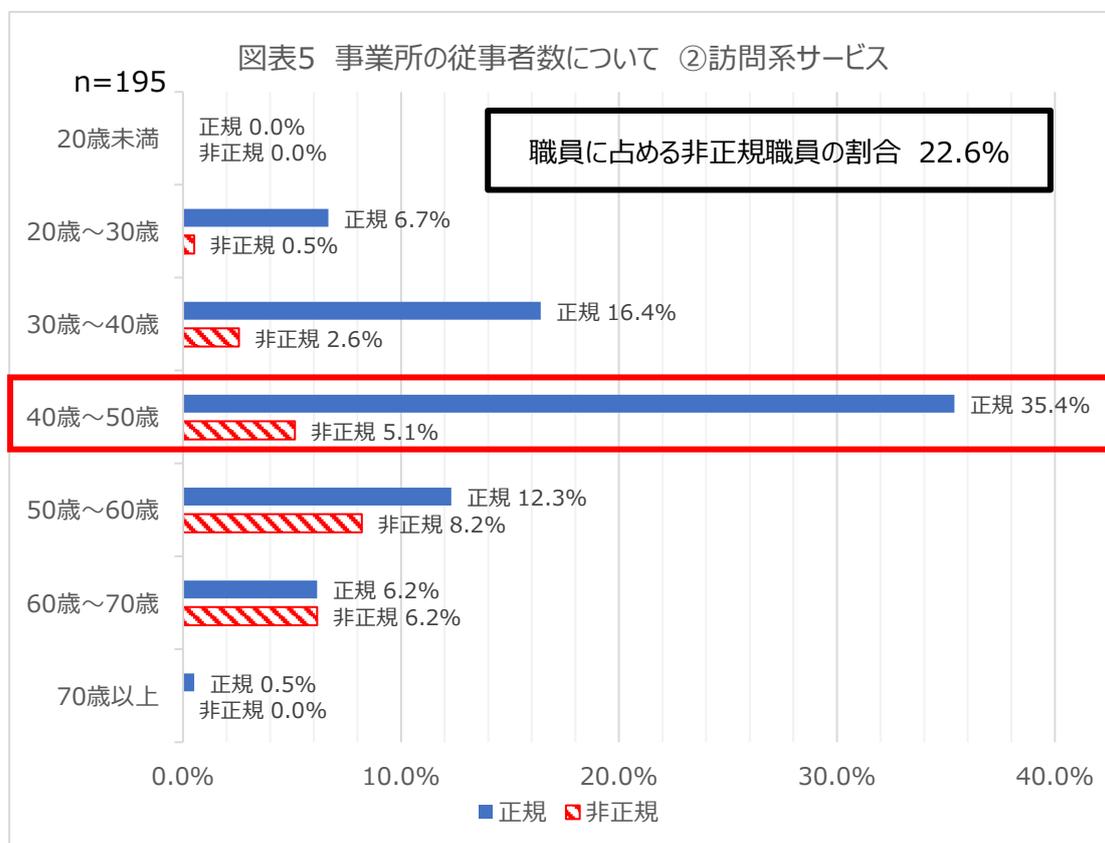
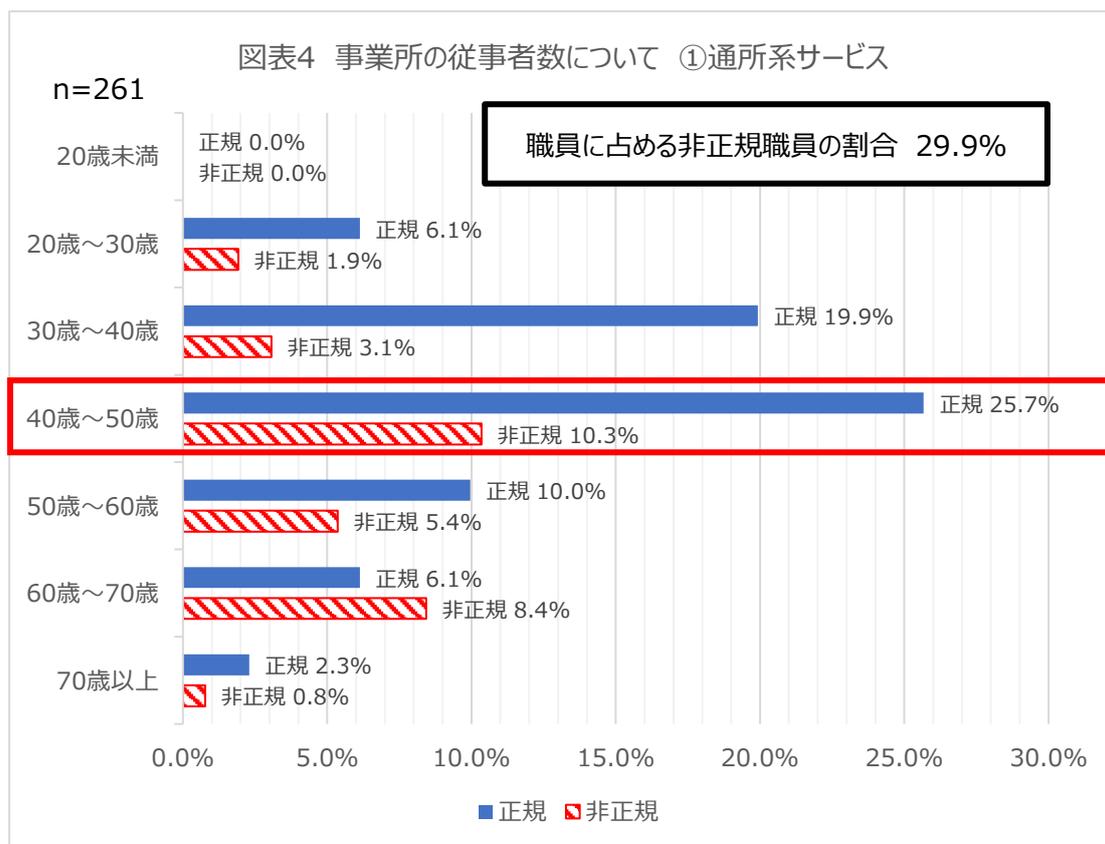


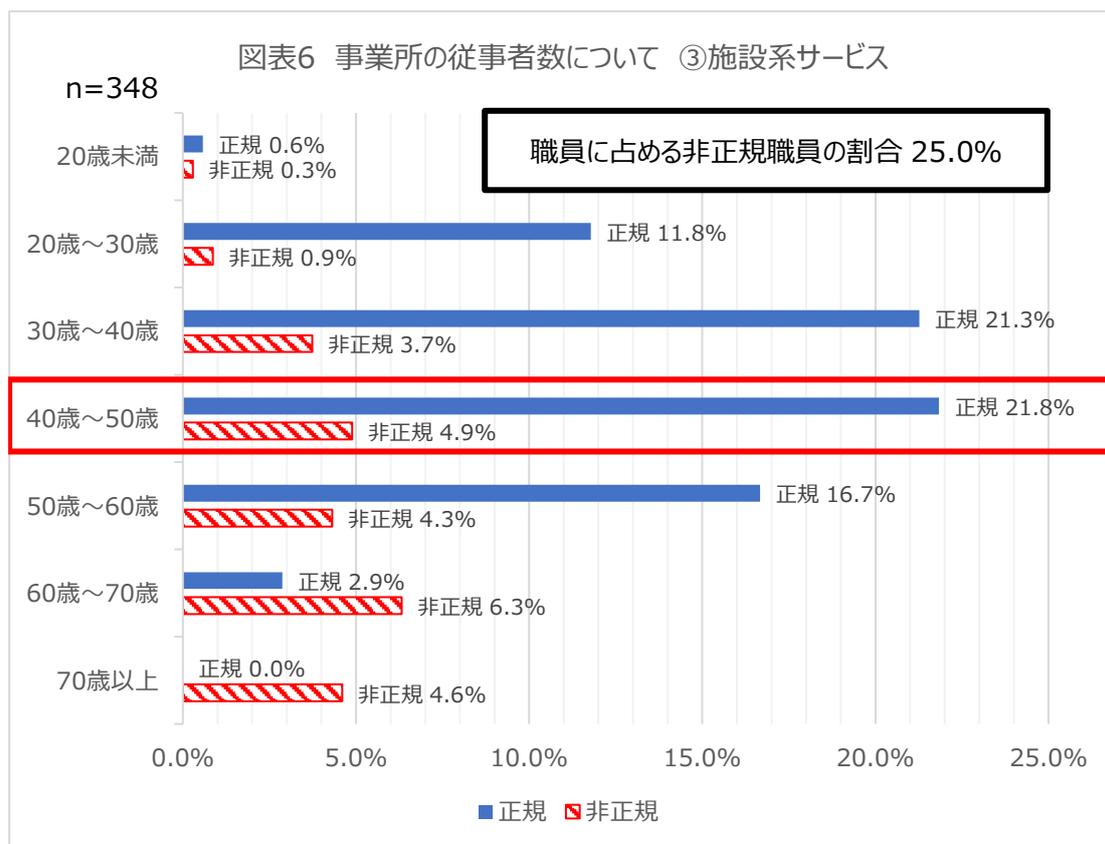
■ 男性職員 ■ 女性職員

図表3 男女割合 非正規職員



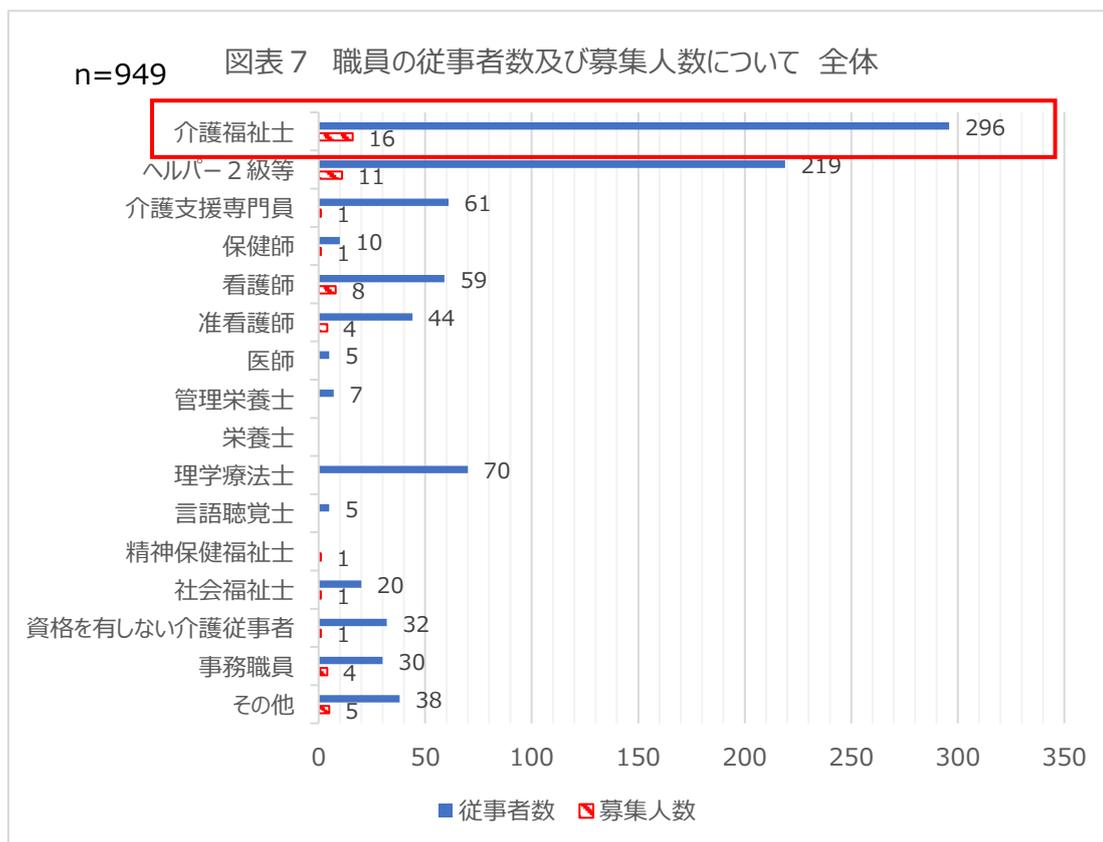
■ 男性職員 ■ 女性職員



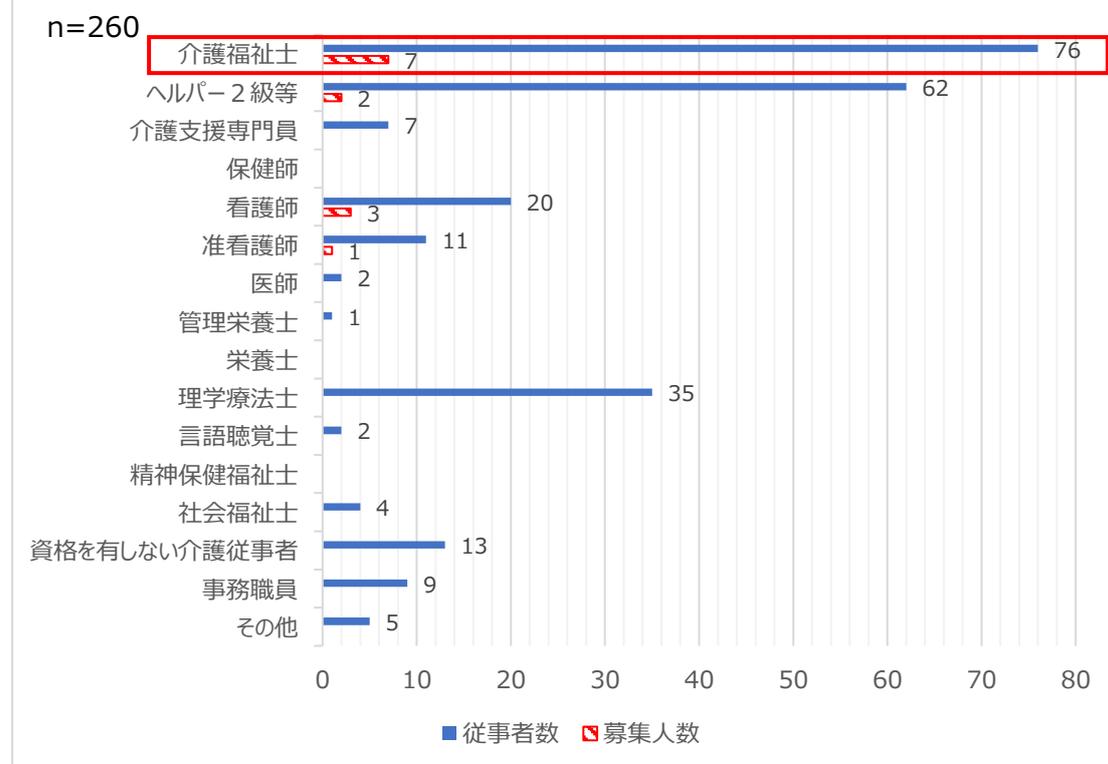


(2) 職員の従事者数及び募集人数について

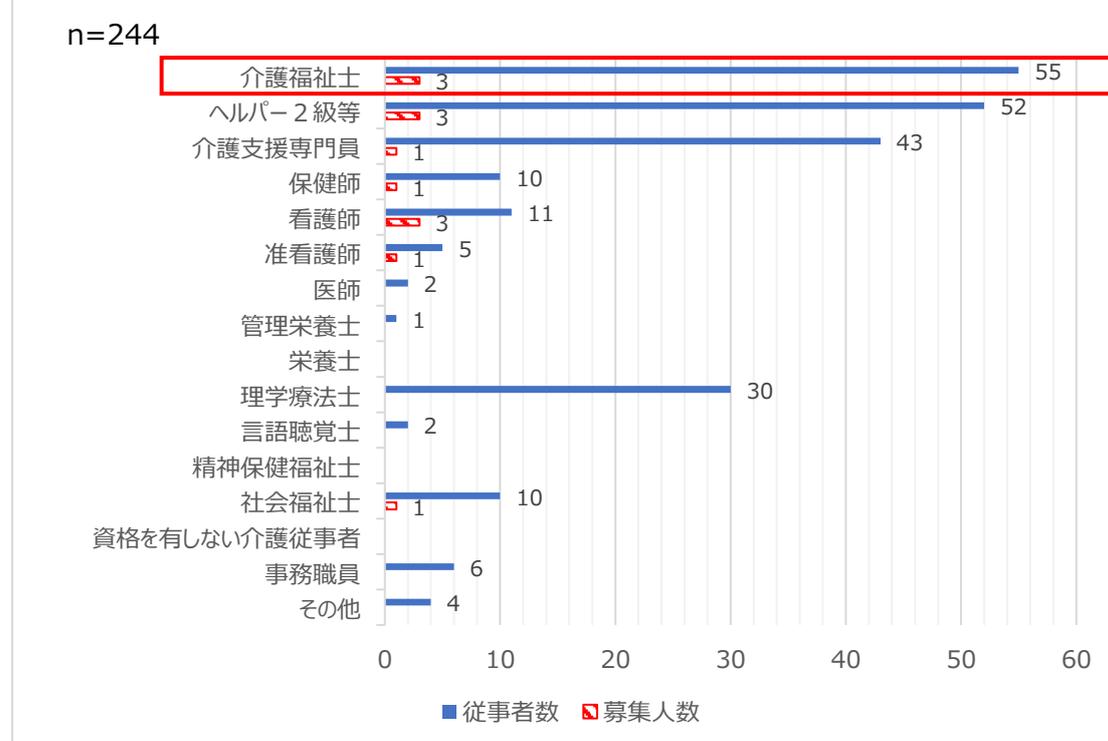
問 2 貴事業所にて従事する専門職（事務職員・介護助手を含む。）及び募集人数はそれぞれ何人ですか。当てはまる資格ごとに人数をお答えください。（R4年12月1日現在）

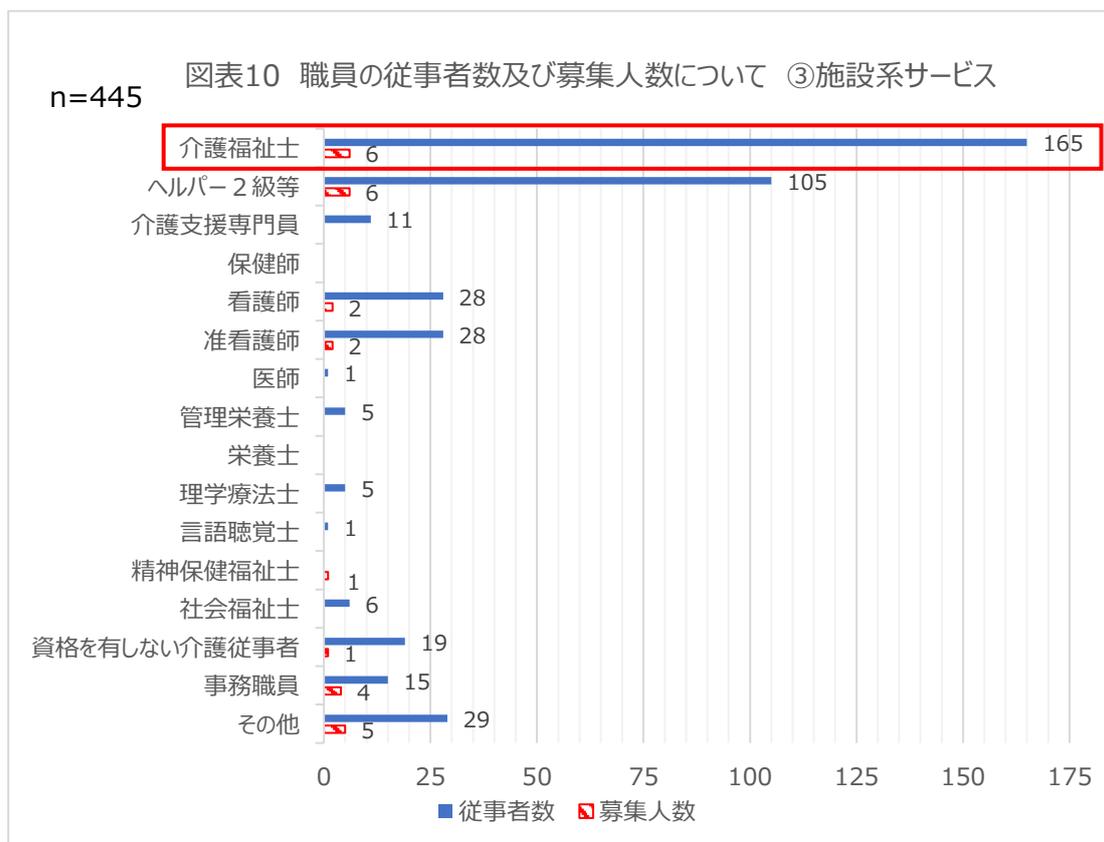


図表8 職員の従事者数及び募集人数について ①通所系サービス



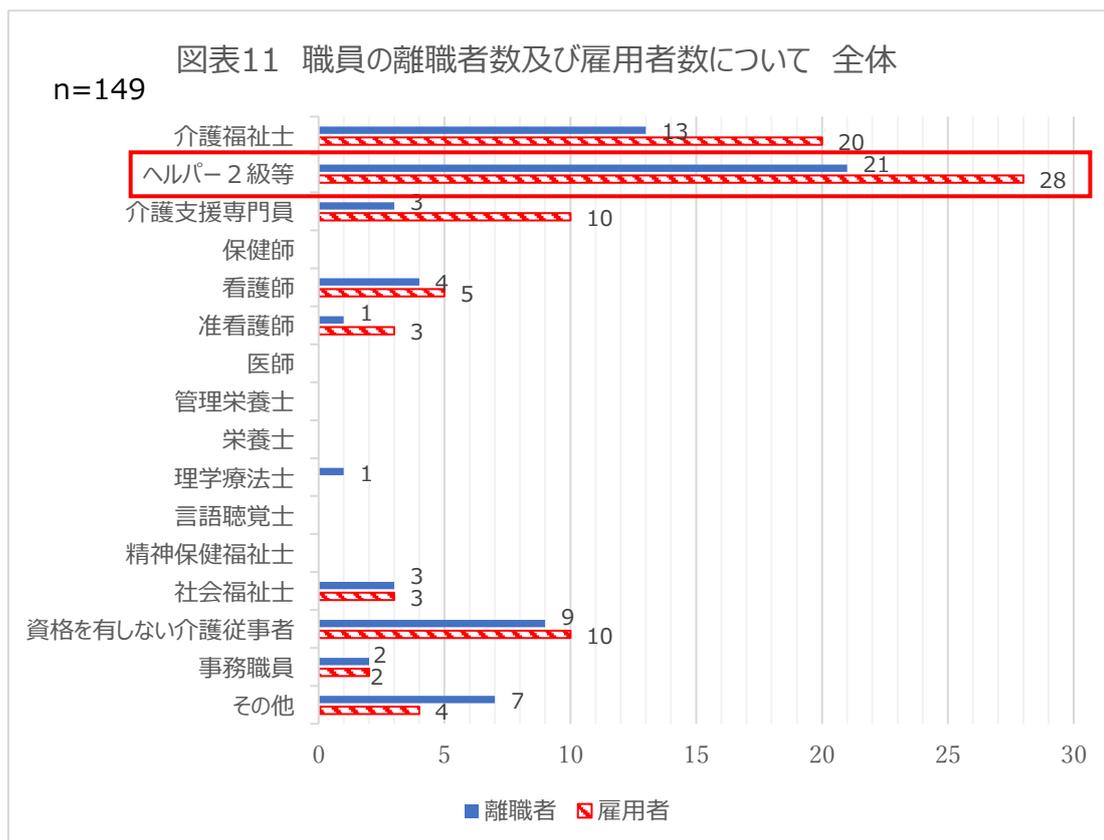
図表9 職員の従事者数及び募集人数について ②訪問系サービス

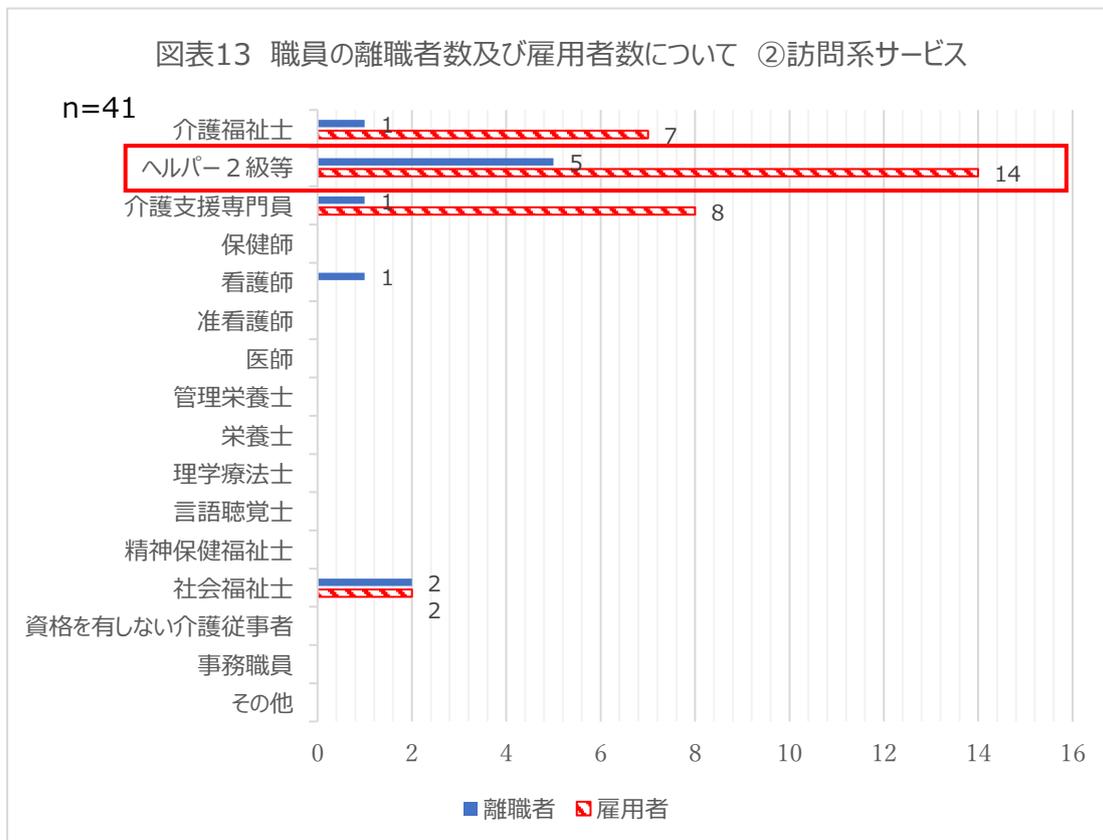
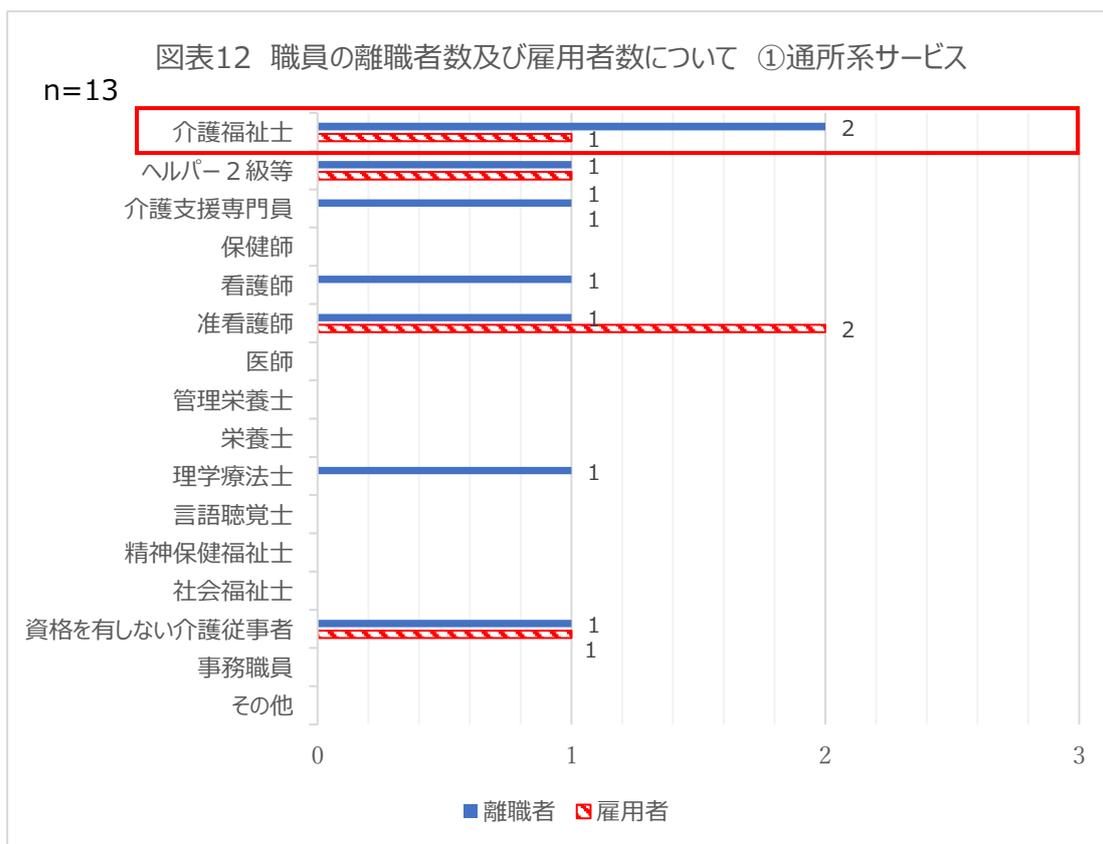


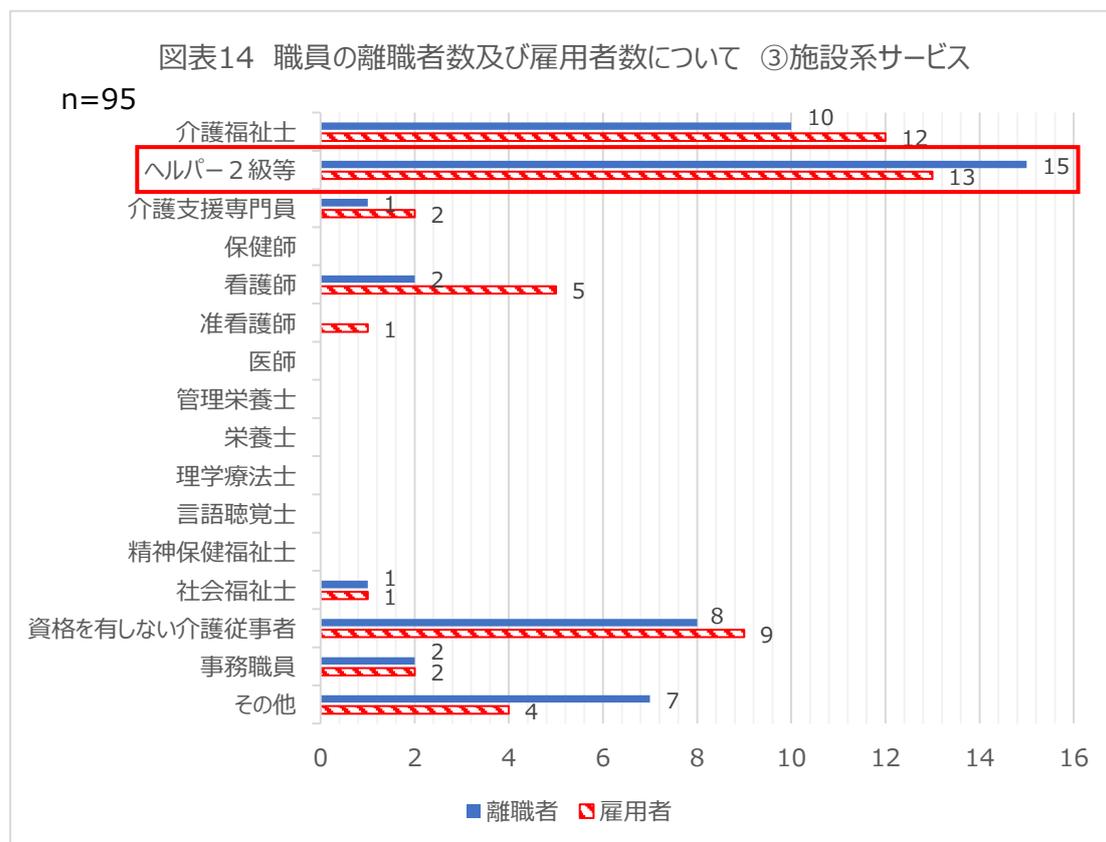


(3) 職員の離職者数及び雇用者数について

問 3 貴事業所では、昨年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日の間）に離職（定年退職を含む。）した職員は何人いましたか。同じく、新たに雇用（社内異動による補充を含まない。）した職員は何人いましたか。当てはまる資格ごとに人数をご入力ください。

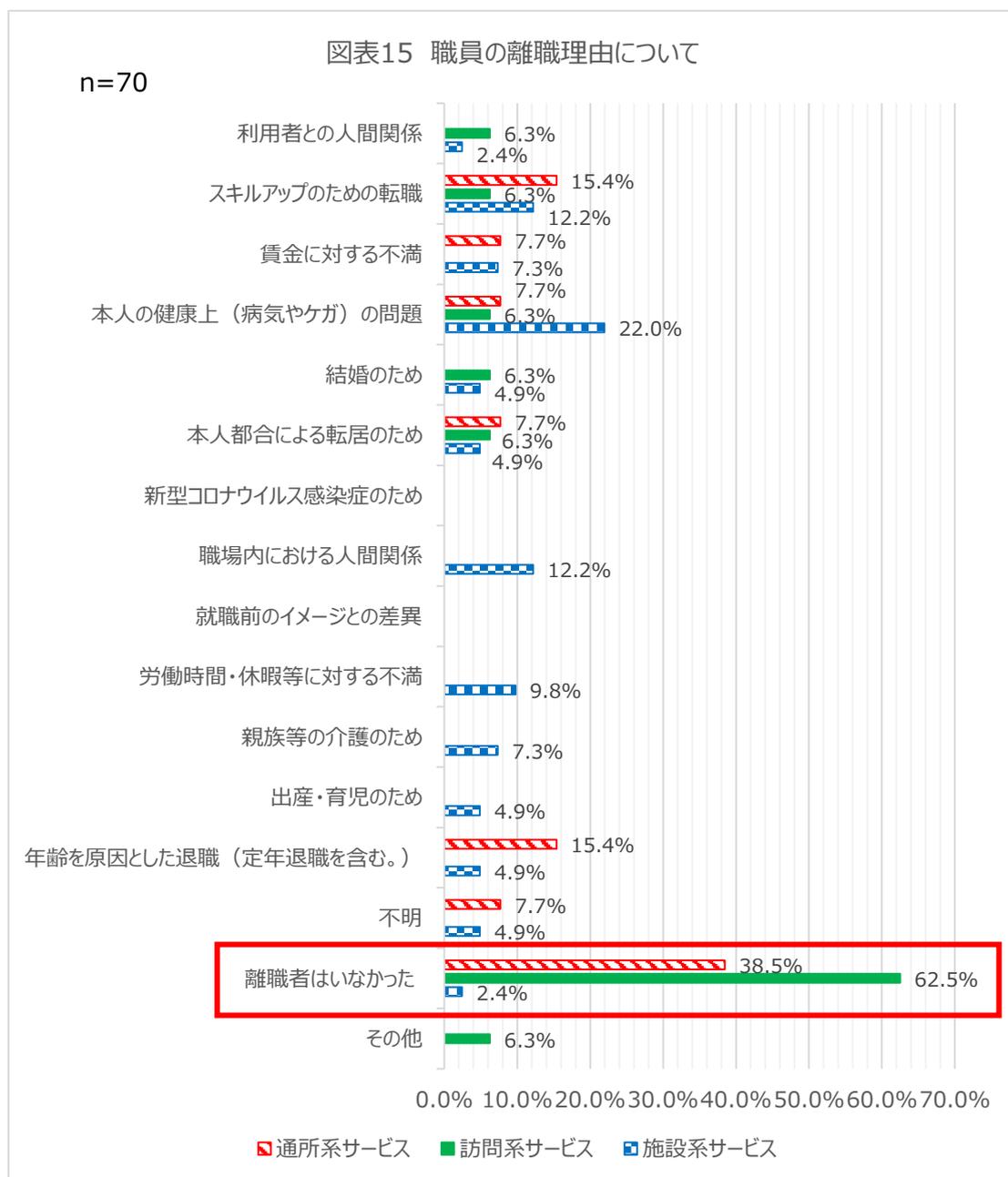






(4) 職員の離職理由について

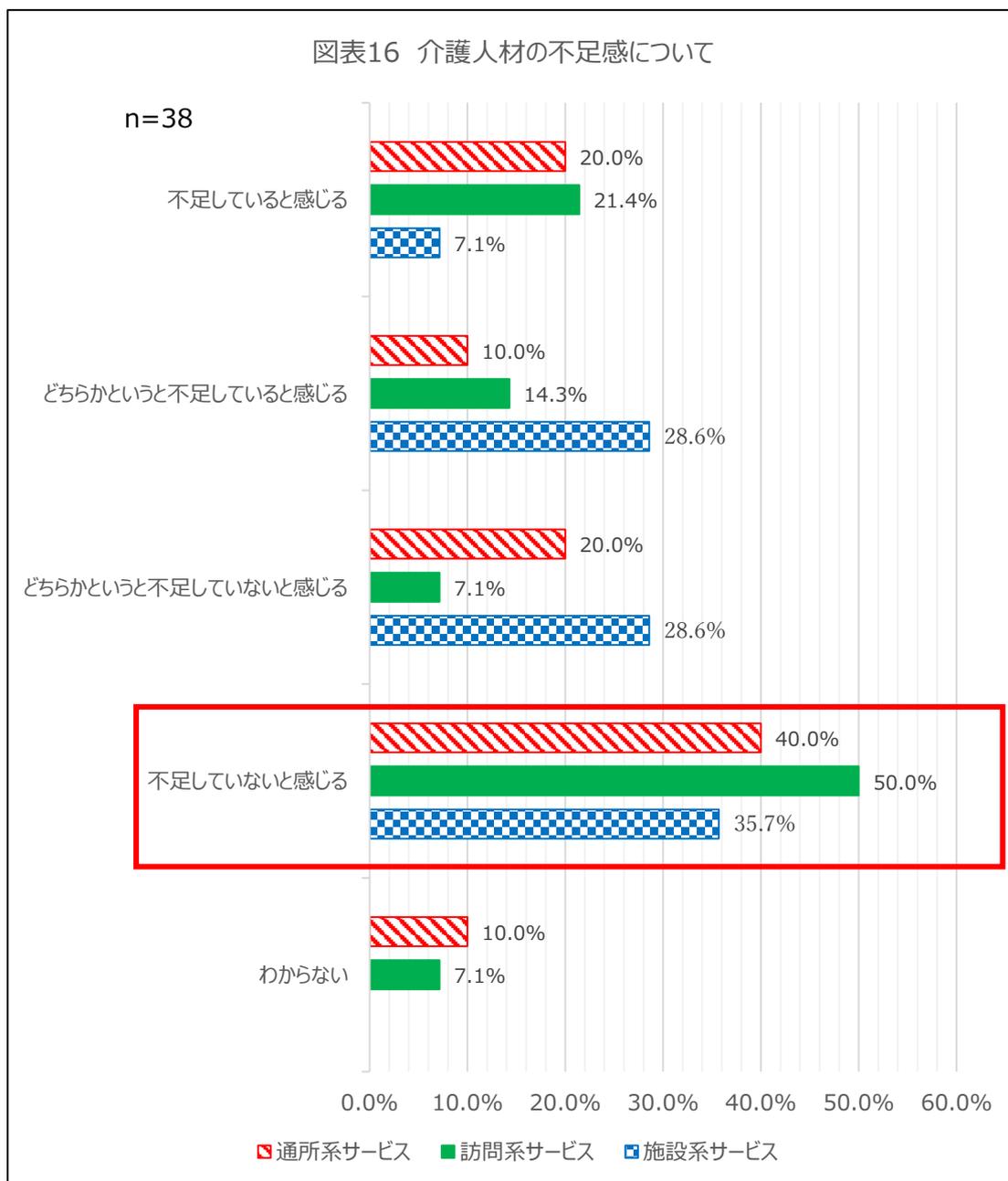
問4 貴事業所において、昨年度に離職した職員の離職理由は主に何でしたか。（回答は当てはまるもの全て）



通所系サービス及び訪問系サービスについては、「離職者はいなかった」（38.5%）・（62.5%）が最も多く、施設系サービスについては、「本人の健康上（病気やケガ）の問題」（22.0%）が最も多くなっている。

(5) 介護人材の不足感について

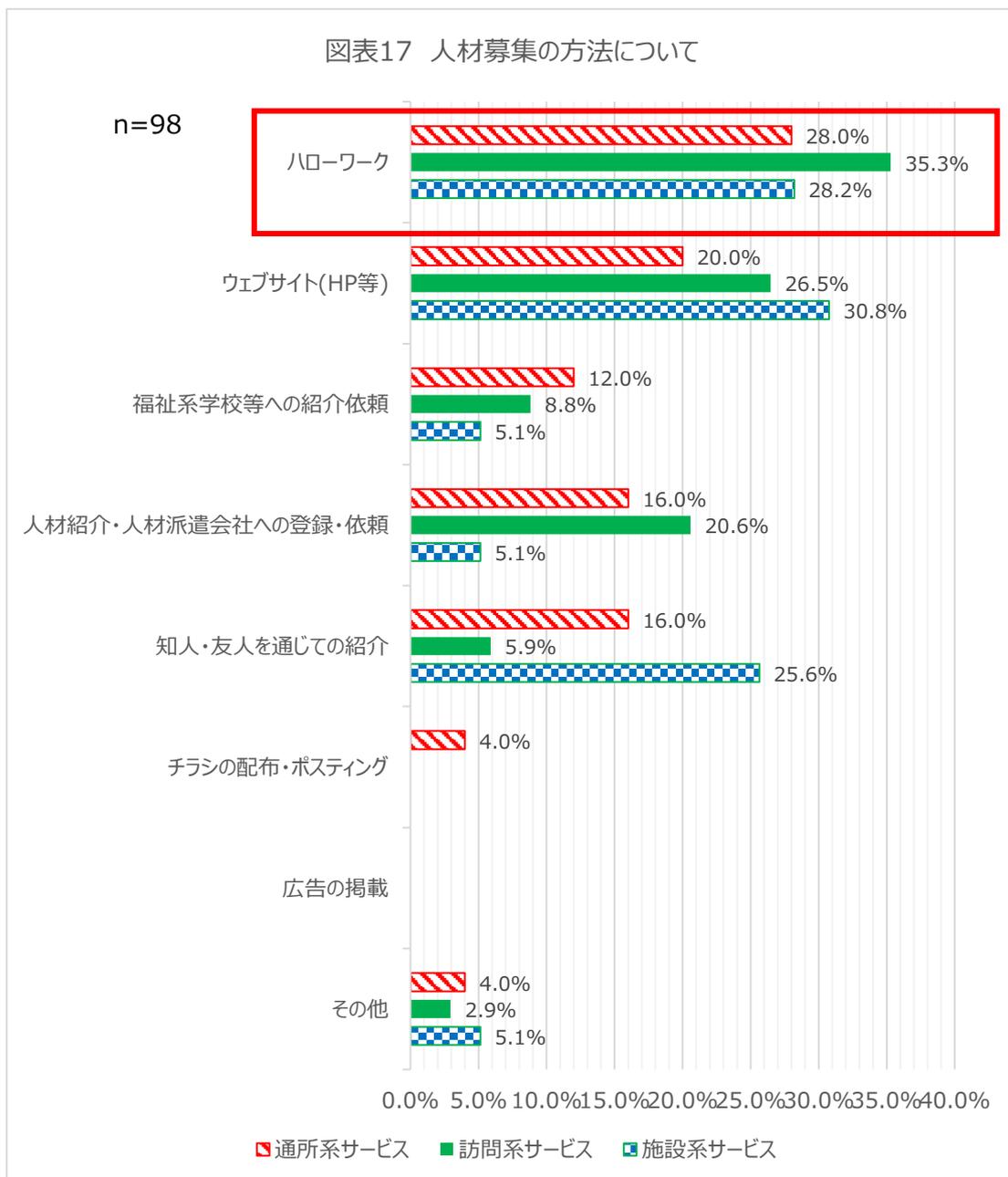
問5 貴事業所では、介護人材が不足していると感じますか。(回答は1つのみ)



いずれのサービスについても、「不足していないと感じる」が最も多く、通所系サービス及び訪問系サービスについては、「不足していると感じる」(20.0%)・(21.4%)が次いで多く、施設系サービスについては、「どちらかというと不足していると感じる」(28.6%)が多くなっている。

(6) 人材募集の方法について

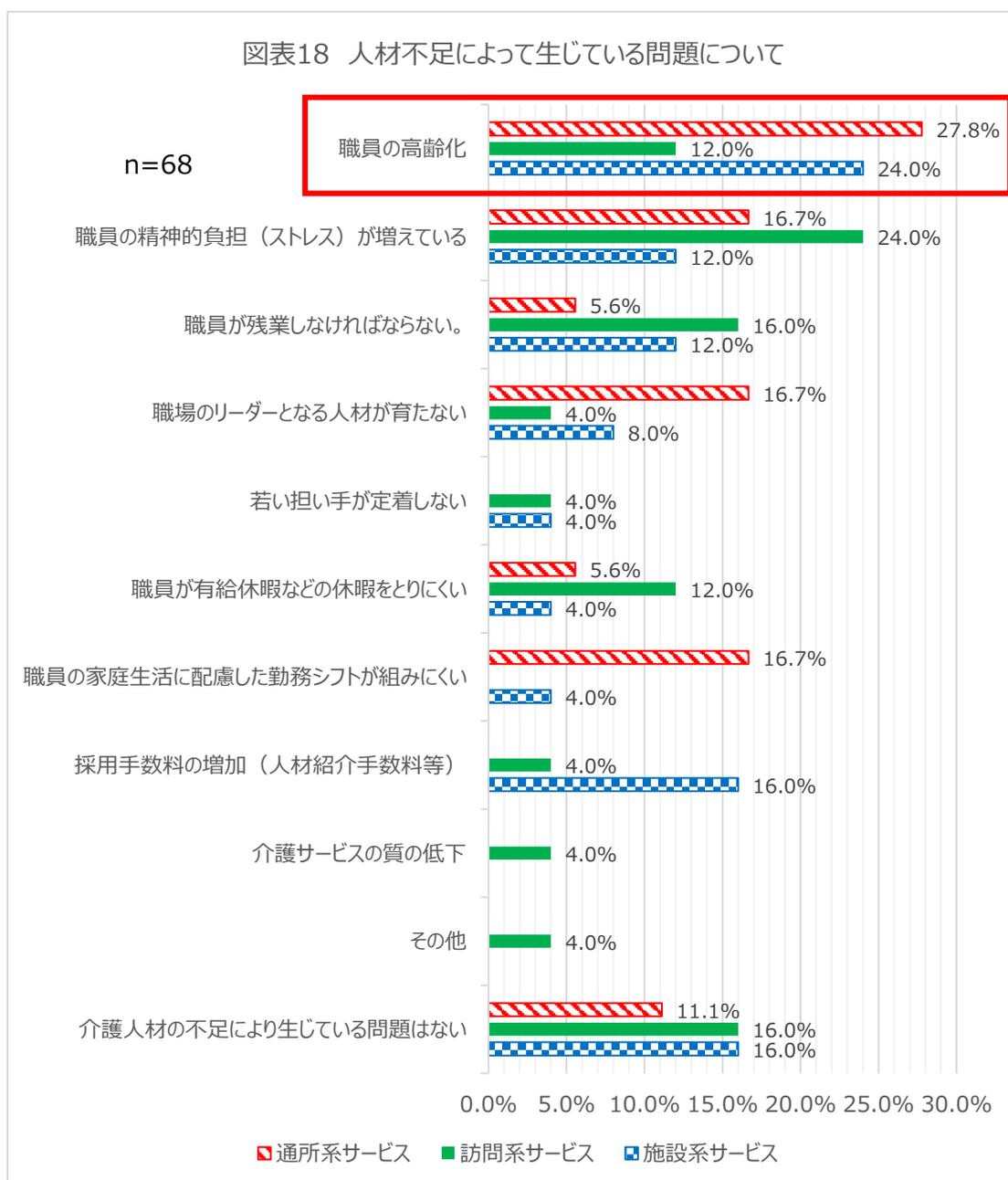
問 6 貴事業所では、介護人材を募集する場合、どのような方法・媒体を利用していますか。
 (回答は当てはまるもの3つまで)



通所系サービス及び訪問系サービスについては、「ハローワーク」(通所系 28.0%、訪問系 35.3%) が最も多くなっており、施設系サービスについては、「ウェブサイト(HP等)」(30.8%) が最も高くなっている。

(7) 人材不足によって生じている問題について

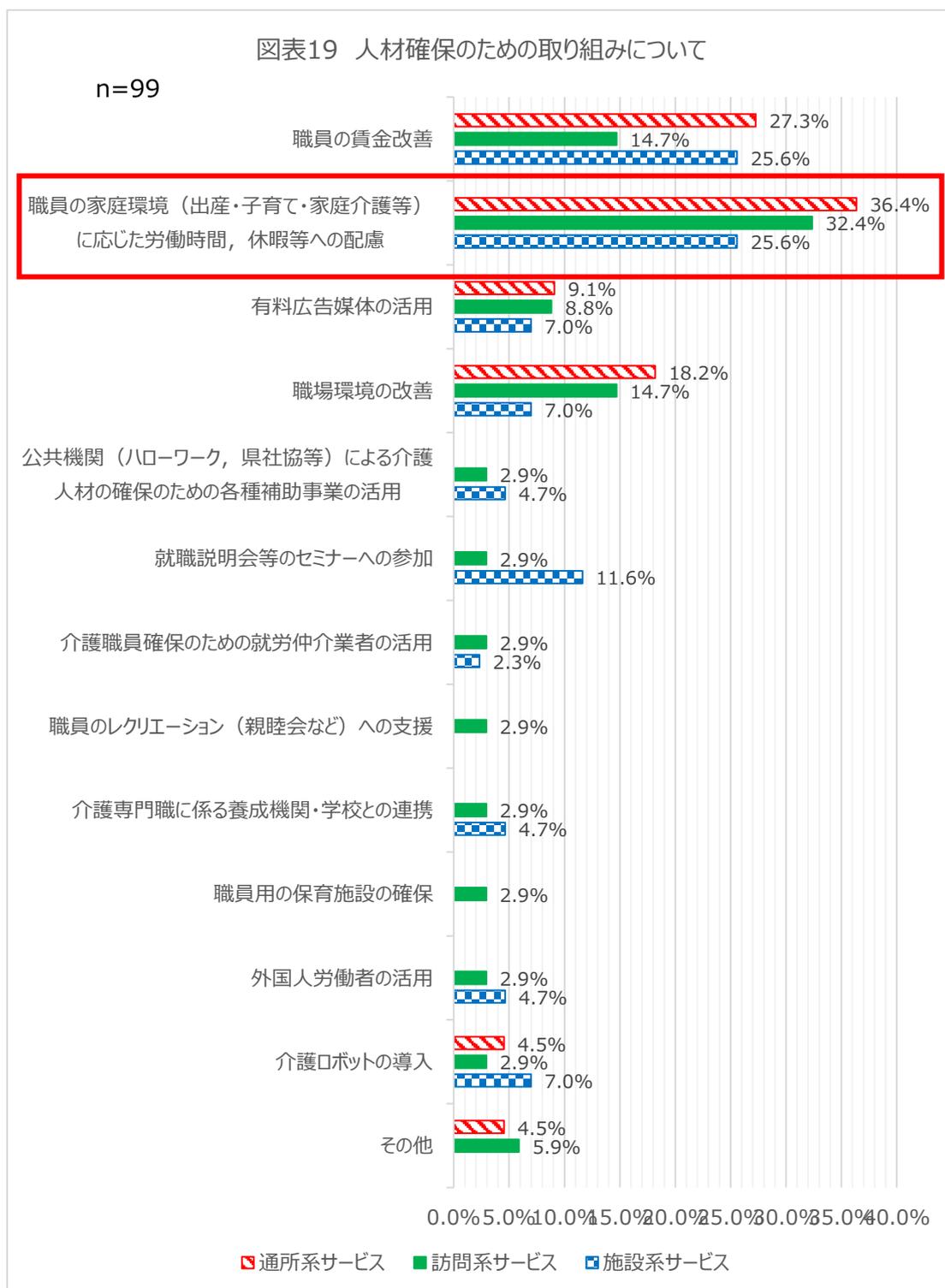
問 7 貴事業所では、介護人材の不足により生じている問題はありませんか。（回答は当てはまるもの3つまで）



通所系サービス及び施設系サービスについては、「職員の高齢化」（27.8%）・（24.0%）が最も多く、訪問系サービスについては「職員の精神的負担（ストレス）が増えている」（24.0%・）で最も多くなっている。

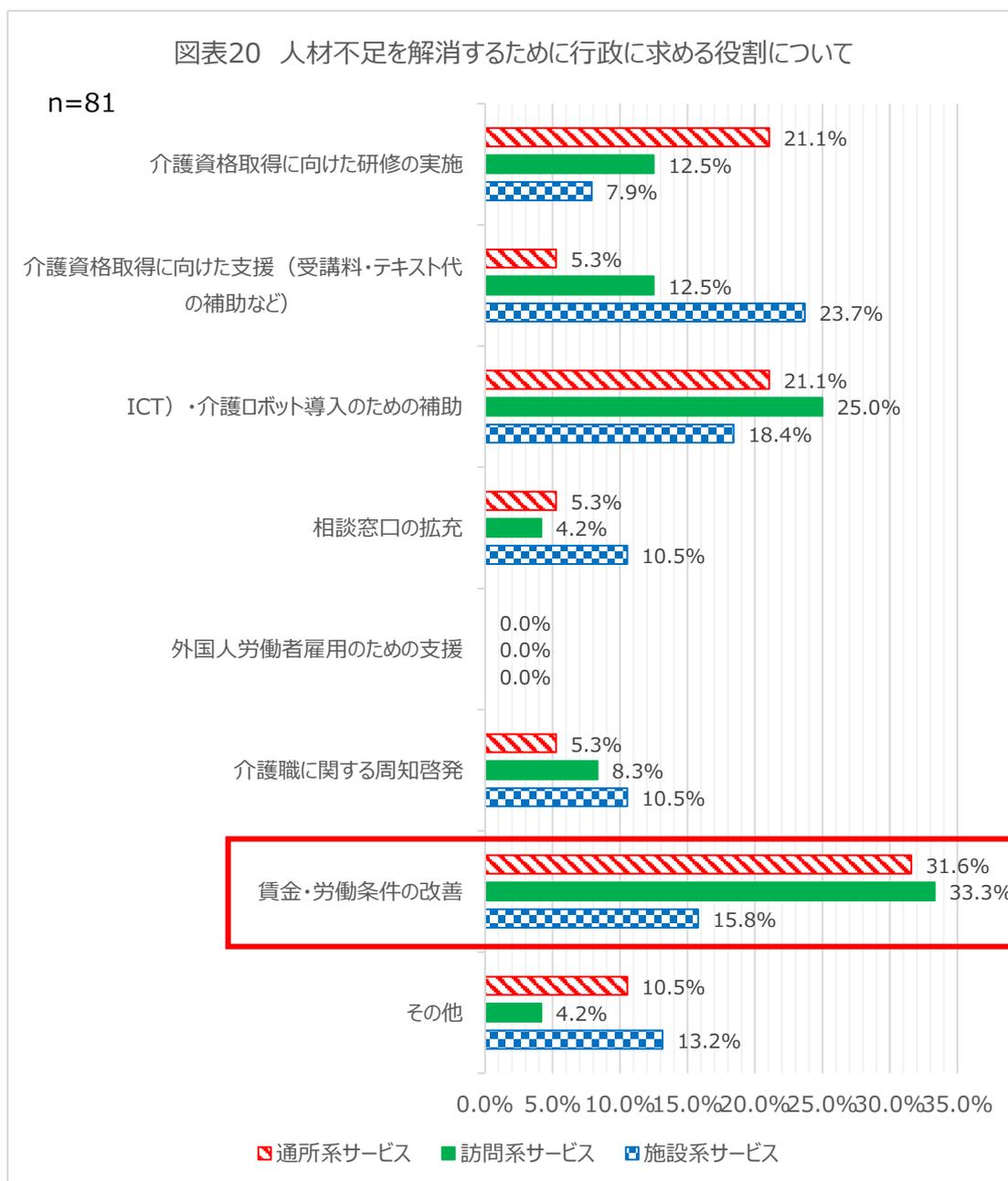
(8) 人材確保のための取り組みについて

問 8 貴事業所では、介護職員の確保のために特に取り組んでいることはありますか。（回答は当てはまるもの全て）



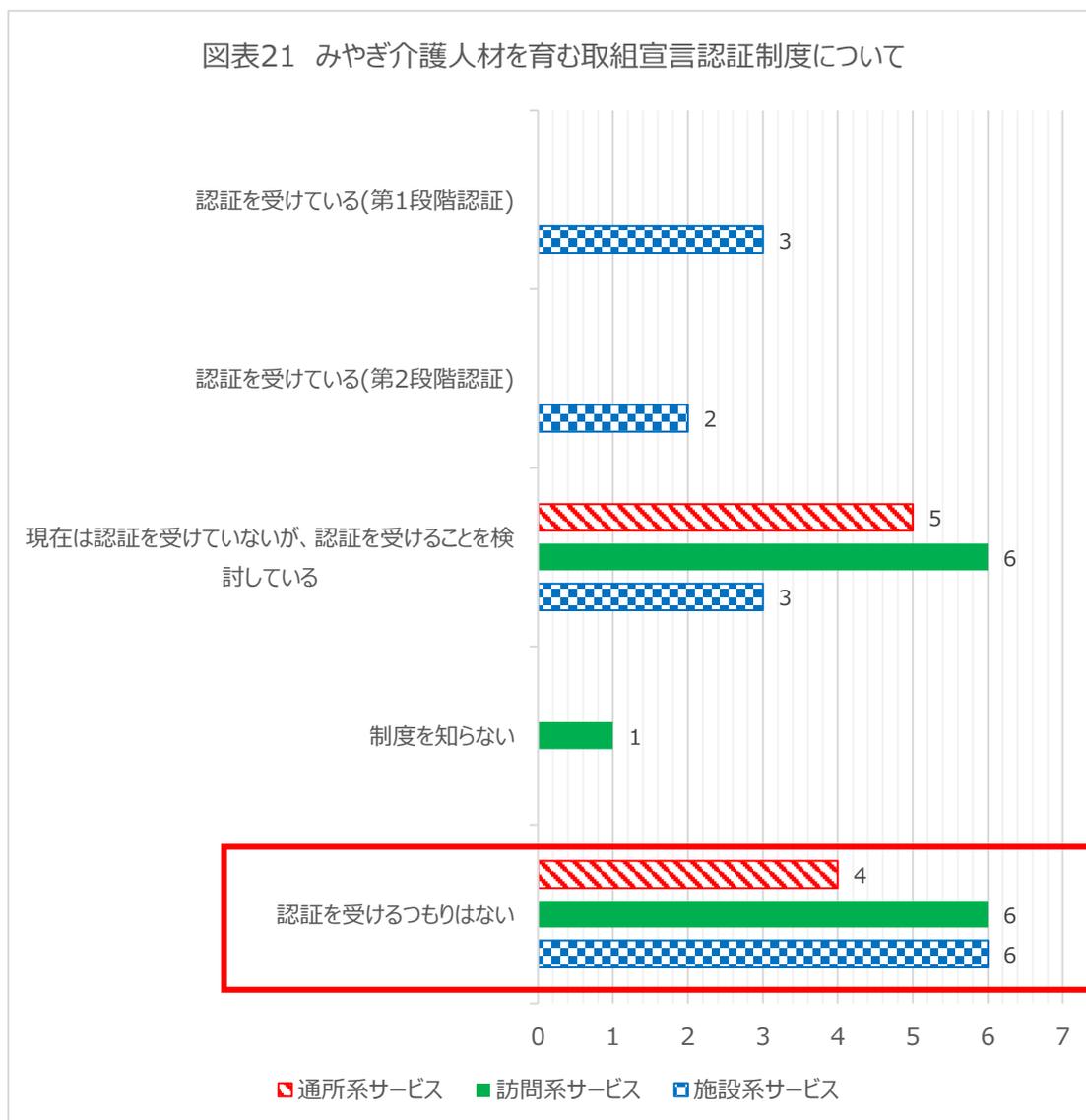
(9) 人材不足を解消するために行政に求める役割について

問 9 介護人材不足を解消するために、行政（国・県・市）に求める役割は何ですか。（回答は当てはまるもの全て）



(10) みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度について

問 10 貴事業所では、みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度※の認証を受けていますか。
(回答は1つのみ)



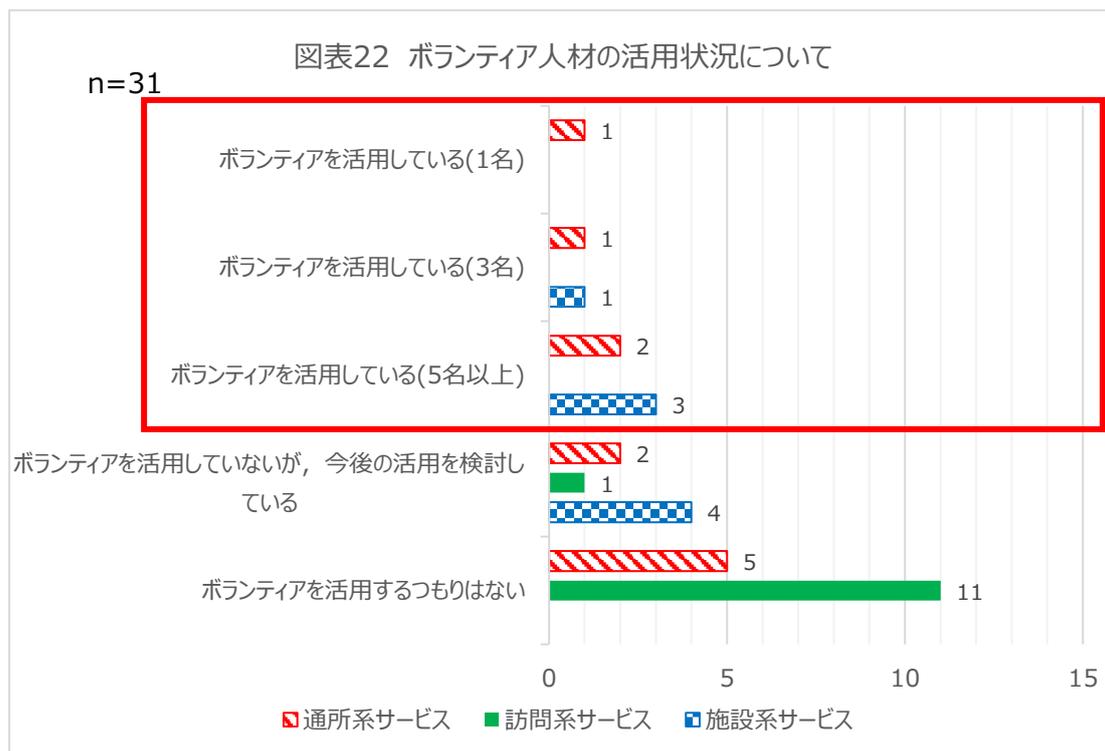
	富谷市内	宮城県内
第1段階認証事業所	5事業所	428事業所
第2段階認証事業所	2事業所	54事業所

(令和4年3月31日時点)

(11) ボランティア人材の活用状況について

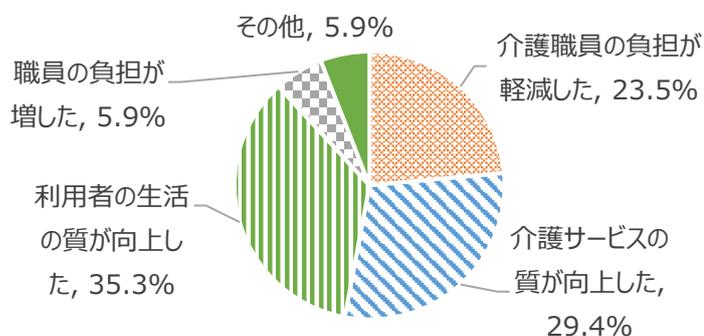
問 11 貴事業所では、介護人材不足を解消するためにボランティア人材（とみサポころね※を含む）を活用していますか（回答は1つのみ）

※とみサポころね：高齢者施設を定期訪問して寄り添いボランティアを行う施設サポーター等を養成し、施設入居者とサポーター双方の充実した生活の一助となることを目的とした事業。現在市内6施設で実施している。



(12) ボランティア活用の効果について

問 12 ボランティアを活用してどのような効果がありましたか。（回答は当てはまるもの全て）
問 11 で「ボランティアを活用している」と回答した方のみ回答



(13) 自由回答について

- ・市内及び近隣施設で入退職を繰り返している印象を受ける。施設や事業所間で連携を取り合い、家庭の事情や就業時間等での離職をする場合に人材紹介会社を介せずに他施設を紹介したりすること等ができるようになればと思う。

(例) 施設で働いて夜勤が出来なくなった場合に訪問介護事業所を紹介する等

- ・ハローワークで開催している求人説明会に参加してみたが、参加求職者数も少なく、県内全域のエリアの事業所が参加しているため、ブースに着席する方がほとんどいない状況であった。

黒川エリア等の事業所に限定した求人説明会等出来れば、ピンポイントで求人確保につながるのではないかと思う。

- ・介護人材の不足は超高齢化社会に向け、深刻と感じる。当社においては、介護のICT化、介護は価値ある仕事である事、感動できる仕事である事を次世代へ伝えていく業務展開を今後も行い、介護人材不足解消への取り組みを行っていきたいと思う。
- ・介護職の現場の見える化をして、やりがいや興味を持てるようなことをお願いしたい。
- ・資格取得を充実させるのではなく、介護に携わる為の心得や携わる人へのケアを充実させてほしい。

問2 貴事業所にて従事する専門職（事務職員・介護助手を含む。）及び募集人数はそれぞれ何人ですか。当てはまる資格ごとに人数をお答えください。（R4年12月1日現在）

	従事者数	募集人数		従事者数	募集人数		従事者数	募集人数
①介護福祉士		人	⑧歯科医師		人	⑯精神保健福祉士		人
②ヘルパー2級等の資格を有する介護士（初任者研修等を含む）		人	⑨歯科衛生士		人	⑰社会福祉士		人
			⑩薬剤師		人	⑱その他（具体的に） ()		人
③介護支援専門員（ケアマネージャー）		人	⑪管理栄養士		人			
④保健師		人	⑫栄養士		人	⑲介護に従事するが資格を有しない方		人
⑤看護師		人	⑬理学療法士		人			
⑥准看護師		人	⑭作業療法士		人	⑳事務職員		人
⑦医師		人	⑮言語聴覚士		人	合計		〇人

※1か月以上の病休、産休・育休、介護休暇等のため、実際に従事していない方及びボランティアの人数は、含まないでください。（複数の専門職をお持ちの方は、雇用の際、最も求められている資格をお選びください。）

問3 貴事業所では、昨年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日の間）に離職（定年退職を含む。）した職員は何人いましたか。同じく、新たに雇用（社内異動による補充を含まない。）した職員は何人いましたか。当てはまる資格ごとに人数をご入力ください。

離職者及び雇用した人はいなかった

	離職	雇用		離職	雇用		離職	雇用
①介護福祉士			⑧歯科医師			⑯精神保健福祉士		
②ヘルパー2級等の資格を有する介護士（初任者研修等を含む）			⑨歯科衛生士			⑰社会福祉士		
			⑩薬剤師			⑱その他（具体的に） ()		
③介護支援専門員（ケアマネージャー）			⑪管理栄養士					
④保健師			⑫栄養士			⑲介護に従事するが資格を有しない方		
⑤看護師			⑬理学療法士					
⑥准看護師			⑭作業療法士			⑳事務職員		
⑦医師			⑮言語聴覚士			合計	〇人	〇人

※複数の資格をお持ちの方は、最も求められる資格をお選びください。また、派遣社員の人数は含まないでください。

雇用した人のうち、前職でも介護関係の仕事をしていた人数

問4 貴事業所において、昨年度に離職した職員の離職理由は主に何でしたか。（回答は当てはまるもの全て）

利用者との人間関係	職場内における人間関係
スキルアップのための転職	就職前のイメージとの差異 （思った仕事と違っていた等）
賃金に対する不満	労働時間・休暇等に対する不満
本人の健康上（病気やケガ）の問題	親族等の介護のため
結婚のため	出産・育児のため
本人都合による転居のため	年齢を原因とした退職（定年退職を含む。）
新型コロナウイルス感染症のため	不明
離職者はいなかった	
その他（具体的に： _____ ）	

問5 貴事業所では、介護人材が不足していると感じますか。（回答は1つのみ）

不足していると感じる	どちらかというと不足していると感じる
どちらかというと不足していないと感じる	不足していないと感じる
わからない	

問6 貴事業所では、介護人材を募集する場合、どのような方法・媒体を利用していますか。（回答は当てはまるもの3つまで）

ハローワーク
ウェブサイト(HP等)
福祉系学校等への紹介依頼
人材紹介・人材派遣会社への登録・依頼
知人・友人を通じての紹介
チラシの配布・ポスティング
広告の掲載
その他（具体的に： _____ ）

問7 貴事業所では、介護人材の不足により生じている問題はありませんか。（回答は当てはまるもの3つまで）

<input type="checkbox"/>	職員の高齢化
<input type="checkbox"/>	職員の精神的負担（ストレス）が増えている。
<input type="checkbox"/>	職員が残業しなければならない。
<input type="checkbox"/>	職場のリーダーとなる人材が育たない。
<input type="checkbox"/>	若い担い手が定着しない。
<input type="checkbox"/>	職員が有給休暇などの休暇をとりにくい。
<input type="checkbox"/>	職員の家庭生活に配慮した勤務シフトが組みにくい。
<input type="checkbox"/>	採用手数料の増加（人材紹介手数料等）
<input type="checkbox"/>	介護サービスの質の低下
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に： _____ ）
<input type="checkbox"/>	介護人材の不足により生じている問題はない。

問8 貴事業所では、介護職員の確保のために特に取り組んでいることはありますか。（回答は当てはまるもの全て）

<input type="checkbox"/>	職員の賃金改善（介護職員処遇改善加算を活用したものを含む。）
<input type="checkbox"/>	職員の家庭環境（出産・子育て・家庭介護等）に応じた労働時間、休暇等への配慮
<input type="checkbox"/>	有料広告媒体の活用
<input type="checkbox"/>	職場環境の改善（介護職員処遇改善加算を活用した賃金改善を除き、研修機会の確保や休憩設備の整備などを含む。）
<input type="checkbox"/>	公共機関（ハローワーク、県社協等）による介護人材の確保のための各種補助事業の活用
<input type="checkbox"/>	就職説明会等のセミナーへの参加
<input type="checkbox"/>	介護職員確保のための就労仲介業者の活用
<input type="checkbox"/>	職員のレクリエーション（親睦会など）への支援
<input type="checkbox"/>	介護専門職に係る養成機関・学校との連携
<input type="checkbox"/>	職員用の保育施設の確保
<input type="checkbox"/>	外国人労働者の活用
<input type="checkbox"/>	介護ロボット（センサーベッド等の見守り装置、コミュニケーションロボット、アシスト補助具等の国県補助によるものを含む。）の導入
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に： _____ ）

問9 介護人材不足を解消するために、行政（国・県・市）に求める役割は何ですか。（回答は当てはまるもの全て）

<input type="checkbox"/>	介護資格取得に向けた研修の実施
<input type="checkbox"/>	介護資格取得に向けた支援（受講料・テキスト代の補助など）
<input type="checkbox"/>	ICT（事業所間の情報連携や日々の業務の電子化等）・介護ロボット導入のための補助
<input type="checkbox"/>	相談窓口の拡充
<input type="checkbox"/>	外国人労働者雇用のための支援
<input type="checkbox"/>	介護職に関する周知啓発
<input type="checkbox"/>	賃金・労働条件の改善
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に： <input type="text"/> ）

問10 貴事業所では、みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度[※]の認証を受けていますか。（回答は1つのみ）

<input type="checkbox"/>	認証を受けている（ <input type="text"/> ）
<input type="checkbox"/>	現在は認証を受けていないが、認証を受けることを検討している
<input type="checkbox"/>	制度を知らない
<input type="checkbox"/>	認証を受けるつもりはない

※みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度：介護人材の参入を促すために、介護事業所の人材育成や働きやすさの取組を公表（見える化）する制度。宮城県介護人材確保協議会が事業所の認証を行う。

問11 貴事業所では、介護人材不足を解消するためにボランティア人材（とみサボころね[※]を含む）を活用していますか（回答は1つのみ）

<input type="checkbox"/>	ボランティアを活用している（ <input type="text"/> ）
<input type="checkbox"/>	ボランティアを活用していないが、今後の活用を検討している
<input type="checkbox"/>	ボランティアを活用するつもりはない

※とみサボころね：高齢者施設を定期訪問して寄り添いボランティアを行う施設サポーター等を養成し、施設入居者とサポーター双方の充実した生活の一助となることを目的とした事業。現在市内6施設で実施している。

問11で「ボランティアを活用している」と回答した方のみ

問12 ボランティアを活用してどのような効果がありましたか。（回答は当てはまるもの全て）

<input type="checkbox"/>	介護職員の負担が軽減した
<input type="checkbox"/>	介護サービスの質が向上した
<input type="checkbox"/>	利用者の生活の質が向上した
<input type="checkbox"/>	特に効果はなかった
<input type="checkbox"/>	職員の負担が増した
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に： <input type="text"/> ）

介護人材の確保について、ご意見ご要望があれば、ご自由に入力してください

富谷市
高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画
実態把握調査結果報告書
令和5年3月

発行：富谷市保健福祉部長寿福祉課
〒981-3392 宮城県富谷市富谷坂松田 30 番地
T E L 022-358-0513 (直通)
F A X 022-358-2370
e-mail tyoujuhukushi@tomiya-city.miyagi.jp